

日本植物学会第87回大会 プログラム



2023年9月4日(月)：オンラインポスター発表
9月7日(木)～9月9日(土)：ハイブリッド開催

会場：北海道大学工学部

<http://bsj.or.jp/bsj87/>



日本植物学会
The Botanical Society of Japan

ウェブ要旨集(ORSAM Portal)へのアクセスはこちら

<https://bsj2023-orsam-portals.jp>

公益社団法人日本植物学会第87回大会実行委員

大会会長：露崎 史朗（北海道大学）

大会副会長：藤田 知道（北海道大学）

実行委員長：田中 亮一（北海道大学）

総務：伊藤 寿（北海道大学）

会場担当：星野 洋一郎（北海道大学）

会計担当：長里 千香子（北海道大学）

プログラム担当：尾之内 均（北海道大学）／藤野 介延（北海道大学）

プログラム編成・当日会場担当：北村 系子（森林総合研究所）／小亀 一弘（北海道大学）／尾之内 均（北海道大学）／藤野 介延（北海道大学）／小出 陽平（北海道大学）／荒川 圭太（北海道大学）／志村 華子（北海道大学）／綿引 雅昭（北海道大学）／高林 厚史（北海道大学）／首藤 光太郎（北海道大学）／市原 健介（北海道大学）／三輪 京子（北海道大学）／Marcel Pascal Beier（北海道大学）／佐藤 長緒（北海道大学）／高木 純平（北海道大学）／伊藤 秀臣（北海道大学）／仲田 崇志（北海道大学）／中野 亮平（北海道大学）／眞木 美帆（北海道大学）／崎浜 靖子（北海道大学）／小野 清美（北海道大学）／星野 洋一郎（北海道大学）／楢本 悟史（北海道大学）／中野 有紗（北海道大学）

関連集会・ランチョンセミナー担当：綿引 雅昭（北海道大学）／荒川 圭太（北海道大学）

オンライン担当：高林 厚史（北海道大学）／首藤 光太郎（北海道大学）／市原 健介（北海道大学）

英語広報担当：三輪 京子（北海道大学）／Marcel Pascal Beier（北海道大学）

公開講演会担当：相場 慎一郎（北海道大学）

高校生企画担当：楢本 悟史（北海道大学）／崎浜 靖子（北海道大学）／島崎 智久（北海道大学）

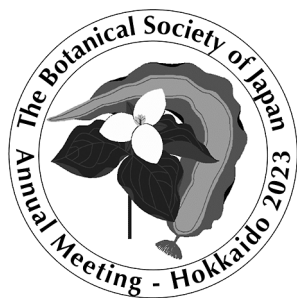
企業展示担当：佐藤 長緒（北海道大学）／高木 純平（北海道大学）

懇親会・ミキサー担当：露崎 史朗（北海道大学）／藤田 知道（北海道大学）／中野 亮平（北海道大学）

託児室担当：星野 洋一郎（北海道大学）

アルバイト監督担当：小野 清美（北海道大学）

札幌大会シンボルマーク



オニコンブ *Saccharina diabolica* (Miyabe) C.E.Lane, C.Mayes, Druehl & G.W.Saunders

コンブ類は北海道の沿岸生態系の主要な構成要素である。オニコンブは、通常長さ3 m、幅30 cm、葉の厚さ7 mm までなる。他のコンブ類と比較して葉は広く厚い巨大コンブである。北海道東部太平洋岸、歯舞諸島、国後島、択捉島、サハリン南部に分布し、内湾、入り江などの波浪が直接当たらない静穏な場所に生息する。用途はだし用が主で、香りがよく、黄色みを帯びたこくのあるだしが出る。

オオバナノエンレイソウ *Trillium camschatcense* Ker Gawler

北海道の平野部の落葉広葉樹林床から低山帯部まで広く生育する多年草。北東アジア産のエンレイソウの仲間でも唯一の二倍体（ $2n = 10$ ）で、大型の染色体をもつこと、低温処理を施した際のヘテロクロマチンの退色模様が鮮明に検出できることを利用して、1950年代から北大の研究グループにより、大々的な集団解析がなされ、オオバナノエンレイソウの集団遺伝学的研究が完成された。

シンボルマークデザイン：石川 淳子（北海道大学大学院環境科学院卒）



目次 / Contents

会場への交通案内	4
大会に参加される方へ	8

プログラム 17

日程表	18
学会賞授賞式および受賞講演	23
シンポジウム	25
公開講演会	43
口頭発表／シンポジウム 一覧表	44
口頭発表座長一覧	76
ポスター発表	79
高校生研究ポスター発表	88

発表者名索引 91

広告 111

会場への交通案内

北海道大学工学部はJRをご利用の場合、JR「札幌駅」下車、徒歩14分、地下鉄をご利用の場合市営交通・地下鉄南北線「さっぽろ駅」下車、徒歩17分、「北12条駅」下車、徒歩9分です。

構内の駐車場は利用できませんので、最寄りの公共交通機関のご利用をお願いいたします。

大会会場

9月4日(月)はオンラインでのポスター発表・質疑応答を行います。大会ウェブサイトからウェブ要旨集 (ORSAM Portal) にログインしてポスター会場にお入りください。

9月7日(木)～9月9日(土)は、北海道大学工学部(〒060-0813 北海道札幌市北区北13条西8丁目)で口頭発表、シンポジウム、ダイバーシティ推進ランチョンセミナー、授賞式・受賞講演、関連集会、公開講演会を現地・オンラインのハイブリッド開催します。また、高校生ポスター発表は現地開催します(オンラインでの発表はありません)。

9月7日～9月9日の現地開催中も、オンラインでのポスター(一般)閲覧・質疑応答を行うことができます。高校生ポスター発表は9月9日(木)の9:30から12:10まで、北海道大学工学部にて行います。

公開講演会会場

公開講演会「植物から見た北海道の自然」は、9月9日(土)14:30より、北海道大学工学部オープンホールにてハイブリッド形式で開催します。オンライン参加する場合、大会ホームページより申し込みが必要です。

交流会

以下の日程で交流会を開催いたします。

軽食とドリンク(アルコール飲料を含む)を提供いたします。

9月8日(金)17:30～19:30

会場：北大生協工学部食堂(北大工学部1階)、人数が多い場合はI会場(2階)も使用する予定です。

参加費：1000円

事前申込は必要ありません。参加費の支払いは交流会会場入口で行います。

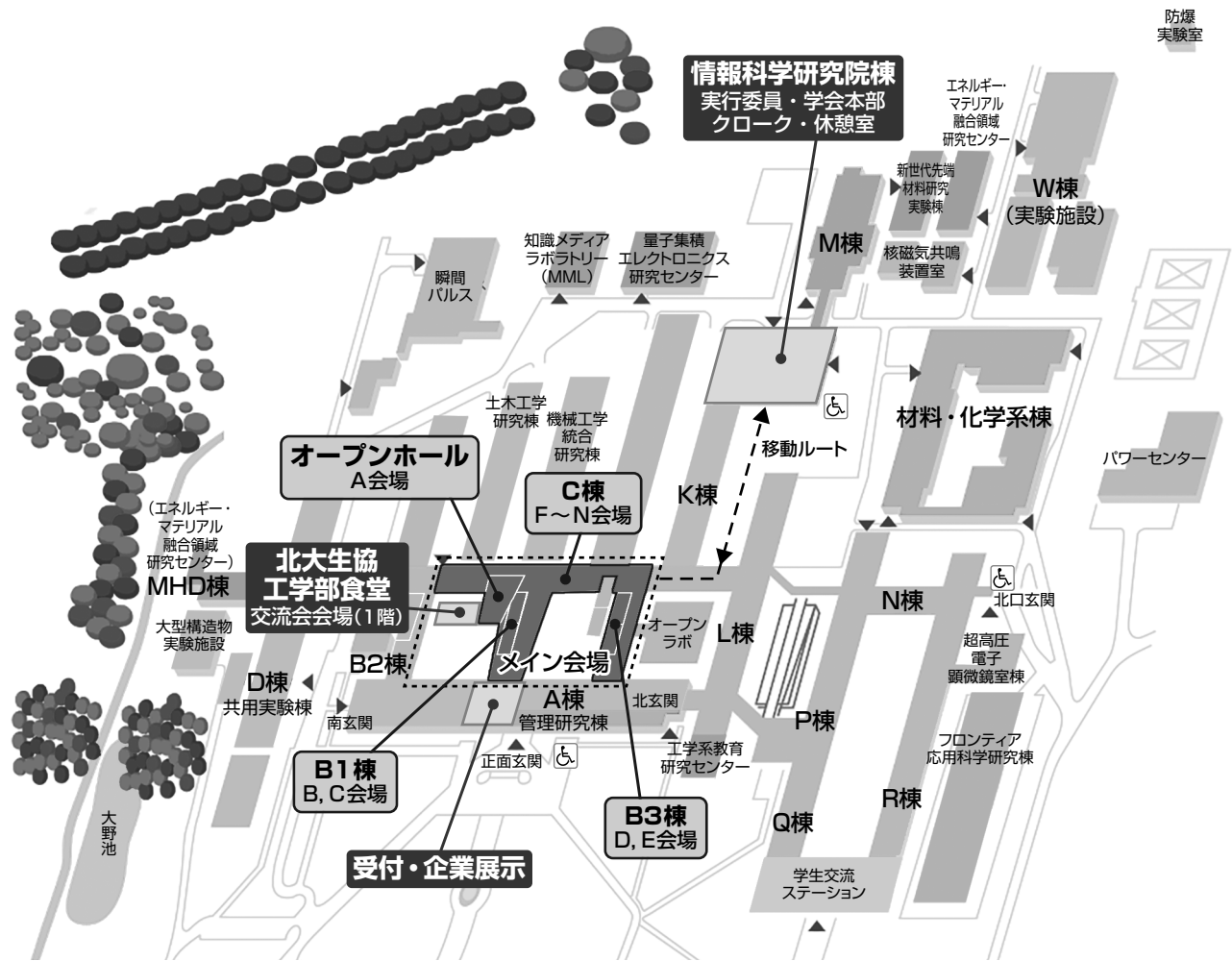
各会場の場所・アクセスは5ページから7ページの案内図をご覧ください。

会場への交通経路

- JR札幌駅、市営交通・地下鉄南北線さっぽろ駅から
正門から入り北海道大学工学部まで約800m
- 市営交通・地下鉄南北線北12条駅から
北13条門から入り北海道大学工学部まで約300m

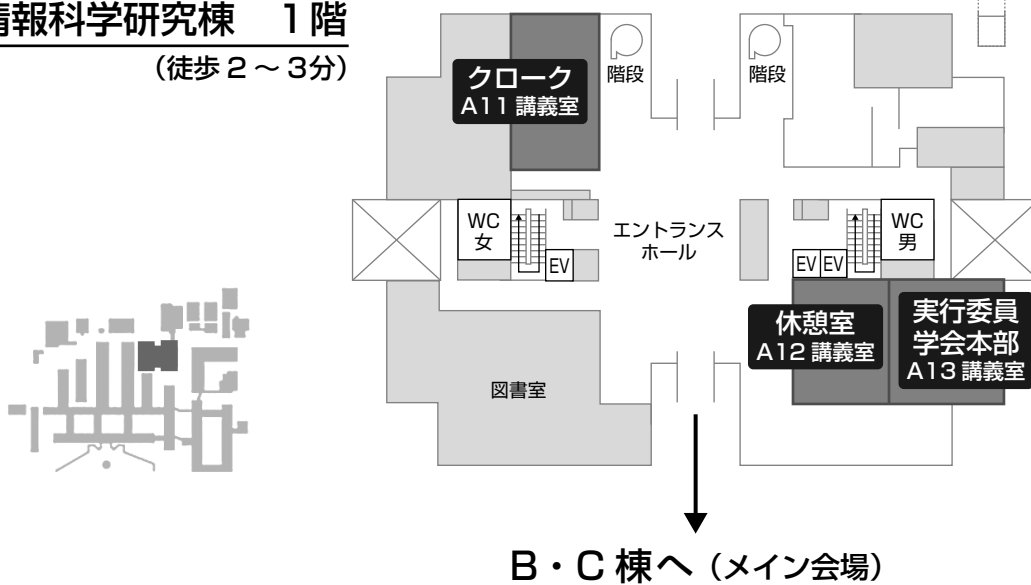


会場地図



会場配置図

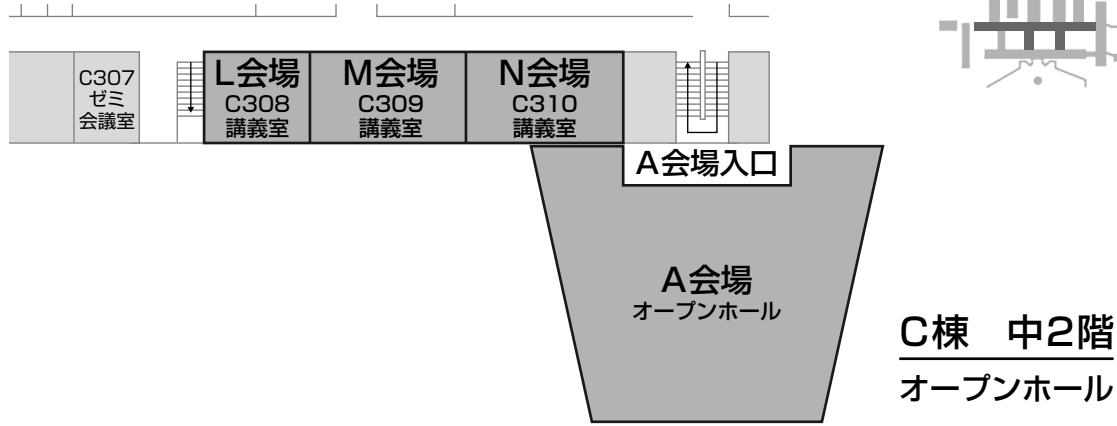
情報科学研究所棟 1階 (徒歩 2 ~ 3分)



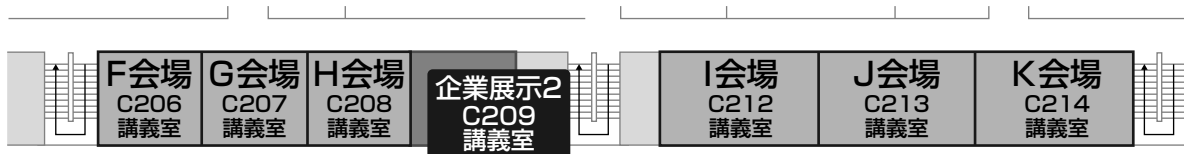
会場配置図

B・C棟 (メイン会場)

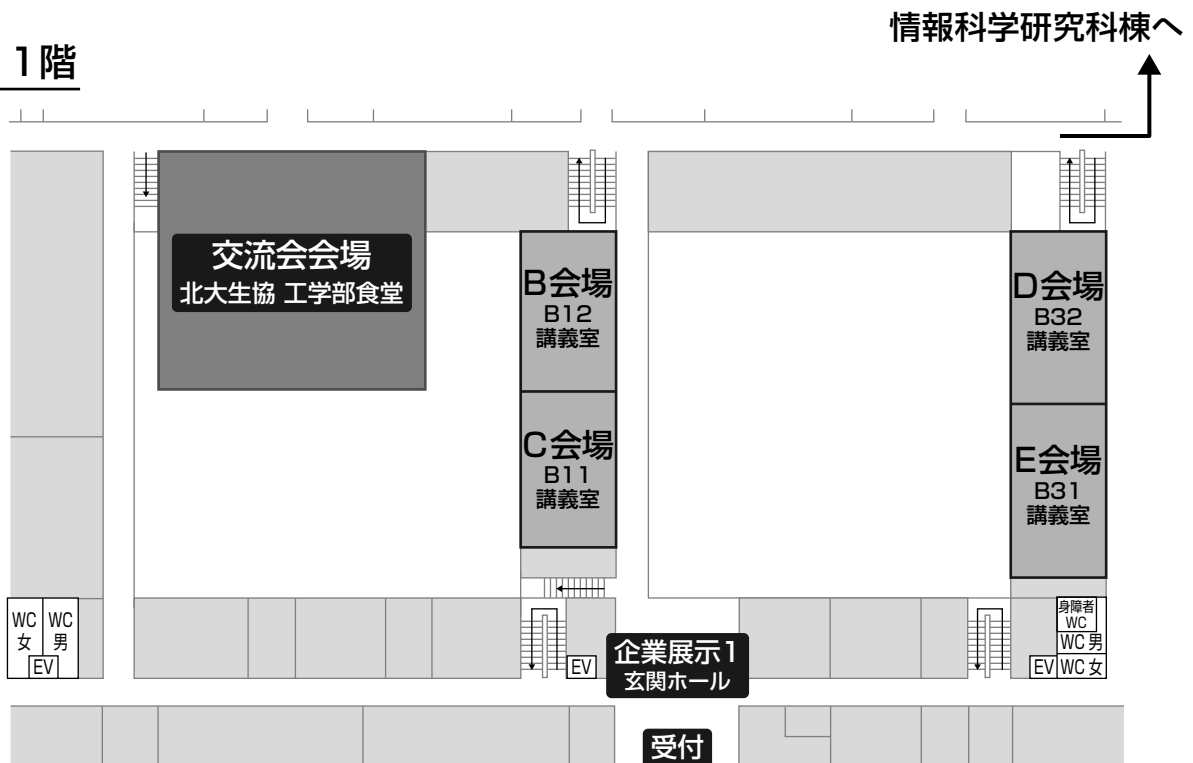
C棟 3階



C棟 2階



B棟 1階



大会に参加される方へ

受付と全般的注意

本大会はオンラインとオンサイト（北海道大学工学部）のハイブリッド形式で開催します。
オンサイト参加受付は9月7日(木) 8:30 から、大会受付で行います。

事前参加登録をされている方：受付の必要はありません（名札・プログラム集は事前に郵送してあります）。

事前参加登録をしていない方（当日参加の方）：参加受付をしてください。

大会の受付の横に学会の受付も設置いたします。年会費納入や学会入会の手続きが可能です。

会場内では必ず参加証（名札）を着用してください。参加証のケースは受付付近に準備しています。事前参加登録をお済ませの方には、参加証をお送りしています。

発表内容に関して、カメラ、ビデオ、携帯電話による撮影、もしくは講演音声の録音等を、発表者に無断で行うことを厳禁に禁止します。

新型コロナウイルス対策について

新型コロナウイルスに感染の疑いのある症状がある場合、オンライン参加をお願いいたします。

会場入口にはアルコールを設置しますので、入場時の手指消毒のご協力をお願いいたします。

情報セキュリティ

本大会に参加するにあたり、種々のパスワードや URL を第三者に伝えないこと、発表画面を録画・撮影しないこと、学会で知り得た未発表の結果を発信しないことに同意いただいています。必ず遵守してください。また、本大会で発表するにあたり、通常の集会形式よりも録画や撮影の危険性が増すことをご理解いただき、未発表の結果の取り扱いに注意して発表していただくことに同意いただいています。大会実行委員会は、参加者の守秘義務への同意のもと、ウェビナーの録画機能停止やポスターファイルのダウンロード不可設定などの対応を行うとともに、参加者が発表の録画や撮影をしないよう最大限の注意喚起を行います。

研究発表

▶ 口頭発表（一般講演）

- (1) 発表時間は、1 演題につき PC の接続時間を含め 14分30秒（質疑応答2分30秒を含む）です。
- (2) 発表者は、現地で発表して頂いても、オンラインで発表して頂いても構いません。ただし、前の発表者の発表が終わる前にインターネットへの接続をお願いします。現地での発表者には、次演者席にて発表者専用の WiFi の SSID とパスワードをお伝えします。発表が終わりましたら、発表者専用の WiFi への接続は必ずご切断ください。
- (3) 現地での発表は、1) 発表者の PC をインターネット経由で Zoom に接続し、2) 各会場の液晶プロジェクターに接続された共通の PC にプレゼンテーション用のファイルを画面共有しながら、行っていただきます。必ず発表用の PC（インターネット接続可能で Zoom およびパワーポイントなどをインストールしたもの）をご持参ください。発表者専用のインターネットへの接続方法と Zoom による画面共有の詳細は別途ご案内いたします。PC の操作ならびに接続は演者自身が行ってください。大会実行委員会では、PC ならびにプロジェクターの取り扱いに関するスタッフは配置していません。会場内のスクリーンは各会場に備え付けの1枚のみです。複数の機器による同時投影はできません。
- (4) 現地での発表者はマイクを利用して発表し、その音声はオンラインに配信されるとともに、会場のスピーカーから出力されます。ハウリングを避けるために、現地での発表者は Zoom のマイク機能をミュートにし、PC のスピーカーも必ずミュートにしてください。なお、会場での WiFi の速度低下を防ぐために、会場内では発表者以外の方は Zoom に接続しないようにお願いします。
- (5) オンラインでの発表も、現地での発表と同様にインターネット経由での Zoom での画面共有を用いて行います。オンラインの PC の Zoom のマイク音声はオンラインの聴衆のみならず、会場のスピーカーを介して会場の聴衆にも聞こえます。

- (6) 質疑応答は、現地でもオンラインでもマイクを通して行います。オンライン参加者は、Zoomのチャット機能を使うこともできますが、現地での発表者はチャットにはアクセスができないので、Web要旨集(ORSAM Portal)のコメント欄に質問を書き込むことをおすすめします。Web要旨集のコメント欄は、大会会期中は常に閲覧、書き込みが可能です。

▶ シンポジウム

進行は各オーガナイザーに一任いたします。次の行事予定が入っている会場もありますので、予定時間通りに終了するように時間配分にご留意ください。

PCの接続などは、一般講演と同様の要領です。

▶ ポスター発表

(1) 開催方法

ウェブ要旨集(ORSAM Portal)とZoomを用いて、オンラインで開催します。

(2) 作成要領

ポスターはPCの画面で見やすいように横長の連続ページで作成することを推奨します。文字のサイズもPCの画面での読みやすさを考慮して選んでください。ポスターはPDFに変換してください。システムの設定上PDF以外は登録できません。ポスターの容量は、可能な限り2MB以下になるようにしてください。システムへの負荷を軽減することにより皆様に快適な環境(軽快な操作・素早い表示)でご参加いただけますので、ご協力をお願いします(最大容量は3MB以下となります。それより大きな容量のデータは登録できません)。

8月17日～8月24日の期間に、PDFファイルを演題登録システムにアップロードしてください。アップロードの方法は発表者にお知らせします。

(3) ポスター閲覧・質疑応答

ポスターは9月1日(金)から閲覧できます。

9月4日13:00～17:00に、ポスター発表のコアタイムを設定します。コアタイム中はZoomのブレイクアウトルームに入室し、リアルタイムで発表や質問への回答をしてください。コアタイムは全体をA、B、Cと3分割しています。また、16:00～17:00にすべての発表者にブレイクアウトルームを割り当てる時間ととって、聞き逃した発表者ともう一度議論する時間ととっていますが、この時間帯は必ずしも発表者がブレイクアウトルームにいるとは限らないので、適宜、ORSAMのコメント欄で発表者とオーディエンスの間で連絡をとりつつ、ブレイクアウトルームを利用してください。

ウェブ要旨集(ORSAM Portal)の公開期間(9月1日～10月1日)は掲載されたポスターの閲覧とコメント欄を用いた質疑応答ができます。ただし、大半の参加者は、9月1日～9日の大会期間にウェブ要旨集を閲覧すると思われるので、できる限り、質疑応答はこの期間におこなってください。発表者がORSAM上で設定すれば、コメント欄への書き込みがあった場合、発表者へのメールを送信してお知らせすることが可能です。

(4) ポスターデータの取り扱い

ポスターは、ウェブ要旨集(ORSAM Portal)内で10月1日まで公開され、その後自動的に削除されます。大会終了直後にデータの削除を希望する場合は、ポスターアップロード時に「削除を希望する」にチェックを入れてください。

■ プログラム

早期参加申込の参加者のうち、期日までに参加費を支払った参加者には簡易製本したプログラム集(本誌)を事前に送付しています。現地で当日申込をする参加者も含めて、全ての参加登録者(高校生発表や一般公開講演のみの参加者は除く)は大会ウェブサイトからPDF版をダウンロードすることもできます。

■ ウェブ要旨集(ORSAM Portal)

参加者はウェブ要旨集(ORSAM Portal)から全ての要旨を閲覧することができます。

大会ウェブサイトから要旨集PDFをダウンロードしてご利用いただくこともできます(参加料を支払った参加者に限る)。ORSAM Portalは要旨集の閲覧のみでなく、ポスター閲覧・質疑応答、ポスター発表を行うためにも使用します。また、口頭発表のオンラインでの閲覧の際のポータルとしても使用します。

日程

9月4日(月) 〈オンライン一般ポスター発表日〉

時間	内容	会場
9:50 ~ 10:00	開会宣言	オンライン
10:00 ~ 12:00	奨励賞 オンライン受賞講演	オンライン
13:00 ~ 17:00	オンラインポスター発表	オンライン
17:00 ~ 18:45	JPR編集委員会	オンライン

9月6日(水)

時間	内容	会場
12:30 ~ 18:30	関連集会 日本植物形態学会第35回大会	理学部5号館
13:30 ~ 15:15	JPR拡大編集委員会	H会場
14:30 ~ 15:30	運営委員会	A会場
16:00 ~ 18:30	臨時代議員大会	A会場

9月7日(木) 〈オンサイト第1日目〉

時間	内容	会場
8:30 ~ 18:30	受付	工学部正面玄関
9:30 ~ 12:10	口頭発表・シンポジウム	A~N会場
12:40 ~ 13:40	PacBio ランチョンセミナー	A会場
14:00 ~ 18:05	口頭発表・シンポジウム	A~N会場
18:30 ~ 20:30	関連集会	A~C, I会場

9月8日(金) 〈オンサイト第2日目〉

時間	内容	会場
8:30 ~ 17:00	受付	工学部正面玄関
9:00 ~ 12:10	口頭発表・シンポジウム	A~N会場
12:30 ~ 13:30	ダイバーシティ推進ランチョンセミナー	A会場
14:00 ~ 14:40	会員の集い	A会場
14:45 ~ 17:00	学会賞授賞式・受賞講演	A会場
17:30 ~ 19:30	交流会	北大生協 工学部食堂

9月9日(土) 〈オンサイト第3日目〉

時間	内容	会場
8:30 ~ 14:30	受付	工学部正面玄関
9:00 ~ 11:30	口頭発表・シンポジウム	A~E, K, M, N会場
9:30 ~ 12:10	高校生ポスター発表	I会場
12:10 ~ 13:10	JPR ランチョンセミナー	A会場
13:30 ~ 14:00	高校生発表表彰式	A会場
14:30 ~ 17:30	公開講演会	A会場

関連集会

植物学会大会開催期間中に以下の関連集会が開催されます。

対面が基本ですが、ハイブリッドで開催されるものもあります。大会ホームページでご確認ください。

(1) 日本シダ学会・集会

日時 9月7日（木）18:30～20:30 **会場** A会場

内容 この関連集会は、日本植物学会の年次大会期間中に毎年開催されている日本シダ学会主催のミニシンポジウムです。会員以外の方でも、植物学会の大会参加者なら自由に参加して頂けます。また、研究対象もシダ植物のみに限定していません。今年のテーマは、「植物の形態進化」です。維管束植物は、陸上環境に適応する過程で葉・茎・根の基本器官を発達させ、それらの器官の出現と多様化が維管束植物の繁栄に大きく関わっています。一人目の講演者の伊藤さんには、小葉類ヒカゲノカズラの根について、発生位置、光合成能力、細胞増殖機構の観点から他の維管束植物との相同性や進化に関する考察を紹介いただきます。小葉類は、維管束植物群で最も初期に根の祖先器官を獲得したグループではありますが、これまで被子植物に比べほとんど研究がされていませんでした。二人目の講演者の片山さんには、被子植物の中でも非常に特殊な形態を獲得した水生植物であるカワゴケソウ科やウキクサ類の形態特殊化の鍵となる分子進化の共通性について紹介いただきます。形態特殊化に関わる分子進化メカニズムの解明は、維管束植物の器官の多様化メカニズムの理解に大きく貢献することが期待されます。

演題

1. 伊藤 雄氣（大阪公立大・植物園） 「小葉類ヒカゲノカズラの根の特徴が示す小葉類の地下器官の進化」
2. 片山 なつ（千葉大・院・理） 「水生植物における突然変異率上昇と制約緩和」

世話人 村上 哲明（東京都立大学牧野標本館）：nmurak@tmu.ac.jp

(2) スペース・モス

日時 9月7日（木）18:30～20:30 **会場** B会場

内容 本関連集会は、JAXA との共同研究により国際宇宙ステーション（ISS）での宇宙実験を実施または計画している研究グループを中心とした情報交換会です。宇宙という極限環境で植物はどのように育つのでしょうか。またISSや小型衛星等を使ってどのような研究や成果創出が可能でしょうか。今後月や火星を目指した有人活動のために植物はどのように共存できるでしょうか。これらの研究から得られる成果は植物の環境適応に関する新しい知見を提供し、また宇宙農業への展開が期待できます。ご興味ある方はご自由にご参加ください。

演題

1. 藤田 知道（北海道大学・大学院理学研究院）
「ヒメツリガネゴケを用いたISS与圧部実験と曝露部実験」
2. 蒲池 浩之（富山大学・学術研究部）「宇宙実験から見えてきたコケ植物ヒメツリガネゴケの重力への適応戦略」
3. 半場 祐子・前田 彩友子・崎本 龍・中澤 誠（京都工芸繊維大学・応用生物学系）
「ヒメツリガネゴケにおける光合成・形態の環境応答 - CDK変異体および乾燥・高CO₂実験」
4. 玉置 大介（富山大学・学術研究部）「Plant Cell Division 宇宙実験の準備状況の報告」
5. 藤井 伸治¹・卯 博源¹・曾我 康一²（¹東北大学・大学院生命科学研究所、²大阪公立大学・大学院理学研究科）
「シロイヌナズナの力学的特性の重力応答性における MYB52 の役割」
6. 日出間 純（東北大学・大学院生命科学研究所）
「宇宙実験Plant UV-Bの準備状況、ならびにBioCubeプロジェクトの進捗状況」
7. 北宅 善昭（大阪公立大学・研究推進機）
「低重力下での植物体および根圏培地の水分動態」

世話人 藤田 知道（北海道大学）：tfujita@sci.hokudai.ac.jp
久米 篤（九州大学）：akume@agr.kyushu-u.ac.jp

(3) 植物イメージングに欠かせない知識と技術5

日時 9月7日（木）18:30～20:30 **会場** C会場

内容 蛍光イメージング技術の進歩により、蛍光タンパク質による蛍光ライブイメージングや、透明化技術による組織丸ごとの観察、超解像技術による高解像度の画像撮影が身近になりました。共焦点顕微鏡をはじめとする蛍光イ

イメージング装置は、画像を撮影するだけでなく、標識分子の局在を定量的に測定するための装置になっています。一方、これからイメージング研究をはじめようとする研究者や学生にとっては、高度化したイメージング技術は数居が高いのが現状です。この関連集会では、顕微鏡を使うときに役立つ基礎知識から、陥りやすい落とし穴、最新のイメージング技術まで、演者らの実体験に基づいて紹介します。今年は札幌開催ですので、世話人に加え、北大のニコイイメージングセンターで顕微鏡ユーザーのサポートに長年携わってきた小林さんに話題提供いただきます。

演題

1. 村田 隆 (神奈川工科大・応用バイオ) 「共焦点顕微鏡で3D画像を撮るときに注意すること」
2. 佐藤 良勝 (名大・ITbM) 「使用している検出器のスペックを知ろう」
3. 小林 健太郎 (北大・電子研・ニコイイメージングセンター) 「光学顕微鏡施設での、植物サンプルの観察動向に関して」

世話人 佐藤 良勝 (名大・ITbM) : sato.yoshikatsu.h7@f.mail.nagoya-u.ac.jp
村田 隆 (神奈川工科大・応用バイオ) : murata@bio.kanagawa-it.ac.jp

(4) 第18回日本原形質連絡勉強会

日時 9月7日(木) 18:30~20:30 **会場** I会場

内容 植物の原形質連絡(プラズモデスマータ)を介した物質・シグナル移行メカニズムについて、演者からの話題提供を中心に議論を深める。

演題

1. 濱田 隆宏氏 (岡山理科大学) 「植物の小分子RNA輸送機構の解析」
2. 村田 裕介氏 (東京大学) 「フロリゲン動態制御機構の解析」

世話人 藤本 祐司 (立教大学) : yfujimoto@rikkyo.ac.jp
野田口 理孝 (名古屋大学) : notaguchi.michitaka.4k@kyoto-u.ac.jp

関連学会の集会として以下のものが開催されます。

日本植物形態学会第35回総会・大会

日時 9月6日(水) 12:30~18:30

会場 理学部5号館

12:30~13:15 総会

13:30~15:00 講演会(演者未定)

15:00~16:00 ポスターフラッシュ

16:00~18:30 ポスター発表/ポスター賞表彰

*時刻については若干の変更の可能性があります。

世話人 長里 千香子 (北海道大学北方生物圏フィールド科学センター) : nagasato@fsc.hokudai.ac.jp

ランチョンセミナー

植物学会大会開催期間中に以下のランチョンセミナーが開催されます。

(1) PacBio ランチョンセミナー：思ったよりも簡単！？高精度ロングリードで身近になった植物ゲノム解析

日時 9月7日(木) 12:40~13:40 **会場** A会場

演者 かずさ DNA研究所 植物ゲノム・遺伝学研究室 室長 白澤 健太先生

「すべての植物のゲノムを解読するために必要なこと」

トミーデジタルバイオロジー株式会社 フィールドアプリケーション 勝又 啓史

「高品質なゲノムアセンブリを実現する、高精度ロングリードシーケンシングのご紹介」

内容 本セミナーは、これまでゲノム解析にあまり携わったことがない研究者の方へも、身近になった植物ゲノム解析の現状を知っていただくことを目的としています。講師として、ゲノム情報を元にしたソメイヨシノの開花予想や、国際プロジェクト「Earth BioGenome Project」の一員として、植物の全ての目のゲノムを解読することを目指す「か

ずさゲノムプロジェクト」を推進されている、かずさ DNA 研究所の白澤健太先生をお招きし、先生の先端研究の一端とともに、“どの程度のシーケンス量が必要なの？ゲノムの抽出方法は？解析はどうするの？”といった、これからゲノム解析を始める方にとって知りたい“いろは”についても合わせてご紹介をいただきます。また、それらを可能にする PacBio の高精度ロングリードシーケンス (HiFi シーケンス) の基礎についても弊社より簡単にご紹介いたします。

(2) ダイバーシティ推進ランチョンセミナー

(公益社団法人日本植物学会・ダイバーシティ推進委員会主催)

「コロナ禍を経て大会の‘これから’を考える～あらゆる世代に活用される大会とは？」

日時 9月8日(金) 12:30～13:30 **会場** A会場

内容 大会のオンライン・ハイブリッド化はこれまで出張が難しかった会員層の参加が可能になるなどダイバーシティ拡大に一定の効果をもたらした一方、会場にいるからこそ生まれるネットワーク構築の機会喪失や運営の負担が増加するといった側面も浮き彫りになってきました。また、若い世代の方にとっては、学会をどう活用してステップアップしていくか、どのように自分の研究をアピールするのかなど、学会の開催形態によって戸惑うこともあるかもしれません。そこで、オンラインをある程度経験した今だからこそ、改めて大会の今後のあり方について皆さんと考えてみたいと思います。今回はパネルディスカッションをメインとして、様々な世代のパネリストと議論を重ねることで、学会大会が今後より多くの方々にとって有意義なものになるきっかけになれば幸いです。

司会 成川 礼, 木下 温子 (東京都立大, 八王子オンライン大会運営委員)

パネリスト

東山 哲也 (東京大学, 名古屋オンライン大会実行委員長)

高山 浩司 (京都大学, 京都ハイブリッド大会運営委員)

片山 なつ (千葉大学)

平田 梨佳子 (京都大学)

大竹 桃 (東北大学)

(3) Journal of Plant Research ランチョンセミナー

日時 9月9日(土) 12:10～13:10 **会場** A会場

内容 学会誌 Journal of Plant Research (JPR) は NHK 連続テレビ小説「らんまん」で研究の成果公表に重要な役目を果たしている「植物学雑誌」の後継誌であり、現在にいたるまで植物学の広い分野にわたる多くのすぐれた論文が JPR に掲載されてきました。この JPR の現状を会員に広く知ってもらおうと同時に、本セミナーの参加者とともに JPR の将来像を考え、植物学会会員に JPR との関わりを深めてもらいたいと思います。

司会 且原 真木 (現 JPR 編集長: 岡山大)

- 1) JPR の役割, 目的, 現状と目指すもの
- 2) 論文が受理されるコツ
- 3) Editor トーカーその仕事と投稿原稿に求められるもの
- 4) 質疑応答

高校生ポスター発表

(1) 開催方法

9月9日(土) 9:30～12:10 に C棟講義室 (I会場) にて行います。

(2) 作成・掲示要領および撤去の時間

縦 160 cm × 横 86 cm の範囲内に印刷したポスターを 9月9日(土) 8:30～9:30 の間に掲示してください。演題番号ならびにポスター貼付用のピンなどは大会運営委員会で準備します。ポスターは、9月9日(土) 12:30～13:30 の間に撤去してください。

(3) 表彰

審査により優秀な発表には賞を授与します (発表済みの研究を除く)。

ポスター発表への投票は以下のサイトでお願ひします。 http://tiny.cc/bsj87_high_school

表彰式は 9月9日(土) 13:30 から、工学部オープンホール (A会場) にて行います。受賞された場合、発表者の氏名や高校名、会場での発表の様子などを学会ホームページに掲載する場合があります。ポスター発表内容の詳細はわからないように配慮して掲載致しますが、不都合がある場合はご連絡ください。

高校生
ポスター発表
投票サイト



公開講演会

植物から見た北海道の自然

日時 9月9日（土）14:30～17:30

会場 北海道大学 工学院 オープンホール（A会場）

内容 北海道は、美しい景観と豊かな食材に恵まれており、多くの国内外からの観光客が訪れます。北海道は、日本の中でも高緯度で寒冷な地域に位置していますが、その面積は九州や東北地方よりも大きく、太平洋、日本海、オホーツク海という異なる性質を持つ3つの海域の影響も受けて、地域によって気候が異なります。また、火山活動が活発であり、地質も様々で、夏でも残雪がある高山が多数存在しています。火山活動の影響や地質、標高差は、自然に豊かな多様性をもたらしています。さらに、北海道の植物相は、津軽海峡を經由して日本の他の島々や東アジアと、サハリンを通して北東アジアと、千島列島を通してシベリア東部や北アメリカとも関係を持っています。

植物は、光合成によりバイオマスを生産することで、陸域・水域を問わず、景観と生態系の骨組みを形づくり、また、農林水産物生産の基盤となって北海道の大自然を根底から支えています。本講演会では、北海道の植物について知ることを通して、北海道の大自然の魅力を再発見してもらうことを目指します。

プログラム

1. 14:30～14:40 寺島 一郎（東京大学理学系研究科教授・日本植物学会会長）

「植物科学への招待」

2. 14:40～15:10 東 隆行（北海道大学植物園助教）

「北海道各地域の植物相の特色」

3. 15:10～15:40 首藤 光太郎（北海道大学総合博物館助教）

「北海道の植物相研究の現状」

4. 15:40～16:10 水永 優紀（様似町役場商工観光課）

「アポイ岳の自然環境の現状と保全再生」

休憩（10分間）

5. 16:20～16:50 速水 将人（北海道立総合研究機構林業試験場）

「防風林管理が育む絶滅危惧種と生物多様性」

6. 16:50～17:20 小杉 知佳（日本製鉄（株）先端技術研究所）

「鉄鋼スラグによる北海道の海藻藻場の再生」

7. 17:20～17:30 露崎 史朗（北海道大学地球環境科学研究院教授・第87回日本植物学会大会会長）

「北海道の植物：過去・現在・未来」

本講演はオンライン（Webinar）でも参加できます。

オンラインで参加される方は事前に大会ホームページ（<http://bsj.or.jp/bsj87/lecture.html>）でお申し込みください。

クローク

クロークは情報科学研究棟に設置します。利用時間は以下の通りです。

9月7日（木）8:30～18:30、9月8日（金）8:30～20:00、9月9日（土）8:30～14:30

インターネット

現地会場では、授業用のWi-Fi（eduroam）の利用が可能です。アクセス方法は、当日、会場でお知らせします。eduroamのアカウントをお持ちの方は、ご自分のアカウントのIDとパスワードでご利用ください。口頭発表の際には専用のWi-FiのIDとパスワードをお知らせします。

食堂・売店等

工学部の建物内に生協の食堂（平日11:00～13:30）、売店（平日10:00～17:00）があります。キャンパス内には生協食堂・売店が他の建物にもありますが、土曜日は閉店していますのでご注意ください。またキャンパス内にコンビニエンスストア（セイコーマート、セブンイレブン、会場から徒歩3分程度）があり、こちらは土曜日でもオープンしています。

なお、大会期間中（9月7日～9日）、3日間ともランチオンセミナーが開催され、参加者には弁当が提供されます（当日整理券を配布する予定です）。

休憩室

大会期間中、参加者の皆様の情報交換、および、リフレッシュのために休憩室を情報科学研究棟に設けています。また、企業展示会場にて、コーヒーサービスを行っています。

会員の集い

9月8日（金）14:00～14:40 A会場（ハイブリッド）にて、学会賞授賞式・受賞講演に先立ち、会員の集いを開催します。植物学会運営委員会より、学会の現状と今後の活動予定について説明いたします。植物学会について知る良い機会ですので、会員の皆様はぜひご参加ください。

託児室

第87回大会では、9月7日（木）～9月9日（土）の期間中、託児室を開設する予定で準備をしています。時間は7日（木）8:30～17:30、8日（金）8:30～17:30、9日（土）8:30～17:30です。事前申し込みが必要です。

その他

北海道大学札幌キャンパスでは9月3日（日）が全学停電のため、この日は問い合わせ等に対応できません。また、停電に伴う不測の事態も考えられます。ご了承をお願いします。

大会についての問い合わせ先、事務局

大会に関する連絡先

日本植物学会第87回大会実行委員会
北海道大学低温科学研究所生物適応研究室
〒060-0819 札幌市北区北19条西8丁目
e-mail: bsj87@ml.hines.hokudai.ac.jp

参加・演題登録に関するお問合せ先

日本植物学会第87回大会 サポートデスク
e-mail: bsj2023_support@nacos.com

▶ 9月7日（木）～9日（土）までの3日間

日本植物学会第87回大会本部
情報科学研究科棟A13室
e-mail: bsj87@ml.hines.hokudai.ac.jp

プログラム

Program

日程表 —— オンライン受賞講演・一般ポスター発表日 9/4 (月)

会場名	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
オンライン		奨励賞 受賞講演			ポスター討論							
					A	B	C	総合				

日程表 —— オンサイト関連学会 9/6 (水)

会場名	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
理学部5号館					関連集会							
					日本植物形態学会第35回大会							

日程表 —— オンサイト第1日目 9/7 (木)

会場名	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
A		シンポジウム 次世代シークエンサーが スポットライトを当てた 「なまら」面白い生き物たち			PacBio ランチ オンセ ミ ナー	JPR国際シンポジウム Single-cell omics to uncover cell fate regulation in plant regeneration and development					関連集会 日本シダ学会・ 集会	
B		シンポジウム 地球上のどこでも光合成を可 能にする分子レベルのライフ ハック				シンポジウム 植物超個体の覚醒を司る分 子・細胞・個体の連動					関連集会 スペース・モス	
C		シンポジウム From Model Plants to Non-Model Plants				シンポジウム 動的高次構造体“オルガネラ” の真の姿を捉える革新的アプ ローチ					関連集会 植物イメージン グに欠かせない 知識と技術5	
D		□頭発表 環境応答 1				□頭発表 環境応答 3						
E		□頭発表 環境応答 2				□頭発表 環境応答 4						
F		□頭発表 生態 1				□頭発表 細胞骨格						
G		□頭発表 成長生理				□頭発表 細胞壁						
H		□頭発表 遺伝子発現制御・ゲノ ム・プロテオーム 1				□頭発表 代謝・物質生産・メタボローム						
I		シンポジウム 植物の「代謝ロジスティクス」 を捉える最先端				□頭発表 光合成					関連集会 第18回日本原 形質連絡勉強会	
J		シンポジウム 植物の陸上進出の鍵となった 細胞機能改変				シンポジウム 植物の多様な増殖～進化 の過程で何が起こった?～						
K		□頭発表 細胞小器官 1				□頭発表 分類・系統・進化 1						
L		□頭発表 生殖 1				□頭発表 生殖 2						
M		□頭発表 発生・形態形成 1				□頭発表 発生・形態形成 3						
N		□頭発表 発生・形態形成 2	若手奨励賞			□頭発表 発生・形態形成 4						

日程表 —— オンサイト第2日目 9/8 (金)

会場名	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
A	シンポジウム 植物の発生・成長を支える極性形成の制御とその進化				ダイバーシティ推進 ランチョン セミナー	学会賞 授賞式・受賞講演/ 会員の集い				交流会 北大生協 工学部食堂			
B	シンポジウム シン・プラスチド～変幻自在な色素体が織りなす植物のドラマチック・ライフ～												
C	シンポジウム 異分野融合技術で挑む植物科学の革新												
D	口頭発表 環境応答5												
E	口頭発表 環境応答6												
F	口頭発表 生態2												
G	口頭発表 植物微生物相互作用												
H	口頭発表 遺伝子発現制御・ゲノム・プロテオーム2			若手奨励賞									
I	シンポジウム 脂質が旗振る植物の生命現象												
J	シンポジウム いまストレプト藻類が熱い：多様なストレプト藻類から陸上植物をみる												
K	口頭発表 分類・系統・進化2												
L	口頭発表 細胞増殖・分化												
M	口頭発表 細胞小器官2		生体膜										
N	口頭発表 発生・形態形成5												

日程表 —— オンサイト第3日目 9/9 (土)

会場名	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
A	理事会主催シンポジウム 植物科学の温故知新 ～この30年を振り返り、次の30年を考えよう！～			JPR ランチオン セミナー	高校生 発表 表彰式	公開講演会						
B	シンポジウム 光合成と脂質代謝の接点： アシルプラスチックノール 類が拓く新たな研究領域											
C	シンポジウム 超人植物学 リターンズ： 人機共創がもたらす 植物学の未来像											
D	シンポジウム 植物進化の戦略分子											
E	口頭発表 環境応答7	若手奨励賞										
F												
G												
H												
I	高校生発表											
J												
K	口頭発表 分類・系統・進化3											
L												
M	口頭発表 細胞小器官3											
N	口頭発表 発生・形態形成6											
	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20

学会賞贈呈式 および 学会賞贈呈式

9月8日 (金) 14:00~16:50 A会場 (オープンホール)

14:00~14:40	会員の集い
14:45~15:15	贈呈式
15:15~15:40	受賞研究内容紹介 (奨励賞・若手奨励賞受賞者)
15:40~16:10	学術賞受賞講演 新免 輝男 会員
16:10~16:40	大賞受賞講演 邑田 仁 会員
16:40~16:50	北海道大会・宇都宮大会 挨拶

●大 賞

9/8 16:10-16:40 A会場 座長：村上 哲明 (東京都立大学)

邑田 仁 (東京大・院理学・植物園)

植物を見る

●学 術 賞

9/8 15:40-16:10 A会場 座長：三村 徹郎 (京都先端科学大)

新免 輝男 (兵県大・院理学)

原形質流動の力発生及び制御機構に関する研究

●奨 励 賞 OL-AL1

9/4 10:00-10:30 オンライン 座長：塚谷 裕一 (東京大)

川出 健介 (埼玉大・院理工)

植物における器官の発生や成長を司る代謝系についての研究

●奨 励 賞 OL-AL2

9/4 10:30-11:00 オンライン 座長：松永 幸大 (東京大)

坂本 勇貴 (大阪大・院・理)

植物核ラミナ構成タンパク質による核内構造制御機構の解明

●奨 励 賞 OL-AL3

9/4 11:00-11:30 オンライン 座長：打田 直行 (名古屋大)

平川 有宇樹 (学習院大・院自然)

陸上植物の幹細胞維持を促進するペプチドシグナルの研究

● 奨励賞 OL-AL4

9/4 11:30-12:00 オンライン 座長：須田 啓 (埼玉大)

福島 健児 (ヴェルツブルク大)

比較ゲノミクスの開拓と食虫植物進化の解析

● 若手奨励賞 1aAN-AL1

9/7 11:25-11:55 N会場 座長：小田 祥久 (名古屋大)

ドル 有生 (奈良先端大・バイオ)

水陸両生植物に注目した気孔の進化発生生物学的研究

● 若手奨励賞 2aAH-AL1

9/8 11:25-11:55 H会場 座長：福原 敏行 (東京農工大)

田原 緑 (立命館大・R-GIRO)

RNA 干渉の鍵酵素ダイサータンパク質の生化学的解析

● 若手奨励賞 3aAE-AL1

9/9 10:30-11:00 E会場 座長：吉本 光希 (明治大)

篠崎 大樹^{1,2} (¹明治大・農・生命科学, ²明治大・研究知財)

オートファジーによる細胞内分解を介した金属ストレス適応機構の解明

特別賞

● 教育

中川 知己 (横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 特別非常勤講師)

興味本位の植物研究における独創性や想像力を伸ばす教育

● その他

「植物に学ぶ生存戦略 話す人・山田孝之」制作スタッフ (代表者 長友祐介)

NHK Eテレ テレビ番組 「植物に学ぶ生存戦略 話す人・山田孝之」シリーズの制作・演出

2023 年度 JPR 論文賞

[Best Paper Award]

Mahoko Noguchi, Kazuhiko Hoshizaki, Michinari Matsushita, Daiki Sugiura, Tsutomu Yagihashi, Tomoyuki Saitoh, Tomohiro Itabashi, Ohta Kazuhide, Mitsue Shibata, Daisuke Hoshino, Takashi Masaki, Katsuhiko Osumi, Kazunori Takahashi, Wajirou Suzuki (2022) Aboveground biomass increments over 26 years (1993–2019) in an old-growth cool-temperate forest in northern Japan. *J. Plant Res.* 135: 69–79.

Boyuan Mao, Hiroki Takahashi, Hideyuki Takahashi, Nobuharu Fujii (2022) Diversity of root hydrotropism among natural variants of *Arabidopsis thaliana*. *J. Plant Res.* 135: 799–808.

[Most-Cited Paper Award]

Motoka Nakamura, Ko Noguchi (2020) Tolerant mechanisms to O₂ deficiency under submergence conditions in plants. *J. Plant Res.* 133: 343–371.

9/7 9:30-12:10

A会場

次世代シーケンサーがスポットライトを当てた「なまら」面白い生き物たち

主催：大会実行委員会

●オーガナイザー

松永 幸大（東大・院・新領域・先端生命）

高林 厚史（北大・低温研）

次世代シーケンサーの発展により、非モデル植物のゲノムを解読できる時代が到来した。非モデル植物のゲノム決定における手法や体験談を織り交ぜながら、それぞれの植物材料の魅力や新発見の事柄について、気鋭の研究者に講演頂くシンポジウムである。これから、自分の実験材料のゲノム解析に挑戦する方や新たな研究対象を探している方など、幅広い植物学会会員に有益なシンポジウムとなるであろう。

9:30-9:35	1aSA00	はじめに 松永 幸大（東大・院・新領域・先端生命）
9:35-10:00	1aSA01	非モデル生物のシーケンス解析・インフォマティクス解析 中村 保一（遺伝研・情報研究系）
10:00-10:25	1aSA02	手探りでの RNA seq 解析—非モデル緑藻や身近な常緑樹を材料にして 高林 厚史（北大・低温研）
10:25-10:50	1aSA03	家の水槽にいた微細藻類・メダカモは淡水産緑藻で最少遺伝子数をもつ新種藻類であった 松永 幸大 ¹ 、加藤 翔一 ² 、丸山 真一朗 ¹ 、野崎 久義 ³ 、三角 修己 ⁴ 、田草川 真理 ⁵ 、乾 弥生 ¹ 、鈴木 重勝 ⁶ 、桑田 啓子 ⁷ 、野田 沙希 ⁸ 、伊藤 ななみ ¹ 、岡部 耀二 ¹ 、坂本 卓也 ⁹ 、八木沢 美美 ¹⁰ 、松永 朋子 ¹ 、松林 嘉克 ⁸ 、山口 晴代 ⁶ 、河地 正伸 ⁶ 、黒岩 晴子 ¹¹ 、黒岩 常祥 ¹¹ （ ¹ 東大・院・新領域・先端生命、 ² 東京理科大・理工・応用生物、 ³ 東大・院・理・生物科学、 ⁴ 山口大・院・創成科学・理、 ⁵ 京大・院・理・植物、 ⁶ 国立環境研・生物多様性、 ⁷ 名大・ITbM、 ⁸ 名大・院・理・生命理学、 ⁹ 神奈川大・理・理、 ¹⁰ 琉球大・研究基盤センター、 ¹¹ 日本女子大・理・化学生命科学）
10:50-11:15	1aSA04	非光合成性珪藻類のゲノム解析：光合成能の喪失はゲノム進化と生態にどこまで影響するか？ 神川 龍馬（京大・院農）
11:15-11:40	1aSA05	ツノゴケ特異性のゲノム基盤と新たな謎 榊原 恵子（立教大学・理学部）
11:40-12:05	1aSA06	アブラナ科水陸両生植物 <i>Rorippa aquatica</i> のゲノム解読と比較解析 坂本 智昭，木村 成介（京産大・生命科学）
12:05-12:10	1aSA07	おわりに 高林 厚史（北大・低温研）

地球上のどこでも光合成を可能にする分子レベルのライフハック

共催：学術変革 A「光合成ユビキティ：あらゆる地球環境で光合成を可能とする超分子構造制御」

●オーガナイザー

丸山 真一郎（東大・院新領域）

ほぼ全ての生命が太陽光エネルギーに依存するこの地球の生命史は、あたかも既存の分子機能を「ハック」するような形で、偶然に駆動される生命進化による機能改良と再最適化が繰り返されてきた歴史とも言えよう。光合成生物、あるいは光合成に限らず光を使う生き物たちが編み出した、様々な地球環境へ適応しあまねく進出することを可能にする分子構造の変革、またこうした歴史を掘り下げるための新しい技術や道具立てについて議論を深めたい。

9:30-9:35	1aSB00	はじめに：ライフハック集としての生命進化史 丸山 真一郎（東大・院新領域）
9:35-10:05	1aSB01	藻類から学ぶ二酸化炭素固定のライフハック 平川 泰久（筑波大・生命環境）
10:05-10:35	1aSB02	緑藻ナンキョクカワノリに見つかった赤外線利用型光合成のメカニズムと進化の道筋 小杉 真貴子 ¹ 、川崎 政人 ² 、柴田 稔 ³ 、原 光二郎 ⁴ 、高市 真一 ⁵ 、守屋 俊夫 ² 、安達 成彦 ² 、亀井 保博 ⁶ 、工藤 栄 ⁷ 、菓子野 康浩 ⁸ 、小池 裕幸 ⁹ 、千田 俊哉 ² 、大谷 修司 ¹⁰ 、豊田 敦 ¹¹ 、西出 浩世 ¹² 、皆川 純 ¹ （ ¹ 基生研・環境光、 ² 高エネ機構・構造生物、 ³ 東北大・理、 ⁴ 秋田県立大・生物資源、 ⁵ 東京農大・生命、 ⁶ 基生研・超階層生物、 ⁷ 極地研・生物圏、 ⁸ 兵庫県立大・理、 ⁹ 中央大・理工、 ¹⁰ 島根大・教育、 ¹¹ 遺伝研・ゲノム・進化、 ¹² 基生研・データ統合）
10:35-11:05	1aSB03	光合成と微生物型ロドプシン：メカニズムと分布から考える彼らのライフスタイルとそれを支えるライフハック 吉澤 晋 ^{1,2} （ ¹ 東大・大海研、 ² 東大・新領域）
11:05-11:15		休憩
11:15-11:45	1aSB04	チラコイド膜内ダイナミクスの高速原子間力顕微鏡による分子レベル撮像 山本 大輔（福岡大・理）
11:45-12:15	1aSB05	様々な環境で光合成を可能にする超分子構造のライフハックをクライオ電顕で観る 川本 晃大（阪大・蛋白研）
12:15-12:20	1aSB06	総合討論

From Model Plants to Non-Model Plants

● Organizers

Junko Kyojuka (Tohoku University)

Shinichiro Sawa (Kumamoto University, IRCAEB)

This symposium brings together researchers from diverse backgrounds to discuss the latest developments in plant growth and development, nutrition uptake, and plant-animal interaction. This will also cover applied aspects such as development of novel technologies and breeding new crops for the future. Experts in the field will elaborate how the study of both model and non-model plants can further our understanding of plant biology. Overall, the symposium aims to highlight the potential of developing crops that are more resilient to environmental challenges and contribute to the realization of a sustainable world.

9:30-9:35	1aSC00	Introduction <u>Junko Kyojuka</u> (Tohoku University)
9:35-10:00	1aSC01	MicroProteins - small proteins with big impact <u>Stephan Wenkel</u> (Umeå University, Sweden)
10:00-10:25	1aSC02	Chrysanthemum as a new model system for flowering research <u>Yohei Higuchi</u> (University of Tokyo)
10:25-10:50	1aSC03	A strategy to identify genetic mutations to reduce boron requirement for nutrient efficient plants <u>Kyoko Miwa</u> (Hokkaido University)
10:50-11:00		Break time
11:00-11:25	1aSC04	Accelerated domestication of perennial grain crops <u>Palmgren Michael</u> (University of Copenhagen)
11:25-11:55	1aSC05	Plant-nematode interactions: basic research and practical prospects <u>Shinichiro Sawa</u> (Kumamoto University, IRCAEB)
11:55-12:15	1aSC06	<i>Nicotiana benthamiana</i> is a useful plant for grafting biology <u>Michitaka Notaguchi</u> ^{1,2} (¹ Kyoto University, ² Nagoya University)

植物の「代謝ロジスティクス」を捉える最先端

●オーガナイザー

植村 知博 (お茶の水女子大・基幹研究院)

大谷 美沙都 (東京大学大学院新領域創成科学研究科)

植物は、光合成によって生み出した有機物を体内の必要な部位に輸送し、成長や発生のために消費することで、「植物の代謝ロジスティクス」システムを維持・構築し、「生産～輸送～消費」を破綻なく走らせている。本シンポジウムでは、「植物の代謝ロジスティクス」を細胞、組織、個体レベルで明らかにしようとする研究者が集結し、ライブイメージング、シミュレーション等の最先端の手法について紹介し、植物の代謝ロジスティクスが植物の生存戦略をどのように貢献しているかについて多角的に議論する。

9:30-9:40	1aSI00	はじめに 大谷 美沙都 (東京大学大学院新領域創成科学研究科)
9:40-10:05	1aSI01	数理モデルによる細胞レベルでの代謝ロジスティクスの推定 -ホウ素- 反田 直之 (東大・院農学生命科学)
10:05-10:30	1aSI02	落葉木本植物における季節的な代謝ロジスティクスの可視化と制御機構の解析 栗田 悠子 ¹ , 馬場 啓一 ² , 小林 奈通子 ¹ , 田野井 慶太郎 ¹ , 永野 惇 ^{3,4} , 三村 徹郎 ⁵ (1東京大・院・農, 2京都大・生存研, 3龍谷大・農, 4慶應大・IAB, 5京都先端科学大・バイオ環境)
10:30-10:55	1aSI03	植物メカノバイオロジーにおける代謝ロジスティクスイメージング 浅川 裕紀 (埼玉大学 理工学研究科)
10:55-11:20	1aSI04	イメージング質量分析を用いた植物代謝ロジスティクス 森 哲哉 (理研・CSRS)
11:20-11:45	1aSI05	様々な光環境におけるシアノバクテリアの中核代謝ロジスティクスの解析 戸谷 吉博 (阪大・院情報)
11:45-12:10	1aSI06	代謝ロジスティクスを細胞内から捉える -エンドソームを中心とした膜交通の分子基盤 伊藤 瑛海 ^{1,2} , 植村 知博 ^{1,2,3} (1お茶大・ヒューマンライフサイエンス, 2お茶大・理系女性, 3お茶大・基幹研究院)
12:10-12:20	1aSI07	おわりに 植村 知博 (お茶の水女子大・基幹研究院)

9/7 9:30-12:20

J 会場

植物の陸上進出の鍵となった細胞機能改変

●オーガナイザー

小藤 累美子 (金沢大・理工・生命理工)

石川 雅樹 (基生研・生物進化)

植物は、4億7千万年前に淡水域から陸上へと進出した。陸上化において植物は、細胞機能を改変することで乾燥耐性の仕組みを発達させるとともに、重力応答や細胞分裂・細胞分化を制御することで3次元成長を実現させることで、過酷な陸上環境に適応した。本シンポジウムでは、陸上植物に近縁な藻類とコケ植物を使って独自の研究を展開している研究者に最新の成果を発表していただき、陸上進出の鍵となった細胞機能改変について議論したい。

9:30-9:35	1aSJ00	はじめに 小藤 累美子 (金沢大・理工・生命理工)
9:35-10:00	1aSJ01	コレオケータにおける細胞分裂・形態形成の重力応答 玉置 大介 (富山大・学術・理)
10:00-10:25	1aSJ02	三次元的器官形成における細胞分裂方向の制御 ～ヒメツリガネゴケの GRAS ファミリー遺伝子～ 小藤 累美子 (金沢大・理工・生命理工)
10:25-10:50	1aSJ03	三次元頂端成長の確立とオーキシン ～ゼニゴケの信号伝達経路の役割から探る～ 西浜 竜一 ¹ , 鈴木 秀政 ² , 河内 孝之 ³ (1東京理科大・創域理工・生命生物, 2東北大・院・生命科学, 3京都大・院・生命科学)
10:50-10:55		休憩
10:55-11:20	1aSJ04	繰り返される乾燥と冠水への適応 ～エチレン受容体による ABA シグナル伝達系の制御～ 坂田 洋一 (東京農大・バイオ)
11:20-11:45	1aSJ05	アブシジン酸と細胞間コミュニケーション・細胞運命制御の出会い 藤田 知道 ¹ , 北川 宗典 ² , 友井 拓実 ^{3,4} , 川出 健介 ⁵ , 神野 智世 ⁶ (1北海道大・院理学, 2華中農業大・園芸林学, 3宇都宮大・イノベ, 4宇都宮大・工学, 5埼玉大・院理工, 6北海道大・院生命科学)
11:45-12:10	1aSJ06	細胞の異方成長による器官形成 ～クチクラ形成と細胞伸長～ 石川 雅樹 ^{1,2} , Liechi Zhang ^{1,2} , 長谷部 光泰 ^{1,2} (1基生研・生物進化, 2総研大・先端学術)
12:10-12:20	1aSJ07	総合討論 石川 雅樹 ^{1,2} (1基生研・生物進化, 2総研大・先端学術)

Single-cell omics to uncover cell fate regulation in plant regeneration and development

● Organizers

Nan Gu (Sch. Eng., Utsunomiya Univ.)

Hatsune Morinaka (CSRS, RIKEN)

Plants have a remarkable ability to adaptively form new organs or regenerate, and these processes are directly tied to the regulation of gene expression within cells. Recent advances in single-cell technologies have enabled comprehensive profiling of gene expression and its chromatin-level regulation in individual cells. This symposium, led by young researchers utilizing cutting-edge single-cell genomics in their research, will demonstrate the power of single-cell analyses to answer crucial biological questions in model and non-model plants, and discuss how these technologies can contribute to our understanding of cell fate regulation, which is fundamental to plant development and regeneration.

14:00-14:05	1pSA00	Opening remarks <u>Hatsune Morinaka</u> (CSRS, RIKEN)
14:05-14:35	1pSA01	Evolution and development of leaf complexity through single cell genomics <u>Gergo Palfalvi</u> (Max Planck Institute for Plant Breeding Research, Cologne, Germany)
14:35-14:55	1pSA02	Root nodule symbiosis specific chromatin remodeling in epidermis found via single-nucleus ATACseq <u>Kai Battenberg</u> ¹ , <u>Atsuko Hirota</u> ¹ , <u>Nicola Hetherington</u> ² , <u>Aki Minoda</u> ² , <u>Makoto Hayashi</u> ¹ (¹ RIKEN Center for Sustainable Resource Science, ² Department of Cell Biology, Radboud University)
14:55-15:15	1pSA03	A single cell atlas for DNA damage triggered reprogramming in <i>Physcomitrium patens</i> <u>Nan Gu</u> ^{1,2,3} , <u>Gergo Palfalvi</u> ⁴ , <u>Yosuke Tamada</u> ^{1,2,5,6,7,8} (¹ Sch. Eng., Utsunomiya Univ., ² Ctr. Innov. Spt., Utsunomiya Univ., ³ REAL, Utsunomiya Univ., ⁴ Max Planck Institute for Plant Breeding Research, ⁵ Grad. Sch. Reg. Dev. Creat., Utsunomiya Univ., ⁶ Div. Evol. Biol., Natl. Inst. Basic Biol., ⁷ SOKENDAI, ⁸ CORE, Utsunomiya Univ.)
15:15-15:35		Break time
15:35-16:05	1pSA04	Single-cell profile of organ regeneration in plant tissue culture <u>Lin Xu</u> (CAS Center for Excellence in Molecular Plant Sciences, Chinese Academy of Sciences)
16:05-16:25	1pSA05	Single-nucleus RNAseq of epidermal reprogramming revealed features of changing cellular states <u>Hatsune Morinaka</u> ¹ , <u>Dongbo Shi</u> ^{1,2} , <u>Ayako Kawamura</u> ¹ , <u>Takamasa Suzuki</u> ³ , <u>Akira Iwase</u> ¹ , <u>Tetsuya Higashiyama</u> ⁴ , <u>Munetaka Sugiyama</u> ⁴ , <u>Keiko Sugimoto</u> ^{1,4} (¹ CSRS, RIKEN, ² IBB, Univ. Potsdam, Brandenburg, Germany, ³ Dept. Biol. Chem., Coll. Biosci. Biotech., Chubu Univ., Aichi, Japan, ⁴ Dept. Biol. Sci., Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo, Tokyo, Japan)
16:25-16:45	1pSA06	snRNA-seq on haustoria reveals transcriptome landscape for vascular connection with parasitic plant <u>Mengqi Cui</u> ¹ , <u>Momoko Yamaji</u> ¹ , <u>Kaori Furuta</u> ¹ , <u>Natsumi Masumoto</u> ¹ , <u>Kie Kumaishi</u> ² , <u>Yasunori Ichihashi</u> ² , <u>Dongbo Shi</u> ³ , <u>Ayako Kawamura</u> ³ , <u>Keiko Sugimoto</u> ³ , <u>Satoko Yoshida</u> ¹ (¹ Nara Institute of Science and Technology, ² RIKEN Biological Resource Center, ³ RIKEN Center for Sustainable Resource Science)
16:45-16:50	1pSA07	General discussion <u>Nan Gu</u> (Sch. Eng., Utsunomiya Univ.)

9/7 14:00-17:00

B会場

植物超個体の覚醒を司る分子・細胞・個体の連動

共催：学術変革領域研究（B）「植物超個体の覚醒」
学術変革領域研究（B）「微生物が動く意味」

●オーガナイザー

晝間 敬（東大院総合）

丸山 大輔（横浜市大・木原生研）

植物は多彩な環境への適応能力を有している。その適応能力を支える要因の一つに、微生物との共生が挙げられる。植物ホルモン等を介した植物間の相互作用も種としての適応能の獲得に必要である。本シンポジウムでは、他者との分子・細胞レベルでの相互作用を通じて、植物がその環境適応能力を覚醒させる現象を超個体化現象と呼び、その仕組みの解明に向けた研究を紹介する。さらに、昆虫とその腸内細菌の研究で先駆的な研究者を招き、植物超個体との共通性について議論したい。

14:00-14:05	1pSB00	はじめに 晝間 敬（東大院総合）
14:05-14:25	1pSB01	根圏糸状菌・細菌との超個体化により覚醒するアブラナ科植物の貧栄養適応能 晝間 敬（東大院総合）
14:25-14:50	1pSB02	細胞融合を通じた植物超個体覚醒の理解に向けて 丸山 大輔 ¹ ， 大津 美奈 ^{2,3} ， 野田口 理孝 ^{4,5} ， 須崎 大地 ¹ ， 太田 かおる ¹ ， 木下 哲 ¹ （ ¹ 横浜市大・木原生研， ² 奈良先端大・バイオサイエンス領域， ³ JST さきがけ， ⁴ 名大・生物機能開発利用研究センター， ⁵ 京大・院・理）
14:50-15:15	1pSB03	植物とアーバスキュラー菌根菌の超個体形成が支持する共通共生経路を介さない菌根菌共生 川井 友裕 ¹ ， Yee-Jia Kee ¹ ， 伊藤 元己 ² ， 吉田 聡子 ¹ （ ¹ 奈良先端大・バイオ， ² 東京大学・院・総合文化）
15:15-15:20		休憩
15:20-15:40	1pSB04	病原型・共生型の葉圏細菌による植物の気孔動態制御 峯 彰（京大院農）
15:40-16:05	1pSB05	昆虫との共生成立に果たす微生物の“うごき”の意味 菊池 義智（産総研・生物プロセス）
16:05-16:25	1pSB06	根冠が駆動する多様な土壌環境応答とその動態 宮島 俊介（石川県立大・生物資源工学研究所）
16:25-16:50	1pSB07	ストリゴラクトンを介した植物間の根圏コミュニケーション 米山 香織（埼大 理工）
16:50-17:00	1pSB08	最後に 丸山 大輔（横浜市大・木原生研）

動的高次構造体“オルガネラ”の真の姿を捉える革新的アプローチ

共催：JST さきがけ「細胞の動的高次構造体」

●オーガナイザー

吉田 大和（東京大・院・理・生物科学）

高塚 大知（金沢大学・生命理工）

近代の生物学では、“遺伝子”に着目した分子生物学的手法による研究が大きく発展し、その成果として植物細胞内で起きる様々な生物学現象の実態も明らかとなってきた。しかしながら、単一の遺伝子の機能的役割を理解するだけでは植物細胞内に存在する様々な“膜系・非膜系オルガネラ”が持つ機能の全貌を理解することは難しく、現代植物科学におけるデッドロックとなっているのではないだろうか。本シンポジウムでは、既存の解析手法とは一線を画す革新的アプローチによって生物学の現状を打破した植物科学および非植物科学分野の研究者に幅広く登壇してもらう。これらの研究者によって明らかにされてきた細胞内現象の真の姿を紹介してもらうとともに、新たに定義される生物学的事象の地平線についても議論したい。

14:00-14:05	1pSC00	はじめに 高塚 大知（金沢大学・生命理工）
14:05-14:30	1pSC01	植物液胞を『物理的障壁』として捉える 高塚 大知, 甘利 俊樹, 伊藤 正樹（金沢大学・生命理工）
14:30-14:55	1pSC02	異常翻訳の真の姿を捉える多角的アプローチ 松尾 芳隆（東京大学・医科学研究所）
14:55-15:20	1pSC03	極微抽出—イオン化法による生体の多次元化学分布情報計測 大塚 洋一 ^{1,2} （ ¹ 阪大・院理学, ² 阪大・院理学フォアフロント研）
15:20-15:30		休憩
15:30-15:55	1pSC04	膜の力学が制御するオルガネラの形 立川 正志（横浜市立大・理学部）
15:55-16:20	1pSC05	生体膜の高次構造を可視化するクライオ電子線トモグラフィー法 李 勇燦（横浜市大・院生命医科学）
16:20-16:45	1pSC06	オルガネラ分裂リングのキネティックメカニズムを解く 吉田 大和 ^{1,2} （ ¹ 東京大・院・理・生物科学, ² JST・さきがけ）
16:45-17:00	1pSC07	総合討論 吉田 大和 ^{1,2} （ ¹ 東京大・院・理・生物科学, ² JST・さきがけ）

9/7 14:00-16:50

J会場

植物の多様な増殖 ～進化の過程で何が起こった？～

●オーガナイザー

安居 佑季子 (京都大・院・生命科学)

小松 愛乃 (東北大・院生命科学)

植物は生涯を通して旺盛に増殖するが、その様式は植物種や組織によって多岐にわたる。環境の変化に適応する調節機構や陸上植物進化の過程で独自に発展した機構は、それぞれの生育環境において迅速な増殖を可能にする植物の繁殖戦略であると考えられる。本シンポジウムでは、コケ植物、シダ植物、種子植物での効率的な増殖を支える多様な制御機構について進化的な観点から議論を行いたい。

14:00-14:05	1pSJ00	はじめに 小松 愛乃 (東北大・院生命科学)
14:05-14:30	1pSJ01	KL 信号伝達によるゼニゴケ栄養繁殖の制御 小松 愛乃 ¹ , 藤林 瑞季 ¹ , 細矢 福多郎 ¹ , 熊谷 風杜 ¹ , 鈴木 秀政 ¹ , 児玉 恭一 ¹ , 水野 陽平 ¹ , 竹林 裕美子 ² , 小嶋 美紀子 ² , 榊原 均 ^{2,3} , 謝 肖男 ⁴ , 楢本 悟史 ^{1,5} , 経塚 淳子 ¹ (1東北大・院生命科学, 2理研・CSRS, 3名大・院生命農学, 4宇都宮大・バイオ, 5北大・院理)
14:30-14:55	1pSJ02	苔類における性決定因子 BPCU の進化 安居 佑季子, 河内 孝之 (京都大・院・生命科学)
14:55-15:20	1pSJ03	セン類ヒメツリガネゴケの有限成長する胞子体分裂組織の維持機構 養老 瑛美子, 榊原 恵子 (立教大・生命理)
15:20-15:30		休憩
15:30-15:55	1pSJ04	シダ植物小葉類からみる根と茎の成長と形態進化 藤浪 理恵子 (京都教育大・教育・理)
15:55-16:20	1pSJ05	イネの分蘖 (ぶんげつ) 形成を支える幹細胞制御機構 田中 若奈 ¹ , 平野 博之 ² (1広島大・院統合生命, 2東大・院理学)
16:20-16:45	1pSJ06	アブラナ科水陸両生植物 <i>Rorippa aquatica</i> の茎生葉表皮における新奇分裂組織の形成と散布による栄養繁殖 池松 朱夏 ^{1,2} , 佐々木 亜美 ¹ , 坂本 智昭 ^{1,2} , 木村 成介 ^{1,2} (1京産大・生命, 2京産大・生態進化発生学研究センター)
16:45-16:50	1pSJ07	おわりに 安居 佑季子 (京都大・院・生命科学)

植物の発生・成長を支える極性形成の制御とその進化

共催：植物形態学会

●オーガナイザー

榎本 悟史（北大・院理）

北沢 美帆（大阪大学全学教育推進機構）

生物の発生・成長には、組織・細胞レベルでの極性の形成が不可欠である。近年、植物では、細胞レベルの極性がばらつく例が多数見出されている。ミクロな極性のゆらぎは、マクロな形態の安定性や可塑性にどのように影響するのだろうか？本シンポジウムでは、発生学・理論生物学・進化生物学などの観点から極性形成について最新の話題を提供し、植物と動物という系統・移動性の異なる生物の比較を通して、生物がどのように極性を獲得し、環境に適応する形で、形態の多様性を進化させてきたか議論する。

9:00-9:05	2aSA00	はじめに 榎本 悟史 ^{1,2} （ ¹ 北大・院理, ² 科学技術振興機構・さきがけ）
9:05-9:35	2aSA01	上皮細胞のキラリティが駆動する組織変形 松野 健治（阪大・院理生物学）
9:35-10:00	2aSA02	オーキシンと PIN は如何にして植物の体の形を決めるように進化してきたのか？ 榎本 悟史 ^{1,3} , 末満 寛太 ² , 藤田 知道 ¹ （ ¹ 北大・院理, ² 北大・院生命科学, ³ 科学技術振興機構・さきがけ）
10:00-10:20	2aSA03	ヒメツリガネゴケの体制とアルギニン代謝の流れる方向性 川出 健介（埼玉大・院理工）
10:20-10:30		休憩
10:30-10:55	2aSA04	環境シグナルを細胞極性へ変換する分子機構の解明に向けて 西村 岳志, 四方 明格, 森田（寺尾） 美代（基生研）
10:55-11:15	2aSA05	単子葉植物の発生から考える多細胞生物の極性獲得機構 木下 温子, 岡本 龍史（都立大・院理）
11:15-11:35	2aSA06	節足動物の体軸形成の多様化の進化過程を探る理論研究 藤原 基洋 ¹ , 秋山-小田 康子 ^{1,2,3} , 小田 広樹 ^{1,4} （ ¹ JT生命誌研究館, ² JST・さきがけ, ³ 大阪医科薬科大・医学, ⁴ 大阪大・院・理学）
11:35-11:55	2aSA07	刺胞動物の器官配置に現れる対称性の多型 Safiye Sarper ¹ , Tamami Nakanishi ¹ , Miho Kitazawa ³ , Shigeru Kuratani ¹ , Koichi Fujimoto ² （ ¹ 理化学研究所, ² 広島大・院統合生命科学, ³ 大阪大・全学教育推進機構）
11:55-12:00	2aSA08	おわりに 北沢 美帆（大阪大学全学教育推進機構）

9/8 9:00-12:00

B会場

シン・プラスチド～変幻自在な色素体が織りなす植物のドラマチック・ライフ～

共催：学術変革領域研究（B）「プラスチド相転換ダイナミクス」

●オーガナイザー

小林 康一（大阪公大・院理学）

葉緑体の獲得により光合成を行う能力を得た植物は、葉緑体を様々な色素体へと分化させることで、独自の生命システムを構築することに成功した。この色素体の多様な形態・機能と分化転換は、どのような分子制御によって成り立ち、植物の生命や多様性にどのように影響しているのだろうか。本シンポジウムでは、色素体をキーワードに植物の多様な現象や生き方を追求することで、植物が独自に作り上げてきた生命システムの仕組みに迫る。

9:00-9:05	2aSB00	はじめに 小林 康一（大阪公大・院理学）
9:05-9:30	2aSB01	オオムギの組織分化における色素体制御の解明に向けて 久野 裕（岡山大・植物研）
9:30-9:55	2aSB02	色素体ゲノムの自在制御を目指した技術開発 有村 慎一（東京大学・院農学生命科学）
9:55-10:20	2aSB03	膜脂質合成が引き起こす色素体の遺伝子発現変動 藤井 祥 ¹ 、中村 友輝 ² 、和田 元 ³ 、小林 康一 ⁴ （ ¹ 弘前大・農生、 ² 理研・CSRS、 ³ 東京大・院・総合文化、 ⁴ 大公大・国際基幹教育機構）
10:20-10:45	2aSB04	電子顕微鏡の大規模画像解析で見えてきた色素体の多彩で奇妙な形 永田 典子（日本女子大・理）
10:45-11:10	2aSB05	病原菌による色素体の破壊とリモート農奴化 八丈野 孝（愛媛大院・農学）
11:10-11:35	2aSB06	色素体の働き方改革 ～光合成は葉の専売特許ではない～ 小林 康一（大阪公大・院理学）
11:35-12:00	2aSB07	色素体ゲノムを縮退・喪失させた植物のドラマチック・ライフ 末次 健司（神戸大・院・理）

異分野融合技術で挑む植物科学の革新

共催：学術変革領域研究（A）「植物の挑戦的な繁殖適応戦略を駆動する両性花とその可塑性を支えるゲノム動態」

●オーガナイザー

奥田 哲弘（東京大学大学院理学系研究科）

佐藤 良勝（名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所）

膨大なゲノム情報・オミクスデータが得られる昨今では、植物科学研究においても個々の分子作用機序の解明や大規模データ取得の枠を超えた、学際的な観点からの融合かつ革新的なアプローチが重要となってきた。本シンポジウムでは、情報科学・有機合成化学・構造生物学・進化学・ゲノム学などの分野横断研究・融合技術開発を積極的に取り入れて植物科学の革新に迫る研究者を招聘し、最新的话题を紹介する。

9:00-9:05	2aSC00	はじめに 奥田 哲弘（東京大学大学院理学系研究科）
9:05-9:35	2aSC01	マイクロ流路で顕在化する花粉管の潜在能力 佐藤 良勝（名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所）
9:35-9:55	2aSC02	<i>in vitro</i> 実験系を基盤とした裸子植物ソテツの受精機構の解析 外山 侑穂 ¹ , 奥田 哲弘 ¹ , 鈴木 孝征 ² , 吉田 大和 ¹ , 東山 哲也 ¹ （ ¹ 東京大・院・理, ² 中部大・応用生物）
9:55-10:10	2aSC03	情報学 x 農学から見る AI ゲノムデコード；果実成熟に関わる <i>cis-trans</i> ネットワークの解明 栗田 恵理子 ¹ , 赤木 剛士 ^{1,2} （ ¹ 岡山大・院環境生命科学, ² JSTさきがけ）
10:10-10:25	2aSC04	情報学 x 農学から見る AI ゲノムデコード；Transformer の attention 技術による解釈可能性 松尾 信之介（九大・システム情報科学府）
10:25-10:35		休憩
10:35-11:05	2aSC05	クライオ電子顕微鏡法と AlphaFold によってひかれた構造生物学 志甫谷 涉, 濡木 理（東大・院理生物）
11:05-11:45	2aSC06	集団ゲノム解析から見たヤマノイモ属作物の起源と進化 寺内 良平（京都大学・農学研究科）
11:45-11:50	2aSC07	おわりに 佐藤 良勝（名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所）

9/8 9:00-12:00

会場

脂質が旗振る植物の生命現象

●オーガナイザー

永田 賢司 (東大・院総合文化)

神保 晴彦 (東京大学大学院総合文化研究科)

近年、多くの生命現象に脂質が関わる事が明らかとなり、脂質は生物の織りなす多彩な生命現象を主導する“旗振り役”として認知され始めている。本企画では、最新の知見を基に植物の生命現象の中で脂質が果たす役割を分子～個体レベルで概観し、植物脂質研究の今後を展望する。各発表では植物脂質研究の実際について例を交えながら、幅広い聴衆が植物脂質研究の魅力とポテンシャルに気づくことができる議論の場を提供したい。

9:00-9:10	2aSI00	はじめに 神保 晴彦 (東京大学大学院総合文化研究科)
9:10-9:35	2aSI01	光合成における脂質のダイナミクス 神保 晴彦, 和田 元 (東京大学大学院総合文化研究科)
9:35-10:00	2aSI02	膜交通のハブ TGN における積荷の仕分けと脂質の関わり 伊藤 容子 (お茶大・ヒューマンライフ)
10:00-10:30	2aSI03	リピドミクスでひも解く植物スフィンゴ脂質の代謝と機能 石川 寿樹 (埼玉大・院・理工)
10:30-10:55	2aSI04	脂質-転写因子複合体による植物の発生制御 永田 賢司 (東大・院総合文化)
10:55-11:25	2aSI05	気孔細胞が特殊な脂質代謝を発達させている意義について 祢宜 淳太郎 (九州大・院・理)
11:25-11:55	2aSI06	時空間で捉える植物リン脂質のダイナミックな変動とその機能 中村 友輝 ^{1,2} (¹ 理研・CSRS, ² 東大・院理)
11:55-12:00	2aSI07	さいごに 永田 賢司 ¹ (¹ 東大・院総合文化, ² Grad. Sch. Arts and Sciences, Univ. Tokyo)

いまストレプト藻類が熱い：多様なストレプト藻類から陸上植物をみる

●オーガナイザー

関本 弘之（日本女子大・理）

西山 智明（金沢大学・疾患モデル）

近年、ストレプト藻類のゲノム解読が進み、陸上植物とのゲノムレベルでの共通性や違いが示されてきました。本シンポジウムでは、ストレプト藻類を用いて「熱い」研究を展開している演者による講演を行い、研究材料の紹介に加えて、植物ホルモン、細胞分裂、有性生殖、世代交代の陸上植物との共通性・多様性などに迫る研究を取り上げます。

9:00-9:05	2aSJ00	はじめに 西山 智明（金沢大学・疾患モデル）
9:05-9:30	2aSJ01	ストレプト植物 10 億年の進化：多様性とゲノム 西山 智明（金沢大学・疾患モデル）
9:30-9:55	2aSJ02	クレブソルミディウムのオーキシン応答と乾燥ストレス応答，陸上植物との共通と相違 堀 孝一 ¹ ，唐司 典明 ¹ ，瀬底 かなみ ¹ ，三木 健 ¹ ，下嶋 美恵 ¹ ，太田 啓之 ^{1,2} （ ¹ 東工大・生命， ² 株）ファイトリピッド・テクノロジーズ）
9:55-10:20	2aSJ03	ストレプト藻類研究の魅力：シャジクモ，アオミドロを中心に 坂山 英俊 ¹ ，池谷 仁里 ¹ ，西山 智明 ² （ ¹ 神戸大・院・理， ² 金沢大・疾患モデル）
10:20-10:30		休憩
10:30-10:55	2aSJ04	鞭毛形成起点である基底小体の因子と雄性配偶子形成 越水 静（遺伝学・生命ネットワーク）
10:55-11:20	2aSJ05	ヒメミカヅキモのゲノム解読と緑色植物特異的転写因子 RWP-RK の機能 関本 弘之（日本女子大・理）
11:20-11:45	2aSJ06	古くて新しい細胞伸長・細胞分裂の研究材料としての接合藻 村田 隆（神奈川工科大・応用バイオ）
11:45-12:00	2aSJ07	総合討論 関本 弘之（日本女子大・理）

植物科学の温故知新 ～この30年を振り返り、次の30年を考えよう！～

主催：公益社団法人日本植物学会理事会

●オーガナイザー

植田 美那子（東北大・院生命科学）

植物科学の発展はめざましく、この30年で多くの技術革新や発見が相次ぎました。多くのことが変わりましたが、また、変わらないこともあったと思われまます。そこで本シンポジウムでは、さまざまな分野で植物研究を牽引してこられた研究者をお招きし、これまでの変遷や、この先にどうあってほしいかをお話いただくことで、次の30年を先導する若手研究者が研究を見つめ直すためのヒントをいただきます。

9:00-9:05	3aSA00	はじめに 植田 美那子（東北大・院生命科学）
9:05-9:35	3aSA01	葉緑体運動研究の裏事情 — 論文には書けない話— 和田 正三（東京都立大学）
9:35-10:05	3aSA02	植物分類学 — これまでの30年、これからの30年 戸部 博（京都府立植物園）
10:05-10:35	3aSA03	植物を知らずに入った植物科学の世界、その面白さを次世代に。 三村 徹郎（京都先端科学大・バイオ環境）
10:35-11:05	3aSA04	田宮(1932)・門司(1960)、門司・佐伯(1953)が植物学にもたらしたもの 寺島 一郎（東大・院・農学生命）
11:05-11:20	3aSA05	総合討論 植田 美那子（東北大・院生命科学）

光合成と脂質代謝の接点：アシルプラストキノール類が拓く新たな研究領域

●オーガナイザー

佐藤 直樹 (東大・院総合文化)

日原 由香子 (埼玉大・院理工)

アシルプラストキノールは、ごく最近、シアノバクテリアから発見された脂溶性成分で、光合成で働くことがよく知られているプラストキノンの誘導体である。従来、油脂（トリアシルグリセロール）ではないかと間違われていた点で、脂質代謝研究にも深く関係している。まだ海外では広く知られていないものの、日本では複数の研究グループでこれに関する研究が進められてきており、まさに日本発の新規物質である。この機会に関連研究分野の研究者にも広く周知することにより、光合成と脂質代謝の両面から、新物質とその関連物質の検出・分析法、合成・分解のしくみ、生理的機能、環境要因などによる存在量の変動、光合成生物における分布などを幅広く研究していく最初の契機とすることを目的として、このシンポジウムを企画した。

9:00-9:05	3aSB00	はじめに 佐藤 直樹 (東大・院総合文化)
9:05-9:30	3aSB01	シアノバクテリアにおける中性脂質蓄積の諸問題とアシルプラストキノール 日原 由香子, 石川 寿樹 (埼玉大・院理工)
9:30-9:55	3aSB02	アシルプラストキノールの発見と関連化合物との識別の問題 佐藤 直樹 (東京大・院総合文化)
9:55-10:20	3aSB03	シアノバクテリアにおける、もう一つのプラストキノン関連脂質 佐藤 典裕 (東京薬科大・生命科学)
10:20-10:45	3aSB04	アシルプラストキノールリパーゼの発見と PSII における機能 和田 元, 神保 晴彦 (東大・院総合文化)
10:45-11:10	3aSB05	光合成におけるプラストキノンとアシルプラストキノンの役割 園池 公毅 (早稲田大・教育・生物)
11:10-11:30	3aSB06	総合討論 (2名による指名討論 各4分を含む) 日原 由香子 (埼玉大・院理工)

9/9 9:00-11:30

C 会場

超人植物学 リターンズ：人機共創がもたらす植物学の未来像

共催：新学術領域研究「細胞システムの自律周期とその変調が駆動する植物の発生（植物の周期と変調）」

●オーガナイザー

中島 敬二（奈良先端科学技術大学院大学・先端科学技術研究科）

小田 祥久（名古屋大学 大学院理学研究科）

AI やロボット技術が劇的なスピードで進化している今日において、これらの技術を生物学の基礎研究に利用するための様々な試みがなされている。本シンポジウムでは、人とコンピューターやロボットとの相互作用について独創的な研究を展開している情報学者を演者に迎え、その研究の最前線を紹介するとともに、機械と研究者の共創が将来の学術研究に及ぼす影響について議論したい。

9:00-9:05	3aSC00	はじめに 中島 敬二（奈良先端科学技術大学院大学・先端科学技術研究科）
9:05-9:25	3aSC01	人と植物をつなげる人間拡張工学 稲見 昌彦（東京大学 総長特任補佐・先端科学技術研究センター 副所長/教授）
9:25-9:45	3aSC02	植物の反射光に潜む情報を解き明かす多波長偏光イメージング装置 P-MIRU の開発 ドル 有生 ¹ , Alfonso Balandra ² , 廣瀬 匠悟 ³ , 梶原 智明 ⁴ , 柏野 善大 ² , 稲見 昌彦 ² , 越水 静 ⁵ , 深城 英弘 ⁶ , 綿引 雅昭 ⁷ （ ¹ 奈良先端大・バイオ, ² 東大・先端科学技術研究センター, ³ 名城大・院農学, ⁴ 京大・院生命科学, ⁵ 遺伝研・生命ネットワーク, ⁶ 神戸大・院・理, ⁷ 北大・院理）
9:45-10:05	3aSC03	捉えづらい表現型の違いを深層学習で定量する 富沢 瑤子（自然科学研究機構・生命創成探求センター・定量生物学G）
10:05-10:15		休憩
10:15-10:35	3aSC04	顕微鏡・AI・人の協働で実現したシロイヌナズナ根端の 4D 細胞動態計測 郷 達明 ¹ , Yu Song ² , 米倉 崇晃 ^{1,3} , 大伏 仙泰 ⁴ , Zeping Den ² , 射水 勝利 ¹ , 富沢 瑤子 ⁵ , 近藤 洋平 ⁵ , 宮島 俊介 ¹ , 岩本 祐太郎 ^{2,6} , 稲見 昌彦 ⁷ , 陳 延偉 ² , 中島 敬二 ¹ （ ¹ 奈良先端大・バイオサイエンス, ² 立命館大・情報理工, ³ 東大・院・理, ⁴ 東大・院・工, ⁵ 自然科学研究機構・生創探, ⁶ 大阪電通大・情報通信工, ⁷ 東大・先端研）
10:35-10:55	3aSC05	植物とのインタラクションのためのインタフェースの検討 坂本 大介（北海道大学大学院情報科学研究院）
10:55-11:15	3aSC06	人・AI ロボット・生物サイボーグの共進化による新ひらめきの世界と植物の世界 森島 圭祐 ^{1,2} （ ¹ 阪大・工, ² ムーンショット目標3・プロジェクトマネージャー）
11:15-11:30	3aSC07	総合討論

植物進化の戦略分子

共催：JST さきがけ「植物分子の機能と制御」

●オーガナイザー

西谷 和彦（神奈川大・理）

植物は陸上への適応戦略として進化させた多種多様な代謝系を持つが、植物が生産する分子種は膨大で、未解明・未利用のものが多く存在する。本領域では、「植物分子」（植物由来化合物及びその関連遺伝子）を軸として、生体内及び生態系内の生命現象の解明と、その有効利用に資する基礎的知見の創出と革新技術の構築に向けた研究を推進している。本シンポジウムでは2020年採択のさきがけ研究者から4名が、これまで実施してきた研究の成果を発表する。

9:00-9:05	3aSD01	さきがけ「植物分子の機能と制御」 西谷 和彦（神奈川大・理）
9:05-9:35	3aSD02	「ゲノム・遺伝子倍化」が生み出す植物の新機能獲得進化 赤木 剛士 ^{1,2} （ ¹ 岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域， ² JST さきがけ）
9:35-10:05	3aSD03	クマリン類から見る植物代謝の進化 棟方 涼介（京大・生存研）
10:05-10:35	3aSD04	花粉を舞台にした戦略的な RNA 利用法の進化 元村 一基 ^{1,2} （ ¹ 立命館大・院生命， ² JST・さきがけ）
10:35-11:05	3aSD05	植物と昆虫の共生・寄生の分子メカニズムを解く 平野 朋子（京府大・生命環境）
11:05-11:15	3aSD06	総合討論 西谷 和彦（神奈川大・理） [コメンテーター] 遠藤 求（奈良先端大・バイオ）

植物から見た北海道の自然

●司会

相場 慎一郎（北海道大学大学院環境科学院教授）

北海道は、美しい景観と豊かな食材に恵まれており、多くの国内外からの観光客が訪れます。北海道は、日本の中でも高緯度で寒冷な地域に位置していますが、その面積は九州や東北地方よりも大きく、太平洋、日本海、オホーツク海という異なる性質を持つ3つの海域の影響も受けて、地域によって気候が異なります。また、火山活動が活発であり、地質も様々で、夏でも残雪がある高山が多数存在しています。火山活動の影響や地質、標高差は、自然に豊かな多様性をもたらしています。さらに、北海道の植物相は、津軽海峡を經由して日本の他の島々や東アジアと、サハリンを通して北東アジアと、千島列島を通してシベリア東部や北アメリカとも関係を持っています。植物は、光合成によりバイオマスを生産することで、陸域・水域を問わず、景観と生態系の骨組みを形づくり、また、農林水産物生産の基盤となって北海道の大自然を根底から支えています。本講演会では、北海道の植物について知ることを通して、北海道の大自然の魅力を再発見してもらうことを目指します。

- | | | |
|-------------|--------|--|
| 14:30-14:40 | Open-1 | 植物科学への招待
寺島 一郎（東京大学理学系研究科教授・日本植物学会会長） |
| 14:40-15:10 | Open-2 | 北海道各地域の植物相の特色
東 隆行（北海道大学植物園助教） |
| 15:10-15:40 | Open-3 | 北海道の植物相研究の現状
首藤 光太郎（北海道大学総合博物館助教） |
| 15:40-16:10 | Open-4 | アポイ岳の自然環境の現状と保全再生
水永 優紀（様似町役場商工観光課） |
| | | 休憩 |
| 16:20-16:50 | Open-5 | 防風林管理が育む絶滅危惧種と生物多様性
速水 将人（北海道立総合研究機構林業試験場） |
| 16:50-17:20 | Open-6 | 鉄鋼スラグによる北海道の海藻藻場の再生
小杉 知佳（日本製鉄（株）先端技術研究所） |
| 17:20-17:30 | Open-7 | 北海道の植物：過去・現在・未来
露崎 史朗（北海道大学地球環境科学研究院教授・第87回日本植物学会大会会長） |

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	大会主催シンポジウム	シンポジウム	Symposium	環境応答 1
9:30	<p>次世代シーケンサーがスポットライトを当てた「なまら」面白い生き物たち</p> <p>9:30-9:35 1aSA00 はじめに 松永幸大¹ ¹東大・院・新領域・先端生命</p>	<p>地球上のどこでも光合成を可能にする分子レベルのライフハック</p> <p>9:30-9:35 1aSB00 はじめに：ライフハック集としての生命進化史 丸山真一朗¹ ¹東大・院新領域</p>	<p>From Model Plants to Non-Model Plants</p> <p>9:30-9:35 1aSC00 Introduction Kyojuka J¹ ¹Tohoku U</p>	<p>1aAD01 単細胞性紅藻 <i>Cyanidioscyzoon merolae</i> の高濃度アルミニウムに対する生理学的応答 上田修也¹, 藁田歩¹, 宮下振一² ¹筑波大・生命,²産総研</p>
9:45	<p>9:35-10:00 1aSA01 非モデル生物のシーケンス解析・インフォマティクス解析 中村保一¹ ¹遺伝研・情報研究系</p>	<p>9:35-10:05 1aSB01 藻類から学ぶ二酸化炭素固定のライフハック 平川泰久¹ ¹筑波大・生命環境</p>	<p>9:35-10:00 1aSC01 MicroProteins - small proteins with big impact Wenkel S¹ ¹Umeå U</p>	<p>1aAD02 カドミウム耐性のあるシダ植物 <i>Athyrium yokoscense</i> は、根と地上部で 2 つのストレス軽減戦略を示す 鶴飼優子^{1,2}, 田岡裕規³, 鎌田まなか², 浦井裕子², 後藤文之⁴, 北崎一義⁴, 阿部知子⁵, 保倉明子⁶, 吉原利一⁴, 島田浩章² *所属は 47 ページ欄外に記載</p>
10:00	<p>10:00-10:25 1aSA02 手探りで RNA seq 解析 - 非モデル緑藻や身近な常緑樹を材料にして 高林厚史¹ ¹北大・低温研</p>	<p>10:05-10:30 1aSB02 緑藻ナンキョクカワノリに見つかった赤外線利用型光合成のメカニズムと進化の道筋 小杉真貴子¹, 川崎政人², 柴田穰³, 原光二郎⁴, 高市真一⁵, 守屋俊夫², 安達成彦², 亀井保博⁶, 工藤栄⁷, 菓子野康浩⁸, 小池裕幸⁹, 千田俊哉², 大谷修司¹⁰, 豊田敦¹¹, 西出浩世¹², 皆川純¹ ¹基生研・環境光,²高エネ機構・構造生物,³東北大・理,⁴秋田県立大・生物資源,⁵東京農大・生命,⁶基生研・超階層生物,⁷極地研・生物圏,⁸兵庫県立大・理,⁹中央大・理工,¹⁰島根大・教育,¹¹遺伝研・ゲノム・進化,¹²基生研・データ統合</p>	<p>10:00-10:25 1aSC02 Chrysanthemum as a new model system for flowering research Higuchi Y¹ ¹U Tokyo</p>	<p>1aAD03 ヒメツルアズキの耐塩性進化と地域分化に関わるゲノミクス 内藤健¹, 伊藤海帆², 武藤千秋¹ ¹農研機構・資源研,²東大・院新領域創成</p>
10:15	<p>10:25-10:50 1aSA03 家の水槽にいた微細藻類・メダカモは淡水産緑藻で最少遺伝子数をもつ新種藻類であった 松永幸大¹, 加藤翔一², 丸山真一朗¹, 野崎久義³, 三角修己⁴, 田草川真理⁵, 乾弥生¹, 鈴木重勝⁶, 桑田啓子⁷, 野田沙希⁸, 伊藤ななみ¹, 岡部耀二¹, 坂本卓也⁹, 八木沢美美¹⁰, 松永朋子¹, 松林嘉克⁸, 山口晴代⁶, 河地正伸⁶, 黒岩晴子¹¹, 黒岩常祥¹¹ ¹東大・院・新領域・先端生命,²東京理科大・理工・応用生物,³東大・院・理・生物科学,⁴山口大・院・創成科学・理,⁵京大・院・理・植物,⁶国立環境研・生物多様性,⁷名大・ITbM,⁸名大・院・理・生命理学,⁹神奈川大・理・理,¹⁰琉球大・研究基盤センター,¹¹日本女子大・理・化学生命科学</p>		<p>10:25-10:50 1aSC03 A strategy to identify genetic mutations to reduce boron requirement for nutrient efficient plants Miwa K¹ ¹Hokkaido U</p>	<p>1aAD04 AtTRB3 は活性酸素除去酵素を制御することによってエタノールによる耐塩性に機能する 漆原晃太¹, 松井章浩², 田中真帆², 藤原すみれ³, 光田展隆³, 高木優³, 永野惇^{4,5}, 田茂井政宏¹, 関原明¹, 佐古香織^{1,2} ¹近大・農,²理研・CSRS,³産業技術総合研究所生物プロセス,⁴龍谷大・農,⁵慶応大・IAB</p>
10:30				<p>1aAD05 Stress-resistant moss (<i>P. patens</i>) through mutation stacking Beier M^{1,2}, Morisaki N², Fujita T² ¹IAHE / Fac. Sci., Univ. Hokkaido,²Grad. Sch. Li. Sci., Univ. Hokkaido</p>
10:45				休憩

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	時間
環境応答 2	生態 1	成長生理	遺伝子発現制御・ゲノム・プロテオーム 1	
<p>1aAE01 温度形態形成におけるカハールボディの役割 上原萌愛¹, 太田翔平¹, 櫻井貴之², 嶋田知生², 田村謙太郎¹ ¹静大・食品栄養科学,²京大・院理学</p>	<p>1aAF01 Application of simple competition model to biomass dynamics of species-rich tree community Kohyama T¹ ¹Hokkaido U</p>	<p>1aAG01 ケージドプローブを用いたオーキシシン細胞間移動の可視化 青山剛士¹, 南保正和¹, Gwee Eunice², 土方優², 佐藤良勝^{1,3}, 土屋雄一朗¹ ¹名大・ITbM,²名大・未来社会脱炭センター,³名大・生命理学</p>	<p>1aAH01 ゼニゴケにおける生殖を介した DNA メチル化の伝達機構 池田陽子^{1,2}, 中村光希², 十川太輔³, 西浜竜一⁴, 山岡尚平⁵, 荒木崇⁵, 河内孝之⁵, Mathieu Olivier⁶, 大和勝幸³ ¹岡山大・資源植物科学研究所,²岡山大・院・環境生命,³近畿大・院・生物理工,⁴東京理科大・理工・応用生物,⁵京都大・院・生命,⁶GReD, Univ.</p>	9:30
<p>1aAE02 植物の免疫応答におけるインボーチン α の役割 森愛理¹, Gaudin Valerie², 松浦恭和³, 池田陽子³, 田村謙太郎¹ ¹静大・院食生命・環境,²IJPB, INRA,³岡山大・植物研</p>	<p>1aAF02 Biological Invasion Mechanisms in National Park of Bangladesh Investigated by Remote Sensing SULTANA M¹ ¹Grad Sch Environ Sci</p>	<p>1aAG02 Role of Jacalin-like lectin in cell division during tissue-reunion process in <i>Arabidopsis</i> Machfuudzoh A¹, Koshiba R¹, Ohba Y¹, Randeep R⁵, Asahina M^{3,4}, Satoh S², Iwai H² *所属は 47 ページ欄外に記載</p>	<p>1aAH02 DNA メチル化酵素を用いたシロイヌナズナにおける <i>de novo</i> DNA メチル化編集技術の試み 平田峻也¹, 池田陽子², 西村泰介³, 小林括平¹, 賀屋秀隆¹ ¹愛媛大・院農,²岡山大・植物研,³長岡技科大・院工</p>	9:45
<p>1aAE03 単細胞性緑藻 <i>Chlamydomonas reinhardtii</i> における CoA ジスルフィドレダクターゼ欠損株の解析 難波勇人¹, 蓑田歩² ¹筑波大・院生命,²筑波大・生命環境系</p>	<p>1aAF03 Pre-dispersal seed predation of five stone oaks (<i>Lithocarpus</i>, <i>Fagaceae</i>) Chen X¹, Li X¹, Li Q¹ ¹Sch Ecology Environ Sci, Yunnan U, ²Fac Environ Earth Sci, Hokkaido U</p>	<p>1aAG03 麻酔処理による傷害応答及び接ぎ木接着に対する影響 平山朔也¹, 柴田恭美¹, 湯本絵美², 宮本皓司¹, 陽川憲³, 朝比奈雅志^{1,2} ¹帝京大・理工・バイオ,²帝京大・先端機器分析セ,³北見工業大・工</p>	<p>1aAH03 シロイヌナズナにおけるヒストン修飾 H3K4me3 のライブイメージング系の開発 松岡慈¹, 坂本卓也², 澁田未央³, 佐藤優子⁴, 木村宏⁴, 松永幸大¹ ¹東大・院・新領域・先端生命,²神奈川大・理・理,³山形大・理,⁴東工大・科学技術創成研究院</p>	10:00
<p>1aAE04 Non-specific phospholipase C3 is involved in endoplasmic reticulum stress tolerance in <i>Arabidopsis</i> Ngo H^{1,2}, Nakamura Y^{1,2,3}, Kanehara K³ *所属は 47 ページ欄外に記載</p>	<p>1aAF04 Mapping degradation in tropical dry forest: current status and challenges Gao Y^{1,2} ¹Grad Sch Environ Earth Sci, Hokkaido U, ²Centro de Investigaciones en Geografia Ambiental, Universidad Nacional Autonoma de Mexico</p>	<p>1aAG04 MpHYPNOS は ABA 依存のおよび非依存的に無性芽の休眠を制御する 芳村那美¹, 吉川実樺子¹, 安田有沙², 加藤大貴^{1,3}, 酒井友希¹, 三村徹郎⁴, 近藤侑貴¹, 深城英弘¹, 石崎公庸¹ ¹神戸大・院・理,²神戸大・理,³愛媛大・院・理工,⁴京都先端科学大・バイオ環境</p>	<p>1aAH04 プロト食虫植物イビセラ・ルテアの食虫性 荒井直樹¹, 大山隆² ¹神奈川大・化学生命,²早大・教育・総合科学・生物</p>	10:15
<p>1aAE05 新規 GPI アンカータンパク質 PCP1 の機能解析 横井友哉¹, 佐藤雅彦¹, 平野朋子¹ ¹京府大・院生命環境科学研究科</p>	<p>1aAF05 落葉広葉樹群落における波長別光透過率の季節変化 久米篤¹, 野田響², 奈佐原顕郎³, 村岡裕由⁴, 秋津朋子⁵ ¹九州大,²国立環境研究所,³筑波大,⁴岐阜大,⁵宇宙航空研究開発機構</p>	<p>1aAG05 イチゴの栄養繁殖におけるストリゴラクトン受容体 D14 の機能解析 吉田梨乃¹, 宮地朋子², 藤泰子¹, 南杏鶴³, 持田恵一³, 刑部敬史², 刑部祐里子¹ ¹東工大・院生命理工,²徳島大・院社会産業理工学,³横浜市立大・院木原生物学研究所</p>	<p>1aAH05 核膜孔複合体はシロイヌナズナのセントロメア二段階配置制御に関与する 伊藤ななみ¹, 坂本卓也², 坂本勇貴³, 松永幸大¹ ¹東大・院・新領域・先端生命,²神奈川大・理・理,³大阪大・院理・生物科学</p>	10:30
休憩	休憩	休憩	休憩	10:45

時間	I 会場	J 会場	K 会場	L 会場
	シンポジウム	シンポジウム	細胞小器官 1	生殖 1
9:30	<p>植物の「代謝ロジスティクス」を捉える最先端</p> <p>9:30-9:40 1aSI00 はじめに 大谷美沙都¹ ¹東京大学大学院新領域創成科学研究科</p> <p>9:40-10:05 1aSI01 数理モデルによる細胞レベルでの代謝ロジスティクスの推定 -ホウ素- 反田直之¹ ¹東大・院農学生命科学</p>	<p>植物の陸上進出の鍵となった細胞機能改変</p> <p>9:30-9:35 1aSJ00 はじめに 小藤累美子¹ ¹金沢大・理工・生命理工</p> <p>9:35-10:00 1aSJ01 コレオケータにおける細胞分裂・形態形成の重力応答 玉置大介¹ ¹富山大・学術・理</p> <p>10:00-10:25 1aSJ02 三次元的器官形成における細胞分裂方向の制御 ~ヒメツリガネゴケの GRAS ファミリー遺伝子~ 小藤累美子¹ ¹金沢大・理工・生命理工</p> <p>10:25-10:50 1aSJ03 三次元頂端成長の確立とオーキシン ~ゼニゴケの信号伝達経路の役割から探る~ 西浜竜一¹, 鈴木秀政², 河内孝之³ ¹東京理科大・創域理工・生命生物,²東北大・院・生命科学,³京都大・院・生命科学</p>	<p>1aAK01 ミトコンドリア遺伝子 <i>ccb3/ccmC</i> のポリ A 付加を介した mRNA 編集抑制がシトクロム <i>c</i> 経路を制御する 間宮章仁^{1,4}, 山本荷葉子¹, 小林健人², 八木祐介², 中村崇裕², 平山隆志³, 深城英弘⁴, 中里一星⁵, 有村慎一⁵, 杉山宗隆¹ ¹東京大・院・理,²九州大・院・農,³岡山大・資源植物研,⁴神戸大・院・理,⁵東京大・院・農</p> <p>1aAK02 Cytoplasmic Heme Decomposition by HO1 Regulated by TSSs is Critical for Chloroplast Biogenesis Chen Y¹, Nishimura K², Yamamoto Y³, Oka Y⁴, Matsushita T⁴, Shimizu T¹, Masuda T¹ *所属は 47 ページ欄外に記載</p> <p>1aAK03 ゼニゴケ CHLH 遺伝子の変異は PPO 阻害除草剤耐性を付与する 北岡理杜¹, 小牧知史¹, 酒井友希¹, 加藤大貴^{1,2}, 近藤侑貴¹, 深城英弘¹, 石崎公庸¹ ¹神戸大・院・理,²愛媛大・院・理工</p> <p>1aAK04 エチオプラストにデンプン蓄積を誘導する新奇化合物 120d の同定と作用機作の解明 河田吉弘¹, 林誠² ¹長浜バイオ大院・バイオ,²長浜バイオ大・バイオ</p> <p>1aAK05 葉酸代謝拮抗剤フルオロウラシルによるエチオプラストのデンプン蓄積機構の解明 小西高史¹, 林誠² ¹長浜バイオ大院・バイオ,²長浜バイオ大・バイオ</p>	<p>1aAL01 生殖様式の連続的変化に関わるペビーキウイ (<i>Actinidia arguta</i>) 異倍数性集団の進化過程 堀内綾乃¹, 服部百伽², 大野健太朗³, 別府賢治³, 片岡郁雄³, 赤木剛士¹ ¹岡山大・院環境生命科学,²岡山大・農学,³香川大・農学</p> <p>1aAL02 ABA increases the interploidy hybridization success Sato H^{1,3}, Wu W^{1,2}, Bente H^{1,4}, Santos-González J¹, Köhler C^{1,4} ¹SLU, Uppsala BioCenter, ²INRA, AgroParisTech, ³Tokyo Univ., Dept. Integrated Scis, ⁴MPI, Mol Plant Physiology</p> <p>1aAL03 人工交配実験を通じたコケ植物異種間の生殖隔離機構の解明 石井結香¹, 嶋村正樹¹ ¹広島大・院統合生命科学</p> <p>1aAL04 ヒメミカツキモの新規 RWP-RK 遺伝子の逆遺伝学的解析 吉村美南¹, 西山智明², 関本弘之¹ ¹日本女子大・院・理,²金沢大・疾患モデル総合研究センター</p> <p>1aAL05 An Unknown U-Chromosomal Gene Indispensable for Egg Cell Differentiation in <i>Marchantia polymorpha</i>. Lu Y¹, Cui Y¹, Yoro E², Kawai J², Shimamura M³, Ishida S¹, Kajiwara T⁴, Hisanaga T^{1,5}, Kohchi T⁴, Sakakibara K², Goh T¹, Nakajima K¹ *所属は 47 ページ欄外に記載</p>
9:45				
10:00	<p>10:05-10:30 1aSI02 落葉木本植物における季節的な代謝ロジスティクスの可視化と制御機構の解析 栗田悠子¹, 馬場啓一², 小林奈通子¹, 田野井慶太郎¹, 永野惇^{3,4}, 三村徹郎⁵ ¹東京大・院・農,²京都大・生存研,³龍谷大・農,⁴慶應大・IAB,⁵京都先端科学大・バイオ環境</p> <p>10:30-10:55 1aSI03 植物メカノバイオロジーにおける代謝ロジスティクスイメージング 浅川裕紀¹ ¹埼玉大学 理工学研究科</p>			
10:15				
10:30				
10:45			休憩	休憩

M 会場	N 会場	時間
発生・形態形成 1	発生・形態形成 2	
<p>1aAM01 維管束幹細胞の確立に関する新たな制御因子の探索と分子機構の解析 前田照太¹, 島津舜治^{1,2}, 古谷朋之³, 深城英弘¹, 石崎公庸¹, 近藤侑貴¹ ¹神戸大・院・理, ²東大・院・理, ³立命館大・生命</p>	<p>1aAN01 ライブイメージング技術を駆使したシロイヌナズナ受精卵の極性伸長メカニズムの解明 松本光梨¹, 中川朔未¹, 檜垣匠², 津川暁³, 石本志高³, 野々山朋信³, 康子辰³, 植田美那子^{1,4} ¹東北大・院生命科学, ²熊本大・IROAST, ³秋田県大・システム, ⁴東北大・理</p>	9:30
<p>1aAM02 イチョウを用いた維管束細胞分化誘導システムの確立と遺伝子発現解析 安井馨市¹, 近藤侑貴¹ ¹神戸大・院・理</p>	<p>1aAN02 シロイヌナズナ受精卵における頂端-基部軸上の細胞内構造分布の定量的解析 弘本悠紀子¹, 木全祐資², 松本光梨², 中川朔未², 植田美那子², 檜垣匠¹ ¹熊本大・院・自然科学, ²東北大・院・生命</p>	9:45
<p>1aAM03 スクロースシグナルによる維管束幹細胞制御機構の解析 鳴瀧葵¹, 島津舜治^{1,2}, 古谷朋之³, 深城英弘¹, 石崎公庸¹, 近藤侑貴¹ ¹神戸大・院・理, ²東大・院・理, ³立命館大・生命</p>	<p>1aAN03 ゼニゴケにおいて配偶子器発生を制御する非典型 BZR 転写因子のオーソログの分子機能比較解析 古谷朋之¹, 梅北葵衣¹, 岩佐碧泉¹, 野崎翔平^{2,3}, 杉本真一^{2,3}, 近藤侑貴⁴, 笠原賢洋¹ ¹立命館大・生命, ²筑波大・生命環境, ³筑波大・T-PIRC, ⁴神戸大・院・理</p>	10:00
<p>1aAM04 維管束細胞の分化制御における概日時計関連遺伝子 GI の機能解析 阪田真由¹, 荒野巧勝², 島津舜治^{1,2}, 深城英弘¹, 石崎公庸¹, 近藤侑貴¹ ¹神戸大・院・理, ²東大・院・理</p>	<p>1aAN04 ゲノム編集技術による花成制御遺伝子 FT の発現制御に関わる cis-element の機能解析 大野奈津美¹, 山本真結香², 吉田晟人², 根岸克弥³, 遠藤真咲³, 小林正樹⁴, 小林括平¹, 土岐精一^{3,5}, 阿部光知⁶, 賀屋秀隆¹ *所属は 47 ページ欄外に記載</p>	10:15
<p>1aAM05 シロイヌナズナの tRNA 硫黄修飾酵素の機能欠損はサーモスベルミン欠損変異 ac15 の表現型を抑圧する 西井裕一¹, 小山大輝¹, 福島弘子¹, 高橋卓¹ ¹岡山大・院・環境生命自然科学</p>	<p>1aAN05 原形質連絡に着目したフロリゲン輸送制御機構の分子的理解 村田裕介¹, 阿部光知¹ ¹東大・院総合文化</p>	10:30
休憩	休憩	10:45

所属一覧

1aAD02

¹名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所, ²東京理科大学 先進工学部 生命システム工学科, ³東京理科大学 理学部第一部 応用化学科, ⁴電力中央研究所 サステナブルシステム研究本部 生物・環境化学研究部門, ⁵理化学研究所 仁科加速器研究センター, ⁶東京電機大学 工学部 応用化学科

1aAE04

¹RIKEN Center Sustainable Resource Sci (CSRS), ²Inst Plant Microbial Biology, Academia Sinica, ³Department Biological Scis, Grad Sch Sci, U Tokyo

1aAG02

¹Grad. Sch. Sci. Tech., Univ. Tsukuba, ²Inst Life and Environ. Sci., Univ. Tsukuba, ³Dept. Biosci., Teikyo Univ., ⁴Adv. Instrumental Analysis Center, Teikyo Univ., ⁵Inst of Health Sport Sci., Univ. Tsukuba

1aAK02

¹Grad. Sch. Arts Sci., Univ. Tokyo, ²Fac. Life Envi. Sci., Univ. Shimane, ³U. Grad. Sch. Agr., Univ. Gifu, ⁴Grad. Sch. Sci., Univ. Kyoto

1aAL05¹

¹Grad. Sch. Biol. Sci., NAIST, ²Grad. Sch. Sci., Rikkyo Univ., ³Grad. Sch. Integr. Sci. Life, Hiroshima Univ., ⁴Grad. Sch. Biostudies, Kyoto Univ., ⁵Gregor Mendel Inst

1aAN04

¹愛媛大学大学院 農学研究科 農業生産学コース, ²愛媛大学 農学部 農業生産学コース, ³農研機構 生物機能利用 ゲノム編集技術, ⁴国際農林水産業研究センター 林業領域, ⁵龍谷大学 農学部 植物生命, ⁶東京大学大学院 総合文化

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	大会主催シンポジウム	シンポジウム	Symposium	環境応答 1
10:45	<p>次世代シーケンサーがスポットライトを当てた「なまら」面白い生き物たち</p>	<p>地球上のどこでも光合成を可能にする分子レベルのライフハック</p>	<p>From Model Plants to Non-Model Plants</p>	休憩
10:55				<p>1aAD06 ゼニゴケの環境ストレス応答に関するイオンチャネルの探索と機能解析 神谷佳世¹, 齋藤湖希¹, 長谷川晃汰¹, 鶴田悠心¹, 神谷有紀¹, 町野友昭¹, 橋本貴史¹, 橋本研志¹, 朽津和幸¹ ¹東京理科大学・創域理工・生命生物科学</p>
11:10	<p>10:50-11:15 1aSA04 非光合成性珪藻類のゲノム解析：光合成能の喪失はゲノム進化と生態にどこまで影響するか？ 神川龍馬¹ ¹京大・院農</p>	<p>10:35-11:05 1aSB03 光合成と微生物型ロドプシン：メカニズムと分布から考える彼らのライフスタイルとそれを支えるライフハック 吉澤晋^{1,2} ¹東大・大海研,²東大・新領域</p> <p>休憩 (11:05-11:15)</p>	<p>Break (10:50-11:00)</p> <p>11:00-11:25 1aSC04 Accelerated domestication of perennial grain crops Michael P¹ ¹U Copenhagen</p>	<p>1aAD07 ゼニゴケ仮根の極性先端成長の方向と速度の青色光による制御 小嶋華¹, 池内亨¹, 橋本研志¹, 朽津和幸¹ ¹東京理科大・院・創域理工・生命生物科学</p>
11:25	<p>11:15-11:40 1aSA05 ツノゴケ特異性のゲノム基盤と新たな謎 榎原恵子¹ ¹立教大学・理学部</p>	<p>11:15-11:45 1aSB04 チラコイド膜内ダイナミクス的高速原子間力顕微鏡による分子レベル撮像 山本大輔¹ ¹福岡大・理</p>	<p>11:25-11:55 1aSC05 Plant-nematode interactions: basic research and practical prospects Sawa S¹ ¹Kumamoto U, IRCAEB</p>	<p>1aAD08 細胞質 Ca²⁺濃度動態のマルチスケール解析から見えてきたゼニゴケ仮根の先端成長速度の制御 池内亨¹, 小嶋華¹, 橋本研志¹, 津川暁², 康子辰², 野々山朋信², 石本志高², 住野豊³, 朽津和幸¹ ¹東京理科大・創域理工・生命生物科学,²秋田県立大・システム科学技術・機械工学,³東京理科大・先進工・物理工学</p>
11:40	<p>11:40-12:05 1aSA06 アブラナ科水陸両生植物 <i>Rorippa aquatica</i> のゲノム解読と比較解析 坂本智昭¹, 木村成介¹ ¹京産大・生命科学</p>	<p>11:45-12:15 1aSB05 様々な環境で光合成を可能にする超分子構造のライフハックをクライオ電顕で観る 川本晃大¹ ¹阪大・蛋白研</p>	<p>11:55-12:15 1aSC06 <i>Nicotiana benthamiana</i> is a useful plant for grafting biology Notaguchi M^{1,2} ¹Kyoto U, ²Grad. Sch. Bioagric. Sci., Nagoya Univ.</p>	<p>1aAD09 カルシウムシグナルと活動電位の同時測定によるハエトリソウの接触刺激受容細胞の解析 須田啓¹, 浅川裕紀¹, 長谷部光泰^{2,3}, 豊田正嗣¹ ¹埼玉大・院・理工学,²基生研・生物進化,³総研大・院・生命科学</p>
11:55	<p>12:05-12:10 1aSA07 おわりに 高林厚史¹ ¹北大・低温研</p>	<p>12:15-12:20 1aSB06 総合討論</p> <p>共催：学術変革領域研究 (A) 「光合成ユビキティ：あらゆる地球環境で光合成を可能とする超分子構造制御」</p>		<p>1aAD10 食虫植物モウセンゴケの触毛における高速カルシウム波の伝播経路 瀬上紹嗣^{1,2}, 近藤真紀¹, 松田陸玖^{1,3}, Zhang Liechi¹, 落合由裕^{1,2}, Chen Peng^{1,2}, 大井祥子¹, 須田啓⁴, 豊田正嗣⁴, 長谷部光泰^{1,2} ¹基生研,²総研大,³名古屋大・院理学,⁴埼玉大・院理工学</p>
	PacBio ランチョンセミナー			

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	時間
環境応答 2	生態 1	成長生理	遺伝子発現制御・ゲノム・プロテオーム 1	10:45
休憩	休憩	休憩	休憩	
<p>1aAE06 ミヤコグサにおける <i>ALMT</i> ホモログの発現解析 熊沢菜月¹, 菊地哲也¹, 加藤咲季¹, 大木萌花¹, 神澤信行¹ ¹上智大・院理工</p>	<p>1aAF06 セイタカアワダチソウ地下部由来揮発性物質がセイタカアワダチソウ自身の成長に及ぼす影響 鎌野奈穂¹ ¹奈良女子大学</p>	<p>1aAG06 ABCG14 を介した根から地上部へのサイトカイニン長距離輸送のメカニズム 水谷佳保里¹, 竹林裕美子², 小嶋美紀子², 榊原均¹, 木羽隆敏¹ ¹名大・院生命農,²理研・CSRS</p>	<p>1aAH06 病害応答時の遺伝子発現制御におけるシロイヌナズナアクチン脱重合因子の機能解析 松本朋子¹, 稲田のりこ¹ ¹天公大・院農</p>	10:55
<p>1aAE07 シロイヌナズナの根端へ機械的刺激を与える新規実験方法で明らかになる二種類の伝達経路の存在 岡本崇¹, 本瀬宏康¹, 高橋卓¹ ¹岡山天・環境生命自然科学</p>	<p>1aAF07 Root dynamics and phenology detected by scanned image analysis in a post-mined peatland Zhao C¹, Tsuyuzaki S² ¹GSES, Hokkaido Univ., ²GSEES, Hokkaido Univ.</p>	<p>1aAG07 植物の器官運動と姿勢復元力の解析 上田晴子^{1,2}, 岡村さとこ¹, 津川暁³, 三宅唯月², 林杏樹¹, 八木宏樹², 豊倉浩一^{1,4}, 西村いくこ² ¹甲南大・理工,²甲南大・院自然科学,³秋田県大・機械工学,⁴広島大・院統合生命科学</p>	<p>1aAH07 マメ科木本植物イナゴマメの <i>de novo</i> ゲノム解析とガラクトマンナン合成関連遺伝子の解析 阿久津光紹¹, 篠澤章久², 坂田洋一², 西山智明³, 日渡祐二¹ ¹宮城大・院食産学,²東京農大・院バイオ,³金沢大・疾患モデル総合研究センター</p>	11:10
<p>1aAE08 ヒメツリガネゴケにおける赤外レーザー照射による遺伝子発現誘導の単一細胞定量イメージング解析 友井拓実^{1,2,3}, 吉田優佳⁴, 大江駿², 坂本丞^{3,5}, 亀井保博^{3,6,7,8}, 玉田洋介^{2,4,8,9,10} ¹宇都宮大・イノベ,²宇都宮大・工学,³基生研・生命熱動態,⁴宇都宮大・院地域創生,⁵ExCELLS・バイオフォトニクス,⁶基生研・バイオイメ,⁷総研大,⁸宇都宮大・CORE,⁹宇都宮大・REAL,¹⁰基生研・生物進化</p>		<p>1aAG08 金属ナノ粒子の肥料転用における有効性の検証 倉橋健介¹, 中村太郎², 齊藤丈靖³, 中島壮一郎³, 岩崎哲史⁴, 徳本勇人² ¹天阪公天高専,²阪公大・院理,³阪公大・院工,⁴神戸大・院理</p>	<p>1aAH08 生物間相互作用のモデル植物である <i>Nicotiana benthamiana</i> のゲノム解説 黒谷賢一¹, 平川秀樹², 白澤健太², 谷澤靖洋³, 中村保一³, 磯部祥子², 野田口理孝^{1,4} ¹名古屋大・生物センター,²かずさ DNA 研究所,³国立遺伝学研究所,⁴京都大・院理学</p>	11:25
<p>1aAE09 酸素プラズマ照射による植物の成長と細胞構造の変化 浅野真¹, 田中邦翁¹, 森實郁太¹, 鈴木伸洋¹, 神澤信行¹, 藤原誠¹ ¹上智大・院理工</p>		<p>1aAG09 金属酸化物ナノ粒子を用いた緑藻に対する細胞増殖効果の解析 中島壮一郎¹, 倉橋健介², 齊藤丈靖¹, 徳本勇人³ ¹阪公大・院工,²大阪公大高専,³阪公大・院理</p>	<p>1aAH09 海洋性珪藻における episome 導入型 RNA 編集 内山琴音¹ ¹鳥取大院・持社創科</p>	11:40
<p>1aAE10 シロイヌナズナ葉柄運動におけるマイクロフォーカス X 線 CT の活用 林真衣香¹, 國枝正^{1,2}, 熊谷凌¹, 春田牧人³, 大竹義人⁴, 加藤博一^{2,4}, 島弘幸⁵, 出村拓^{1,2} ¹奈良先端大・バイオ,²奈良先端大・CDG,³千歳科技大・理工,⁴奈良先端大・情報,⁵山梨大・生命環境</p>		<p>1aAG10 肥料転用した酸化亜鉛ナノ粒子によるレタスの生育検証 山田奈穂¹, 宮田ひとみ², 斎藤範三², 大江真道³, 倉橋健介⁴, 徳本勇人² ¹阪公大・理学,²阪公大・院理,³阪公大・院農,⁴大阪公大高専</p>		11:55

時間	I 会場	J 会場	K 会場	L 会場
	シンポジウム	シンポジウム	細胞小器官 1	生殖 1
10:45	植物の「代謝ロジスティクス」を捉える最先端	植物の陸上進出の鍵となった細胞機能改変	休憩	休憩
10:55			10:55-11:20 1aSI04 イメージング質量分析を用いた植物代謝ロジスティクス 森哲哉 ¹ ¹ 理研・CSRS	10:55-11:20 1aSJ04 繰り返される乾燥と冠水への適応 ～エチレン受容体による ABA シグナル伝達系の制御～ 坂田洋一 ¹ ¹ 東京農大・バイオ
11:10	11:20-11:45 1aSI05 様々な光環境におけるシアノバクテリアの中核代謝ロジスティクスの解析 戸谷吉博 ¹ ¹ 阪大・院情報	11:20-11:45 1aSJ05 アブシジン酸と細胞間コミュニケーション・細胞運動制御の出会い 藤田知道 ¹ , 北川宗典 ² , 友井拓実 ^{3,4} , 川田健介 ⁵ , 神野智世 ⁶ ¹ 北海道大・院理学, ² 華中農業大・園芸林学, ³ 宇都宮大・イノベ, ⁴ 宇都宮大・工学, ⁵ 埼玉大・院理工, ⁶ 北海道大・院生命科学	1aAK07 葉緑体核様体の分配に関わる新規因子 NOF1 の遺伝学的相互作用の解析 大谷直央 ¹ , 池田彩乃 ¹ , 廣門秀仁 ¹ , 石橋幸大 ² , 山野隆志 ³ , 福澤秀哉 ³ , 西村芳樹 ⁴ , 小林優介 ¹ ¹ 茨大・理学, ² 京産大・生命科学, ³ 京大・院・生命, ⁴ 京大・院・理	1aAL07 CDP-コリン合成の逆遺伝学的破壊変異の次世代伝搬に係る雄性および雌性配偶子の戦術的な違いについて 和田百々香 ¹ , 久賀千晶 ¹ , 厚沢季美江 ² , 宮城敦子 ³ , 石川寿樹 ¹ , 山口雅俊 ¹ , 金子康子 ⁴ , 川合真紀 ¹ , 西田生郎 ¹ ¹ 埼玉大・院理工, ² 埼玉大・科学分析支セ, ³ 山形大・農, ⁴ 埼玉大・院教育
11:25			1aAK08 クラミドモナスにおける接合子特異的核様体タンパク質の逆遺伝学的解析 坂本結花 ¹ , 小林優介 ¹ ¹ 茨城大学・理工学研究科	1aAL08 Analysis of a novel trans-Golgi/TGN-localized protein family in <i>Arabidopsis thaliana</i> Rzepecka N ¹ , Ito E ² , Ito Y ² , Uemura T ¹ ¹ Grad Sch Humanities Scis, Ochanomizu Univ., ² Inst Human Life Scis, Ochanomizu Univ.
11:40	11:45-12:10 1aSI06 代謝ロジスティクスを細胞内から捉える -エンドソームを中心とした膜交通の分子基盤 伊藤瑛海 ^{1,2} , 植村知博 ^{1,2,3} ¹ お茶大・ヒューマンライフサイエンス, ² お茶大・理系女性, ³ お茶大・基幹研究院	11:45-12:10 1aSJ06 細胞の異方成長による器官形成 ～クチクラ形成と細胞伸長～ 石川雅樹 ^{1,2} , Zhang Liechi ^{1,2} , 長谷部光泰 ^{1,2} ¹ 基生研・生物進化, ² 総研大・先端学術	1aAK09 葉緑体 DNA 結合タンパク質 MFP1 を中心とした核様体の膜アンカーポイント構造の解明 野戸康生 ¹ , 川島祐介 ² , 石川将己 ² , 西村芳樹 ³ , 藤井祥 ¹ ¹ 弘前大学・農学生命科学部, ² かずさ DNA 研究所, ³ 京都大学大学院・理学研究科	1aAL09 <i>Allomyces</i> (コウマクノウキン門)の接合子における眼点様構造と鞭毛の規則的な空間配置 大空由依 ¹ , 宮村新一 ¹ ¹ 筑波大学・生命環境系
11:55	12:10-12:20 1aSI07 おわりに 植村知博 ¹ ¹ お茶の水女子大・基幹研究院	12:10-12:20 1aSJ07 総合討論 石川雅樹 ^{1,2} ¹ 基生研・生物進化, ² 総研大・先端学術	1aAK10 シロイヌナズナ受精卵の極性過程における色素体動態の解析 多田圭吾 ¹ , 松本光梨 ² , 大井崇生 ³ , 草野修平 ⁴ , 萩原伸也 ⁴ , 植田美那子 ^{1,2} ¹ 東北大・理, ² 東北大・院生命科学, ³ 名大・院生命農学, ⁴ 理研・環境資源	

M 会場	N 会場	時間
発生・形態形成 1	発生・形態形成 2	
休憩	休憩	10:45
1aAM06 ネナシカズラにおける外的なポリアミンと植物ホルモンの作用 長尾幸紀 ¹ , 横山隆亮 ² , 高橋草 ¹ ¹ 岡山大・院・環境生命自然科学, ² 東北大・院・生命科学	1aAN06 TAWAWA1 controls rice panicle shape through repression of FRIZZY PANICLE Wang H ¹ , Tokunaga H ^{1,2} , Kusnandar A ¹ , Shindo M ¹ , Miao Y ^{1,3} , Kyojuka J ¹ ¹ Grad. Sch. Life Sci., Tohoku Univ., ² CSRS, RIKEN, ³ College Plant Sci, Jilin Univ.	10:55
	1aAN07 花序・花芽形成過程におけるモノフィレア特有の分裂組織での遺伝子発現パターンの解析 中村駿志 ¹ , 木下綾華 ¹ , 古賀皓之 ¹ , 塚谷裕一 ¹ ¹ 東京大・院・理	11:10
	若手奨励賞受賞講演 11:25-11:55 1aAN-AL1 水陸両生植物に注目した気孔の進化発生生物学的研究 ドル有生 ¹ ¹ 奈良先端大・バイオ	11:25
		11:40
		11:55

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	JPR International Symposium	シンポジウム	シンポジウム	環境応答 3
14:00	Single-cell omics to uncover cell fate regulation in plant regeneration and development	植物超個体の覚醒を司る分子・細胞・個体の連動	動的な高次構造体“オルガネラ”の真の姿を捉える革新的アプローチ	1pAD01 ヒメツリガネゴケの ABA 応答におけるエチレン受容体型ヒスチジンキナーゼの機能ドメインの解析 佐々木健人 ¹ , 鳥山士 ¹ , 四井いずみ ¹ , 太治輝昭 ¹ , 坂田洋一 ¹ ¹ 東京農大・院・バイオ
14:05-14:35	14:00-14:05 1pSA00 Opening remarks Morinaka H ¹ ¹ CSRS, RIKEN	14:00-14:05 1pSB00 はじめに 晝間敬 ¹ ¹ 東大院総合	14:00-14:05 1pSC00 はじめに 高塚大知 ¹ ¹ 金沢大学・生命理工	
14:15	14:05-14:35 1pSA01 Evolution and development of leaf complexity through single cell genomics Palfalvi G ¹ ¹ Max Planck Inst Plant Breeding Res	14:05-14:25 1pSB01 根圏糸状菌・細菌との超個体化により覚醒するアブラナ科植物の栄養適応能力 晝間敬 ¹ ¹ 東大院総合	14:05-14:30 1pSC01 植物液胞を『物理的障壁』として捉える 高塚大知 ¹ , 甘利俊樹 ¹ , 伊藤正樹 ¹ ¹ 金沢大学・生命理工	1pAD02 ヒメツリガネゴケにおける ABA および浸透圧ストレス応答に関わるセンサーヒスチジンキナーゼの機能解析 宮部マルコス武志 ¹ , 松村拓樹 ¹ , 鳥山士 ¹ , 竹澤大輔 ² , 四井いずみ ¹ , 太治輝昭 ¹ , 坂田洋一 ¹ ¹ 東京農大・院・バイオ, ² 埼玉大・理工学研究科
14:30	14:35-14:55 1pSA02 Root nodule symbiosis specific chromatin remodeling in epidermis found via single-nucleus ATACseq Battenberg K ¹ , Hirota A ¹ , Hetherington N ² , Minoda A ² , Hayashi M ¹ ¹ RIKEN Center Sustainable Resource Sci, ² Dept Cell Biol, Radboud U	14:25-14:50 1pSB02 細胞融合を通じた植物超個体覚醒の理解に向けて 丸山大輔 ¹ , 大津美奈 ^{2,3} , 野田口理孝 ^{4,5} , 須崎大地 ¹ , 太田かおる ¹ , 木下哲 ¹ ¹ 横浜市大・木原生研, ² 奈良先端大・バイオサイエンス領域, ³ IST さきがけ, ⁴ 名大・生物機能開発利用研究センター, ⁵ 京大・院・理	14:30-14:55 1pSC02 異常翻訳の真の姿を捉える多角的アプローチ 松尾芳隆 ¹ ¹ 東京大学・医科学研究所	1pAD03 ヒメツリガネゴケ ABA 受容体 PpPYL 欠損株の作出と接合藻類 PYL 様遺伝子の機能解析 大内基生 ¹ , 坂田洋一 ² , 竹澤大輔 ¹ ¹ 埼玉大・院理工学, ² 東京農大・バイオサイエンス
14:45	14:55-15:15 1pSA03 A single cell atlas for DNA damage triggered reprogramming in <i>Physcomitrium patens</i> Gu N ^{1,2,3} , Palfalvi G ⁴ , Tamada Y ^{1,2,5,6,7,8} ¹ Sch. Eng., Utsunomiya Univ., ² Ctr. Innov. Spt., Utsunomiya Univ., ³ REAL, Utsunomiya Univ., ⁴ Max Planck Inst Plant Breeding Res, ⁵ Grad. Sch. Reg. Dev. Creat., Utsunomiya Univ., ⁶ Div. Evol. Biol., Natl. Inst. Basic Biol., ⁷ SOKENDAI, ⁸ CORE, Utsunomiya Univ.	14:50-15:15 1pSB03 植物とアーバスキュラー菌根菌の超個体形成が支持する共通共生経路を介さない菌根菌共生 川井友裕 ¹ , Kee Yee-Jia ¹ , 伊藤元己 ² , 吉田聡子 ¹ ¹ 奈良先端大・バイオ, ² 東京大学・院・総合文化	14:55-15:20 1pSC03 極微抽出ーイオン化法による生体の多次元化学分布情報計測 大塚洋一 ^{1,2} ¹ 阪大・院理学, ² 阪大・院理学フォアフロント研	1pAD04 ABA に応答してリン酸化される bHLH 型転写因子 AKSs の機能解析 林優紀 ¹ , 高橋洋平 ² , 木下俊則 ^{1,2} ¹ 名大・院理・生命, ² 名大・ITbM
15:00	Break (15:15-15:35)	休憩 (15:15-15:20)		1pAD05 キナーゼ阻害剤を用いた新規気孔開口シグナル伝達因子の探索 桑山翔悟 ¹ , 高橋宏二 ¹ , 林真妃 ² , 佐藤綾人 ³ , 木下俊則 ^{1,3} ¹ 名古屋大・院理・生命, ² 東北大・院生命, ³ 名古屋大・ITbM
15:15				休憩

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	時間
環境応答 4	細胞骨格	細胞壁	代謝・物質生産・メタボローム	
<p>1pAE01 プラスミドを介したシアノバクテリア <i>Acaryochloris marina</i> MBIC 11017 の橙色光環境への適応 三宅敬太¹, 樫本友則², 迫凌輔³, 松本直大⁴, 佐藤繭子⁵, 豊岡公徳⁵, 兼崎友⁶, 岩崎渉¹, 成川礼³ ¹東大・院新領域,²静岡大・院理,³都立大・院理,⁴静岡大・理,⁵理研・CSRS,⁶静大・グリーン研</p>	<p>1pAF01 K⁺チャネル阻害剤による孔辺細胞アクチン繊維の構造変化 上村明日香¹, 佐藤奏音², 石丸泰寛², 魚住信之², 檜垣匠¹ ¹熊本大・院・自然科学教育部,²東北大・院・工学</p>	<p>1pAG01 病原菌応答と道管細胞分化に共通する細胞壁制御因子の探索 堀口航平¹, 大谷美沙都¹, 黒川瑠音¹, 徳元拓哉², 出村拓² ¹東京大・院・新領域,²奈良先端大・バイオ</p>	<p>1pAH01 接ぎ木法を用いたトマト耐病性向上への挑戦 廣瀬匠悟¹, 森上敦¹, 津呂正人¹, 塚越啓央¹ ¹名城大学・院農</p>	14:00
<p>1pAE02 ゼニゴケ葉体における核光定位運動に対するフィトクロムの関与様式 三木碩己¹, 野本千穂子¹, 岩淵功誠², 河内孝之³, 高木慎吾¹ ¹大阪大・院理・生物科学,²大阪医薬大・医,³京都大・院生命科学</p>	<p>1pAF02 演題取り消し</p>	<p>1pAG02 遺伝子系統樹を利用したワタ綿繊維の細胞壁形成制御に関わる転写因子の探索 河井耕史朗¹, 佐野亮輔¹, 國枝正^{1,2}, 出村拓^{1,2} ¹奈良先端大・バイオ,²奈良先端大・CDG</p>	<p>1pAH02 ヘム代謝産物ビリベルジンの細胞内分布の蛍光イメージング 吉田佳司^{1,2}, 児玉豊^{1,2} ¹宇都宮大・バイオ,²宇都宮大院・地域創生</p>	14:15
<p>1pAE03 CO₂高感受性シロイヌナズナ野生系統がもつ光障害回避メカニズム 秀野智紀¹, 中江聡子¹, 丸山祐汰², 後藤栄治², 柘宜淳太郎¹, 射場厚¹, 門田慧奈¹ ¹九州大・院理・生物科学,²九州大・院農</p>	<p>1pAF03 分裂準備帯周縁に出現するアクチンウォールは微小管の再拡散を防ぐ 飯塚駿作¹, 玉置大介², 安原裕紀³, 中井朋則⁴, 唐原一郎², 峰雪芳宣⁴ ¹富山大・院・理工,²富山大・学術・理,³関西大・化学生命工,⁴兵庫県大・院・理</p>	<p>1pAG03 力学的負荷環境下における道管二次細胞壁の形成メカニズムの解析 江上茉穂¹, 國枝正^{1,2}, 三谷恭平², 岸田佳祐¹, 出村拓^{1,2} ¹奈良先端大・バイオ,²奈良先端大・CDG</p>	<p>1pAH03 セリ科フラノクマリン類の構造多様性を担うプレニル化酵素の部位特異性の解析 韓俊文¹, 棟方涼介¹, 高橋宏陽², 肥塚崇男³, 森吉英子¹, Alian HEHN⁴, 矢崎一史¹ ¹京大・生存研,²徳島文理大・薬,³山口大院・創成科学,⁴仏 ロレーヌ大/INRAE</p>	14:30
<p>1pAE04 CPD 光回復酵素の葉緑体移行メカニズムと植物種間差 大竹桃¹, 小松千春¹, 寺西美佳¹, 原遼¹, 愿山(岡本)郁¹, 日出間純¹ ¹東北大・院生命</p>	<p>1pAF04 シロイヌナズナ初期胚の内軸の形成過程における微小管動態の解析 花木優河¹, 松本光梨², 中川朔未², 檜垣匠³, 津川暁⁴, 石本志高⁴, 野々山朋信⁴, 康子辰⁴, 植田美那子^{1,2} ¹東北大・理,²東北大・院生命科学,³熊本大・IROAST,⁴秋田県大・システム</p>	<p>1pAG04 ユーカリの側枝形状を決定する力学メカニズムの研究 吉川実輝¹, 勝田亮紀¹, 須河勇輝¹, 佐野亮輔¹, 中田未友希^{1,2}, 出村拓^{1,2} ¹奈良先端大・バイオ,²奈良先端大・CDG</p>	<p>1pAH04 柑橘クマリン代謝に関与する UbiA 型プレニル化酵素遺伝子群の解析 松下修平¹, 棟方涼介^{1,2}, 赤木剛王^{2,3}, 松川哲也^{4,5}, Hehn Alain⁶, 矢崎一史¹ ¹京都大・生存研,²IST さきがけ,³岡山大・環境生命,⁴近大・附属農場,⁵近大・生物理工,⁶ロレーヌ大/INRAE</p>	14:45
<p>1pAE05 フォトリポソムの細胞内局在変化による葉緑体定位運動への影響 平野慧潔^{1,2}, 児玉豊^{1,2} ¹宇都宮大・バイオセンタ,²宇都宮大院・地域創生</p>	<p>1pAF05 褐藻クロガシラの細胞質分裂の進行に伴う細胞骨格の配向変化 青木日向子¹, Katsaros Christos², 本村泰三³, 長里千香子³ ¹北大・院・環境科学,²アテネ大学,³北大・北方セ</p>	<p>1pAG05 <i>Eucalyptus globulus</i> における主茎切断後に生じる側枝の木質組織の変化 須河勇輝¹, 勝田亮紀¹, 吉川実玖¹, 佐野亮輔¹, 栗野達也², 吉永新², 杉山淳司², 増村威宏³, 森田重人³, 小竹敬久⁴, 中田未友希^{1,5}, 出村拓^{1,5} ¹奈良先端大・バイオ,²京都大・院・農,³京都府大・院生命環境・京都農技セ生資セ,⁴埼玉大・院・理工,⁵奈良先端大・CDG</p>	<p>1pAH05 薬用植物ムラサキの多様な二次代謝に関わる 4-coumaroyl-CoA ligases 中西浩平¹, 李豪¹, 市野琢爾¹, 巽奏¹, 刑部敬史², 渡辺文太³, 下村講一郎⁴, 矢崎一史¹ ¹京都大・生存研,²徳島大・生物資源,³慈恵医大・化学研究室,⁴東洋大・生命科学</p>	15:00
休憩	休憩	休憩	休憩	15:15

時間	I 会場	J 会場	K 会場	L 会場
	光合成	シンポジウム	分類・系統・進化 1	生殖 2
14:00	<p>1pAI01 シアノバクテリアの光化学系IIの光阻害における脂肪酸の役割 米間一綺¹,神保晴彦¹,齋藤勝和¹,和田元¹ ¹東大・院総合文化</p>	<p>植物の多様な増殖 ～進化の過程で何が 起こった?～</p> <p>14:00-14:05 1pSJ00 はじめに 小松愛乃¹ ¹東北大・院生命科学</p> <p>14:05-14:30 1pSJ01 KL 信号伝達によるゼニゴケ 栄養繁殖の制御 小松愛乃¹,藤林瑞季¹,細矢福多郎¹,熊谷風杜¹,鈴木秀政¹,児玉恭一¹,水野陽平¹,竹林裕美子²,小嶋美紀子²,榊原均^{2,3},謝肖男⁴,橋本悟史^{1,5},塚塚淳子¹ ¹東北大・院生命科学,²理研・CSRS,³名大・院生命科学,⁴宇都宮大・バイオ,⁵北大・院理</p> <p>14:30-14:55 1pSJ02 苔類における性決定因子 BPCU の進化 安居佑季子¹,河内孝之¹ ¹京都大・院・生命科学</p>	<p>1pAK01 Complete reticulogram of Japanese <i>Microlepidia</i> (<i>Dennstaedtiaceae</i>) Koda R¹, Fujiwara T², Ebihara A³, Tagane S⁴, Matsumoto S³, Shinohara W⁵, Watano Y⁶, Murakami N¹ ¹Makino Herb., Tokyo Metro. Univ.,²Cent. Mol. Biodiv. Res., Natl. Mus. Nat. Sci.,³Dept. Botany, Natl. Mus. Nat. Sci.,⁴Kagoshima Univ. Mus., Kagoshima Univ.,⁵Biol., Edu., Kagawa Univ.,⁶Biol., Sci., Chiba Univ.</p>	<p>1pAL01 重複受精制御因子及び候補因子間の相互作用解析 吉村有¹,柳川由紀¹,三室周¹,井川智子¹ ¹千葉大・院園芸</p>
14:15	<p>1pAI02 緑藻 <i>Nephroselmis olivacea</i> の淡水適応に伴う光化学系の変化 高村有咲^{1,2},亀尾辰砂^{1,2},田中亮一¹,高林厚史¹ ¹北大・低温研,²北大・院環境</p>	<p>14:55-15:20 1pSJ03 セン類ヒメツリガネゴケの 有限成長する胞子体分裂組織の維持機構 養老瑛美子¹,榊原恵子¹ ¹立教大・生命理</p>	<p>1pAK02 オシダ科 (<i>Dryopteridaceae</i>) の岩上着生種にみられる配偶体形態の多様化 米岡克啓¹,藤原泰央²,海老原淳³,村上哲明¹ ¹都立大・牧野,²科博・分子セ,³科博・植物</p>	<p>1pAL02 雌性配偶子膜に局在する GAH1 の機能解析 杉本迅¹,吉村有¹,井川智子^{1,2} ¹千葉大・院園芸学,²千葉大・植物分子科学研究センター</p>
14:30	<p>1pAI03 緑藻から陸上植物へ: 緑藻 <i>Mesostigma viride</i> の光化学系は中間的な形質を持つ 亀尾辰砂^{1,2},田中亮一¹,高林厚史¹,岸本純子¹ ¹北大・低温研,²北大・院環境</p>		<p>1pAK03 日本産ヤブラン属 (クサスギカズラ科) の倍数化と網状進化 新宅和憲¹,布施静香¹,高山浩司¹,傳田哲郎²,田村実¹ ¹京都大・院・理・植物,²琉球大・理・海洋自然科学</p>	<p>1pAL03 重複受精過程で見られる Ca²⁺ 誘導性の選択的生体膜崩壊メカニズムの解析 杉直也¹,泉理恵¹,須崎大地¹,海老根一生^{2,3},木下哲¹,丸山大輔¹ ¹横浜市大・木原生研,²基生研・細胞動態,³総研大・生命科</p>
14:45	<p>1pAI04 LIL3/GGR を欠損した変異株のクロロフィルタンパク質の機能解析 Kodru Sireesha¹,Nellaepalli Sreedhar¹,小澤真一郎²,佐藤千紘³,黒田洋詩¹,田中亮一⁴,Niyogi Krishuna⁵,高橋裕一郎¹ ¹岡山大・異分野基礎研,²岡山大・資源植物科学研,³岡山大・理・生物,⁴北大・低温研,⁵カリフォルニア大パークレー</p>		<p>1pAK04 アマドコロ属 (クサスギカズラ科) の葉緑体全ゲノムに基づいた分子系統解析と核型進化 増田理子¹,布施静香¹,野田博士¹,池田博²,Yang Yong-Ping³,Pak Jae-Hong⁴,Lee Nam-Sook⁵,Pooma Rachun⁶,Pu Fa-Ding⁷,田村実¹ ¹京都大・院・理・植物,²東京大・博物館,³Kunming Inst. Bot., CAS, China,⁴Kyungpook Natl. Univ., Korea,⁵Ewha Womans Univ.,⁶BKF, Thailand,⁷Chengdu Inst. Biol., CAS, China</p>	<p>1pAL04 受精時の精核融合の完了は胚発生の開始に必須ではない 西川周一¹,高木祐理¹,高松優菜²,松本光梨³,植田美那子³,丸山大輔⁴ ¹新潟大・理,²新潟大・院自然,³東北大・院生命,⁴横市大・木原生研</p>
15:00	<p>1pAI05 サンゴ骨格内から分離した <i>Phaeophila</i> の遠赤色光順化に伴う光化学系と光捕集アンテナタンパク質の変化 大波千恵子¹,得津隆太郎²,土屋徹¹,宮下英明¹ ¹京大 院人間・環境,²京大院理</p>		<p>1pAK05 東アジア産タマツリスゲ節 (カヤツリグサ科) の染色体構成と分子系統解析に基づく種認識の再検討 高橋晃太郎¹,織田二郎²,布施静香¹,矢野興一³,Lu Yi-Fei⁴,Jin Xiao-Feng⁴,田村実¹ ¹京都大学・院・理・植物,²所属なし,³岡山理科大・生物地球,⁴College of Life and Environment Sciences, Hangzhou Normal University</p>	<p>1pAL05 卵細胞外の斑点状構造はどのように形成されるか 須崎大地¹,大井崇生²,武内秀憲^{3,4},永原史織³,御調日向子¹,杉直也¹,木下哲¹,丸山大輔¹ ¹横市大・木原生研,²名大・院・生命農学,³名大・ITbM,⁴名大・高等研</p>
15:15	休憩		休憩	休憩

M 会場	N 会場	時間
発生・形態形成 3	発生・形態形成 4	
<p>1pAM01 シロイヌナズナ AN3-GRF モジュールにおけるシュート/地下部境界制御 水流諒花¹, 保田歩¹, 塚谷裕一², 堀口吾朗^{1,3} ¹立教大・理・生命理,²東大・院・理,³立教大・理・生命理センター</p>	<p>1pAN01 イネの側根形成におけるベクチンメチル基転移酵素遺伝子の機能解析 重川羽純¹, 辰己朱¹, 寺本あゆみ¹, 長谷川和也³, 中村敦子², 岩井宏暁² ¹筑波大・理工情報生命,²筑波大・生命環境系,³静岡県農林技術研究所 茶業研究センター</p>	14:00
<p>1pAM02 染色体部分重複により小型葉を形成する <i>olig-D</i> における CRISPR/Cas9 法による原因遺伝子の探索 武田理沙¹, 宇井拓海¹, 塚谷裕一², 佐藤翔紀¹, 堀口吾朗^{1,3} ¹立教大・院・理,²東大・院・理,³立教大・理・生命理センター</p>	<p>1pAN02 転写ネットワークが同調させる側根発達と側根被覆細胞群の変遷 間瀬皓介¹, 水野帆乃美¹, 富田幸希¹, 古川七梨¹, 上野志歩¹, 鈴木孝征², 森上敦¹, 塚越啓央¹ ¹名城大・農,²中部大・応生センター</p>	14:15
<p>1pAM03 EPFL2 ペプチドは葉縁における鋸歯の形成間隔を制御する 土田岳志¹, 爲重才覚^{1,2}, 松下優貴³, 藤本仰一^{3,4}, 池内桃子¹ ¹奈良先端大・バイオ,²横浜市立大・木原生研,³広島大・院・統合生命,⁴大阪大・院・理学</p>	<p>1pAN03 高窒素環境に応答した側根間隔の制御に関わるシロイヌナズナ sORF, SORFC03 の機能解析 伊藤和洋¹, 久永優希¹, 花田耕介², 射場厚¹, 楠見健介¹ ¹九州大・院・理,²九工大・生命情報工学</p>	14:30
<p>1pAM04 シロイヌナズナ排水組織の多面的イメージング 八木宏樹^{1,2}, 池田陸人², 吉田善葵^{2,3}, 三原衣織², 佐野亮輔⁴, 出村拓^{4,5}, 西村いくこ², 上田晴子^{1,2}, 嶋田知生⁶ ¹甲南大・院・自然科学,²甲南大・理工,³神戸大・院・理,⁴奈良先端大・バイオ,⁵奈良先端大・CDG,⁶京都大・院・理</p>	<p>1pAN04 側根創始細胞の非対称性形成におけるオーキシンの役割 金田紗苗¹, 柿本辰男¹ ¹大阪大・院理学</p>	14:45
<p>1pAM05 シロイヌナズナを用いた溢泌液に含まれる分泌タンパク質及び排水組織発生の解析 吉田善葵^{1,2}, 三原衣織², 三城恵美³, 佐藤伸哉³, 加納圭子³, 嶋田知生⁴, 西村いくこ², 近藤侑貴¹, 上田晴子^{2,5}, 八木宏樹⁵ ¹神戸大・院・理,²甲南大・理工,³名古屋大・WPI-ITbM,⁴京都大・院・理,⁵甲南大・院・自然科学</p>	<p>1pAN05 Type-A OsRR1 C 末領域による根の形態形成制御の解析 安部千遥¹, 北野剛志¹, 今村(陣田)綾¹ ¹長浜バイオ大・院バイオサイエンス研究科</p>	15:00
休憩	休憩	15:15

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
15:15	JPR International Symposium	シンポジウム	シンポジウム	環境応答 3
15:25	Single-cell omics to uncover cell fate regulation in plant regeneration and development	植物超個体の覚醒を司る分子・細胞・個体の連動	動的な高次構造体“オルガネラ”の真の姿を捉える革新的アプローチ	休憩
	Break (15:15-15:35)	休憩 (15:15-15:20)	休憩 (15:20-15:30)	1pAD06 気孔の二酸化炭素応答基準に関わるシロイヌナズナ新規変異体 門田慧奈 ¹ , 秀野智紀 ¹ , 中江聡子 ¹ , 柘宜淳太郎 ¹ , 射場厚 ¹ ¹ 九州大・院理・生物科学
15:40	15:35-16:05 1pSA04 Single-cell profile of organ regeneration in plant tissue culture Xu L ¹ ¹ CAS Center Excellence Mol Plant Scis, CAS	15:20-15:40 1pSB04 病原型・共生型の葉圏細菌による植物の気孔動態制御 峯彰 ¹ ¹ 京大院農	15:30-15:55 1pSC04 膜の力学が制御するオルガネラの形 立川正志 ¹ ¹ 横浜市立大・理学部	1pAD07 全自動表現型解析システム RIPPSS による日本産野生型系統の乾燥応答解析 藤田美紀 ¹ , 井内聖 ² , 持田恵一 ¹ , 榎屋啓志 ² , 小林正智 ² , 篠崎一雄 ¹ ¹ 理研 CSRS, ² 理研 BRC
15:55	16:05-16:25 1pSA05 Single-nucleus RNAseq of epidermal reprogramming revealed features of changing cellular states Morinaka H ¹ , Shi D ^{1,2} , Kawamura A ¹ , Suzuki T ³ , Iwase A ¹ , Higashiyama T ⁴ , Sugiyama M ⁴ , Sugimoto K ^{1,4} ¹ CSRS, RIKEN, ² IBB, Univ. Potsdam, ³ Dept. Biol. Chem., Coll. Biosci. Biotech., Chubu Univ., ⁴ Dept. Biol. Sci., Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo	15:40-16:05 1pSB05 昆虫との共生成立に果たす微生物の“うごき”の意味 菊池義智 ¹ ¹ 産総研・生物プロセス	15:55-16:20 1pSC05 生体膜の高次構造を可視化するクライオ電子線トモグラフィ法 李勇燦 ¹ ¹ 横浜市大・院生命医科学	1pAD08 アブシシン酸非依存的な気孔応答に関係するシロイヌナズナ新規変異体の解析 中江聡子 ¹ , 秀野智紀 ¹ , 柘宜淳太郎 ¹ , 小嶋美紀子 ² , 竹林裕美子 ² , 榎原均 ^{2,3} , 射場厚 ¹ , 門田慧奈 ¹ ¹ 九大・院理, ² 理研・CSRS, ³ 名大・院生命農学
16:10		16:05-16:25 1pSB06 根冠が駆動する多様な土壌環境応答とその動態 宮島俊介 ¹ ¹ 石川県立大・生物資源工学研究所	16:20-16:45 1pSC06 オルガネラ分裂リングのキネティックメカニズムを解く 吉田大和 ^{1,2} ¹ 東京大・院・理・生物科学, ² JST・さきがけ	1pAD09 シロイヌナズナ B3-RAF キナーゼによる浸透圧ストレス依存的な SnRK2 活性制御機構の解析 中山功貴 ¹ , 小原直也 ¹ , 四井いずみ ¹ , 太治輝昭 ¹ , 竹澤大輔 ² , 坂田洋一 ¹ ¹ 東京農大・院・バイオ, ² 埼玉大・理工学研究科
16:25	16:25-16:45 1pSA06 snRNA-seq on haustoria reveals transcriptome landscape for vascular connection with parasitic plant Cui M ¹ , Yamaji M ¹ , Furuta K ¹ , Masumoto N ¹ , Kumaishi K ² , Ichihashi Y ² , Shi D ³ , Kawamura A ³ , Sugimoto K ³ , Yoshida S ¹ ¹ Nara Inst Sci Tech, ² RIKEN Biol Resource Center, ³ RIKEN Center Sustainable Resource Sci	16:25-16:50 1pSB07 ストリゴラクトンを介した植物間の根圏コミュニケーション 米山香織 ¹ ¹ 埼玉大 理工		1pAD10 アブラナの湿害に起因する低酸素耐性機構の解析 篠澤章久 ¹ , 高橋宏和 ² , 中園幹生 ² , 松本隆 ¹ , 伊澤かんな ¹ , 中村進一 ¹ ¹ 東農大・バイオ, ² 名大・生命農
16:40				休憩

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	時間
環境応答 4	細胞骨格	細胞壁	代謝・物質生産・メタボローム	15:15
休憩	休憩	休憩	休憩	
<p>1pAE06 光合成依存の葉緑体運動における微小管の形態</p> <p>野下友里¹,西浜竜一²,後藤栄治³</p> <p>¹九州大・農,²東京理科大・理工・応用生物,³九州大・院農</p>	<p>1pAF06 ゼニゴケ NIMA 関連キナーゼと相互作用因子の機能解析</p> <p>間瀬輝¹,中神弘史²,高橋卓¹,本瀬宏康¹</p> <p>¹岡山大・院・環境生命自然科学,²MPIPZ</p>	<p>1pAG06 道管細胞分化におけるステロール代謝制御の役割の解明</p> <p>鳥塚研吾¹,家門絵理¹,大谷美沙都¹</p> <p>¹東京大・院・新領域</p>	<p>1pAH06 イチゴのテルペン系香気成分の分泌を担う候補遺伝子の解析</p> <p>後藤桃佳¹,段奈々子¹,上岡颯人¹,李豪¹,橋頼之¹,市野琢爾^{1,2},杉山暁史¹,棟方涼介¹,矢崎一史¹</p> <p>¹京都大・生存研,²神戸薬科大・医薬細胞</p>	15:25
<p>1pAE07 葉切片ライブイメージングによる C4 植物葉肉葉緑体凝集運動の解析</p> <p>加藤優太¹,大井崇生¹,佐藤良勝²,谷口光隆¹</p> <p>¹名古屋大・院生命農,²名古屋大・ITbM</p>	<p>1pAF07 ゼニゴケキネシンファミリーの機能解析</p> <p>米田優作¹</p> <p>¹岡山天・院環境生命理学</p>	<p>1pAG07 木部形成マスター制御因子ボブラ <i>PtVNS</i> 群の相互作用解析</p> <p>柳内千空¹,秋吉信宏¹,大谷美沙都¹</p> <p>¹東京大・院・新領域</p>	<p>1pAH07 日本原産薬用植物チョウジソウにおけるアルカロイド生成成研究とその研究基盤構築</p> <p>山本浩太郎¹</p> <p>¹横浜市大・理</p>	15:40
<p>1pAE08 網羅的ホスホプロテオミクスによる気孔の青色光シグナル伝達の解析</p> <p>深津孝平¹,林優紀¹,鈴木孝征²,桑田啓子³,木下俊則^{1,3}</p> <p>¹名大・理,²中部大・応生,³名大・ITbM</p>	<p>1pAF08 微小管付随タンパク質 CCMA1 と CCMA4 の局在解析と相互作用タンパク質の同定</p> <p>清水大樹¹,伊藤瑞季²,今見孝志³,笹部美知子⁴,大谷美沙都⁵,武井敬仁⁶,濱田隆宏^{1,2}</p> <p>¹岡山理科大・院理学,²岡山理科大・理学,³理研・IMS,⁴弘前大・院農学生命科学,⁵東京大・院新領域,⁶東京大・院理学系</p>	<p>1pAG08 細胞壁における、外來性タンパク質の影響</p> <p>山本起大¹,荒江星拓¹,沼田圭司²,出村拓³,大谷美沙都¹</p> <p>¹東京大・院・新領域,²理研・CSRS,³奈良先端大・バイオ</p>	<p>1pAH08 アイスプラントのピニトール代謝経路の解析</p> <p>安田直樹¹,大石開世¹,上杉晃作¹,久保健一¹,蔡見植¹,辻昭久²,今村(陣田)綾¹</p> <p>¹長浜バイオ大・院バイオサイエンス研究科,²日本アドバンスアグリ株式会社</p>	15:55
<p>1pAE09 光照射下の LOV ドメインにおける光サイクルの比較</p> <p>慶野志星^{1,2},児玉豊^{1,2}</p> <p>¹宇都宮大・バイオ,²宇都宮大院・地域創生</p>	<p>1pAF09 陸上植物における紡錘体軸および細胞分裂方向の制御機構</p> <p>佐々木武馬¹,石崎公庸²,本瀬宏康³,小田祥久¹</p> <p>¹名古屋大・理・生命理学,²神戸大・院・理,³岡山大・院・環境生命自然科学</p>	<p>1pAG09 ディクテリオカ藻におけるバイオリカ骨格の形成過程</p> <p>中村智貴¹,佐藤晋也²,三上大智³,奥村宏征⁴,山田和正²</p> <p>¹(株) マリン・ワーク・ジャパン,²福井県大・海洋生物,³福井県大・院・生物資源,⁴三重県・水研</p>	<p>1pAH09 苔類ゼニゴケで生理活性を示すカウレン酸およびジベレリンの類縁体の探索</p> <p>岡部麻衣子¹,吉竹良洋¹,Sun Rui¹,川村昇吾¹,鈴木かおり¹,下川瑛太¹,安居佑季子¹,山岡尚平¹,石田俊晃²,増口潔²,山口信次郎²,河内孝之¹</p> <p>¹京大・生命,²京大・化学研究所</p>	16:10
<p>1pAE10 クラミドモナスの CO₂濃縮機構を抑制する CobW-like ドメインを有するタンパク質の機能解析</p> <p>見市静香¹,嶋村大亮¹,安田洵子¹,福澤秀哉¹,山野隆志¹</p> <p>¹京大・院生命科学</p>	<p>1pAF10 道管において微小管に付随した相分離現象が細胞壁バターンを調節する</p> <p>比嘉毅¹,貫嶋紗久²,佐々木武馬³,高谷彰吾³,近藤洋平⁴,佐藤繭子⁵,若崎真由美⁵,豊岡公德⁵,出村拓^{6,7},福田裕穂⁸,小田祥久³</p> <p>¹東京大・総合・広域・生命環境,²産総研・生物プロセス・植物機能制御,³名古屋大・理・生命理学,⁴基生研・定量,⁵理研・CSRS,⁶奈良先端大・先端・バイオ,⁷奈良先端大・CDG,⁸秋田県立大学</p>	<p>1pAG10 植物は何のために細胞壁空間に活性酸素種を生成する必要かあるのか?</p> <p>橋本研志¹,神谷佳世¹,東島万里子¹,山下優音¹,朽津和幸¹</p> <p>¹東京理科大・創域理工・生命生物科学</p>	<p>1pAH10 海藻類の種別・部位別の炭素含有量～海藻養殖によるカーボン・オフセット効果の定量精度向上を目指して～</p> <p>佐藤陽一¹,田中厚子²,ニシハラグレゴリー・ナオキ³</p> <p>¹理研食品(株),²琉球大・理学部,³長崎大・海洋未来</p>	16:25
休憩	休憩	休憩	休憩	16:40

時間	I 会場	J 会場	K 会場	L 会場
15:15	光合成	シンポジウム	分類・系統・進化 1	生殖 2
	休憩	植物の多様な増殖 ～進化の過程で何が 起こった?～	休憩	休憩
15:25	1pAI06 C4 種 <i>Flaveria bidentis</i> PGRL1 発現抑制株および NdhO 発現抑制株における 光化学系 I の光障害の解析 中村明日香 ¹ ,松村篤 ¹ ,小川敬 子 ² ,宗景ゆり ¹ ¹ 関学大・院理工生命, ² 埼玉 大・院理工	休憩 (15:20-15:30) 15:30-15:55 1pSJ04 シダ植物小葉類からみる根 と茎の成長と形態進化 藤浪理恵子 ¹ ¹ 京都教育大・教育・理	1pAK06 イカリソウ属にみられる形 態的多様性と同倍数性種分 化 三村真紀子 ¹ ,狩山俊悟 ² ,前田 綾子 ³ ,廣田峻 ⁴ ,陶山佳久 ⁵ ¹ 岡山大・理, ² 倉敷市立自然 史博物館, ³ 高知県立牧野植物 園, ⁴ 大阪公立大・附属植物 園, ⁵ 東北大・農	1pAL06 胚珠にある植物新組織の発 見とその新組織を利用した 新しい植物種子形成学の黎 明 刘晓燕 ¹ ,中島耕大 ² ,伍小燕 ¹ , アドヒカリ パラカッシュ バブ ³ ,朱紹威 ¹ ,岡田健太郎 ³ , 黒谷賢一 ³ ,石田喬志 ⁴ ,中村匡 良 ⁵ ,佐藤良勝 ⁵ ,謝礼洋 ¹ ,黄 陈 ¹ ,何嘉乐 ¹ ,澤進一郎 ⁴ ,東山 哲也 ² ,野田口理孝 ³ ,笠原竜四 郎 ³ *所属は 59 ページ欄外に記 載
15:40	1pAI07 水陸両生植物 <i>Hygrophila</i> <i>difformis</i> における水中順 化および適応メカニズム 堀口元氣 ¹ ,溝上祐介 ¹ ,廣津直 樹 ² ,野口航 ¹ ¹ 東京薬科大・生命科学, ² 東 洋大・生命科学	15:55-16:20 1pSJ05 イネの分蘖 (ぶんげつ) 形 成を支える幹細胞制御機構 田中若奈 ¹ ,平野博之 ² ¹ 広島大・院統合生命, ² 東 大・院理学	1pAK07 極大粒在来大豆の系統解析 丹羽康夫 ¹ ,佐藤光彦 ² ,磯部祥 子 ² ¹ 静岡農林環境専門職大・生 産環境経営, ² かずさ DNA 研・植物ゲノム	1pAL07 SaeM is the key: Decoding a decades long mystery behind synergid specific activation of MYB98 Adhikari P ^{1,2,3,4} , Zhu S ^{3,4} , Liu X ^{3,4} , Chen H ^{3,4} , Xie L ^{3,4} , Wu X ^{3,4} , He J ³ , Mitsuda N ⁵ , Peters B ⁶ , Brownfield L ⁶ , Nagawa S ^{3,4} , Kasahara R ^{1,3,4,7} *所属は 59 ページ欄外に記 載
15:55	1pAI08 スサビノリの光合成色素と タンパク質含量の栄養環境 応答 尾前優希 ¹ ,吉田和広 ¹ ,川村嘉 応 ¹ ,木村圭 ¹ ¹ 佐賀大・農	16:20-16:45 1pSJ06 アブラナ科水陸両生植物 <i>Rorippa aquatica</i> の茎生 葉表皮における新奇分裂組 織の形成と散布による栄養 繁殖 池松朱夏 ^{1,2} ,佐々木亜美 ¹ ,坂 本智昭 ^{1,2} ,木村成介 ^{1,2} ¹ 京産大・生命, ² 京産大・生 態進化発生学研究センター	1pAK08 国内産ミヤコグサにおける 地上部形質の種内多型と環 境適応 村田奈菜子 ¹ ,佐藤修正 ³ ,加藤 晃 ^{1,2} ,若林智美 ¹ ¹ 奈良先端大・バイオ, ² 奈良 先端大・DGI, ³ 東北大・院・ 生命	1pAL08 助細胞における花粉管誘引 シグナルの極性分泌ダイナ ミクスの解析 永原史織 ¹ ,丸山大輔 ² ,東山哲 也 ³ ,水多陽子 ^{1,4} ,武内秀憲 ^{1,4} ¹ 名大・ITbM, ² 横浜市大・木 原生研, ³ 東大・院・理, ⁴ 名 大・高等研
16:10	1pAI09 シロイヌナズナの葉緑体形 成における硫化水素による 光合成器官の制御 清水隆之 ¹ ,オスマン ズリナ ¹ ,増田建 ¹ ¹ 東大・院・総合文化		1pAK09 ミヤコグサ (<i>Lotus</i> <i>japonicus</i>) と <i>L. burttii</i> 間における花色分化に関す る研究 番場大 ¹ ,和久渉 ¹ ,佐藤修正 ¹ ¹ 東北大学・院・生命	1pAL09 二光子イメージングによる 一対一の花管誘引ダイナ ミクスと多花粉管拒否機構 の解析 水多陽子 ^{1,2} ,榎原大悟 ² ,永原 史織 ² ,金城行真 ^{2,4} ,長江拓 也 ³ ,栗原大輔 ^{1,2} ,東山哲也 ^{2,3} , 5 ¹ 名大・高等研, ² 名大・ ITbM, ³ 名大・院理・生命理 学, ⁴ 名大・院理・物理, ⁵ 東 大・院理・生物科学
16:25	1pAI10 葉緑体形成における酸性リ ン脂質 PG と酸性糖脂質 SQDG の関係 吉原晶子 ¹ ,小林啓子 ² ,永田典 子 ² ,小林康一 ¹ ¹ 大阪公立大・院理学, ² 日本女 子大・理学		1pAK10 RNA-seq 解析を用いたミ ヤコグサにおける GF14 遺 伝子の機能推定 藤井清矢 ¹ ,佐藤修正 ³ ,加藤 晃 ^{1,2} ,若林智美 ¹ ¹ 奈良先端大・バイオ, ² 奈良 先端大・DGI, ³ 東北大・院・ 生命	1pAL10 ラン科植物ネジバナとその 近縁種の単一受精の検証 福村薫 ¹ ,水上茜 ¹ ,中島耕大 ¹ , 鈴木孝征 ² ,東山哲也 ¹ ¹ 東大・院理, ² 中部大・院・ 応用生物
16:40	休憩		休憩	休憩

M 会場	N 会場	時間
発生・形態形成 3	発生・形態形成 4	15:15
休憩	休憩	
<p>1pAM06 NBRP トマト変異体リソースの中から見つけた地上部組織の形態変異コレクション</p> <p>杉本真一¹, 藤森陽子¹, 有泉亨¹, 江面浩¹ ¹筑波大・T-PIRC</p>	<p>1pAN06 維管束植物の成熟した根端分裂組織の輪郭は同じ形をしているか</p> <p>陸野里音¹, 藤原基洋², 藤浪理恵子³, 犬飼義明⁴, 郷達明⁵, 藤本仰一⁶</p> <p>¹大阪大・院理学, ²JT 生命誌研究館, ³京都教育大・理, ⁴名古屋大・農学国際教育研究センター, ⁵奈良先端科学技術大学・院・先端科学技術, ⁶広島大学 統合生命科学研究科</p>	15:25
<p>1pAM07 キクタニギクの自家和合性システムを利用した葉の形態多様性研究</p> <p>豊倉浩一¹, 藤田悠大¹, 中野道治², 小塚俊明^{1,3}, 有賀悠貴¹, 谷口研至¹, 草場信¹</p> <p>¹広島大・院統合生命, ²高知大・農海, ³金沢大・理工学・COI-NEXT</p>	<p>1pAN07 ストレス下での根冠組織パターンを制御する分泌型ペプチド RCP ファミリーの解析</p> <p>牧田禎子^{1,2}, 前田真吾^{1,2}, 打田直行¹</p> <p>¹名大・遺伝子, ²名大・院生命理学</p>	15:40
<p>1pAM08 <i>Crassothonna</i> 属 (キク科) の多肉葉に見られる細胞サイズの増加は核内倍化と関連する</p> <p>中山北斗¹, 澤崎賢斗², ドル有生¹, 古賀皓之¹, 森山安武¹, 塚谷裕一¹</p> <p>¹東大・院・理, ²東大・理</p>	<p>1pAN08 シロイヌナズナ根毛側面形成に関与する膜交通系の解明</p> <p>佐藤雅彦¹, 海老根一生², 上田實志², 檜垣匠³, 中山隆宏⁴, 紺野宏記⁴, 今村寿子⁵, 平野朋子¹</p> <p>¹京都府大・院生命環境, ²基生研・総研大, ³熊本大・先端科学, ⁴金沢大・ナノ生命研, ⁵九大・院医学</p>	15:55
<p>1pAM09 <i>Hygrophila difformis</i>, an ideal model for studies on heterophylly in aquatic plants</p> <p>Li G^{1,2}, Kimura S¹, Hou H²</p> <p>¹Kyoto Sangyo U., ²Inst Hydrobiology, CAS</p>	<p>1pAN09 シロイヌナズナの膜交通因子 SYP71 の表皮機能と器官成長における役割の解析</p> <p>永松利句¹, 田井聡美², 柿本辰男², 田中博和¹</p> <p>¹明治大・院・農, ²大阪大・院・理</p>	16:10
<p>1pAM10 SUBMERGENCE-INDUCED EPIDERMAL CELL CHLOROPLASTS DIFFERENTIATION IN RORIPPA AQUATICA</p> <p>Sidhiq D¹, Ikematsu S^{2,3}, Kimura S^{2,3}</p> <p>¹Grad. Sch. Life Sci., Kyoto Sangyo Univ., ²Fac. Life Sci., Kyoto Sangyo Univ., ³Center Plant Sci., Kyoto Sangyo Univ.</p>	<p>1pAN10 シロイヌナズナにおける Sec1/Munc18 タンパク質 VPS45 機能欠損変異体の解析</p> <p>荻田航佑¹, 深澤成実¹, 豊岡公德², 田中博和¹</p> <p>¹明治大・院農生命, ²理研・CSRS</p>	16:25
休憩	休憩	16:40

所属一覧

1pAL06

¹福建農林大学, ²東京大学大学院 理学研究科, ³名古屋大 生物機能開発利用研究センター, ⁴熊本大学, ⁵名古屋大学 ITbM

1pAL07

¹Nagoya U - Biosci Biotech Center, ²Huazhong Agricultural U- Key Laboratory Horticultural Plant Biology (Ministry Education), ³Fujian Agriculture Forestry U- College Life Sci, ⁴Fujian Agriculture Forestry U- HBMC, ⁵AIST- Bioproduction Res Inst, ⁶U Otago- Dept Biochem, Sch Biomedical Scis, ⁷Kumamoto U- IROAST

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
16:40	JPR International Symposium	シンポジウム	シンポジウム	環境応答 3
16:50	<p>Single-cell omics to uncover cell fate regulation in plant regeneration and development</p> <p>16:45-16:50 1pSA07 General discussion Gu N¹ ¹Sch. Eng., Utsunomiya Univ.</p>	<p>植物超個体の覚醒を司る分子・細胞・個体の連動</p> <p>16:50-17:00 1pSB08 最後に 丸山大輔¹ ¹横浜市大・木原生研</p> <p>共催：学術変革領域研究 (B) 「植物超個体の覚醒」「微生物が動く意味」</p>	<p>動的高次構造体“オルガネラ”の真の姿を捉える革新的アプローチ</p> <p>16:45-17:00 1pSC07 総合討論 吉田大和^{1,2} ¹東京大・院・理・生物科学,²JST・さきがけ</p> <p>共催：JST さきがけ「細胞の動的高次構造体」</p>	<p>休憩</p> <p>1pAD11 二つの <i>Marchantia polymorpha</i> 標準システムを用いた高浸透圧ストレス応答の解析 加藤大幹¹,加藤壮英¹, 加藤晃^{1,2} ¹奈良先端大・バイオ,²奈良先端大・DGI</p> <p>1pAD12 MYB52 and Brassinosteroid Interfere with Root Hydrotropism in Arabidopsis Mao B¹, Soga K², Fujii N¹ ¹Grad. Sch., Life Sci. Tohoku Univ.,²Grad. Sch. Sci., Osaka Metropolitan Univ.</p> <p>1pAD13 イネのジャスモン酸受容体 OsCOI2 の下流シグナル伝達の解明 稲垣秀生¹,湯本絵美²,高岡洋輔³,岡田憲典⁴,上田実^{3,5},宮本皓司¹ ¹帝京大院・理工,²帝京大・先端機器セ,³東北大院・理,⁴東大・農生科・AgTech,⁵東北大院・生命科学</p> <p>1pAD14 ジャスモン酸依存的および非依存的なトライコーム増加メカニズムの解析 田代美空¹,澤進一郎²,吉田祐樹² ¹熊大・院自然科学,²熊大・IRCAEB</p> <p>1pAD15 コケ植物における栄養環境に適応したストリゴラクトンの生産制御 依田彬義¹,児玉恭一¹,野村崇人²,経塚淳子¹ ¹東北大・生命科学,²宇都宮大・バイオ</p>
17:05				
17:20				
17:35				
17:50				

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	時間
環境応答 4	細胞骨格	細胞壁	代謝・物質生産・メタボローム	
休憩	休憩	休憩	休憩	16:40
<p>1pAE11 Overexpression of plasma membrane H⁺-ATPase effectively improves plant growth and yields Ding M¹, Satoru K¹, Yuki H¹, Toshinori K¹ ¹Nagoya U</p>	<p>1pAF11 MIDD1 凝集体による微小管脱重合機構の解析 浅野僚介¹, 佐々木武馬¹, 高谷彰吾¹, 小田祥久¹ ¹名古屋大・理・生命理学</p>	<p>1pAG11 小葉植物およびシダ植物における細胞壁クロスラメラ構造の保存性 高田直樹¹, 稲永路子² ¹森林総研・森林バイオ,² 森林総研・林育セ</p>	<p>1pAH11 ナンノクロロプシスにおける脂質関連遺伝子のゲノム編集 坪内俊介¹, 庄宇昊¹, 藤江誠¹ ¹広島大・院統合生命科学</p>	16:50
<p>1pAE12 林冠落葉樹落葉期から積雪期にかけての気温や光環境の季節変化に対する林床ササの光合成系の応答 島田康平¹, 岸本純子¹, 高林厚史¹, 田中亮一¹, 小野清美¹ ¹北大・低温研</p>	<p>1pAF12 道管の細胞壁形成を制御するROPエフェクターの解析 小林恒¹, 佐々木武馬¹, 小田祥久¹ ¹名古屋大・理・生命理学</p>	<p>1pAG12 イネのアルミニウム障害による細胞壁多糖類の変化 辰己朱¹, 寺本あゆみ¹, 長山照樹¹, 中村敦子¹, 古川純¹, 岩井宏暁¹ ¹筑波大・院・生命環境系</p>	<p>1pAH12 加速器質量分析を用いたクロレライオベースと食物連鎖を利用した¹⁴Cリバーstreiling 細川聡子¹, 井出洋子¹, 越智奈津子¹, 恵良田真由美¹, 豊川知華², 阿閉耕平², 鈴木健吾², 伊藤茂³, 加藤和浩³, 廣田正史³, 中村賢太郎³, 河野重行¹ ¹東京大・院新領域,²(株)ユーグレナ,³(株)パレオ・ラボ</p>	17:05
<p>1pAE13 葉の赤色化が低温光照射下における葉温と光化学系II量子収率に及ぼす影響; シロイヌナズナを用いた解析 酒井敦¹, 大森実佳¹, 中川愛菜¹ ¹奈良女子大・理・生物</p>	<p>1pAF13 道管の細胞壁パターンを制御する新規細胞骨格付随タンパク質の解析 三宅陽穂¹, 杉山友希^{1,2}, 佐々木武馬¹, 小田祥久¹ ¹名古屋大・理・生命理学,² 名古屋大・高等研究院</p>	<p>1pAG13 三点曲げ試験により明らかとなった力学的に最適なシロイヌナズナの茎の形状 浅岡真理子^{1,2}, Badel Eric³, Hartmann Felix³, Ferjani Ali⁴, 西谷和彦¹, Hamant Olivier² ¹神奈川大・理,²RDP, ENS de Lyon,³Univ. of Clermont Auvergne, INRAE, PIAF,⁴東京学芸大・教育・生命</p>	<p>1pAH13 甘果オウトウ果実における肥大期以降のメタボローム解析 井上雅貴^{1,2}, 小倉立己¹, 若山正隆^{1,3} ¹慶應大・先端生命研,²山形県農総研・園農研,³愛媛大・院・医農</p>	17:20
<p>1pAE14 SAL1-PAP レトログレードシグナルがトマトの環境ストレス応答に及ぼす影響の解析 木村晋之介¹, 宮部マルコス武志¹, 西井いずみ¹, 太治輝昭¹, 坂田洋一¹ ¹東京農大・院・バイオ</p>		<p>1pAG14 Chemical screening to identify graft promoting molecules in Fabaceae Luo Q¹, Shu X¹, Sato A², Kawakatsu Y³, Morinobe R¹, Jantean L¹, Son H¹, Kurotani K³, Notaguchi M³ ¹Grad. Sch. Bioagri. Sci., Univ. Nagoya, ²Inst ITbM., Univ. Nagoya, ³Biosci Biotech Center., Univ. Nagoya</p>	<p>1pAH14 GWAS および代謝解析から探るイネのシュウ酸蓄積機構 宮城敦子^{1,2}, 田中伸裕³, Matthew Shenton³, 江花薫子⁴, 大久保智司^{5,6}, 安達俊輔⁵, 大川泰一郎⁵, 川合真紀² ¹山形大・農,²埼玉大・院理工,³農研機構・作物,⁴農研機構・遺伝資源,⁵東京農工大・院農,⁶東北大・院生命</p>	17:35
<p>1pAE15 赤色光によるシロイヌナズナ花茎の発達への影響 工藤拓登¹, 中川繭¹ ¹石巻専修大・理工・生命科学</p>		<p>1pAG15 Study on VASCULAR-RELATED NAC-DOMAIN7 homologs in <i>Nicotiana benthamiana</i> during interfamily grafting Huang C^{1,2}, Kurotani K², Toyokura K³, Notaguchi M^{1,2} ¹Grad. Sch. Bio-agri Sci., Univ. Nagoya, ²Bio-sci. And Bio-tech Center, Univ. Nagoya, ³Lab. Plant Chromosome Gene Stock, Univ. Hiroshima</p>	<p>1pAH15 イネの開花に伴う穎花各器官の水溶性物質の経時的変化 若山正隆^{1,2}, 佐々木和浩³, 橋田庸一⁴, 小倉立己², 石丸努⁵ ¹慶應大・院・医農,²慶應大・先端生命研,³国際農研,⁴高崎健康福祉大・農,⁵農研機構</p>	17:50

時間	I 会場	J 会場	K 会場	L 会場
16:40	光合成	シンポジウム	分類・系統・進化 1	生殖 2
16:50	休憩	植物の多様な増殖 ～進化の過程で何が 起こった?～	休憩	休憩
16:50	1pAI11 連続切片-卓上走査型電子顕 微鏡法による C ₄ イネ科雑穀 シコクビエ葉身の光合成細 胞の三次元形態解析 大井崇生 ¹ ,前田芽依奈 ¹ ,谷口 光隆 ¹ ¹ 名古屋大・農	16:45-17:00 1pSJ07 おわりに 安居佑季子 ¹ ¹ 京都大・院・生命科学	1pAK11 日本のイブキノエンドウは 外来種ではなく自生種であ る 玉木一郎 ^{1,2} ,水野瑞夫 ³ ,大槻 達郎 ⁴ ,首藤光太郎 ⁵ ,田畑諒 一 ⁴ ,綱本良啓 ⁶ ,陶山佳久 ⁷ ,中 島優介 ⁸ ,久保直輝 ⁸ ,伊藤文 留 ⁸ ,野間直彦 ⁸ ,原田英美子 ⁸ *所属は 63 ページ欄外に記 載	1pAL11 ゼニゴケ精子に対する apigenin の作用 武部夏実 ¹ ,諏訪宏紀 ¹ ,山崎由 美子 ¹ ,森田瑞生 ¹ ,松川哲也 ² , 竹村美保 ³ ,荒木崇 ⁴ ,大和勝 幸 ² ,梶山慎一郎 ² ¹ 近畿大・院・生物理工, ² 近 畿大・生物理工, ³ 石川県立 大・生物資源工学研, ⁴ 京都大 院・生命科学
17:05	1pAI12 C ₄ 植物の細胞機能分化を支 えるオルガネラタンパク質 輸送機構を Electroporation 法によっ て可視化する 横江倫 ¹ ,中村琴乃 ¹ ,平島竜也 ¹ ,植田早紀 ¹ ,古本強 ¹ ¹ 龍谷大・農		1pAK12 NARO ジーンバンクの <i>Vigna</i> 属遺伝資源_アカササ ゲ (<i>Vigna vexillata</i>) につ いて 馬場 (笠井) 晶子 ¹ ,伊勢村 武久 ¹ ,友岡憲彦 ¹ ¹ 農研機構・遺伝資源センタ ー	1pAL12 ゼニゴケの精子走化性にお ける K ⁺ チャネルホモログ遺 伝子 MpBK1, MpBK2a, MpB K2b の機能解析 青木元汰 ¹ ,大和勝幸 ² ¹ 近畿大・院生物理工, ² 近畿 大・生物理工
17:20			1pAK13 フモトミズナラ (<i>Quercus mongolicoides</i>) の起源と カタストロフィック種分化 広木詔三 ¹ ¹ 名古屋大学・情報学研究科	1pAL13 ゼニゴケ (<i>Marchantia polymorpha</i>) の精子走化 性における EF-hand タン パク質遺伝子 MpCAPS の 機能解析 森田瑞生 ¹ ,大和勝幸 ² ¹ 近畿大・院生物理工, ² 近畿 大・生物理工
17:35			1pAK14 MIG-seq 法を用いたスミレ 科オオバキスミレ群の系統 解析 渡辺蒔 ¹ ,瀬戸口浩彰 ¹ ,いがり まさし ² ,堀江健二 ³ ,内藤健 ⁴ , 坪井勇人 ⁵ ,長澤耕樹 ¹ ,増田和 俊 ¹ ,渡辺洋一 ⁶ ,藤井紀行 ⁷ ,高 橋大樹 ⁸ ,矢原徹一 ⁹ ,沢和浩 ¹⁰ ,Andrey E. Kozhevnikov ¹¹ , Zoya V. Kozhevnikova ¹¹ , Hyoung-Tak Im ¹² , Su-Kil Jang ¹³ ,陶山佳久 ⁸ ,松尾歩 ⁸ ,廣 田峻 ¹⁴ ,石川直子 ¹⁴ ,阪口翔太 ¹ *所属は 63 ページ欄外に記 載	1pAL14 ヒメツリガネゴケの精子運 動における cAMP 合成・分 解酵素 CAPE の機能解析 鈴木優樹 ¹ ,堤帆乃香 ¹ ,山本千 愛 ¹ ,古谷朋之 ¹ ,高橋文雄 ² ,笠 原賢洋 ¹ ¹ 立命館大・院生命, ² 東邦 大・薬
17:50			1pAK15 東アジアにおける塩生植物 ハマサジの系統地理学的研 究 江田悠河 ¹ ,Choi Hyeok Jae ² , 阪口翔太 ¹ ,長澤耕樹 ¹ ,増田和 俊 ¹ ,黒田有寿茂 ³ ,陶山佳久 ⁴ , 廣田峻 ⁴ ,高橋大樹 ⁴ ,瀬戸口浩 彰 ¹ ¹ 京大・院・人環, ² 昌原大, ³ 兵県大・自然・環境科学研, ⁴ 東北大・農	1pAL15 ライブイメージングを用い たゼニゴケ受精卵の非対称 分裂を制御する仕組みの解 明 藤森茜 ¹ ,中村聡汰 ² ,岡村陽 介 ³ ,不全祐資 ² ,植田美那子 ² ¹ 東北大・理学, ² 東北大・院 生命科学, ³ 東海大・工学

M 会場	N 会場	時間
発生・形態形成 3	発生・形態形成 4	16:40
休憩	休憩	
<p>1pAM11 植物リボソームストレスシグナル伝達因子 SZK2 の細胞内局在性の解析</p> <p>岩瀬七子¹,五十嵐幹太¹,飛田祥吾¹,前川修吾²,塚谷裕一³,堀口吾朗^{1,4}</p> <p>¹立教大・理・生命理,²専修大・商,³東大・院・理,⁴立教大・理・生命理センター</p>	<p>1pAN11 植物の表皮細胞運命の決定と <i>ATML1</i> 遺伝子の活性抑制</p> <p>高田忍¹,吉田彩香¹,高田希¹,伊藤みはる¹,Mähönen Ari Pekka³,Jürgens Gerd²,飯田浩行³</p> <p>¹大阪大学・理学部・生物,²ZMBP, University of Tübingen,³Viikki Plant Science Centre, University of Helsinki</p>	16:50
<p>1pAM12 GTP 生合成の律速酵素 IMPDH の変異体で生じる植物リボソームストレス応答の解析</p> <p>前川修吾¹,西川幾音²,堀口吾朗^{2,3}</p> <p>¹専修大・商,²立教大・理・生命理,³立教大・理・生命理センター</p>	<p>1pAN12 シロイヌナズナにおけるリガンド-受容体を介した胚性再獲得機構の解明</p> <p>安藤奈央恵¹,大谷悠登¹,東山哲也²,栗原大輔^{3,4}</p> <p>¹名大・院理・生命理学,²東大・院理・生物科学,³名大・ITbM,⁴名大・高等研</p>	17:05
	<p>1pAN13 計算機モデルの構築を通して探る頂端幹細胞に駆動される 3 次元器官形成</p> <p>鎌本直也¹,藤本仰一¹</p> <p>¹広大・院統合生命科学</p>	17:20
	<p>1pAN14 Deciphering the Relationship Between Cell Division Patterns and Plant Organ Shapes</p> <p>Wang Z¹, Inoue Y², Mochizuki A³, Tsukaya H¹</p> <p>¹Grad. Sch Sci., Univ. Tokyo., ²Grad. Eng., Kyoto Univ., ³Inst. Front. Life Med. Sci., Kyoto Univ.</p>	17:35
	<p>1pAN15 螺旋葉序における黄金角優越の数学的根拠</p> <p>米倉崇晃¹,杉山宗隆¹</p> <p>¹東京大・院・理</p>	17:50

所属一覧

1pAK11

¹ 岐阜県立森林文化アカデミー,² 岐阜県森林研究所,³ 岐阜薬科大学,⁴ 滋賀県立琵琶湖博物館,⁵ 北海道大学総合博物館,⁶ 北海道立総合研究機構産業技術環境研究本部エネルギー環境地質研究所,⁷ 東北大学大学院農学研究科,⁸ 滋賀県立大学環境科学部

1pAK14

¹ 京大・院・人環,²MAPLART,³ 旭川市北邦野草園,⁴ 国立農研機構,⁵ 白馬五竜高山植物園,⁶ 千葉大・院・園芸,⁷ 熊大・院・先端科学,⁸ 東北大・院・農,⁹QOU,¹⁰ フロラ山形,¹¹FSC, Russia,¹²CNU, South Korea,¹³GWNU, South Korea,¹⁴ 大阪公立大・植物園

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	シンポジウム	シンポジウム	シンポジウム	環境応答 5
9:00	植物の発生・成長を支える極性形成の制御とその進化	シン・プラスチックド ~ 変幻自在な色素体が織りなす植物のドラマチック・ライフ~	異分野融合技術で挑む植物科学の革新	2aAD01 温度応答性をもつロングコイルドコイルタンパク質 PICC, PICL の複合体形成条件の検討 松本崇杜 ¹ , 中村有沙 ¹ , 豊田優理亜 ² , 西優菜 ² , 古本強 ^{1,2} ¹ 龍谷大・院・農学, ² 龍谷大・農学
9:15	9:00-9:05 2aSA00 はじめに 檜本悟史 ^{1,2} ¹ 北大・院理, ² 科学技術振興機構・さきがけ	9:00-9:05 2aSB00 はじめに 小林康一 ¹ ¹ 大阪公大・院理学	9:00-9:05 2aSC00 はじめに 奥田哲弘 ¹ ¹ 東京大学大学院理学系研究科	2aAD02 26°Cで矮性を示す新規シロイヌナズナ変異体の探索 舩元萌 ¹ , 松本崇杜 ¹ , 多嘉良涼 ¹ , 竹内鈴 ¹ , 古本強 ¹ ¹ 龍谷大・農
	9:05-9:35 2aSA01 上皮細胞のキラリティが駆動する組織変形 松野健治 ¹ ¹ 阪大・院理生物科学	9:05-9:30 2aSB01 オオムギの組織分化における色素体制御の解明に向けて 久野裕 ¹ ¹ 岡山天・植物研	9:05-9:35 2aSC01 マイクロ流路で顕在化する花粉管の潜在能力 佐藤良勝 ¹ ¹ 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所	2aAD03 高温時の「再矮性化」と GA 分解の関係 古本強 ¹ , 松本崇杜 ¹ , 高波寛太 ¹ , 中本友貴 ¹ ¹ 龍谷大・農
9:30	9:35-10:00 2aSA02 オーキシンと PIN は如何にして植物の体の形を決めるように進化してきたのか? 檜本悟史 ^{1,3} , 末満寛太 ² , 藤田知道 ¹ ¹ 北大・院理, ² 北大・院生命科学, ³ 科学技術振興機構・さきがけ	9:30-9:55 2aSB02 色素体ゲノムの自在制御を目指した技術開発 有村慎一 ¹ ¹ 東京大学・院農学生命科学	9:35-9:55 2aSC02 in vitro 実験系を基盤とした裸子植物ソテツの受精機構の解析 外山侑穂 ¹ , 奥田哲弘 ¹ , 鈴木孝征 ² , 吉田大和 ¹ , 東山哲也 ¹ ¹ 東京大・院・理, ² 中部大・応用生物	2aAD04 イネ種子の品質・発芽特性に対する高温登熟ストレスの影響とオートファジーの役割 花俣繁 ^{1,2,3} , 瀬良ゆり ² , 麻生将史 ³ , 栗須孝光 ⁴ , 三ツ井敏明 ³ , 柯津和幸 ² ¹ 神奈川大・理, ² 東京理科大・創域理工, ³ 新潟大・農, ⁴ 諏訪東京理科大・工
9:45				2aAD05 高温順化させたシロイヌナズナにおける P-body とヒートショックタンパク質の局在解析 西柚季 ¹ , 市川芽依 ² , 武井敬仁 ³ , 濱田隆宏 ^{1,2} ¹ 岡山理科大・院・理工, ² 岡山理科大・理, ³ 東京大・院・理
10:00	10:00-10:20 2aSA03 ヒメツリガネゴケの体制とアルギニン代謝の流れる方向性 川出健介 ¹ ¹ 埼玉大・院理工	9:55-10:20 2aSB03 膜脂質合成が引き起こす色素体の遺伝子発現変動 藤井祥 ¹ , 中村友輝 ² , 和田元 ³ , 小林康一 ⁴ ¹ 弘前大・農生, ² 理研・CSRS, ³ 東京大・院・総合文化, ⁴ 大工大・国際基幹教育機構	9:55-10:10 2aSC03 情報学 x 農学から見る AI ゲノムデコード; 果実成熟に関わる cis-trans ネットワークの解明 栗田恵理子 ¹ , 赤木剛士 ^{1,2} ¹ 岡山天・院環境生命科学, ² ST さきがけ	
	休憩 (10:20-10:30)	10:20-10:45 2aSB04 電子顕微鏡の大規模画像解析で見えてきた色素体の多彩で奇妙な形 永田典子 ¹ ¹ 日本女子大・理	10:10-10:25 2aSC04 情報学 x 農学から見る AI ゲノムデコード; Transformer の attention 技術による解釈可能性 松尾信之介 ¹ ¹ 九大・システム情報科学府	2aAD06 ニラの凍結耐性と低温馴化の農業利用 笠松勇登 ¹ , 河村幸男 ¹ ¹ 岩手大・院農植物生命
10:15			休憩 (10:25-10:35)	休憩
10:30				

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	時間
環境応答 6	生態 2	植物微生物相互作用	遺伝子発現制御・ゲノム・プロテオーム 2	9:00
2aAE01 Policy-driven dynamic changes in vegetation cover in typical river basin in northwest China Li X ^{1,3} , Nie Q ² , Tsuyuzaki S ³ ¹ Beijing Normal U, ² Chang'an U, ³ Hokkaido U	2aAF01 Spatio-temporal dynamics of coastal wetland vegetation in relation to large-scaled disturbances Akhtar N ¹ , Tsuyuzaki S ¹ ¹ Grad. Sch. Environ. Sci., Hokkaido Univ	2aAG01 アブナ科炭疽病応答機構における植物アクチン脱重合因子の機能解析 青木さくら ¹ , 梅田正明 ² , 稲田のりこ ¹ ¹ 天阪公立大・農, ² 奈良先端大・先端科学	2aAH01 植物の栄養依存的成長制御における U5 snRNP サブユニット Dim1 ホモログの役割 石橋鴻大 ¹ , 荒江星拓 ¹ , 吉積毅 ² , 栗原志天 ^{2,3} , 黒森崇 ² , 松井南 ² , 大谷美沙都 ^{1,2} ¹ 東京大・院・新領域, ² 理研・CSRS, ³ 東京大・院・総合文化	9:00
2aAE02 演題取り消し	2aAF02 カニの存在がマングローブ植物および干潟砂泥に及ぼす影響について 阿山真唯 ¹ ¹ 奈良女子大・院生物科学	2aAG02 高湿度における植物と病原細菌のアブシシン酸をめぐる攻防 安田盛貴 ¹ , 平瀬大志 ¹ , 石崎遼 ¹ , 鈴木隆可 ² , 篠澤章久 ^{3,4} , 西山奏介 ¹ , 四井いづみ ³ , 豊田正嗣 ² , 西條雄介 ¹ ¹ 奈良先端大・バイオ, ² 埼玉大・院・理工, ³ 東京農大・バイオ, ⁴ 東京農大・生物資源ゲノムセンター	2aAH02 細胞増殖・分化能を制御する pre-mRNA スプライシング制御とサイトカニン応答の相互作用 竹内亜美 ¹ , 永宮研二 ² , 池田拓之 ² , 大林祝 ³ , 杉山宗隆 ² , 大谷美沙都 ^{1,4,5} ¹ 東大・院・新領域, ² 東大・院・理, ³ 成功大・生命科学, ⁴ 奈良先端大・バイオ, ⁵ 理研・CSRS	9:15
2aAE03 RNA-seq によるミヤコグサの開花に必要な限界日長と栄養成長量に関わる遺伝子の探索 上野貴史 ¹ , 佐藤修正 ² , 加藤晃 ^{1,3} , 若林智美 ¹ ¹ 奈良先端大・バイオ, ² 東北大・院・生命, ³ 奈良先端大・DGI	2aAF03 北海道沿岸で大規模赤潮を引き起こした <i>Karenia selliformis</i> の増殖は特定のバクテリアによって促進される 鈴木重勝 ¹ , Noël Mary-Hélène ¹ , 岩滝光霞 ² , 恒松雄太 ³ , 藤田雅紀 ⁴ , 伊佐田智規 ⁵ , 山口晴代 ¹ , 東博紀 ¹ , 越川海 ¹ , 河地正伸 ¹ ¹ 国立環境研究所, ² 東京大・農学生命科学研究科, ³ 名古屋大・生命農学研究科, ⁴ 北大・水産科学研究院, ⁵ 北大・FSC 厚岸臨海実験所	2aAG03 イネ免疫制御 OsPep ペプチドを介したイネ共生細菌感染制御 井上加奈子 ¹ , 永易将弘 ¹ , 木戸将太 ¹ , 前田英史 ² , 藤雅子 ¹ , 西條雄介 ¹ ¹ 奈良先端大・バイオサイエンス, ² 龍大・先端理工	2aAH03 pre-mRNA スプライシング制御を介した光合成活性による側根形態制御 高柳なつ ¹ , 荒江星拓 ¹ , 清水隆太 ² , 相田光宏 ³ , 深城英弘 ⁴ , 増田建 ² , 大谷美沙都 ^{1,5,6} ¹ 東大・院・新領域, ² 東大・院・総合文化, ³ 熊本大・院・先端科学, ⁴ 神戸大・院・理, ⁵ 奈良先端大・バイオ, ⁶ 理研・CSRS	9:30
2aAE04 ミヤコグサ FT の過剰発現による就眠運動および関連遺伝子の発現解析 渡辺麻耶 ¹ , 辻七海 ¹ , 神澤信行 ¹ ¹ 上智大・院理工学	2aAF04 里山に生育する希少種シドキヤマアザミの発芽・生長・光合成特性 石川真一 ¹ , 綿屋奎柱 ² , 赤上裕章 ³ ¹ 群馬大・情報学部, ² 東洋水産株式会社, ³ 足利銀行	2aAG04 共生細菌 <i>Pseudomonas paralactis</i> による気孔開口と植物の生育促進の関係性について 平田梨佳子 ¹ , 高木桃子 ² , Yuniar Devi Utami ³ , 晝間敬 ³ , 戸田陽介 ^{2,4} , 峯彰 ¹ ¹ 京大・農, ² 名大・ITbM, ³ 東大・院総合, ⁴ フィットメトリクス(株)	2aAH04 ゼニゴケの発生における推定 RNA メチル化酵素の機能解析 古水千尋 ¹ , 澤進一郎 ² ¹ 広島大・N-BARD, ² 熊本大・院先端科学	9:45
2aAE05 海洋性シアノバクテリアの概日時計タンパク質 KaiB と KaiC の発現解析 香名伸介 ¹ ¹ 横浜市大・院生命環境	2aAF05 モウセンゴケ属の花閉鎖運動の種内・種間変異：食べられやすい花は速く閉じるか？ 田川一希 ¹ , 大崎遙花 ² , 渡邊幹男 ³ ¹ 宮崎国際大・教育, ² 京都大・農, ³ 愛知教育大・生物	2aAG05 シロイヌナズナのリン枯渇応答制御因子による微生物感染制御 石原大雅 ^{1,2} , 岡田健太郎 ¹ , 只井遥菜 ¹ , 千種亮 ¹ , Yuniar Devi Utami ¹ , 篠崎一雄 ² , 藤田美紀 ² , 林哲也 ³ , Salvatore Cosentino ⁴ , 岩崎涉 ⁴ , 晝間敬 ¹ , 安田盛貴 ¹ , 西條雄介 ¹ ¹ 奈良先端大・バイオ, ² 理研・環境資源科学研究センター, ³ 九州大・医学, ⁴ 東大・新領域創成科学	2aAH05 ダイズ種皮における黒色領域特異的な 2 本鎖 RNA 切断酵素活性の低下とポリフェノールの蓄積 山梨里歩 ¹ , 栗山和典 ¹ , 田原緑 ² , 森山裕充 ¹ , 福原敏行 ¹ ¹ 農工大・連合農学研究科, ² 立命大・R-GIRO	10:00
2aAE06 植物の概日時計とリン酸リレ一系の機能的関係について 青木根之 ¹ , 松尾拓哉 ² , 山篠貴史 ³ , 杉田護 ¹ , 崔鶴宇 ¹ , 地宗克洋 ¹ , 羅嘉傑 ¹ , 菅沼裕紀奈 ¹ , 田内和久ラザルス ¹ ¹ 名古屋大・院情報学, ² 北里大・院理学, ³ 名古屋大・院生命科学	2aAF06 ヒマラヤスギ周囲におけるコケ植物の選択的な生育について～生育の可否を決める要因の検討～ 柳井千花 ¹ , 酒井敦 ¹ ¹ 奈良女子大・院生物科学	2aAG06 イネ細胞質型グルタミン合成酵素 1;2 (OsGS1;2) が根の微生物群集に与える影響の解析 小澤元 ¹ , 番場大 ¹ , 橋本駿 ¹ , 佐藤修正 ¹ , 小島創一 ² ¹ 東北大・院生命, ² 東北大・院農学	2aAH06 <i>Nicotiana benthamiana</i> における <i>rdr6</i> ゲノム編集植物の表現型解析 上田颯一 ¹ , 渡邊瑞輝 ¹ , 谷口耀子 ¹ , 元村一基 ¹ , 田原緑 ² , 竹田篤史 ¹ ¹ 立命館大・院生命, ² 立命館大・R-GIRO	10:15
休憩	休憩	休憩	休憩	10:30

時間	I 会場	J 会場	K 会場	L 会場
	シンポジウム	シンポジウム	分類・系統・進化 2	細胞増殖・分化
9:00	脂質が旗振る植物の生命現象	いまストレプト藻類が熱い:多様なストレプト藻類から陸上植物をみる	2aAK01 モウセンゴケとその近縁種の細胞遺伝学的分化に関する研究 加藤木高広 ^{1,3} ,星良和 ^{1,2} ,白河潤一 ⁴ ¹ 東海大・院生物学, ² 東海大・農学, ³ 東海大・総農研, ⁴ 高知県立牧野植物園	2aAL01 SUMO E3 ligase HPY2 による植物細胞の細胞周期制御機構の解析 吉村美香 ¹ ,諫山友哉 ² ,石田喬志 ¹ ¹ 熊本大・先端科学, ² 熊本大・自然科学
9:15	9:00-9:10 2aSI00 はじめに 神保晴彦 ¹ ¹ 東京大学大学院総合文化研究科	9:00-9:05 2aSJ00 はじめに 西山智明 ¹ ¹ 金沢大学・疾患モデル	2aAK02 ウツボカズラは 10 倍体:高次倍数体における負けるが勝ちのサブゲノム進化 福島健児 ¹ ¹ ヴェルツブルク大	2aAL02 気孔前駆細胞特異的な TCX ファミリータンパク質による転写制御機構と細胞分裂における役割 峯田敬斗 ¹ ,岩川秀和 ² ,野本友司 ² ,西内巧 ³ ,鈴木孝征 ⁴ ,伊藤正樹 ² *所属は 67 ページ欄外に記載
9:30	9:10-9:35 2aSI01 光合成における脂質のダイナミクス 神保晴彦 ¹ ,和田元 ¹ ¹ 東京大学大学院総合文化研究科	9:05-9:30 2aSJ01 ストレプト植物 10 億年の進化:多様性とゲノム 西山智明 ¹ ¹ 金沢大学・疾患モデル	2aAK03 日本と韓国で確認されたヤブコウジとツルコウジの雑種オオツルコウジ 國府方吾郎 ¹ ,柿嶋聡 ² ,伊東拓朗 ³ ,Park Chan-ho ⁴ ,阿部篤志 ⁵ ,石井千賀子 ¹ ,Song Gwan-Pil ⁶ ¹ 科博・植物, ² 昭和大・富士山研, ³ 東北大・植物園, ⁴ NIBR, ⁵ 沖縄美ら島総合研究センター, ⁶ Jeju Environ. Res. Inst.	2aAL03 植物サイズと核内 DNA 倍加制御におけるアクチン脱重合因子の機能解析 酒井彩紀子 ¹ ,稲田のりこ ¹ ¹ 大阪公立大 院 農学
9:45	9:35-10:00 2aSI02 膜交通のハブ TGN における積荷の仕分けと脂質の関わり 伊藤容子 ¹ ¹ お茶大・ヒューマンライフ	9:30-9:55 2aSJ02 クレブソルミEDIUMのオーキシン応答と乾燥ストレス応答,陸上植物との共通と相違 堀孝一 ¹ ,唐司典明 ¹ ,瀬底かなみ ¹ ,三木健 ¹ ,下嶋美恵 ¹ ,太田啓之 ^{1,2} ¹ 東工大・生命, ² (株) ファイトリビッド・テクノロジー	2aAK04 栄養繁殖とアポミクシスで殖えるクローナル低木ヤブコウジの空間遺伝構造 南淳 ¹ ,中村悠香 ¹ ,菅原颯人 ¹ ,西村泰介 ² ¹ 鶴岡高専, ² 長岡技科大・物質生物工学	2aAL04 植物シュート再生における mRNA 安定制御の役割の解明 高橋璃多 ¹ ,荒江星拓 ¹ ,大谷美沙都 ¹ ¹ 東京大・院・新領域
10:00	10:00-10:30 2aSI03 リポミクスでひも解く植物スフィンゴ脂質の代謝と機能 石川寿樹 ¹ ¹ 埼玉大・院・理工	9:55-10:20 2aSJ03 ストレプト藻類研究の魅力:シャジクモ,アオミドリを中心に 坂山英俊 ¹ ,池谷仁里 ¹ ,西山智明 ² ¹ 神戸大・院・理, ² 金沢大・疾患モデル	2aAK05 トレニア属ウリクサの野生集団を用いた受粉後生殖隔離の解析と分類学的再検討 八廣遥斗 ¹ ,奥田哲弘 ¹ ,東山哲也 ¹ ¹ 東大・院・理	2aAL05 側根形成に異常を示すシロイヌナズナ <i>lbd</i> 多重変異体を用いたカルス形成・シュート再生機構の解析 和田昂己 ¹ ,間宮章仁 ¹ ,郷達明 ² ,近藤侑貴 ¹ ,石崎公庸 ¹ ,深城英弘 ¹ ¹ 神戸大・院・理, ² 奈良先端大・バイオサイエンス
10:15		休憩 (10:20-10:30)	2aAK06 西日本に産する広義ヤブハハコ(キク科ヤマハハコ属)の遺伝的分化 片岡利文 ¹ ,米岡克啓 ¹ ,藤原泰央 ² ,廣田峻 ³ ,陶山佳久 ⁴ ,矢原徹一 ⁵ ,村上哲明 ¹ ¹ 都立大・牧野, ² 科博・分子セ, ³ 大阪公大, ⁴ 東北大・農, ⁵ 九州オーブンユニバーシティ	2aAL06 サイトカニン形成層幹細胞の活性化シグナルとして機能する 島津舜治 ^{1,2} ,森秀世 ¹ ,Alif Meem Nurani ¹ ,山田一貴 ³ ,柴田恭美 ³ ,古谷朋之 ⁴ ,伊藤(大橋)恭子 ¹ ,石崎公庸 ² ,深城英弘 ² ,朝比奈雅志 ^{3,5} ,稲垣宗一 ¹ ,角谷徹仁 ¹ ,福田裕穂 ⁶ ,近藤侑貴 ² ¹ 東大・院・理, ² 神戸大・院・理, ³ 帝京大・理工・バイオ, ⁴ 立命館大・生命, ⁵ 帝京大・先端機器分析センター, ⁶ 秋田県立大
10:30			休憩	休憩

M 会場	N 会場	時間
細胞小器官 2	発生・形態形成 5	
2aAM01 シロイヌナズナ小胞体膜タンパク質複合体 EMC の機能解析 小出真也 ¹ , 田村謙太郎 ¹ ¹ 静岡県・食品栄養科学	2aAN01 植物の再生過程に関わるクロマチンリモデリング因子の機能解明 堀江綾香 ¹ , 坂本卓也 ² , 佐藤輝 ¹ , 乾弥生 ¹ , Slane Daniel ¹ , Diaz Mariana ³ , 鈴木穰 ⁴ , 松永幸大 ¹ ¹ 東大・院・新領域・先端生命, ² 神奈川大・理学・理学, ³ チューリッヒ大・植物微生物, ⁴ 東大・院・新領域・メディカル情報生命	9:00
2aAM02 シロイヌナズナ VAMP714 の機能解析 江口倫子 ¹ , 遠藤彩瑛 ¹ , 伊藤瑛海 ² , 中野明彦 ³ , 植村知博 ¹ ¹ お茶の水女子大・院・ライフサイエンス, ² お茶の水女子大・ヒューマンライフ, ³ 理研・光量子工学	2aAN02 植物のシュート再生能力獲得に 関与するヒストンメチル化酵素の機能解析 右橋雅子 ¹ , 坂本卓也 ² , 佐藤輝 ¹ , 天矢恵代 ³ , 稲垣宗一 ³ , 鈴木穰 ⁴ , 角谷徹仁 ³ , 松永幸大 ¹ ¹ 東大・院・新領域・先端生命, ² 神奈川大・理・理, ³ 東大・院・理・生物, ⁴ 東大・院・新領域・メディカル情報	9:15
2aAM03 花粉管伸長における VAMP72 グループの動態解析 東出あんな ¹ , 伊藤瑛海 ² , 伊藤容子 ² , 海老根一生 ^{3,4} , 上田貴志 ^{3,4} , 中野明彦 ⁵ , 植村知博 ¹ ¹ お茶大・院・ライフサイエンス, ² お茶大・ヒューマンライフ, ³ 基生研・細胞動態, ⁴ 総研大・基礎生物, ⁵ 理研・光量子工学	2aAN03 エピジェネティック・プライミング複合体の同定と解析 半田和華 ¹ , 佐藤輝 ¹ , 坂本卓也 ² , 松永幸大 ¹ ¹ 東大・新領域・先端生命, ² 神奈川大・理・理	9:30
2aAM04 シロイヌナズナ SYLK (Syntaxin 6-like protein in vascular plant) の機能解析 東出さら ¹ , 伊藤瑛海 ² , 伊藤容子 ² , 清水優太郎 ³ , 晝間敬 ⁴ , 中野明彦 ³ , 植村知博 ¹ ¹ お茶大・院・ライフサイエンス, ² お茶大・ヒューマンライフ, ³ 理系・光量子工学, ⁴ 東大・院・総合文化	2aAN04 ASHH2 における植物再生能獲得に 関与するエピジェネティックな制御機構の解析 吉田夏菜 ¹ , 坂本卓也 ² , 佐藤輝 ¹ , 勝山雄喜 ³ , 乾弥生 ¹ , 松永幸大 ¹ ¹ 東大・院・新領域・先端生命, ² 神奈川大・理・理, ³ 東理大・理工・応生	9:45
2aAM05 Mechanism of membrane protein recycling from the vacuolar membrane Feng Y ¹ , Ebine K ^{1,2} , Fujimoto M ³ , Ueda T ^{1,2} ¹ Natl Inst Basic Biol, ² Sch Life Sci, SOKENDAI, ³ Grad Sch Agricultural Life Scis, U Tokyo	2aAN05 ペチュニア覆輪形成における、 エピジェネティックな制御 東克己 ¹ , 門脇正和 ¹ , 浅岡孝太 ¹ ¹ 帝京科学大・生命環境	10:00
2aAM06 唯一のオートファジー関連膜タンパク質 ATG9 の局在解析 只木亮哉 ¹ , 黒崎智史 ¹ , 井上和也 ¹ , 篠崎天樹 ^{1,2} , 吉本光希 ¹ ¹ 明治大・院・農・生命科学, ² 明治大・研究知財	2aAN06 ガンマ線照射によるシュート再生能力向上のメカニズム解析 橋正隆平 ¹ , 佐藤輝 ¹ , 坂本卓也 ² , 坂本勇貴 ⁴ , 鈴木孝征 ³ , 湯本絵美 ⁶ , 朝比奈雅志 ⁵ , 松永幸大 ¹ ¹ 東大・新領域・先端生命, ² 神奈川大学・理・理, ³ 中部大・院・応用生物, ⁴ 大阪大・理学・生物科学, ⁵ 帝京大・理工・バイオ, ⁶ 帝京大・先端機器分析センター	10:15
休憩	休憩	10:30

所属一覧

2aAL02

¹金沢大・院・自然科学・自然システム,²金沢大・理工・生命理工,³金沢大・疾患モデル総合研究センター,⁴中部大・院・応用生物

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	シンポジウム	シンポジウム	シンポジウム	環境応答 5
10:30				休憩
10:40	<p>植物の発生・成長を支える極性形成の制御とその進化</p>	<p>シン・プラスチド ～変幻自在な色素体が織りなす植物のドラマチック・ライフ～</p>	<p>異分野融合技術で挑む植物科学の革新</p>	<p>2aAD07 ブルーベリーの低温馴化と凍結耐性 小原晶¹ ¹岩手大学生命適応機能研究室</p>
10:55	<p>10:30-10:55 2aSA04 環境シグナルを細胞極性へ変換する分子機構の解明に向けて 西村岳志¹, 四方明格¹, 森田(寺尾)美代¹ ¹基生研</p> <p>10:55-11:15 2aSA05 単子葉植物の発生から考える多細胞生物の極性獲得機構 木下温子¹, 岡本龍史¹ ¹都立大・院理</p>	<p>10:45-11:10 2aSB05 病原菌による色素体の破壊とリモート農奴化 八丈野孝¹ ¹愛媛大院・農学</p> <p>11:10-11:35 2aSB06 色素体の働き方改革 ～光合成は葉の専売特許ではない～ 小林康一¹ ¹大阪公大・院理学</p>	<p>10:35-11:05 2aSC05 クライオ電子顕微鏡法とAlphaFold によってひかれた構造生物学 志甫谷涉¹, 瀧木理¹ ¹東大・院理生物</p> <p>11:05-11:45 2aSC06 集団ゲノム解析から見たヤマノイモ属作物の起源と進化 寺内良平¹ ¹京都大学・農学研究科</p>	<p>2aAD08 樹木細胞の凍結挙動と氷核活性との関連性について 筒井路実¹, 古賀泰雅¹, 重富顕吾², 鈴木伸吾³, 佐野雄三², 荒川圭太² ¹北大・院農学,²北大・院農学研究院,³北大・院歯学院</p>
11:10	<p>11:15-11:35 2aSA06 節足動物の体軸形成の多様化の進化過程を探る理論研究 藤原基洋¹, 秋山-小田康子^{1,2}, 小田広樹^{1,4} ¹IT 生命誌研究館,²ST・さきがけ,³大阪医科薬科大・医学,⁴大阪大・院・理学</p>			<p>2aAD09 低温ストレス耐性における活性酸素および鉄栄養の影響 竹内航¹, 落合久美子¹, 小林優¹, 黒田浩一², 伊福健太郎¹ ¹京大院・農,²京工繊大院・工芸科学</p>
11:25	<p>11:35-11:55 2aSA07 刺胞動物の器官配置に現れる対称性の多型 Sarper Safiye¹, Nakanishi Tamami¹, Kitazawa Miho³, Kuratani Shigeru¹, Fujimoto Koichi² ¹理化学研究所,²広島大・院統合生命科学,³大阪大・全学教育推進機構</p>	<p>11:35-12:00 2aSB07 色素体ゲノムを縮退・喪失させた植物のドラマチック・ライフ 末次健司¹ ¹神戸大・院・理</p>		<p>2aAD10 温度応答性遺伝子 TTP は広範な温度応答に関与する 清水華子¹, 守屋健太¹, 工藤洋¹ ¹京大・生態研</p>
11:40			<p>11:45-11:50 2aSC07 おわりに 佐藤良勝¹ ¹名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所</p>	<p>2aAD11 シロイヌナズナの環境ストレス耐性におけるミトコンドリア RNA 編集の役割 澤井里歩¹, 三沢昂輝¹, 旭文暉¹, 竹中瑞樹², 四井いづみ¹, 太治輝昭¹, 坂田洋一¹ ¹東京農大・院バイオ,²京大・院理学</p>
11:55	<p>11:55-12:00 2aSA08 おわりに 北沢美帆¹ ¹大阪大学全学教育推進機構</p> <p>共催：植物形態学会</p>	<p>共催：学術変革領域研究(B)「プラスチド相転換ダイナミクス」</p>	<p>共催：学術変革領域研究(A)「植物の挑戦的な繁殖適応戦略を駆動する両性花とその可塑性を支えるゲノム動態」</p>	<p>2aAD12 シロイヌナズナ高湿度応答のレポーター系構築および遺伝学的解析 上田菓子¹, 安田盛貴¹, 篠澤章久^{2,3}, 四井いづみ², 西條雄介¹ ¹奈良先端大・バイオ,²東京農大・バイオ,³東京農大・生物資源ゲノムセンター</p>
	ダイバーシティ推進 ランチョンセミナー			

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	時間
環境応答 6	生態 2	植物微生物相互作用	遺伝子発現制御・ゲノム・プロテオーム 2	10:30
休憩	休憩	休憩	休憩	
<p>2aAE07 転写因子 FBH4 によるシロイヌナズナの窒素欠乏条件下での花成誘導と代謝制御機構 眞木美帆^{1,2}, Giang Van Quoc², 甲尾果菜⁴, 久保晃生³, 稲垣宗一⁵, 高木純平¹, 佐藤長緒¹ ¹北大院・理,²北大・創成,³北大院・生命,⁴北大・理,⁵東大・理</p>	<p>2aAF07 蟻酸をもたない蟻擬態花一不完全な擬態の生態学的機能を解く 望月昂¹ ¹東大・植物園</p>	<p>2aAG07 植物マイクロバイオータによる傷害応答シグナル伝達の干渉 島崎智久^{1,2}, 大熊直², 能勢結衣², 熊石妃恵², 庄司翼^{3,4}, 矢崎一史⁵, 杉山暁史⁵, 市橋泰範² ¹北大・院理,²理研・BRC,³富山大学和漢医薬学双魚研究所・資源科学領域,⁴理研・CSRS,⁵京大・生存研</p>	<p>2aAH07 <i>nbago2</i>ゲノム編集植物における red clover necrotic mosaic virus の感染性に関する研究 大橋卓¹, 上四元晴香¹, 元村一基¹, 田原緑², 竹田篤史¹ ¹立命館大・院生命,²立命館大・R-GIRO</p>	10:40
<p>2aAE08 野外に生育するハクサンハタザオの光応答の季節性 長谷あきら¹, 伊東杏花里², 杉坂次郎², 本庄三恵³, 工藤洋³ ¹京大,²京大・院理,³京大・生態研</p>	<p>2aAF08 縄文文化のニワトコ果実利用に関する実験考古植物学的研究 平岡和¹, 那須浩郎² ¹北海道大・文学院,²岡山理科大学・基盤教育センター</p>	<p>2aAG08 農業や肥料散布による葉面常在菌叢の多様性の変化 宮田ひとみ¹, 山田奈穂², 倉橋健介³, 大江真道⁴, 松尾裕次³, 徳本勇人¹ ¹阪公大・院理,²阪公大・理,³大阪公立大高専,⁴阪公大・院農,⁵阪公大・教育研究フィールド</p>	<p>2aAH08 非 AUG 開始型上流 ORF と RNA 二次構造による翻訳制御を介したポリアミン合成のフィードバック機構 平郡雄太¹, 安室美陽², 狩野泰平¹, 海藤篤¹, 山下由衣¹, 内藤哲¹, 尾之内均¹ ¹北大・院農,²北大・農</p>	10:55
<p>2aAE09 大規模トランスクリプトームから見た野外環境下におけるバンコムギの季節性遺伝子発現 爲重才寛^{1,2}, 孫建強³, 秋山玲子⁴, 杉坂次郎⁵, 神谷容子¹, 永野惇^{6,7}, 清水(稲継)理恵⁴, 瀬々潤⁸, 清水健太郎^{1,4} ¹横市大・木原生研,²奈良先端大・バイオ,³農研機構 RCAIT,⁴チューリッヒ大・進化環境,⁵京大・生態研,⁶龍谷大・農,⁷慶応大・先端生命,⁸ヒューマノーム研究所</p>	<p>2aAF09 Effects of Disturbances on Mangrove Forest Ecosystem NABILA I¹, Tsuyuzaki S¹ ¹Grad. Sch. of Env. Sci., Hokkaido U</p>	<p>2aAG09 コナギ(ミズアオイ科)の訪花昆虫と種子の微生物相比較による種子内微生物の感染経路の検討 館林融¹, 横山潤² ¹山形大・院・理工学,²山形大・理</p>	<p>2aAH09 シロイヌナズナ幼苗が初めて青色単色光を受容した時の翻訳変化についての解析 栗原志夫^{1,2}, 赤木千佳^{2,3}, 蒔田由布子^{2,4}, 河内正治², 柘植知彦³, 青山卓史³, 松井南^{2,5} ¹東京大・総合文化,²理研・環境資源,³京大・化学研究所,⁴前橋工科大,⁵横浜市立大・木原生物学研究所</p>	11:10
<p>2aAE10 クローン繁殖による継代株の環境応答性の解析 荒木希和子¹, 西尾治幾², 金岡雅浩³, 工藤洋⁴ ¹滋賀県大・環境科学,²滋賀大・DSセ,³県立広島大・生物資源,⁴京大・生態研</p>		<p>2aAG10 植物寄生性線虫の根こぶ形成における鍵遺伝子候補の分子遺伝学的解析 三坂愛鈴¹, 神野奈穂¹, 澤進一郎² ¹熊本大・院自然科学,²熊本大・生物環境農学国際研究センター</p>	<p>若手奨励賞受賞講演 11:25-11:55 2aAH-AL1 RNA 干渉の鍵酵素ダイセータンパク質の生化学的解析 田原緑¹ ¹立命館大・R-GIRO</p>	11:25
<p>2aAE11 開放系オゾン付加施設でのヤマナラシ属二種の病虫害と成長の関係—オゾン・パラドックスの視点から— 小池孝良¹, 増井昇², 渡邊陽子¹, 渡部敏裕¹ ¹北海道大学農学研究院,²静岡県立大学食品科学部</p>		<p>2aAG11 寄生植物コシオガマの寄生特異的な無機養分獲得経路の解析 徳本勇闘¹, 稲葉尚子¹, 反田直之², 吉田聡子¹ ¹奈良先端大・バイオ,²東京大・院農学生命</p>		11:40
<p>2aAE12 葉の老化調節の冬季における停止 工藤洋¹, 湯本原樹¹, 西尾治幾^{2,3}, 村中智明^{1,3}, 杉坂次郎¹, 本庄三恵¹ ¹京大・生態研,²滋賀大・DS AI センター,³名古屋大・生命農学</p>		<p>2aAG12 珪藻 <i>Chaetoceros tenuissimus</i> 感染ウイルスに付随する DNA 因子のゲノム構造特性の理解 中島菜々子¹ ¹佐賀大・農学</p>		11:55

時間	I 会場	J 会場	K 会場	L 会場
10:30	シンポジウム	シンポジウム	分類・系統・進化2	細胞増殖・分化
10:40	脂質が旗振る植物の生命現象	いまストレプト藻類が熱い:多様なストレプト藻類から陸上植物をみる	休憩	休憩
10:55	10:30-10:55 2aSI04 脂質-転写因子複合体による植物の発生制御 永田賢司 ¹ ¹ 東大・院総合文化	10:30-10:55 2aSJ04 鞭毛形成起点である基底小体の因子と雄性配偶子形成 越水静 ¹ ¹ 遺伝学・生命ネットワーク	2aAK07 日本産野生フキ (<i>Petasites japonicus</i>) の種内分類群の形態形質と地理的分布の研究 橋本環 ¹ ,井上侑哉 ² ,坪田博美 ³ ,山口富美夫 ³ ,嶋村正樹 ³ ¹ 広島大学・院理 ² 科博・植物研究部, ³ 広島大学・院統合生命	2aAL07 植物成長の自動監視のための深層学習に基づく根の長さ自動測定ツールの開発 王成 ¹ ,鶴飼優子 ³ ,林雄一郎 ¹ ,小田昌宏 ^{1,2} ,佐藤良勝 ³ ,森健策 ¹ *所属は71ページ欄外に記載
11:10	10:55-11:25 2aSI05 気孔細胞が特殊な脂質代謝を発達させている意義について 衞宜淳太郎 ¹ ¹ 九州大・院・理	10:55-11:20 2aSJ05 ヒメミカツキモのゲノム解読と緑色植物特異的転写因子RWP-RKの機能 関本弘之 ¹ ¹ 日本女子大・理	2aAK08 日本列島における超塩基性岩型アキノキリンソウの進化過程の解明 高添清登 ¹ ,瀬戸口浩彰 ¹ ,永野淳 ² ,石川直子 ³ ,堀江健二 ⁴ ,伊藤元己 ⁵ ,阪口翔太 ¹ ¹ 京大・院・人環, ² 龍谷大・農,慶應義塾大・先端生命科学, ³ 大阪公立大・植物園, ⁴ 旭川市北邦野草園, ⁵ 東大・総合文化	2aAL08 タバコ培養細胞 BY-2 に対する高濃度の生理活性物質投与によって誘導されるプログラム細胞死 中島春果 ¹ ¹ 奈良女子大・院生物科学
11:25	11:25-11:55 2aSI06 時空間で捉える植物リン脂質のダイナミックな変動とその機能 中村友輝 ^{1,2} ¹ 理研・CSRS, ² 東大・院理	11:20-11:45 2aSJ06 古くて新しい細胞伸長・細胞分裂の研究材料としての接合藻 村田隆 ¹ ¹ 神奈川工科大・応用バイオ	2aAK09 Comprehensive phylogenomics of the woody <i>Sonchus</i> alliance (<i>Asteraceae</i>) in the Macaronesian Islands Kim S ¹ , Santos-Guerra A ² , Caujapé-Castells J ³ , Imai R ⁴ , Masuda S ⁵ , Shibata A ⁵ , Shirasu K ⁵ , Kim S ⁶ , Takayama K ¹ *所属は71ページ欄外に記載	2aAL09 オオミズゴケの貯水細胞分化メカニズムの解析 中村夏音 ¹ ,國枝正 ^{1,2} ,久保稔 ² ,田村拓 ^{1,2} ¹ 奈良先端大・バイオ, ² 奈良先端大・CDG
11:40	11:55-12:00 2aSI07 さいごに 永田賢司 ¹ ¹ 東大・院総合文化	11:45-12:00 2aSJ07 総合討論 関本弘之 ¹ ¹ 日本女子大・理	2aAK10 すべての北海道に産するナンブアザミ節のアザミ類は、本州のアザミ類と別系統か? 伊藤元己 ¹ ,倉田正観 ³ ,川井絢子 ² ,上原浩一 ² ¹ 東大・駒場博物館, ² 千葉大・院・国際学術, ³ 北大・北方生物圏フィールド科学センター	2aAL10 ゼニゴケの細胞周期・分裂制御における Rboh 由来の ROS の役割と下流の分子ネットワーク 山下優音 ¹ ,萩原雄樹 ¹ ,橋本研志 ¹ ,鈴木秀政 ² ,西浜竜一 ¹ ,朽津和幸 ¹ ¹ 東京理科大・創域理工・生命生物科学, ² 東北大・院生命科学
11:55			2aAK11 小笠原諸島の異なる環境に生育する絶滅危惧3種の光合成特性と保護増殖への考察 瀬戸口浩彰 ¹ ,谷吉和貴 ² ¹ 京大・院・人環, ² 京大・院・農	2aAL11 ゼニゴケ分裂組織周辺の自発的 Ca ²⁺ スパイクと細胞分裂に伴う Ca ²⁺ 動態の時空間パターンの解析 瀨野衣里奈 ¹ ,吉沢優花 ¹ ,山下優音 ¹ ,橋本研志 ¹ ,朽津和幸 ¹ ¹ 東京理科大・創域理工・生命生物科学
			2aAK12 北海道のエンレイソウを求めて旅した見聞録 堀井雄治郎 ¹ ¹ 所属無し	2aAL12 共生オルガネラの増殖に働く「分裂装置」と「分配装置」の存在 黒岩常祥 ¹ ,八木沢芙美 ² ,永田典子 ¹ ,井元祐太 ³ ,吉田大和 ⁴ ,黒岩晴子 ¹ ¹ 日本女子大・理・化学生命科学, ² 琉球大・研究基盤, ³ ジョンズホプキンス大・医, ⁴ 東京大・理

M 会場	N 会場	時間
生体膜	発生・形態形成 5	10:30
休憩	休憩	
<p>2aAM07 ゼニゴケのストレス応答性高速長距離シグナル伝達系の分子機構の解析 渡邊健志郎¹, 長谷川晃汰¹, 神谷有紀¹, 山田大輔², 菊地宏樹^{1,3}, 鶴田悠心¹, 岩本有宇¹, 斎藤顕宜², 橋本研志^{1,3}, 朽津和幸^{1,2}</p> <p>*所属は 71 ページ欄外に記載</p>	<p>2aAN07 Analysis of a blue light receptor CRY1 during plant regeneration Li M¹, Sato H¹, Sakamoto T², Inui Y¹, Yamamoto K^{1,2}, Matsushita T³, Matsunaga S¹ ¹Grad. Sch. Frontier Scis., Univ. Tokyo, ²Grad. Sch. Sci., Univ. Kanagawa, ³Grad. Sch. Sci., Univ. Kyoto</p>	10:40
<p>2aAM08 植物の物理刺激応答機構の解析に向けた交流電気化学インピーダンス特性と Ca²⁺シグナルの同時観測 岡嶋真由^{1,3}, 渡邊健志郎², 橋本研志^{2,3}, 朽津和幸^{2,3}, 杉山睦^{1,3} ¹東京理科大・創域理工・電気電子情報工学,²東京理科大・創域理工・生命生物科学,³東京理科大・創域理工・農理工学際連携</p>	<p>2aAN08 形態形成制御遺伝子を用いた PGR 非存在下での再分化誘導システムの構築 小山翔平¹, 佐藤優加¹, Pratama Berbudhi Bintang¹, 井川智子^{1,2} ¹千葉大・院園芸学,²千葉大・植物分子科学研究センター</p>	10:55
<p>2aAM09 ミクロオートファジーにおける液胞膜局在 ATG2 タンパク質の機能解析 柳生真子¹, 吉本光希¹ ¹明治大・院・農</p>	<p>2aAN09 根の発達に関わる新たな概日時計の役割 上野志歩¹, 木村早央里¹, 前田明里², 太田智通¹, 鈴木孝征³, Todd Michael⁴, 森上敦¹, 中道範人², 塚越啓央¹ ¹名城大・院農,²名古屋大・院生命農,³中部大・応用生物,⁴SALK 研究所</p>	11:10
<p>2aAM10 病害応答時におけるシロイヌナズナ細胞膜ナドドメインの動態解析 高山紗季^{1,2}, 深尾陽一朗^{1,2}, 長野稔² ¹立命館大・院生命科学,²立命館大・生命科学</p>	<p>2aAN10 トコンの植物体再生初期におけるサイトカニン生合成遺伝子の発現解析 岡崎夏鈴¹, 柴田恭美², 朝比奈雅志^{2,3}, 下村講一郎¹, 梅原三貴久¹ ¹東洋大・院・生命科,²帝京大・理工・バイオ,³帝京大・先端機器分析センター</p>	11:25
	<p>2aAN11 シロイヌナズナにおける CAP の網羅的局在解析 松澤萌¹, 平野朋子¹, 佐藤雅彦¹ ¹京府大・院生命環境科学</p>	11:40
	<p>2aAN12 マイクロ CT 観察により判明したアカネ科アリ植物の内部空孔形成過程の新知見 塚谷裕一¹ ¹東京大・院・理</p>	11:55

所属一覧

2aAK09

¹Dept. Botany, Kyoto Univ., ²Instituto Canario de Investigaciones Agrarias, ³Jardín Botánico Canario Viera y Clavijo, Unidad Asociada, ⁴FFPRI, ⁵CSRS, Riken, ⁶Dept. Biol. Sci., Sungkyunkwan Univ.

2aAL07

¹名古屋大学大学院情報学研究科,²名古屋大学情報連携推進本部情報戦略室,³名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所

2aAM07

¹東京理科大・創域理工・生命生物科学,²東京理科大・薬,³東京理科大・創域理工・農理工学際連携

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	理事会主催シンポジウム	シンポジウム	シンポジウム	シンポジウム
9:00	植物科学の温故知新 ～この30年を振り返り、次の30年を考えよう！～	光合成と脂質代謝の 接点：アシルプラスト キノール類が拓く新 たな研究領域	超人植物学 リターン ズ：人機共創がもたら す植物学の未来像	植物進化の戦略分子
9:00-9:05	9:00-9:05 3aSA00 はじめに	9:00-9:05 3aSB00 はじめに	9:00-9:05 3aSC00 はじめに	9:00-9:05 3aSD01 さきがけ「植物分子の機能 と制御」
9:15	植田美那子 ¹ ¹ 東北大・院生命科学	佐藤直樹 ¹ ¹ 東大・院総合文化	中島敬二 ¹ ¹ 奈良先端科学技術大学院大 学・先端科学技術研究科	西谷和彦 ¹ ¹ 神奈川大・理
9:05-9:35	9:05-9:35 3aSA01 葉緑体運動研究の裏事情 ～論文には書けない話～	9:05-9:30 3aSB01 シアノバクテリアにおける 中性脂質蓄積の諸問題とア シルプラストキノール	9:05-9:25 3aSC01 人と植物をつなげる人間拡 張工学	9:05-9:35 3aSD02 「ゲノム・遺伝子倍化」が 生み出す植物の新機能獲得 進化
9:30	和田正三 ¹ ¹ 東京都立大学	日原由香子 ¹ , 石川寿樹 ¹ ¹ 埼玉大・院理工	稲見昌彦 ¹ ¹ 東京大学・先端科学技術研究 センター	赤木剛士 ^{1,2} ¹ 岡山大学学術研究院 環境 生命自然科学学域, ² JST さ きがけ
9:35-10:05	9:35-10:05 3aSA02 植物分類学 - これまでの 30年, これからの30年	9:30-9:55 3aSB02 アシルプラストキノールの 発見と関連化合物との識別 の問題	9:25-9:45 3aSC02 植物の反射光に潜む情報を解 き明かす多波長偏光イメージ ング装置 P-MIRU の開発	9:35-10:05 3aSD03 クマリン類から見る植物代 謝の進化
9:45	戸部博 ¹ ¹ 京都府立植物園	佐藤直樹 ¹ ¹ 東京大・院総合文化	ドル有生 ¹ , Balandra Alfonso ² , 廣 瀬匠悟 ³ , 梶原智明 ⁴ , 柏野善大 ⁵ , 稲見昌彦 ² , 越水静 ³ , 深城英弘 ⁶ , 綿引雅昭 ⁷ *所属は73ページ欄外に記載	棟方涼介 ¹ ¹ 京大・生存研
10:00	10:05-10:35 3aSA03 植物を知らずに入った植物 科学の世界, その面白さを 次世代に,	9:55-10:20 3aSB03 シアノバクテリアにおけ る, もう一つのプラストキ ノン関連脂質	9:45-10:05 3aSC03 捉えづらい表現型の違いを深 層学習で定量する	10:05-10:35 3aSD04 花粉を舞台にした戦略的な RNA 利用法の進化
10:15	三村徹郎 ¹ ¹ 京都先端科学大・バイオ環 境	佐藤典裕 ¹ ¹ 東京薬科大・生命科学	富沢瑠子 ¹ ¹ 自然科学研究機構・生命創成探 求センター・定量生物学 G	元村一基 ^{1,2} ¹ 立命館大・院生命, ² JST・さ きがけ
		10:20-10:45 3aSB04 アシルプラストキノールリ パーゼの発見と PSII におけ る機能	休憩 (10:05-10:15)	
		和田元 ¹ , 神保晴彦 ¹ ¹ 東大・院総合文化	10:15-10:35 3aSC04 顕微鏡・AI・人の協働で実現 したシロイヌナズナ根端の 4D 細胞動態計測	
			郷達明 ¹ , Song Yu ² , 米倉崇晃 ^{1,3} , 天伏仙泰 ⁴ , Den Zeping ² , 射水勝 利 ¹ , 富沢瑠子 ⁵ , 近藤洋平 ⁵ , 宮島 俊介 ¹ , 岩本祐太郎 ^{2,6} , 稲見昌彦 ⁷ , 陳延偉 ² , 中島敬二 ¹ *所属は73ページ欄外に記載	
			10:35-10:55 3aSC05 植物とのインタラクション のためのインタフェースの 検討	10:35-11:05 3aSD05 植物と昆虫の共生・寄生の 分子メカニズムを解く
			坂本大介 ¹ ¹ 北海道大学大学院情報科学研 究院	平野朋子 ¹ ¹ 京府大・生命環境
10:30	10:35-11:05 3aSA04 田宮(1932)・門司 (1960), 門司・佐伯 (1953)が植物学にもたらし たもの	10:45-11:10 3aSB05 光合成におけるプラストキ ノンとアシルプラストキノ ンの役割	10:55-11:15 3aSC06 人・AI ロボット・生物サイバ ーグの共進化による新ひらめ きの世界と植物の世界	11:05-11:15 3aSD06 総合討論
	寺島一郎 ¹ ¹ 東大・院・農学生命	園池公毅 ¹ ¹ 早稲田大・教育・生物	森島圭祐 ^{1,2} ¹ 阪大・工, ² ムーンショット目標 3・プロジェクトマネージャー	西谷和彦 ¹ ¹ 神奈川大・理
	11:05-11:20 3aSA05 総合討論	11:10-11:30 3aSB06 総合討論 (2名による指名 討論 各4分を含む)	11:15-11:30 3aSC07 総合討論	[コメンテーター] 遠藤求 ¹ ¹ 奈良先端大・バイオ
	植田美那子 ¹ ¹ 東北大・院生命科学	日原由香子 ¹ ¹ 埼玉大・院理工	共催：新学術領域「植物の周 期と変動」	共催：JST さきがけ「植物 分子の機能と制御」
	JPR ランチョンセミナー			

E 会場	時間
環境応答 7	
3aAE01 単細胞紅藻 <i>Galdieria partita</i> の独立栄養・従属栄養切り替え機構の解析 山下翔大 ¹ , 廣岡俊亮 ¹ , 藤原崇之 ¹ , 宮城島進也 ¹ ¹ 遺伝研・遺伝形質	9:00
3aAE02 植物のリン枯渇環境適応における免疫受容体 PEPR を介した成長・免疫増進メカニズムの解析 土田菜月 ¹ , 山下昂太 ² , 石原大雅 ¹ , 只井遙菜 ¹ , 安田盛貴 ¹ , 梅澤泰史 ² , 西條雄介 ¹ ¹ 奈良先端大, ² 農工大・院・BASE	9:15
3aAE03 マイクロ流体技術を用いた miRNA の検出による植物の簡易ストレス診断デバイスの開発 川勝弥一 ¹ , 野田口理孝 ^{1,2} ¹ 名古屋大 生物機能開発利用研究センター, ² 京都大学理学研究科	9:30
3aAE04 活性酸素種による接木への影響 岡田健太郎 ¹ , Jantean Lalita ² , 黒谷賢一 ¹ , 野田口理孝 ^{1,2,3} ¹ 名古屋大・生物機能開発利用研究センター, ² 名古屋大・院生命農学, ³ 京都大・院理	9:45
3aAE05 オートファジーはシロイヌナズナの種子発芽に寄与する 瀬田京介 ¹ , 吉本光希 ² ¹ 明大・院・農・生命科学, ² 明治大学	10:00
3aAE06 オートファジーによる分解産物のアミノ酸が、ストレス条件下での老化とオートファジー継続に及ぼす影響 井上悠子 ¹ , Akter Most Mohoshena ² , 森安裕二 ² , 吉本光希 ³ ¹ 明治大・研究・知財戦略機構, ² 埼玉大・理工研・生体制御, ³ 明治大・農・生命科学	10:15
若手奨励賞受賞講演 10:30-11:00 3aAE-AL1 オートファジーによる細胞内分解を介した金属ストレス適応機構の解明 篠崎大樹 ^{1,2} ¹ 明治大・農・生命科学, ² 明治大・研究知財	10:30

所属一覧

3aSC02

¹ 奈良先端大・バイオ,² 東大・先端科学技術研究センター,³ 名城大・院農学,⁴ 京大・院生命科学,⁵ 遺伝研・生命ネットワーク,⁶ 神戸大・院・理,⁷ 北大・院理

3aSC04

¹ 奈良先端大・バイオサイエンス,² 立命館大・情報理工,³ 東大・院・理,⁴ 東大・院・工,⁵ 自然科学研究機構・生創探,⁶ 大阪電通大・情報通信工,⁷ 東大・先端研

時間	K 会場	M 会場	N 会場	時間
9:00	分類・系統・進化 3 3aAK01 褐虫藻の共生様式の違いを生み出す遺伝要因と表現型との関係 石井悠 ¹ , 金森駿介 ² , 出口竜作 ³ , 河田雅圭 ³ , 丸山真一郎 ⁴ ¹ 京都大・院農, ² 東北大・院生命, ³ 宮教大・理科, ⁴ 東大・院新領域	細胞小器官 3 3aAM01 分野融合研究のための単細胞紅藻研究系の開発 宮城島進也 ^{1,2} , 藤原崇之 ^{1,2} , 周栢峰 ¹ , 山下翔太 ¹ , 辻野代 ² , 廣岡俊亮 ¹ ¹ 遺伝研・遺伝形質, ² 総研大・遺伝学	発生・形態形成 6 3aAN01 植物の器官発生におけるシトクロム <i>b₆</i> 様ヘム結合タンパク質 RLF の機能解析 岩田健太郎 ¹ , 後藤千恵子 ¹ , 福村日向丸 ¹ , 清水隆之 ² , 丸山海成 ³ , 古谷朋之 ^{1,4} , 近藤侑貴 ¹ , 笠原博幸 ^{3,5} , 増田建 ² , 石崎公庸 ¹ , 深城英弘 ¹ ¹ 神戸大・院・理, ² 東大・院・総合文化, ³ 東京農工大・院・農, ⁴ 立命館大・生命, ⁵ 理研・CSRS	9:00
9:15	3aAK02 寄生性ユーグレナ類 <i>Euglenaformis parasitica</i> における非光合成性葉緑体の存在とその機能 加藤孝一朗 ^{1,2} , 南波紀昭 ³ , 稲垣祐司 ⁴ , 中山剛 ³ , 中山卓郎 ⁴ ¹ 青山学院・中等部, ² 筑波大・院理工情報生命, ³ 筑波大・生命環境系, ⁴ 筑波大・計算科学研究センター	3aAM02 単細胞紅藻類における細胞質分裂機構の解析 八木沢美美 ¹ , 廣岡俊亮 ² , 藤原崇之 ² , 山下翔太 ² , 黒岩晴子 ³ , 黒岩常祥 ³ ¹ 琉球大・研究基盤, ² 遺伝研・遺伝形質, ³ 日本女子大・理・化学生命	3aAN02 ゼニゴケの器官形成を制御する ROP シグナリング 酒井友希 ¹ , 米塚広樹 ¹ , 上野重紀 ¹ , 加藤大貴 ^{1,2} , 三村徹郎 ^{1,3} , 近藤侑貴 ¹ , 深城英弘 ¹ , 石崎公庸 ¹ ¹ 神戸大・院・理, ² 愛媛大・院・理工, ³ 京都先端科学大・バイオ環境	9:15
9:30	3aAK03 氷雪性オクロモナス (黄金色藻綱) の推定未記載種 松崎令 ¹ , 野崎久義 ^{1,2} , 河地正伸 ¹ ¹ 国立環境研・生物多様性, ² 東京大・理工学系	3aAM03 ゼニゴケ油体形成過程に観られる新奇細胞骨格構造 金澤建彦 ^{1,2} , 上田貴志 ^{1,2} ¹ 基生研・細胞動態, ² 総研大・生命科学	3aAN03 ゼニゴケの分裂組織形成における <i>MpC3HDZ</i> 遺伝子の機能解析 千葉海大 ¹ , 佐藤理絵 ¹ , 永澤信洋 ¹ , 橋本悟史 ² , 佐藤 (永澤) 奈美子 ¹ ¹ 秋田県大・生物資源科学, ² 北大・生命科学院	9:30
9:45	3aAK04 緑藻 <i>Pleodorina starrii</i> における 3 性共存進化に伴うゲノム中性決定領域の再編成 高橋昂平 ¹ , 鈴木重勝 ² , 豊岡博子 ³ , 山本荷葉子 ⁴ , 浜地貴志 ⁵ , 大槻涼 ⁶ , 山口晴代 ² , 河地正伸 ² , 東山哲也 ¹ , 野崎久義 ^{1,2} ¹ 東京大・理, ² 国立環境研・生物多様性, ³ 法政大・生命科学, ⁴ 日本女子大・理, ⁵ 中央大・研究開発機構, ⁶ 駒澤大・総合教育	3aAM04 褐藻ケヤリ属における構造色 (イリデッセンス) のメカニズムについて 川井浩史 ¹ , 本村泰三 ² ¹ 神戸大・内海域, ² 北大・室蘭臨海	3aAN04 陸上植物においてオーキシンの下流で働く転写因子 WIP の機能解析 加藤大貴 ^{1,2} , Weijers Dolf ³ , 石崎公庸 ² ¹ 愛媛大・院・理工, ² 神戸大・院・理, ³ Lab. Biochem., Wageningen Univ.	9:45
10:00	3aAK05 緑藻ボルボックスの凍結保存株の確立 野崎久義 ^{1,2} , 森史 ² , 田中陽子 ² , 松崎令 ² , 山口晴代 ² , 河地正伸 ² ¹ 東京大学・大学院理学系研究科・生物科学専攻, ² 国立環境研究所・生物多様性領域	3aAM05 透過電子顕微鏡を使った植物試料の微細構造三次元観察の検討 青木遥 ¹ , 濱元千絵子 ¹ , 西岡秀天 ¹ , 春田知洋 ¹ , 青山佳敬 ¹ ¹ 日本電子株式会社	3aAN05 ゼニゴケ JINGASA 転写因子による幹細胞の分裂面と細胞アイデンティティの制御機構 高橋剛 ¹ , 清末知宏 ¹ , 平川有宇樹 ¹ ¹ 学習院大・院自然	10:00

右ページに続く

時間	K 会場	M 会場	N 会場	時間
10:30	<p>分類・系統・進化 3</p> <p>3aAK06 淡水産ヒビミドロ目藻類 <i>Interfilum paradoxum</i> はクレブソルミジウム目の 気生種と混同されている 半田信司¹, 溝淵綾¹, 中原一坪 田美保², 坪田博美³ ¹広島県環境保健協会, ²千葉 中央博・共同研究員, ³広島 大・院・統合生命</p>	<p>細胞小器官 3</p> <p>3aAM06 発芽初期の子葉におけるオル ガネラ分布の定量的解析 秋田佳恵^{1,2}, 高木智子³, 小林 啓子², 檜垣匠⁴, 馳澤盛一郎⁵, 永田典子² ¹北里大・一般教育, ²日本女 子大・理, ³日本女子大・電 顕, ⁴熊本大・院・先端科学, ⁵ 法政大・生命科学</p>	<p>発生・形態形成 6</p> <p>3aAN06 シダ植物リチャードミズワ ラビにおいて KL シグナル は成長を制御する 藤村綾乃¹, 秦有輝¹, 経塚淳子¹ ¹東北大・院生命科学</p>	10:30
10:45	<p>3aAK07 単細胞紅藻 <i>Cyanidiococcus</i> spp.の生 態と生息環境を模倣した培 養系を用いた解析 辻野代¹, 藤原崇之^{1,2}, 廣岡俊 亮², 山下翔太², 宮城島進也^{1,2} ¹総研大・生命科学, ²遺伝 研・遺伝形質</p>	<p>3aAM07 側部根冠における ER ボデ ィによる β-グルコシダーゼ 液胞輸送と液胞崩壊 豊岡公徳¹, 後藤友美¹ ¹理研・CSRS</p>	<p>3aAN07 ヒメツリガネゴケ茎葉体幹 細胞における非対称分裂の 制御 秦有輝¹, 大塚樹里¹, 羅依¹, 檜 本悟史², 日渡祐二³, 経塚淳子¹ ¹東北大・院・生命, ²北海道大 院・理学, ³宮城大学・食産業 学</p>	10:45
11:00	<p>3aAK08 単細胞紅藻イデユコゴメ類 におけるタンパク質ノック ダウン法の開発 藤原崇之¹, 廣岡俊亮¹, 山下翔 太¹, 辻野代¹, 八木沢美美², 宮 城島進也¹ ¹遺伝研・遺伝形質, ²琉球 大・研究基盤</p>	<p>3aAM08 フィトクロム蛍光を利用し た植物核のライブイメージ ング 吉成晃^{1,2}, 磯田玲華², 八木慎 宜², フロマー ウォルフ^{2,3,4}, 中村匡良² ¹名大・高等研究院, ²名大・ ITbM, ³ハインリッヒ・ハイ ネ大学, ⁴マックス・プランク 研究所</p>	<p>3aAN08 維管束の連続性を司る因子 <i>VAN3</i>・<i>VAB</i>複合体の基部 陸上植物における機能解析 末満寛太¹, 藤田知道², 檜本悟 史² ¹北大・院生命科学, ²北大・ 院理</p>	11:00
11:15	<p>3aAK09 単細胞紅藻イデユコゴメ類 における有性生殖過程の発 見 廣岡俊亮¹, 富田麗子¹, 山下翔 太¹, 周栢峰¹, 辻野代¹, 八木沢 美美², 藤原崇之¹, 宮城島進也¹ ¹遺伝研・遺伝形質, ²琉球 大・研究基盤</p>		<p>3aAN09 ヒメツリガネゴケにおける アブシジン酸シグナル経路 を介した原形質連絡の密度 制御 神野智世¹, 檜本悟史², 藤田知 道² ¹北海道大・院生命科学, ²北 海道大・院理学</p>	11:15

●座長表（口頭発表）

開催日	会場	演題番号	セッション名	座長氏名
9月7日 午前	D	1aAD01～1aAD10	環境応答1	佐古 香織 瀬上 紹嗣 内藤 健
	E	1aAE01～1aAE10	環境応答2	田村 謙太郎 友井 拓実 蓑田 歩
	F	1aAF01～1aAF07	生態1	石崎 智美 高 燕 柴田 あかり
	G	1aAG01～1aAG10	成長生理	朝比奈 雅志 刑部 祐里子 木羽 隆敏
	H	1aAH01～1aAH09	遺伝子発現制御・ゲノム・ プロテオーム1	池田 陽子 日渡 祐二
	K	1aAK01～1aAK10	細胞小器官1	小林 優介 増田 建 間宮 章仁
	L	1aAL01～1aAL09	生殖1	赤木 剛士 野々村 賢一
	M	1aAM01～1aAM06	発生・形態形成1	木下 温子 近藤 侑貴
	N	1aAN01～1aAN07	発生・形態形成2	阿部 光知 古谷 朋之 松本 光梨

9月7日 午後	D	1pAD01～1pAD15	環境応答3	坂田 洋一 林 優紀 藤井 伸治 門田 慧奈
	E	1pAE01～1pAE15	環境応答4	木下 俊則 後藤 英治 祢冨 淳太郎 山野 隆志
	F	1pAF01～1pAF13	細胞骨格	玉置 大介 富永 基樹 濱田 隆宏
	G	1pAG01～1pAG15	細胞壁	浅岡 真理子 岩井 宏暁 高田 直樹 出村 拓
	H	1pAH01～1pAH15	代謝・物質生産・メタボローム	今村 綾 宮城 敦子 山本 浩太郎 若山 正隆
	I	1pAI01～1pAI12	光合成	高橋 裕一郎 宗景 ゆり 野口 航
	K	1pAK01～1pAK15	分類・系統・進化1	國府方 吾郎 福島 健児 高山 浩司 嶋村 正樹
	L	1pAL01～1pAL15	生殖2	戸田 恵梨香 平野 智也 水多 陽子
	M	1pAM01～1pAM12	発生・形態形成3	豊倉 浩一 中山 北斗 八木 宏樹
	N	1pAN01～1pAN15	発生・形態形成4	打田 直行 栗原 大輔 高田 忍 米倉 崇晃

9月8日 午前	D	2aAD01～2aAD12	環境応答5	竹澤 大輔 古本 強 花俣 繁
	E	2aAE01～2aAE12	環境応答6	神澤 信行 小池 孝良 工藤 洋
	F	2aAF01～2aAF09	生態2	久米 篤 露崎 史朗 望月 昂
	G	2aAG01～2aAG12	植物微生物相互作用	稲田 のりこ 番場 大 平田 梨佳子
	H	2aAH01～2aAH09	遺伝子発現制御・ゲノム・ プロテオーム2	栗原 志夫 福原 敏行
	K	2aAK01～2aAK12	分類・系統・進化2	玉木 一郎 綱本 良啓 布施 静香
	L	2aAL01～2aAL12	細胞増殖・分化	石田 喬志 伊藤 正樹 深城 英弘
	M	2aAM01～2aAM10	細胞小器官2, 生体膜	伊藤 瑛海 上田 貴志 長野 稔
	N	2aAN01～2aAN12	発生・形態形成5	東 克己 ドル 有生 井川 智子
9月9日 午前	E	3aAE01～3aAE06	環境応答7	川勝 弥一 吉本 光希
	K	3aAK01～3aAK09	分類・系統・進化3	平川 泰久 松崎 令
	M	3aAM01～3aAM08	細胞小器官3	秋田 佳恵 豊岡 公德 吉成 晃
	N	3aAN01～2aAN09	発生・形態形成6	平川 有宇樹 養老 瑛美子

分類・系統・進化

P-001A

南米産ペチュニア属植物を用いた系統地理学的解析

佐藤 陽太¹, 岩崎 貴也², 陶山 佳久³, 上原 浩一⁴ (1千葉大学 大学院園芸学研究所, 2お茶の水女子大学 基幹研究院, 3東北大学 大学院農学研究科, 4千葉大学 大学院国際学術研究院)

P-002B

ネジバナ類の生活史研究—葉序と花序のらせん構造の関連性

渡邊 幹男¹, 野村 菜結², 根城 知幸³, 大関 泰裕² (1愛教大 生物, 2横浜市大 理学, 3横浜サイエンスフロンティア高校)

P-003C

系統・形態・送粉者から解明するオオマムシグサ種群の多様性

柿嶋 聡¹, 末吉 昌宏², 大野 順一³, 星山 耕一³, 杉江 喜寿⁴, 山根 文人⁵, 奥山 雄大⁶ (1昭和大・富士山研, 2森林総研, 3静岡県, 4山口県博, 5山口県, 6科博・植物)

P-004A

葉緑体ゲノムと核リボソーム配列による日本産種を中心としたタンポポ属植物の分子系統解析

毛利 陽香¹, 龍見 瑞季², 西野 貴子³, Gyu Young Chung⁴, 鈴木 武⁵, 森田 竜義⁶, 伊藤 元己⁷, 岩崎 貴也¹ (1お茶の水大・院・ライフサイエンス, 2(株)地域環境計画, 3大阪公大・院・理, 4Andong National University, 5兵庫県立博, 6新潟大, 7東京大)

P-005B

クロララクニオン藻の色素体標的タンパク質の起源に関する研究

浜崎 大雅¹, 鈴木 重勝², 白鳥 峻志³, 石田 健一郎³ (1筑波大・院生命環境, 2環境研, 3筑波大・生命環境)

P-006C

高自殖種フユノハナワラビにおけるトランスクリプトームを用いた配偶体性自殖の検証

石井 壮佐¹, 福島 健児², 綿野 泰行¹ (1千葉大・院・理, 2ヴェルツブルク大学)

P-007A

三倍体無配生殖型ヤブソテツにおける ISSR-HRM 解析を用いた遺伝的分離の検証

大槻 涼^{1,2}, 関本 弘之² (1駒澤大学・総合教育, 2日本女子大学・理学部)

P-008B

シロバナネコノメソウ *Chrysosplenium album* (ユキノシタ科) の種内系統間の遺伝構造比較と分子系統地理澤井 貴之¹, 織田 二郎², 竹中 將起¹, 東城 幸治¹ (1信州大学 理学部, 2奈良県香芝市)

P-009C

形態的・遺伝的特徴からみたオトメエンゴサク(ケシ科)の独立性の検討

黒田 大生¹, 鈴木 政紀², 横山 潤³ (1山形大・院理工, 2東北大・院農, 3山形大・理)

P-010A

ドウダンツツジの多様性と栽培起源に関する研究

堤 千絵¹, 前田 綾子², 南谷 忠志³, 国府方 吾郎¹, 柿嶋 聡⁴ (1科博・植物, 2高知県立牧野植物園, 3宮崎植物研究会, 4昭和大・富士山研)

P-011B

スミレサイシン節 5 種は氷期間氷期の日本でどう生き残ってきたか: 生態ニッチモデリングと集団動態解析から

高橋 弥生¹, 藤原 正人², 尾関 雅章³, 岩崎 貴也¹ (1お茶の水大・院・ライフサイエンス, 2小野高校, 3長野県環境保全研究所)

P-012C

分類学データを正確・速やかに管理する R パッケージ「dwctaxon」の紹介

ニッタ ジョエル¹, 岩崎 渉² (1千葉大・院・国際学術, 2東大・院・新領域)

生態

P-013A

キク科ツワブキの葉身と葉柄に関する風荷重に対する影響

柴 政幸, 水野 九十九, 福田 達哉 (東京都市大・院総合理工)

P-014B

ネコノメソウ属イワボタン列の訪花昆虫調査による主要なポリネーターの解明

山口 万里花¹, 菊地 波輝³, 吉田 貴大¹, 奥山 雄大², 村上 哲明¹ (1都立大・牧野, 2国立科学博物館筑波実験植物園, 3豊橋市 自然史博物館)

P-015C

海浜植物ハマビシ *Tribulus terrestris* における朝に限定された向日性氏林 恒太¹, 粕谷 英一¹, 小林 禎樹², 長谷川 匡弘³, 西野 貴子¹ (1大阪公大・院・理, 2兵庫県植物誌研究会, 3大阪市立自然史博物館)

P-016A

温帯落葉樹林の林床草本の葉の光合成電子伝達系の制御機構の解析

橋本 幸紀, 溝上 祐介, 野口 航 (東薬大・院生命科学)

P-017B

針葉樹のシュートの水分生理特性における細胞壁の力学的性質の役割

齋藤 隆実¹, 三好 由華², 秋山 拓也³, 宮澤 真一⁴ (1森林総研・植物生態, 2森林総研・木材加工・特性, 3東大院・農学生命科学, 4森林総研・樹木分子遺伝)

P-018C

海浜植物スナビキソウの生育密度と砂浜減少との関連性
近藤 崇史, 小宮山 佳奈, 岩田 梓, 林 清宇, 石崎 智美 (新潟大・理)

P-019A

シカ糞 DNA メタバーコーディングによる長野県霧ヶ峰高原におけるニホンジカの採食植物の解明

坂井 遥¹, 奥田 真実², 黒江 美紗子³, 尾関 雅章³, 松尾 歩⁴, 陶山 佳久⁴, 安藤 温子⁵, 中濱 直之⁶, 小山 明日香⁷, 内田 圭⁸, 須賀 丈³, 岩崎 貴也¹ (1お茶の水大・院・ライフサイエンス, 2神奈川大・理, 3長野県環境保全研究所, 4東北大・院・農, 5国立環境研, 6兵庫県立大, 7森林総研, 8東大・院・農)

P-020B

海砂によるハマボス種子表面への物理的損傷が発芽や海流散布能力に与える影響

丸井 裕暉¹, 柴 政幸², 福田 達哉³ (1都市大・院自然, 2都市大・院自然, 3都市大・院自然)

P-021C

ハマエノコロの環境適応形質の解明

佐藤 遼輔¹, 柴 政幸², 福田 達哉³ (1都市大・院自然, 2都市大・院自然, 3都市大・院自然)

P-022A

ホシクサ属植物 5 種の発芽特性からみた生育環境

高岸 慧, 宮本 太 (東農大・院農学)

環境応答

P-023B

低酸素・高酸素環境に対するイネ科植物の呼吸応答と形態形成

中村 元香¹, 中村 隆俊², 野口 航³ (1玉川大・農, 2東農大・生物産業, 3東京薬科大・生命科学)

P-024C

植物の硝酸吸収活性を制御するリン酸化/脱リン酸化酵素の解析

大久保 祐里, 野田 紗希, 松林 嘉克 (名古屋大・院・理)

P-025A

窒素欠乏応答制御における AtPHLs の役割

柏田 星南, 木羽 隆敏 (日本語「名古屋大・院生命農学」)

P-026B

エンドウ上胚軸における表皮・内部組織間の接着力の測定方法の確立と接着力に対する光の影響

清水 佑馬¹, 若林 和幸¹, 宮本 健助², 曾我 康一¹ (1大阪公立大・院・理, 2大阪公立大・国際基幹教育)

P-027C

ゼニゴケの冠水応答におけるエチレン受容体の役割

長谷川 綾香, 中島 千夏, 竹澤 大輔 (埼玉大・院理工学)

P-028A

緑化ブロッコリー芽ばえにおける遠心過重力による胚軸の成長促進

宮崎 友規¹, 東山 優花¹, 服部 隆行², 小林 康一^{2,3}, 若林 和幸^{1,2}, 保尊 隆享¹, 曾我 康一^{1,2} (1大阪市立大・院理, 2大阪公立大・院理, 3大阪公立大・国際基幹教育)

P-029B

シロイヌナズナ種子発芽の高温反応性を制御する量的遺伝子座の同定

橋 夏希¹, 新津 嵩大¹, 井内 敦子², 井内 聖², 小林 正智², 川上 直人¹ (1明大・農, 2理研・バイオリソースセンター)

P-030C

アオウキクサフロンドによる金属イオン Na⁺, Li⁺, Cs⁺, Ni²⁺ の吸収及び耐性評価

井上 雅裕¹, 植田 慶和¹, 川口 瑞貴¹, 加藤 大貴², 佐久間 洋², Dharmendra K Gupta³ (1愛媛大学理学部生物, 2愛媛大学理工学研究科, 3インド環境森林気候変動省)

P-031A

シロイヌナズナ野生株における種子発芽の変温誘導性

石川 慶¹, 井内 聖², 小林 正智², 川上 直人¹ (1明大・農, 2理化学研究所バイオリソースセンター)

P-032B

フィードバック制御抑制 GFAT 導入シロイヌナズナが示す非生物的ストレス耐性の向上

村上 雅崇, 的場 洋佑, 佐藤 康 (愛媛大・院・理工)

P-033C

Analysis of radiation-induced mutations in HR-proficient and -deficient *Physcomitrium patens*

Ayako Sakamoto¹, Yuichiro Yokota¹, Fabien Nogué² (1Dept. Quantum-Appl. Biosci., QST, 2Jean-Pierre Bourgin Inst., INRAE)

P-034A

スペース・モス宇宙実験で得たヒメツリガネゴケ仮根系の X 線マイクロ CT による 3D 可視化

唐原 一郎¹, 若林 孝尚¹, 山浦 遼平², 玉置 大介¹, 蒲池 浩之¹, 山内 大輔³, 峰雪 芳宣³, 星野 真人⁴, 上杉 健太郎⁴, 嶋津 徹⁵, 笠原 春夫⁶, 鎌田 源司⁷, 鈴木 智美⁸, 日渡 祐二⁹, 半場 祐子¹⁰, 久米 篤¹¹, 藤田 知道¹² (1富山大・理, 2富山大・院・理工, 3兵衛大・院・理, 4高輝度光科学研究センター, 5日本宇宙フォーラム, 6有人宇宙システム, 7エイ・イー・エス, 8JAXA, 9宮城大・食産, 10京工織大・応用生物, 11九大・院・農, 12北大・院・理)

P-035B

ヒメツリガネゴケが重力の大きさに応答し成長量を変化させることに関する研究

青木 真太郎¹, 山下 祐輝¹, 半場 祐子², 蒲池 浩之³, 唐原 一郎³, 久米 篤⁴, 藤田 知道⁵ (1北大・院生命科学, 2京都工織大・応用生物学系, 3富山大・理学部, 4九州大・院農学研究, 5北海道大・院理)

P-036C

雄性先熟性を示すキョウにおいて雌しべに対する物理・化学的刺激がその成熟に与える影響

三部 航介, 中西 史 (東京学芸大・理科教育)

P-037A

固相表面培養における *Parachlorella* 細胞の環境応答

平川 悠太郎, 石川 禎治, 宮内 啓喜, 岡田 克彦, 土方 敦司, 佐藤 典裕, 都筑 幹夫, 藤原 祥子 (東葉大・生命)

P-038B

The role of EIN2-like protein in ABA-induced osmotic stress tolerance mediated by the Raf protein kinase

Md. Masudul Karim^{1,3}, Kanata Hirota¹, Yoichi Sakata², Daisuke Takezawa¹ (¹Grad. Sch. Sci. Engg., Saitama Univ., ²Dept. Biosci., Tokyo Univ. Agric., ³Dept. Crop Bot., Bangladesh Agric. Univ.)

P-039C

ダイズとコマツナの大規模フィールドオミクスデータを用いた遺伝子機能予測

大熊 直生¹, 熊石 妃恵¹, 福島 敦史^{2,3}, 小林 奈通子⁴, 濱本 昌一郎⁵, 草野 都⁶, 成川 恵¹, 伊達 康博⁷, 田野井 慶太郎⁴, 二瓶 直登⁸, 市橋 泰範¹ (¹理研BRC, ²京都府立大院・生命環境, ³理研CSRS, ⁴東京大・院農学生命科学, ⁵北海道大・院農学研究, ⁶筑波大・生命環境系, ⁷農研機構, ⁸福島大・食農学類)

P-040A

植物から放出される安息香酸メチルは病害抵抗性誘導シグナルとして機能する

吉田 理一郎, Duyen Nguyen Thi, 下舞 奈央 (鹿児島大・農学部)

P-041B

ナデシコの花芽における接触刺激応答遺伝子の解析

畑中 悠那, 西嶋 遼, 小林 壮生, 篠山 治恵, 池田 美穂, 風間 裕介 (福井県大学院・生物資源学)

P-042C

単細胞紅藻ガルドリアにおける窒素欠乏応答の解析

周 柏峰, 廣岡 俊亮, 宮城島 進也 (遺伝研・遺伝形質)

P-043A

Do spores in sporophyte dream of high thermotolerance? : The role of sporangium in thermotolerance

Changhyun Maeng¹, Keita Nakamura², Kumi Yoshida³, Atsushi Kume⁴, Yuji Hiwatashi⁵, Tomomichi Fujita⁶ (¹Graduate school of Life Science, Hokkaido University, ²Graduate School of Food, Agricultural and Environmental Sciences, Miyagi University, ³Faculty of Engineering, Aichi Institute of Technology, ⁴Faculty of Agriculture, Kyushu University, ⁵School of Food Industrial Sciences, Miyagi University, ⁶Faculty of Science, Hokkaido University)

P-044B

気孔運動を制御する膜交通因子 SH3P3 の細胞内動態および植物成長に対する役割の解析

市田 まなみ¹, 射場 厚², 檜垣 匠¹ (¹熊本大・院自然科学, ²九州大・院理)

P-045C

水孔における溢液の排水速度と形態の種間比較

栗木 萌佳¹, 角野 遥菜², 高橋 花音³, 溝上 祐介², 野口 航² (¹東葉大・院生命科学, ²東葉大・生命科学, ³東京理科大・院先進工学)

P-046A

シロイヌナズナの気孔応答性変異体における気孔の ABA 応答の日周性の解析

溝上 祐介, 水嶋 紗, 野木 彩伽, 野口 航 (東葉大・生命科学)

P-047B

ゲノムワイド関連解析を用いたシロイヌナズナの水分屈性能の促進に関わる SNP の同定

鈴木 夏美¹, 宮沢 豊² (¹山形大・院理工, ²山形大・生物)

P-048C

シロイヌナズナにおける凍結がもたらす馴化と光が及ぼす影響

杉田 健史¹, 高橋 俊輔², 河村 幸男^{1,2} (¹岩手大・連合農学, ²岩手大・総合科学)

P-049A

暗所誘導老化時のメタカスパーゼの影響

林 潤, 加藤 寛子, 塩原 栞 (福井県大・生物資源)

光合成

P-050B

クロロフィル分解に関わるバクテリアの Mg 脱離酵素の解析

安藤 沙季¹, 田中 亮一², 伊藤 寿² (¹北大・環境科学院, ²北大・低温科学研究所)

P-051C

都市樹木の光合成機能評価—高い適性を持つ樹種の探索

半場 祐子¹, 筒井 悠里¹, 堀家 広樹¹, 久米 篤², 前田 耕治³ (¹京都工繊大・応用生物, ²九州大・院農学, ³京都工繊大・分子化学)

P-052A

夜間都市照明が高木街路樹イチョウ・カエデの光合成機能と成長の季節変化に与える影響

藤村 風歌, 半場 祐子 (京都工繊大・応用生物)

P-053B

光合成ステート遷移の低温応答における種内変異

小口 理一¹, チョウ ワースン², オズモンド バリー³ (¹大阪公立大・理学, ²オーストラリア国立大・生物, ³ウロンゴン大)

P-054C

細胞破碎装置 FastPrep-24 を用いた高活性型シアノバクテリア PSII 標品の単離

鴛海 菜由子¹, 篠田 稔行¹, 岩淵 丈太郎¹, 田中 幹太郎¹, 片山 光徳², 水澤 直樹^{1,3} (¹法政大 生命科学, ²日大 生産工学, ³法政大 ナノテク)

P-055A

Characterization of Chloroplast Bicarbonate Transporters in the Diatom, *Phaeodactylum tricornutum*

Hermanus Nawaly, Kensuke Nakajima, Yusuke Matsuda

(Department of Bioscience, Graduate School of Science and Technology, Kwansai Gakuin University)

P-056B

Characterization of PtVDAC-like Protein in the Marine Diatom, *Phaeodactylum tricornutum*

Elsa A. Leuhery, Hermanus Nawaly, Yusuke Matsuda (Department of Bioscience, Graduate School of Science and Technology, Kwansai Gakuin University)

P-057C

ミトコンドリア呼吸鎖阻害による光合成電子伝達の低下要因の解析

小西 達久, 野口 航 (東京薬科大・生命科学)

代謝・物質生産・メタボローム

P-058A

高温で活性を示す真核微細藻類 *Cyanidioschyzon merolae* 由来乳酸脱水素酵素の生化学解析

山本 眞以¹, 小山内 崇² (1明治大・院農芸化学, 2明治大・農)

P-059B

グルコース添加条件での *Euglena gracilis* の培養上清の pH

榎本 美波¹, 小山内 崇² (1明治大・院農芸化学, 2明治大・農)

P-060C

ゼニゴケ (*Marchantia polymorpha*) における転写因子 MpMYB02 の oil body 形成における働き

寺森 裕紀, 高梨 功次郎, 久保 浩義 (信州大・院総合理工学)

P-061A

ヘキサミン異化経路導入シロイヌナズナにおけるグルコサミン類の窒素源としての利用能力獲得

井上 ちはる¹, 小島 広之¹, 佐藤 康² (1愛媛大・理・生物, 2愛媛大・院理工・環境機能)

P-062B

演題取り消し

P-063C

ニチニチソウ種子発芽過程における細胞種特異的なアルカロイド代謝の開始過程の解析

鶴崎 真妃¹, 森 哲哉¹, 佐藤 繭子¹, 若崎 真由美¹, 山本 浩太郎², 村上 明男³, 豊岡 公德¹, 三村 徹郎⁴, 平井 優美¹ (1理研・CSRS, 2横浜市大・理, 3神戸大・院・理, 4京都先端科学大・バイオ)

P-064A

愛媛県鈍川温泉由来高油脂生産藻類の海上培養系構築の試み

坂本 岳人¹, 宮前 俊彦¹, 宮本 航大¹, 奥田 悠希¹, 八木 沢 芙美², 廣岡 俊亮³, 藤原 崇之³, 宮城島 進也³, 黒岩 晴子⁴, 黒岩 常祥⁴, 眞田 宣明⁵, 三角 修己⁶, 月坂 明広⁷, 広兼 元⁷, 岸 拓真¹, 山崎 博人⁸, 伊藤 和宏⁹, 大沼 みお¹ (1広島高専, 2琉球大・研究基盤, 3遺伝研, 4日本女子大・理, 5山口大学・大学研究推進機構, 6山口大・院・創成科学, 7中電技術コンサルタント, 8宇部高専, 9兵庫県立大学・院・化学工学)

P-065B

ハプト藻 *Dicrateria rotunda* はどのような脂質を持つか?

岡田 斗人, 谷井 智春, 浴 俊彦, 広瀬 侑 (豊橋技科大 工)

P-066C

ハプト藻 *Dicrateria rotunda* の脂質転換法の検討

谷井 智春¹, 岡田 斗人², 浴 俊彦¹, 広瀬 侑¹ (1豊橋技科大・院工, 2豊橋技科大・工)

P-067A

円石藻 *Pleurochrysis haptonemofera* における β グルカン合成関連酵素の探索

安田 有輝, 山本 昇吾, 藤原 祥子 (東京薬大・院生命科学)

P-068B

Comparative analysis of *Ginkgo biloba* cultivars in Sobue, Japan

Hidenobu Uchida^{1,2}, Hongqiao Lu¹, Tatsuya Shibutani³, Masami Kobayashi³, Hirofumi Yamashita⁴, Koichi Tsutsumi¹, Kazuhito Inoue^{2,5} (1Dept. Food Business, Nagoya Bunri Univ., 2Res. Inst. Integ. Sci., Kanagawa Univ., 3Dept. Mat. Sci., Univ. Tsukuba, 4Dept. Inf. Env. Sci., Kyoto Pref. Univ., 5Dept. Biochem. Biotechnol., Kanagawa Univ.)

細胞小器官

P-069C

クロララクニオン藻の葉緑体タンパク質輸送装置 Tic20 の局在

山本 健太¹, 平川 泰久² (1筑波大・院生命地球, 2筑波大・生命環境)

P-070A

膜交通制御因子 MIN7/BEN1/BIG5 は植物の C/N 栄養ストレス応答に関与する

遠藤 海斗¹, 松井 博輝², 眞木 美帆³, 高木 純平⁴, 佐藤 長緒⁴ (1北大・院生命, 2北大・理, 3北大・創成, 4北大・院理)

P-071B

ステロール過剰蓄積変異体における花粉形成過程の超微構造学的解析

小林 啓子¹, 秋田 佳恵^{1,2}, 鈴木 優志³, 島田 貴士⁴, 永田 典子¹ (1日本女子大・理, 2北里大・一般教育, 3大妻女子大・社会情報, 4千葉大・院園芸)

P-072C

色素体 RNA ポリメラーゼに結合するチラコイド膜局在タンパク質 NIP が遺伝子発現に与える影響

黒滝 悠志, 藤井 祥 (弘前大・農生)

P-073A

ピレノイドをモデルとした相分離オルガネラ形成異常変異株の単離と解析

増田 夢佳, 小峠 達大, 松尾 光治良, 山野 隆志 (京大大学生命科学研究科)

生体膜

P-074B

ストレプト藻類クレブソルミEDIUMの陸上植物型細胞膜 H⁺-ATPase 活性制御機構

高橋 宏二^{1,2}, 堀 孝一³, 太田 啓之^{3,4}, 木下 俊則^{1,2} (1名古屋大・院理・生命, 2名古屋大・ITbM, 3東京工業大・生命理工学院, 4ファイトリビッド・テク)

P-075C

非維管束植物ゼニゴケにおける液胞膜リン酸輸送体 VPT の機能解析

林田 雅大¹, 佐藤 しおり¹, 酒井 友希¹, 三村 徹郎², 近藤 侑貴¹, 深城 英弘¹, 石崎 公庸¹ (1神戸大・院・理, 2京都先端科学大・バイオ環境)

P-076A

シロイヌナズナの実生発達に対するアクアポリンの貢献度を探る

橋 実来¹, 奈良 久美² (1奈良女子大・院・人間文化総合科学, 2奈良女子大・自然科学・生物科学)

細胞骨格

P-077B

シロイヌナズナのみオシン XI-K の酵素活性と活性制御機構の解明

原口 武士¹, 勝俣 幸平¹, 富永 基樹^{2,3}, 伊藤 光二^{1,4} (1千葉大・院・理学・生物, 2早稲田大・院・先進理工, 3早稲田大・教育総合科学・生物, 4千葉大・院・融合理工・生物)

P-078C

シロイヌナズナのみオシンXIにおける 2nd アクチン結合部位の同定と機能解明

伊藤 静葉¹, 高部 晃宙¹, 藤澤 祐希¹, 原口 武士², 吉村 考平¹, 檜垣 匠³, 富永 基樹⁴, 上田 晴子⁵, 伊藤 光二² (1千葉大・院・融合理工・生物, 2千葉大学大学院理学研究科, 3熊本大・院・先端科学, 4早稲田大・教育, 5甲南大・理工・植物細胞生物)

細胞壁

P-079A

植物細胞の細胞板形成がカフェインにより阻害されるのはなぜか?

安原 裕紀¹, 家治 千明¹, 川口 莉世² (1関西大学・化学生命工学部, 2パナソニック ネットソリューションズ株式会社)

成長生理

P-080B

シロイヌナズナ種子における発芽促進化合物の探索

青木 菜々実, 近藤 歩, 藤 茂雄 (名城大・農)

P-081C

プロトプラスト共培養法による brassinolide, campesterol, β -sitosterol の促進・阻害的アレロパシー活性

笹本 浜子^{1,2,3}, 横田 信三², 鈴木 栄¹ (1東京農工大・農, 2宇都宮大・農, 3横浜国大)

P-082A

半数体化がシロイヌナズナ (*Arabidopsis thaliana*) の根端成長に及ぼす影響の定量的解析

宮下 貴文¹, 中島 流花¹, 菊池 涼夏², 岩元 明敏¹ (1神奈川大・理・生物, 2熊本大・院・先端科学)

P-083B

ツノゴケ類における KL 信号伝達の機能解析

鈴木 秀政¹, 江崎 和音², 謝 肖男³, 榊原 恵子², 経塚 淳子¹ (1東北大・院・生命科学, 2立教大・生命理, 3宇都宮大・バイオ)

細胞増殖・分化

P-084C

針葉樹イヌマキ生殖細胞からの形態形成

細井 佳久¹, 大宮 泰徳² (1森林総研・樹木分子遺伝, 2森林総研・林木育種センター)

P-085A

生育中のシロイヌナズナ植物体にモザイク状に遺伝子導入する方法とその応用

池田 美穂¹, 中山 潤², 佐藤 舞², 石塚 徹², 竹内 洋輔², 山形 翼² (1福井県大・生物資源, 2埼玉大院・理工)

P-086B

シロイヌナズナの核小体ストレス応答における ANAC082 依存的な細胞増殖制御の解析

許 泰瑛¹, 岩元 明敏², 杉山 宗隆³, 太林 祝^{1,4} (1(台湾) 成功大・生命科学, 2神奈川大・理・生物, 3東京大・院・理, 4(台湾) 成功大・熱植研)

発生・形態形成

P-087C

Identification of novel regulators involved in stem cell fate transition in *Physcomitrium patens*

Changxiu Yu^{1,2}, Nan Gu^{3,4,5}, Takumi Tomoi^{3,4}, Ikumi Kajikawa⁴, Yukiko Kabeya², Mitsuyasu Hasebe^{2,6}, Yosuke Tamada^{1,2,4,5,6,7}
(¹Grad. Sch. Reg. Dev. Creat., Utsunomiya Univ., ²Div. Evol. Biol., Natl. Inst. Basic Biol., ³Ctr. Innov. Spt., Utsunomiya Univ., ⁴Sch. Eng., Utsunomiya Univ., ⁵REAL, Utsunomiya Univ., ⁶SOKENDAI, ⁷CORE, Utsunomiya Univ.)

P-088A

DNA 損傷によって誘導される幹細胞化におけるヒメツリガネゴケ *RAD54* 遺伝子の機能解析

北山 寧音¹, 飛田 拓海¹, Nan Gu^{2,3,4}, 友井 拓実^{2,3}, 玉田 洋介^{1,3,4,5} (¹宇都宮大・院地域創生, ²宇都宮大・イノベ, ³宇都宮大・工学, ⁴宇都宮大・REAL, ⁵宇都宮大・CORE)

P-089B

ニンジン種子における発芽関連遺伝子の解析

河田 里菜, 近藤 歩, 藤 茂雄 (名城大・農)

P-090C

水草ミズハコベに近縁な陸生種ナガエアワゴケにおける異形葉性遺伝子の解析

上村 智穂, 古賀 皓之, 塚谷 裕一 (東大・院理)

P-091A

ワイドターゲットメタボロミクスによる葉面積制御に資する機能性代謝産物群の探索

多部田 弘光^{1,2}, 古賀 皓之³, 佐藤 心郎¹, 塚谷 裕一³, フェルジャニ アリ², 平井 優美¹ (¹理研CSRS, ²学芸大・院・生命, ³東京大・院・理学)

P-092B

液胞の形態変化および茎葉体形成の促進を示すヒメツリガネゴケ *shoot gravitropism 2* 変異株の解析

中村 真菜¹, 山本 冬美¹, 梶川 育見², 玉田 洋介^{1,2,3,4} (¹宇都宮大・院地域創生, ²宇都宮大・工学, ³宇都宮大・CORE, ⁴宇都宮大・REAL)

P-093C

根毛形成開始におけるオルガネラダイナミクス

甘利 俊樹, 伊藤 正樹, 高塚 大知 (金沢大学・生命理工)

P-094A

根の形態形成に異常を示す新たなシロイヌナズナ変異体の探索と解析

小栗 聡太, 岩田 健太郎, 間宮 章仁, 近藤 侑貴, 石崎 公庸, 深城 英弘 (神戸大・院・理)

P-095B

動物細胞初期化因子がヒメツリガネゴケの幹細胞化に与える影響

山本 冬美¹, 梶川 育見², 青井 貴之³, 玉田 洋介^{1,2,4,5} (¹宇都宮大・院地域創生, ²宇都宮大・工学, ³神戸大・院医学, ⁴宇都宮大・CORE, ⁵宇都宮大・REAL)

P-096C

形態形成制御遺伝子の異所発現による半数体作出法の開発

菱田 蒼¹, チェ スンゼ², 小林 天音², 井川 智子^{1,3} (¹千葉大・院園芸学, ²千葉大・園芸学, ³千葉大・植物分子科学研究センター)

P-097A

C4 種 *Flaveria bidensis* の葉脈形成時に発現する *FbDOFLA* のオーキシン応答性の解析

藤木 海舟, 谷口 幸美, 宗景 ゆり (関学大・理工・生命)

P-098B

胚発生制御遺伝子を導入したタバコ組換え細胞の分化反応の解析

佐藤 優加¹, 南川 舞³, 小嶋 美紀子⁴, 竹林 裕美子⁴, 榊原 均^{4,5}, 井川 智子^{1,2} (¹千葉大・院園芸, ²千葉大・植物分子科学研究センター, ³千葉大学・国際高等研究基幹, ⁴理研・CSRS, ⁵名古屋大・院生命農学)

P-099C

演題取り消し

P-100A

シロイヌナズナの核内 AS2 ボディ形成における核小体の役割の解明

安藤 沙友里¹, 野元 美佳², 岩川 秀和¹, 大林 祝³, 山本 興太朗⁴, 多田 安臣², 杉山 宗隆⁵, 笹部 美知子⁶, 町田 泰則², 小島 晶子¹, 町田 千代子¹ (¹中部大・応用生物, ²名古屋大・院・理・生命理, ³Dept. Life Sci., National Cheng Kung Univ., ⁴北海道大・院・理, ⁵東大・院・理・生物科学, ⁶弘前大・農学生命)

P-101B

特定条件下でみられるシロイヌナズナ塊根様組織の形成に関わる因子の探索

坂本 卓也¹, 吉田 匠吾¹, 鈴木 孝征², 松永 幸大³ (¹神奈川大・理・理, ²中部大・院・応用生物・応用生物, ³東大・院・新領域・先端生命)

P-102C

ゼニゴケ受精卵のライブイメージングで探る体軸形成機構の進化

木全 祐資¹, 藤森 茜², 中村 聡汰¹, 佐藤 良勝³, 岡村 陽介⁴, 植田 美那子¹ (¹東北大・院・生命科学, ²東北大・理学部, ³名古屋大・WPI-ITbM, ⁴東海大・工学部)

P-103A

シロイヌナズナ種子の休眠形成における *ERECTA* とその近傍遺伝子の寄与

今成 季世, 大沼 夏樹, 野村 千比呂, 川上 直人 (明大・農)

P-104B

シロイヌナズナ胚の二放射相称の確立における非対称な遺伝子発現

渡邊 千吏¹, 相田 光宏¹, 井本 彩愛³, 田中 俊介² (1熊大院・自然科学, 2熊大・理学, 3奈良先端大・バイオ)

P-105C

シロイヌナズナの維管束形成を司る *LONESOME HIGHWAY* の上流 ORF による翻訳制御の生理学的役割狩野 泰平¹, 梅原 俊一¹, 木俣 薫織¹, 平郡 雄太¹, 林 憲哉², 内藤 哲^{1,2}, 尾之内 均¹ (1北大・院農, 2北大・院生命)

P-106A

ゼニゴケの杯状体発生における受容体遺伝子 *RPK2* と *CLV1* の機能解析宇津木 寧音¹, 奥墨 夏生², 清末 知宏², 平川 有宇樹² (1学習院大・理・生命, 2学習院大・院自然)

P-107B

ゼニゴケの分裂組織における ERF 転写因子の機能解析

山屋 沙織¹, 高橋 剛², 清末 知宏², 平川 有宇樹² (1学習院大・理, 2学習院大・院自然)

P-108C

ゼニゴケ *MpCLE2* 過剰発現体のサプレッサースクリーニング手法の検討

高野 ひなた, 清末 知宏, 平川 有宇樹 (学習院大・理)

P-109A

MpR2R3-MYB21 がゼニゴケ (*Marchantia polymorpha* L.) の無性芽形成に与える影響森本 大悟¹, 高梨 功次郎², 久保 浩義² (1信州大・院総合理工学, 2信州大・理学)

P-110B

Developmental study on bifurcate branching in *Marchantia polymorpha*

Yangyuxin Xiao, Masaki Shimamura (Grad. Sch. ISL., Univ. Hirodai)

P-111C

シロイヌナズナ大輪変異体 *obbana2* における遺伝子変異解析外山 大夢¹, 白濱 瞳¹, 風間 裕介^{2,3}, 西嶋 遼², 石井 公太郎^{3,4}, 阿部 知子³, 國武 久登⁵, 平野 智也^{3,5} (1宮崎大・院農, 2福井県大・生物資源, 3理研・仁科センター, 4量研機構・放医研, 5宮崎大・農)

P-112A

ショウジョウバカマの葉上不定芽形成機構の解明

黒田 友衣¹, 坂本 智昭², 池松 朱夏², 木村 成介² (1京産大・院生命科学, 2京産大・生命科学)

P-113B

根端分裂組織のサイズ制御におけるブラシノステロイドの作用機構

伊藤(大橋) 恭子¹, 岩本 訓知¹, 福田 裕穂^{1,2} (1東京大・院・理, 2秋田県立大)

P-114C

重イオンビーム照射で得られたトレニア新規フリル変異体の花卉の形態変化

黛 隆宏¹, 畑下 昌範², 高城 啓一², 阿部 知子³, 風間 裕介^{1,3} (1福井県立大学大学院生物資源, 2若エネ研・生物資源, 3理研・仁科センター)

P-115A

根系パターンに異常を示すシロイヌナズナ *bird feather* 変異体の解析

伊佐 積希, 岩田 健太郎, 間宮 章仁, 近藤 佑貴, 石崎 公庸, 深城 英弘 (神戸大・院・理)

P-116B

葉脈パタンの種内のゆらぎと種間の多様性の定量解析

北沢 美帆^{1,2}, 堀部 和也³ (1阪大・全学教育, 2阪大・院理, 3阪大・院基礎工)

生殖

P-117C

アブラナ科植物の花粉管誘導過程における異種と同種を見分ける認証機構の解明

長江 拓也¹, 武内 秀憲^{2,3}, 永原 史織², 水多 陽子^{2,3}, 東山 哲也⁴ (1東大・院農・応用生命化学, 2名大・ITbM, 3名大・高等研, 4東大・院理・生物科学)

P-118A

アルゴンイオンビーム照射雄性配偶子の受精が胚および胚乳発達に及ぼす影響

椎 槇子¹, 加治屋 優希², 阿部 知子³, 國武 久登², 平野 智也^{2,3} (1宮崎大・院農, 2宮崎大・農, 3理研・仁科センター)

P-119B

雌雄異株植物ヒロハノマンテマの性決定遺伝子 *GSFY* はどのように誕生したのか小林 壯生¹, 鬼頭 萌¹, 石井 公太郎², Krasovec Marc^{3,4}, 安井 康夫⁵, 安倍 知子⁶, 河野 重行⁷, Filatov Dmitry A³, 風間 裕介^{1,6} (1福井県大・生物資源, 2量研機構・放医研, 3Oxford大・植物科学, 4ソルボンヌ大・CNRS, 5京大院・農, 6理研・仁科セ, 7東大院・新領域)

P-120C

トレニア属ウリクサの LURE ペプチド群から探る種認証機構

渡部 八雲¹, 松田 直大², 長江 拓也³, 水上 茜¹, 奥田 哲弘¹, 東山 哲也¹ (1東京大・院・理, 2名古屋大・理・生命, 3東京大・院・農)

P-121A

演題取り消し

P-122B

生体内抗体 Mintbody を用いた花粉における転写状態の観察

瀬田 未央¹, 松永 幸大² (1山形大・理, 2東大・新領域 Graduate School of Frontier Sciences)

P-123C

ヒメミカヅキモ *BELLI* 遺伝子の有性生殖過程における発現解析と接合型における役割

専田 梨瑛子¹, 川井 絢子², 西山 智明³, 関本 弘之⁴, 榊原 恵子² (立教大・院生命理学, ²立教大・理・生命理学, ³金沢大・疾患モデル総合研究センター, ⁴日本女子大・理)

P-124A

イネ受精卵-体細胞プロトプラスト融合細胞の発生プロファイル

戸田 絵梨香^{1,2,3}, 亀川 拓夢³, 東山 哲也², 井澤 毅¹, 岡本 龍史³ (東大・農学生命, ²東大・理, ³都立大・理)

P-125B

重複受精制御因子の探索と解析

小林 壮良¹, 三室 周¹, 吉村 有¹, 高橋 太郎¹, 井川 智子^{1,2} (千葉大・院園芸学, ²千葉大・植物分子科学研究センター)

P-126C

ベビーキウイ (*Actinidia arguta*) を用いた連続的倍数性依存的な単為結果誘導因子の解明

服部 百伽¹, 堀内 綾乃², 大野 健太郎³, 別府 賢治³, 片岡 郁雄³, 赤木 剛士² (岡山大・農学, ²岡山大・院環境生命科学, ³香川大・農学)

エピジェネティクス

P-127A

シロイヌナズナ卵細胞における DNA メチル化状態の解析

筒井 大貴¹, W. Marc Schmid², Ueli Grossniklaus¹ (チューリッヒ大学, ²MWSchmid GmbH)

遺伝子発現制御・ゲノム・プロテオーム

P-128B

クロララクニオン藻 *Amorphochlora amoebiformis* のゲノム解読

青木 大地¹, 鈴木 重勝², 平川 泰久³ (筑波大・院生命地球, ²国立環境研究所, ³筑波大・生命環境)

P-129C

日本産ダンチク (*Arundo donax*) のゲノム解析

佐久間 洋¹, 堀澤 栄², 井上 雅裕¹ (愛媛大・院理工, ²高知工科大・環境理工)

P-130A

アワゴケ属 (オオバコ科) 陸生種と水陸両生種の比較ゲノム解析

古賀 皓之¹, ドル 有生^{1,2}, 塚谷 裕一¹ (東大・院理, ²奈良先端大・バイオ)

P-131B

緑藻スジアオノリにおける Cas9 を利用した遺伝子導入法の開発

市原 健介¹, 山崎 誠和², 河野 重行² (北海道大・FSC, ²東京大・院・新領域)

P-132C

キクタニギク白花粉変異体の解析

秦 東, 森脇 幸太, 谷口 研至, 草場 信 (広島大・院統合生命科学研究所)

P-133A

High molecular DNA extraction method for *Streptocarpus* PacBio HiFi genome sequencing

Kanae Nishii^{1,2}, Michael Moeller², Robert G Foster³, Laura L Forrest², Nathan Kelso², Sadie Barber², Caroline Howard⁴, Michelle L Hart² (Kanagawa Univ., ²Royal Botanic Garden Edinburgh, ³Edinburgh Genomics, Univ. Edinburgh, ⁴Wellcome Sanger Inst.)

植物微生物相互作用

P-134B

ユキツバキの培養可能な真菌エンドファイト組成とヤブツバキとの種相比較

山本 祐司¹, 横山 潤² (山形大・院・理工学, ²山形大・理)

P-135C

オオカナダモ (*Egeria densa*) 由来の付着微生物による Mn 不溶化機構の解明

原田 英美子¹, 森 裕基¹, 所 雅人², 稲葉 健介², 保倉 明子² (滋賀県大・環境科学, ²東京電機大・工)

P-136A

ラン科ボウランの菌根菌相の解明

円城寺 佑香 (佐大・院農学)

P-137B

Diversity Of Ryukyu Island Orchids

Samadhi Kavindya Dissanayake Ekanayaka Jayasundara Mudiyanse (Grad. Sch. Agri., Univ. Saga)

P-138C

ヒメツリガネゴケにおけるオーキシシグナルを介した免疫応答の解析

吉田 美百合 (東農大・バイオ)

P-139A

ヒメツリガネゴケにおけるキチンシグナルを介した転写因子 CAMTA の機能解析

瀬津 暁乃, 太治 輝昭, 坂田 洋一, 四井 いずみ (東京農大バイオ)

P-140B

モデル寄生植物コシオガマを使用した吸器誘導阻害物質の探索

菅 咲桜里¹, 井上 峻雅¹, 佐藤 綾人², 吉田 聡子¹ (1奈良先端大・バイオ, 2名古屋大学・ITbM)

P-141C

寄生植物の吸器形成を制御する低分子化合物の解析

井上 峻雅, 菅 咲桜里, 和田 将吾, 佐藤 夏暉, 吉田 聡子 (奈良先端大・バイオ)

P-142A

共生糸状菌 *Colletotrichum tofieldiae* とシロイヌナズナのリン濃度依存的共生樹立基盤の探索

岡崎 まなみ, 晝間 敬 (東大・院総合文化)

P-143B

病原菌応答における TGN 局在 SNARE の機能

田浦 愛美¹, 遠藤 彩瑛², 八丈野 孝³, 伊藤 瑛海⁴, 伊藤 容子⁴, 中野 明彦⁵, 植村 知博² (1お茶大・理・生物, 2お茶大・院・ライフサイエンス, 3愛媛大・院・農, 4お茶大・ヒューマンライフ, 5理研・光量子工学)

P-144C

画像解析によるシロイヌナズナ気孔・根の表現型定量技術の実装と運用

高木 桃子^{1,7}, 平田 梨佳子², 相原 悠介^{1,3}, 林 優紀⁴, 水谷 未耶¹, 安藤 英伍⁵, 河野(吉村) 恵実⁶, 富山 将和⁶, 岡崎 まなみ⁷, Liu Xinpeng⁸, 晝間 敬⁷, 大倉 史生⁸, 木下 俊則^{1,4}, 峯 彰², 戸田 陽介^{1,6} (1名大・ITbM, 2京大・院農, 3JST・さきがけ, 4名大・院理, 5東大・理, 6(株)フィトメトリクス, 7東大・院総合文化, 8阪大・院情報科学)

その他

P-145A

低価格タイムラプスカメラと YOLOX によるイネ開花時刻の推定

村中 智明¹, 横山 寛², 松浦 萌華², 田浦 悟³, 一谷 勝之², 神田 英司² (1名古屋大・院生命農学, 2鹿児島大・農学部, 3鹿児島大・遺伝子)

P-146B

シロイヌナズナにおける PCB を用いた iRFP ライブイメージングの改良法

海老根 一生^{1,2}, 酒井 啓一郎^{1,3}, 後藤 祐平^{1,2,3}, 青木 一洋^{1,2,3}, 上田 貴志^{1,2} (1基生研, 2総研大, 3ExCELLS)

P-147C

近赤外フェムト秒レーザーによる細胞切断条件がヒメツリガネゴケ葉の幹細胞化に与える影響

椎名 謙介¹, 長谷川 智士², 飛田 拓海¹, 初見 州人¹, Nan Gu^{3,4,5}, 早崎 芳夫², 玉田 洋介^{1,2,4,5} (1宇都宮大・院地域創生, 2宇都宮大・CORE, 3宇都宮大・イノベ, 4宇都宮大・工学, 5宇都宮大・REAL)

P-148A

A machine learning-based analysis pipeline for plant nuclei

Fuka Kojia (OIST・IAS)

P-149B

Quantification of immunoblotting signals across four SDS-PAGE gels

Yuting Cheng^{1,2}, Junko Kishimoto², Hisashi Ito², Xueyun Hu¹, Ryouichi Tanaka² (1Bio. Sci., Yangzhou Univ., 2Inst. Low Temp. Sci., Hokkaido Univ.)

高校生研究ポスター発表 プログラム

P-A01

ネジバナの特徴から探る様々な植物の進化
～花粉塊崩壊と赤白の花の意味～

熊谷 緋沙子
(東京都千代田区立九段小学校)

P-B02

鞘をねじって種を飛ばすカラスノエンドウ
～飛ばしそこねた種を落とす仕組み～

鈴木 ひなた
(横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校)

P-A03

撥水性と親水性を両立するオオサンショウモの不思議な毛
～水面に浮かび続けるための巧妙な工夫～

帰山 凜咲
(横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校)

P-B04

高濃度酸素水の灌水がシクラメンの成長に与える影響
菅 柊斗, 鈴木 彩水, 昆野 慶太 (指導教員)
(宮城県南郷高等学校)

P-A05

稲踏み効果の科学的検証

植野 涼子
(ノートルダム清心学園清心女子高等学校)

P-B06

植物由来の低刺激消毒液の開発

市村 美優, 井上 愛菜, 白井 有里, 白石 稟, 山田 望愛
(神奈川県立厚木高等学校)

P-A07

大豆イソフラボンと光の関係

渡辺 好, 青野 裕幸 (指導教員), 小野寺 秀一 (研究協力)
(札幌日本大学中学校高等学校)

P-B08

厚別南緑地の豊かさ評価Ⅱ

鈴木 晃司, 小田 紗枝里, 佐藤 彩雪, 中谷 恵満, 廣岡 佑亮,
八幡 涼平, 澤田 瑛, 稲垣 賢人, 長谷山 耀紀
(札幌日本大学中学校高等学校)

P-A09

サボテン種ごとの刺座配列の螺旋方程式の系統的な違い

村瀬 太郎, 大和 司, 吉田 龍之介, 本脇 敬人, 岸上 葉菜,
藤田 詩桜, 寺田 悠哉, 宮本 泰成, 宮下 翔真, 川勝 和哉 (指導教員)
(兵庫県立姫路東高等学校)

P-B10

山形県庄内沿岸の食用海藻アカモクの形態多様性評価
尾崎 裕介

(学校法人羽黒学園 羽黒高等学校)

P-A11

シロイヌナズナ *FLL1* 遺伝子の機能解析

阿部 恵実花, 横山 春陽, 鈴木 健太 (指導教員)
(広尾学園高等学校)

P-B12

ジャガイモ由来毒素成分ソラニンを用いた環境負荷低減農
薬開発の検討

井出 渚, 紺野 悠菜
(神奈川県立厚木高等学校)

P-A13

クワンソウ摂取時における身体的影響および睡眠への効果
に関する考察

小林 裂乃, 三枝 拓 (指導教員)
(茗溪学園高等学校)

P-B14

キノコのアレロケミカルに関する研究：
生理活性物質の発見を目指して

松本 花奈, 三枝 拓 (指導教員)
(茗溪学園高等学校)

P-A15

植物が持っている成分から防虫効果を探す

専称 和実, 三枝 拓 (指導教員)
(茗溪学園高等学校)

P-B16

漢方のもつ抗菌活性に関する研究

飯島 紗和, 三枝 拓 (指導教員)
(茗溪学園高等学校)

P-A17

マイクロ波による植物病原菌の駆除

北本 奈央, 京嶋 紗夕, 柴田 芽依, 廣瀬 佑吾, 横田 悠人
(兵庫県立神戸高等学校)

P-B18

オガクズを用いたバイオトイレ内に存在する細菌の分析

越 香月, 浮穴 真羽, 八幡 涼平, 雄谷 ここね, 宮澤 羽羅
(学校法人札幌日本大学学園 札幌日本大学高等学校)

P-A19

朝顔を人工的に「一日顔」にする方法VI
～アサガオの開花時間の延長～

飯塚 颯

(学校法人角川ダウンゴ学園 N高等学校)

P-B20

挿し木の成功率を上げるために

福田 百合野

(茨城県立並木中等教育学校)

P-A21

映えない花はどんな虫を呼ぶか!?

～コブラオーキッドの多様なだましの戦略～

高梨 詩萌, 森田 有美, 渡部 芽生, 白木 香奈, 竹内 唯華

(白梅学園高等学校)

P-B22

まるで海の宝石箱や～!

～光る海藻の How 疑問と Why 疑問を解く～

廣田 陽世, 山本 美璃, 高崎 優嘉, 山崎 すす

(白梅学園高等学校)

P-A23

地域と身体を活性化!

～ユズ中のオーラブテン定量と活用法の検討～

田中 千春, 菅野 愛栞, 岡部 愛加, 大森 琥太, 高實子 心暖

(栃木県立栃木農業高等学校)

P-B24

マイクロスケール実験で行う生物農薬の研究

渋谷 悠太, 石原 大馳

(茨城県立並木中等教育学校)

P-A25

ストレス下における植物の防御機能について

～強光ストレス下でのアントシアニンの発現点を探る～

出張 俊輔

(茨城県立並木中等教育学校)

P-B26

100年フード「くさぎ菜」を現代社会で利活用できないだ
ろうかクサギの効能と活用に関する研究

川北 雛乃, 杉山 杏華, 田村 優依

(岡山県立高松農業高等学校)

P-A27

キュウリにおける DMSO の紫外線防護効果

西山 涼介

(筑波大学附属駒場高等学校)

P-B28

ワンドの植生は何によって決まるのか：多摩川ワンドの植
生と環境要因に関する研究

高本 穰太郎

(筑波大学附属駒場高等学校)

P-A29

土壌中の硝酸イオンが根粒に及ぼす影響

柴田 元気, 高橋 眞生, 花川 美幸, 舟木 梨恵

(北海道釧路湖陵高等学校)

P-B30

スズランの根のアレロケミカルによる他種の植物への伸長
抑制作用の比較

本間 朱里

(千葉県立船橋高等学校)

発表者名索引

A

Abe Atsushi 阿部 篤志 2aAK03
 Abe Chiharu 安部 千遥 1pAN05
 Abe Mitsutomo 阿部 光知 1aAN04
 “ 1aAN05
 Abe Tomoko 阿部 知子 1aAD02
 “ P-111C
 “ P-114C
 “ P-118A
 “ P-119B
 Adachi Naruhiko 安達 成彦 1aSB02
 Adachi Shunsuke 安達 俊輔 1pAH14
 Adhikari Prakash Babu
 アドヒカリ パラカッシュ バブ 1pAL06
 “ 1pAL07
 Aida Mitsuihiro 相田 光宏 2aAH03
 “ P-104B
 Aihara Yusuke 相原 悠介 P-144C
 Akagami Hiroaki 赤上 裕章 2aAF04
 Akagi Chika 赤木 千佳 2aAH09
 Akagi Takashi 赤木 剛士 1aAL01
 “ 1pAH04
 “ 2aSC03
 “ 3aSD02
 “ P-126C
 Akhtar Nilufa 2aAF01
 Akita Kae 秋田 佳恵 3aAM06
 “ P-071B
 Akitsu Tomoko 秋津 朋子 1aAF05
 Akiyama Reiko 秋山 玲子 2aAE09
 Akiyama Takuya 秋山 拓也 P-017B
 Akiyama-Oda Yasuko 秋山-小田 康子
 “ 2aSA06
 Akiyoshi Nobuhiro 秋吉 信宏 1pAG07
 Akter Most Mohoshena 3aAE06
 Akutsu Mitsuiaki 阿久津 光昭 1aAH07
 Alif Meem Nurani 2aAL06
 Amari Toshiki 甘利 俊樹 1pSC01
 “ P-093C
 Ando Eigo 安藤 英伍 P-144C
 Ando Haruko 安藤 温子 P-019A
 Ando Naoe 安藤 奈央恵 1pAN12
 Ando Saki 安藤 沙季 P-050B
 Ando Sayuri 安藤 沙友里 P-100A
 Andrey E. Kozhevnikov 1pAK14
 Aoi Takashi 青井 貴之 P-095B
 Aoki Daichi 青木 大地 P-128B
 Aoki Genta 青木 元汰 1pAL12
 Aoki Haruka 青木 遥 3aAM05
 Aoki Hinako 青木 日向子 1pAF05
 Aoki Kazuhiro 青木 一洋 P-146B
 Aoki Nanami 青木 菜々実 P-080B
 Aoki Sakura 青木 さくら 2aAG01
 Aoki Setsuyuki 青木 撰之 2aAE06
 Aoki Shintaro 青木 真太郎 P-035B
 Aoyama Takashi 青山 卓史 2aAH09

Aoyama Tsuyoshi 青山 剛士 1aAG01
 Aoyama Yoshitaka 青山 佳敬 3aAM05
 Arae Toshihiro 荒江 星拓 1pAG08
 “ 2aAH01
 “ 2aAH03
 “ 2aAL04
 Arai Naoki 荒井 直樹 1aAH04
 Arakawa Keita 荒川 圭太 2aAD08
 Araki Kiwako 荒木 希和子 2aAE10
 Araki Takashi 荒木 崇 1aAH01
 “ 1pAL11
 Arano Takuma 荒野 巧勝 1aAM04
 Ariizumi Tohru 有泉 亨 1pAM06
 Arimura Shin-ichi 有村 慎一 1aAK01
 Aruga Yuki 有賀 悠貴 1pAM07
 Asahi Fumiaki 旭 文暉 2aAD11
 Asahina Masashi 朝比奈 雅志 1aAG02
 “ 1aAG03
 “ 2aAL06
 “ 2aAN06
 “ 2aAN10
 Asakawa Hiroki 浅川 裕紀 1aAD09
 “ 1aSI03
 Asano Makoto 浅野 真 1aAE09
 Asano Ryouzuke 浅野 僚介 1pAF11
 Asaoka Kouta 浅岡 孝太 2aAN05
 Asaoka Mariko 浅岡 真理子 1pAG13
 Aso Masashi 麻生 将史 2aAD04
 Atsduji Kohei 阿閉 耕平 1pAH12
 Atsuzawa Kimie 厚沢 季美江 1aAL07
 Awano Tatsuya 粟野 達也 1pAG05
 Ayama Mai 阿山 真唯 2aAF02

B

Baba Kei'ichi 馬場 啓一 1aSI02
 Baba-Kasai Akiko 馬場 (笠井) 晶子
 “ 1pAK12
 Badel Eric 1pAG13
 Balandra Alfonso 3aSC02
 Bamba Masaru 番場 大 1pAK09
 “ 2aAG06
 Barber Sadie P-133A
 Battenberg Kai 1pSA02
 Beier Marcel バイヤー マルセル
 “ 1aAD05
 Bente Heinrich 1aAL02
 Beppu Kenji 別府 賢治 1aAL01
 “ P-126C
 Brownfield Lynette 1pAL07

C

Caujapé-Castells Juli 2aAK09
 Che Fang-Sik 蔡 晃植 1pAH08
 Chen Huang 黄 陈 1pAL07
 Chen Peng 1aAD10

Chen Xi 陳 曦 1aAF03
 Chen Yen-Wei 陳 延偉 3aSC04
 Chen Yingxi 陳 穎茜 1aAK02
 Cheng Yuting P-149B
 Chiba Kaito 千葉 海大 3aAN03
 Chigusa Ryo 千種 亮 2aAG05
 Chiso Katsuhiko 地宗 克洋 2aAE06
 Choi Hyeok Jae 1pAK15
 Choi Seungje チェ スンゼ P-096C
 Chow Wah Soon チョウ ワースン
 “ P-053B
 “ P-004A
 Chung Gyu Young
 Cosentino Salvatore Salvatore Cosentino
 “ 2aAG05
 Cui Heyu 崔 鶴宇 2aAE06
 Cui Mengqi 崔 夢琦 1pSA06
 Cui Yihui 1aAL05

D

Dan Nanako 段 奈々子 1pAH06
 Date Yasuhiro 伊達 康博 P-039C
 Deguchi Ryusaku 出口 竜作 3aAK01
 Demura Taku 出村 拓 1aAE10
 “ 1pAF10
 “ 1pAG01
 “ 1pAG02
 “ 1pAG03
 “ 1pAG04
 “ 1pAG05
 “ 1pAG08
 “ 1pAM04
 “ 2aAL09
 Den Zeping 3aSC04
 Denda Tetsuo 傳田 哲郎 1pAK03
 Devi Utami Yuniar Yuniar Devi Utami
 “ 2aAG05
 Diaz Mariana 2aAN01
 Ding Ming 1pAE11
 Dmitry A Filatov P-119B
 Doll Yuki ドル 有生 1aAN-AL1
 “ 1pAM08
 “ 3aSC02
 “ P-130A

E

Ebana Kaworu 江花 薫子 1pAH14
 Ebihara Atsushi 海老原 淳 1pAK01
 “ 1pAK02
 Ebine Kazuo 海老根 一生 1pAL03
 “ 1pAN08
 “ 2aAM03
 “ 2aAM05
 “ P-146B
 Eda Haruka 江田 悠河 1pAK15
 Egami Maho 江上 茉穂 1pAG03

Eguchi Tomoko 江口 倫子 2aAM02
 Ekanayaka Jayasundara Mudiyansele P-137B
 Samadhi Kavindya Dissanayake
 Eki Toshihiko 浴 俊彦 P-065B
 “ P-066C
 Endo Kaito 遠藤 海斗 P-070A
 Endo Masaki 遠藤 真咲 1aAN04
 Endo Sae 遠藤 彩瑛 2aAM02
 “ P-143B
 Enjoji Yuka 円城寺 佑香 P-136A
 Erata Mayumi 恵良田 眞由美
 “ 1pAH12
 Ezaki Kazune 江崎 和音 P-083B
 Ezura Hiroshi 江面 浩 1pAM06

F

Feng Yihong 2aAM05
 Ferjani Ali 1pAG13
 “ P-091A
 Forrest Laura L P-133A
 Foster Robert G P-133A
 Frommer Wolf B. フロマー ウォルフ
 “ 3aAM08
 Fuji Masako 藤 雅子 2aAG03
 Fujibayashi Mizuki 藤林 瑞季 1pSJ01
 Fujie Makoto 藤江 誠 1pAH11
 Fujii Nobuharu 藤井 伸治 1pAD12
 Fujii Noriyuki 藤井 紀行 1pAK14
 Fujii Seiya 藤井 清矢 1pAK10
 Fujii Sho 藤井 祥 1aAK09
 “ 2aSB03
 “ P-072C
 Fujiki Kaishu 藤木 海舟 P-097A
 Fujimori Akane 藤森 茜 1pAL15
 “ P-102C
 Fujimori Yoko 藤森 陽子 1pAM06
 Fujimoto Koichi 1pAM03
 “ 1pAN06
 “ 1pAN13
 “ 2aSA07
 Fujimoto Masaru 藤本 優 2aAM05
 Fujimura Ayano 藤村 綾乃 3aAN06
 Fujimura Futa 藤村 風歌 P-052A
 Fujinami Rieko 藤浪 理恵子 1pAN06
 “ 1pSJ04
 Fujisawa Yuki 藤澤 祐希 P-078C
 Fujita Masaki 藤田 雅紀 2aAF03
 Fujita Miki 藤田 美紀 1pAD07
 “ 2aAG05
 Fujita Tomomich 藤田 知道 P-034A
 Fujita Tomomichi 藤田 知道 1aAD05
 “ 1aSJ05
 “ 2aSA02
 “ 3aAN08
 “ 3aAN09
 “ P-035B

“ P-043A
 Fujita Yudai 藤田 悠大 1pAM07
 Fujiwara Makoto 藤原 誠 1aAE09
 Fujiwara Masato 藤原 正人 P-011B
 Fujiwara Motohiro 藤原 基洋 1pAN06
 “ 2aSA06
 Fujiwara Shoko 藤原 祥子 P-037A
 “ P-067A
 Fujiwara Sumire 藤原 すみれ 1aAD04
 Fujiwara Takayuki 藤原 崇之 3aAE01
 “ 3aAK07
 “ 3aAK08
 “ 3aAK09
 “ 3aAM01
 “ 3aAM02
 “ P-064A
 Fujiwara Tao 藤原 泰央 1pAK01
 “ 1pAK02
 “ 2aAK06
 Fukaki Hidehiro 深城 英弘 1aAG04
 “ 1aAK01
 “ 1aAK03
 “ 1aAM01
 “ 1aAM03
 “ 1aAM04
 “ 2aAH03
 “ 2aAL05
 “ 2aAL06
 “ 3aAN01
 “ 3aAN02
 “ 3aSC02
 “ P-075C
 “ P-094A
 “ P-115A
 Fukao Yoichiro 深尾 陽一朗 2aAM10
 Fukasawa Narumi 深澤 成実 1pAN10
 Fukatsu Kohei 深津 孝平 1pAE08
 Fukuda Hiroo 福田 裕穂 1pAF10
 “ 2aAL06
 “ P-113B
 Fukuda Tatsuya 福田 達哉 P-013A
 “ P-020B
 “ P-021C
 Fukuhara Toshiyuki 福原 敏行 2aAH05
 Fukuishima Hiroko 福島 弘子 1aAM05
 Fukumura Hinatamaru 福村 日向丸 3aAN01
 Fukumura Kaoru 福村 薫 1pAL10
 Fukushima Atsushi 福島 敦史 P-039C
 Fukushima Kenji 福島 健児 2aAK02
 “ OL-AL4
 “ P-006C
 Fukuzawa Hideya 福澤 秀哉 1aAK07
 “ 1pAE10
 Furukawa Jun 古川 純 1pAG12
 Furukawa Nanari 古川 七梨 1pAN02
 Furumizu Chihiro 古水 千尋 2aAH04
 Furumoto Tsuyoshi 古本 強 1pAI12

“ 2aAD01
 “ 2aAD02
 “ 2aAD03
 Furuta Kaori 古田 かおり 1pSA06
 Furuya Tomoyuki 古谷 朋之 1aAM01
 “ 1aAM03
 “ 1aAN03
 “ 1pAL14
 “ 2aAL06
 “ 3aAN01
 Fuse Shizuka 布施 静香 1pAK03
 “ 1pAK04
 “ 1pAK05

G

Gao Yan 高 燕 1aAF04
 Gaudin Valerie 1aAE02
 Giang Van Quoc 2aAE07
 Goh Tatsuaki 郷 達明 1aAL05
 “ 1pAN06
 “ 2aAL05
 “ 3aSC04
 Goto Chieko 後藤 千恵子 3aAN01
 Goto Fumiyouki 後藤 文之 1aAD02
 Goto Momoka 後藤 桃佳 1pAH06
 Goto Yuhei 後藤 祐平 P-146B
 Goto Yumi 後藤 友美 3aAM07
 Gotoh Eiji 後藤 栄治 1pAE03
 “ 1pAE06
 Grossniklaus Ueli P-127A
 Gu Nan 顾 南 1pSA03
 “ 1pSA07
 “ P-087C
 “ P-088A
 “ P-147C
 Gupta Dharmendra K P-030C
 Gwee Eunice 1aAG01

H

Hagiwara Shinya 萩原 伸也 1aAK10
 Hagiwara Yuki 萩原 雄樹 2aAL10
 Hamada Takahiro 濱田 隆宏 1pAF08
 “ 2aAD05
 Hamaji Takashi 浜地 貴志 3aAK04
 Hamamoto Chieko 濱元 千絵子 3aAM05
 Hamamoto Shoichiro 濱本 昌一郎 P-039C
 Hamant Olivier 1pAG13
 Hamasaki Taiga 浜崎 大雅 P-005B
 Han Junwen 韓 俊文 1pAH03
 Hanada Kousuke 花田 耕介 1pAN03
 Hanaki Yuga 花木 優河 1pAF04
 Hanamata Shigeru 花俣 繁 1aAL06
 “ 2aAD04
 Hanba Yuko 半場 祐子 P-034A
 “ P-035B

〃		P-051C	〃		1aAK05	〃		P-108C
〃		P-052A	〃		1pSA02	Hirakawa Yutaro	平川 悠太郎	P-037A
Handa Nodoka	半田 和華	2aAN03	Hayashi Noriya	林 憲哉	P-105C	Hirano Hiro-Yuki	平野 博之	1pSJ05
Handa Shinji	半田 信司	3aAK06	Hayashi Tetsuya	林 哲也	2aAG05	Hirano Satoyuki	平野 慧潔	1pAE05
Hara Kojiro	原 光二郎	1aSB02	Hayashi Yuichiro	林 雄一郎	2aAL07	Hirano Tomoko	平野 朋子	1aAE05
Hara Mamoru	原 遵	1pAE04	Hayashi Yuki	林 優紀	1pAD04	〃		1pAN08
Hara-Nishimura Ikuko	西村 いくこ	1aAG07	〃		1pAE08	〃		2aAN11
〃		1pAM04	〃		P-144C	〃		3aSD05
〃		1pAM05	Hayashida Masahiro	林田 雅大	P-075C	Hirano Tomonari	平野 智也	P-111C
Harada Emiko	原田 英美子	1pAK11	He Jiale	何 嘉乐	1pAL06	〃		P-118A
〃		P-135C	〃		1pAL07	Hiraoka Nodoka	平岡 和	2aAF08
Haraguchi Takeshi	原口 武士	P-077B	Hehn Alain		1pAH04	Hirase Taishi	平瀬 大志	2aAG02
〃		P-078C	Hehn Alian	Alian Hehn		Hirashima Ryuuya	平島 竜也	1pAI12
Hart Michelle L		P-133A			1pAH03	Hirata Rikako	平田 梨佳子	2aAG04
Hartmann Felix		1pAG13	Hetherington Nicola		1pSA02	〃		P-144C
Haruta Makito	春田 牧人	1aAE10	Hidema Jun	日出間 純	1pAE04	Hirata Shunya	平田 峻也	1aAH02
Haruta Tomohiro	春田 知洋	3aAM05	Higa Takeshi	比嘉 毅	1pAF10	Hirayama Sakuya	平山 朔也	1aAG03
Hasama Ryosuke	迫 凌輔	1pAE01	Higahsiyama Tetsuya	東山 哲也	2aSC02	Hirayama Takashi	平山 隆志	1aAK01
Hasebe Mitsuyasu	長谷部 光泰	1aAD09	Higaki Takumi	檜垣 匠	1aAN01	Hirokado Hidehito	廣門 秀仁	1aAK07
〃		1aAD10	〃		1aAN02	Hirokane Hajime	広兼 元	P-064A
〃		1aSJ06	〃		1pAF01	Hiroki Shouzou	広木 詔三	1pAK13
〃		P-087C	〃		1pAF04	Hiromoto Yukiko	弘本 悠紀子	1aAN02
Hasegawa Ayaka	長谷川 綾香	P-027C	〃		1pAN08	Hirooka Shunsuke	廣岡 俊亮	3aAE01
Hasegawa Kazuya	長谷川 和也	1pAN01	〃		3aAM06	〃		3aAK07
Hasegawa Kota	長谷川 晃汰	1aAD06	〃		P-044B	〃		3aAK08
〃		2aAM07	〃		P-078C	〃		3aAK09
Hasegawa Masahiro	長谷川 匡弘	P-015C	Higashi Hironori	東 博紀	2aAF03	〃		3aAM01
Hasegawa Satoshi	長谷川 智士	P-147C	Higashi Katsumi	東 克己	2aAN05	〃		3aAM02
Hasezawa Seiichiro	馳澤 盛一郎	3aAM06	Higashijima Mariko	東島 万里子	1pAG10	〃		P-042C
Hashida Yoichi	橋田 庸一	1pAH15	Higashiyama Tetsuya	東山 哲也	1pAL06	〃		P-064A
Hashimasa Ryuhei	橋正 隆平	2aAN06	〃		1pAL08	Hirose Shogo	廣瀬 匠悟	1pAH01
Hashimoto Kenji	橋本 研志	1aAD06	〃		1pAL09	〃		3aSC02
〃		1aAD07	〃		1pAL10	Hirose Yuu	広瀬 侑	P-065B
〃		1aAD08	〃		1pAN12	〃		P-066C
〃		1pAG10	〃		1pSA05	Hirota Atsuko	廣田 敦子	1pSA02
〃		2aAL10	〃		2aAK05	Hirota Kanata		P-038B
〃		2aAL11	〃		3aAK04	Hirota Masashi	廣田 正史	1pAH12
〃		2aAM07	〃		P-117C	Hirota Shun	廣田 峻	1pAK06
〃		2aAM08	〃		P-120C	〃		1pAK14
Hashimoto Koki	橋本 幸紀	P-016A	〃		P-124A	〃		2aAK06
Hashimoto Shun	橋本 駿	2aAG06	Higashiyama Yuka	東山 優花	P-028A	Hirota Syun	廣田 峻	1pAK15
Hashimoto Takafumi	橋本 貴史	1aAD06	Higuchi Yohei	樋口 洋平	1aSC02	Hirotsu Naoki	廣津 直樹	1pAI07
Hashimoto Tamaki	橋本 環	2aAK07	Hihara Yukako	日原 由香子	3aSB01	Hiruma Kei	晝間 敬	1pSB01
Hata Yuki	秦 有輝	3aAN06	Hijikata Atsushi	土方 敦司	P-037A	〃		2aAG04
〃		3aAN07	Hijikata Yuh	土方 優	1aAG01	〃		2aAG05
Hatanaka Haruna	畑中 悠那	P-041B	Hiragori Yuta	平郡 雄太	2aAH08	〃		2aAM04
Hatashita Masanori	畑下 昌範	P-114C	〃		P-105C	〃		P-142A
Hatsumi Shuto	初見 州人	P-147C	Hirai Masami	平井 優美	P-063C	〃		P-144C
Hattori Momoka	服部 百伽	1aAL01	Hirai Masami Y.	平井 優美	P-091A	Hisanaga Tetsuya		1aAL05
〃		P-126C	Hirakawa Hideki	平川 秀樹	1aAH08	Hisanaga Yuki	久永 優希	1pAN03
Hattori Takayuki	服部 隆行	P-028A	Hirakawa Yoshihisa	平川 泰久	1aSB01	Hisano Hiroshi	久野 裕	2aSB01
Hayasaki Yoshio	早崎 芳夫	P-147C	〃		P-069C	Hishida Aoi	菱田 蒼	P-096C
Hayashi Anju	林 杏樹	1aAG07	〃		P-128B	Hiwatashi Yuji	日渡 祐二	1aAH07
Hayashi Hiroshi	林 潤	P-049A	Hirakawa Yuki	平川 有宇樹	3aAN05	〃		3aAN07
Hayashi Maika	林 真衣香	1aAE10	〃		OL-AL3	〃		P-034A
Hayashi Maki	林 真妃	1pAD05	〃		P-106A	〃		P-043A
Hayashi Makoto	林 誠	1aAK04	〃		P-107B	Hokura Akiko	保倉 明子	1aAD02

/ P-135C
 Honjo Mie N 本庄 三恵 2aAE08
 Honjo Mie N. 本庄 三恵 2aAE12
 Hori Koichi 堀 孝一 2aSJ02
 / P-074B
 Horibe Kazuya 堀部 和也 P-116B
 Horie Ayaka 堀江 綾香 2aAN01
 Horie Kenji 堀江 健二 1pAK14
 / 2aAK08
 Horiguchi Genki 堀口 元気 1pAI07
 Horiguchi Gorou 堀口 吾朗 1pAM01
 / 1pAM02
 / 1pAM11
 / 1pAM12
 Horiguchi Kohei 堀口 航平 1pAG01
 Horii Yujiro 堀井 雄治郎 2aAK12
 Horike Hiroki 堀家 広樹 P-051C
 Horisawa Sakae 堀澤 栄 P-129C
 Horiuchi Ayano 堀内 綾乃 1aAL01
 / P-126C
 Hoshi Yoshikazu 星 良和 2aAK01
 Hoshino Makoto 星野 真人 P-034A
 Hoshiyama Koichi 星山 耕一 P-003C
 Hosoi Yoshihisa 細井 佳久 P-084C
 Hosokawa Satoko 細川 聡子 1pAH12
 Hoson Takayuki 保尊 隆享 P-028A
 Hosoya Fukutaro 細矢 福多郎 1pSJ01
 Hou Hongwei 1pAM09
 Howard Caroline P-133A
 Hsu Tai-Ying 許 泰瑛 P-086B
 Hu Xueyun P-149B
 Huang Chaokun 黄 朝琨 1pAG15
 Huang Chen 黄 陈 1pAL06
 Hyoung-Tak Im 1pAK14

I

Iba Koh 射場 厚 1aAK06
 / 1pAD06
 / 1pAD08
 / 1pAE03
 / 1pAN03
 / P-044B
 Ichihara Kensuke 市原 健介 P-131B
 Ichihashi Yasunori 市橋 泰範 1pSA06
 / 2aAG07
 / P-039C
 Ichino Takuji 市野 琢爾 1pAH05
 / 1pAH06
 Ichita Manami 市田 まなみ P-044B
 Ichitani Katsuyuki 一谷 勝之 P-145A
 Ide Youko 井出 洋子 1pAH12
 Ifuku Kentaro 伊福 健太郎 2aAD09
 Igarashi Kanta 五十嵐 幹太 1pAM11
 Igari Masashi いがり まさし
 / 1pAK14
 Igawa Tomoko 井川 智子 1pAL01

/ 1pAL02
 / 2aAN08
 / P-096C
 / P-098B
 / P-125B
 Iida Hiroyuki 飯田 浩行 1pAN11
 Iizuka Shunsaku 飯塚 駿作 1pAF03
 Ikeda Ayano 池田 彩乃 1aAK07
 Ikeda Hiroshi 池田 博 1pAK04
 Ikeda Miho 池田 美穂 P-041B
 / P-085A
 Ikeda Takato 池田 陸人 1pAM04
 Ikeda Yoko 池田 陽子 1aAE02
 / 1aAH01
 / 1aAH02
 Ikegaya Hisato 池谷 仁里 2aSJ03
 Ikematsu Shuka 池松 朱夏 1pAM10
 / 1pSJ06
 / P-112A
 Ikeuchi Momoko 池内 桃子 1pAM03
 Ikeuchi Toru 池内 亨 1aAD07
 / 1aAD08
 Imai Ryosuke 今井 亮介 2aAK09
 Imami Koshi 今見 考志 1pAF08
 Imamura-Jinda Aya 今村(陣田) 綾
 / 1pAH08
 / 1pAN05
 Imanari Kiyoo 今成 季世 P-103A
 Imizu Katsutoshi 射水 勝利 3aSC04
 Imoto Ayame 井本 彩愛 P-104B
 Imoto Yuuta 井元 祐太 2aAL12
 Inaba Kensuke 稲葉 健介 P-135C
 Inaba Shoko 稲葉 尚子 2aAG11
 Inada Noriko 稲田 のりこ 1aAH06
 / 2aAG01
 / 2aAL03
 Inagaki Hideo 稲垣 秀生 1pAD13
 Inagaki Soichi 稲垣 宗一 2aAE07
 / 2aAL06
 / 2aAN02
 Inagaki Yuji 稲垣 祐司 3aAK02
 Inami Masahiko 稲見 昌彦 3aSC01
 / 3aSC02
 / 3aSC04
 Inanaga Michiko 稲永 路子 1pAG11
 Inoue Chiharu 井上 ちはる P-061A
 Inoue Kanako 井上 加奈子 2aAG03
 Inoue Kazuhito 井上 和仁 P-068B
 Inoue Kazuya 井上 和也 2aAM06
 Inoue Masataka 井上 雅貴 1pAH13
 Inoue Ryoga 井上 峻雅 P-140B
 / P-141C
 Inoue Yasuhiro 井上 康博 1pAN14
 Inoue Yuya 井上 侑哉 2aAK07
 Inoue-Aono Yuko 井上 悠子 3aAE06
 Inouhe Masahiro 井上 雅裕 P-030C
 / P-129C

Inui Yayoi 乾 弥生 1aSA03
 / 2aAN01
 / 2aAN04
 / 2aAN07
 Inukai Yoshiaki 犬飼 義明 1pAN06
 Isa Tsumiki 伊佐 積希 P-115A
 Isada Tomonori 伊佐田 智規 2aAF03
 Isayama Tomoya 諫山 友哉 2aAL01
 Isemura Takehisa 伊勢村 武久 1pAK12
 Ishibashi Kota 石橋 幸大 1aAK07
 Ishida Kenichiro 石田 健一郎 P-005B
 / 1aAL05
 Ishida Takashi 石田 喬志 1pAL06
 / 2aAL01
 Ishida Toshiaki 石田 俊晃 1pAH09
 Ishihara Taiga 石原 大雅 2aAG05
 / 3aAE02
 Ishii Chikako 石井 千賀子 2aAK03
 Ishii Kotaro 石井 公太郎 P-111C
 Ishii Sosuke 石井 壮佑 P-006C
 Ishii Yuka 石井 結香 1aAL03
 Ishii Yuu 石井 悠 3aAK01
 Ishikawa Kei 石川 慶 P-031A
 Ishikawa Masaki 石川 雅樹 1aAK09
 / 1aSJ06
 / 1aSJ07
 Ishikawa Naoko 石川 直子 1pAK14
 / 2aAK08
 Ishikawa Shin-ichi 石川 真一 2aAF04
 Ishikawa Tomoharu 石川 禎治 P-037A
 Ishikawa Toshiki 石川 寿樹 1aAL07
 / 2aSI03
 / 3aSB01
 Ishimaru Tsutomu 石丸 努 1pAH15
 Ishimaru Yasuhiro 石丸 泰寛 1pAF01
 Ishimoto Yukitaka 石本 志高 1aAD08
 / 1aAN01
 / 1pAF04
 Ishizaki Haruka 石崎 遼 2aAG02
 Ishizaki Kimitsune 石崎 公庸 1aAG04
 / 1aAK03
 / 1aAM01
 / 1aAM03
 / 1aAM04
 / 1pAF09
 / 2aAL05
 / 2aAL06
 / 3aAN01
 / 3aAN02
 / 3aAN04
 / P-075C
 / P-094A
 / P-115A
 Ishizaki Satomi 石崎 智美 P-018C
 Ishizuka Toru 石塚 徹 P-085A
 Isobe Sachiko 磯部 祥子 1aAH08
 / 1pAK07

Isoda Reika	磯田 玲華	3aAM08	Iwasaki Tetsushi	岩崎 哲史	1aAG08	Kamimura Asuka	上村 明日香	1pAF01
Itikawa Mei	市川 芽依	2aAD05	Iwasaki Wataru	岩崎 渉	1pAE01	Kamimura Tomoki	上村 智稀	P-090C
Ito Emi	伊藤 瑛海	1aAL08	〃	〃	2aAG05	Kamino Nao	神野 奈穂	2aAG10
〃	〃	1aSI06	〃	〃	P-012C	Kamiya Kayo	神谷 佳世	1aAD06
〃	〃	2aAM02	Iwase Akira	岩瀬 哲	1pSA05	〃	〃	1pAG10
〃	〃	2aAM03	Iwase Nanako	岩瀬 七子	1pAM11	Kamiya Yoko	神谷 容子	2aAE09
〃	〃	2aAM04	Iwata Azusa	岩田 梓	P-018C	Kamiya Yuki	神谷 有紀	1aAD06
〃	〃	P-143B	Iwata Kentaro	岩田 健太郎	3aAN01	〃	〃	2aAM07
Ito Hisashi	伊藤 寿	P-050B	〃	〃	P-094A	Kamiyotsumoto Haruka	上四元 晴香	2aAH07
〃	〃	P-149B	〃	〃	P-115A	Kamon Eri	家門 絵理	1pAG06
Ito Kazuhiro	伊藤 和洋	1pAN03	Iwataki Mitsunori	岩滝 光儀	2aAF03	Kanamori Shunsuke	金森 駿介	3aAK01
Ito Kohji	伊藤 光二	P-077B	Izawa Kanna	伊澤 かなな	1pAD10	Kanaoka Masahiro	金岡 雅浩	2aAE10
〃	〃	P-078C	Izawa Takeshi	井澤 毅	P-124A	Kanazawa Takehiko	金澤 建彦	3aAM03
Ito Masaki	伊藤 正樹	1pSC01	Izumi Rie	泉 理恵	1pAL03	Kanda Eiji	神田 英司	P-145A
〃	〃	2aAL02				Kanehara Kazue	〃	1aAE04
〃	〃	P-093C				Kaneko Yasuko	金子 康子	1aAL07
Ito Miharuru	伊藤 みはる	1pAN11				Kanesaki Yu	兼崎 友	1pAE01
Ito Motomi	伊藤 元己	1pSB03	Jantean Lalita	〃	1pAG14	Kaneshiro Ikuma	金城 行真	1pAL09
〃	〃	2aAK08	〃	〃	3aAE04	Kaneta Sanae	金田 紗苗	1pAN04
〃	〃	2aAK10	Jimbo Haruhiko	神保 晴彦	1pAI01	Kang Zichen	康 子辰	1aAD08
Ito Nanami	伊藤 ななみ	1aAH05	〃	〃	2aSI01	〃	〃	1aAN01
〃	〃	1aSA03	〃	〃	3aSB04	〃	〃	1pAF04
Ito Shigeru	伊藤 茂	1pAH12	Jin Xiao-Feng	〃	1pAK05	Kano Keiko	加納 圭子	1pAM05
Ito Shizuha	伊藤 静葉	P-078C	Jinno Chiyo	神野 智世	1aSJ05	Kanzawa Nobuyuki	神澤 信行	1aAE06
Ito Takeru	伊藤 丈留	1pAK11	〃	〃	3aAN09	〃	〃	1aAE09
Ito Takuro	伊東 拓朗	2aAK03	Jürgens Gerd	〃	1pAN11	〃	〃	2aAE04
Ito Yoko	伊藤 容子	1aAL08				Karahara Ichiro	唐原 一郎	P-035B
〃	〃	2aAM03				Karahara Ichirou	唐原 一郎	1pAF03
〃	〃	2aAM04				〃	〃	P-034A
〃	〃	2aSI02				Karim Md. Masudul	〃	P-038B
〃	〃	P-143B	Kabeya Yukiko	〃	P-087C	Karino Taihei	狩野 泰平	2aAH08
Itoh Akari	伊東 杏花里	2aAE08	Kadowaki Masakazu	門脇 正和	2aAN05	〃	〃	P-105C
Itoh Kazuhiro	伊藤 和宏	P-064A	Kajikawa Ikumi	〃	P-087C	Kariyama Shungo	狩山 俊悟	1pAK06
Itoh Miho	伊藤 海帆	1aAD03	〃	〃	P-092B	Kasahara Haruo	笠原 春夫	P-034A
Itoh Mizuki	伊藤 瑞季	1pAF08	〃	〃	P-095B	Kasahara Hiroyuki	笠原 博幸	3aAN01
Ito Motomi	伊藤 元己	P-004A	Kajiwara Tomoaki	梶原 智明	1aAL05	Kasahara Masahiro	笠原 賢洋	1aAN03
Iuchi Atsuko	井内 敦子	P-029B	〃	〃	3aSC02	〃	〃	1pAL14
Iuchi Satoshi	井内 聖	1pAD07	Kajiya Yuki	加治屋 優希	P-118A	Kasahara Ryushiro	笠原 竜四郎	1pAL06
〃	〃	P-029B	Kajiyama Shin'ichiro	梶山 慎一郎	1pAL11	〃	〃	1pAL07
〃	〃	P-031A	Kakimoto Tatsuo	柿本 辰男	1pAN04	Kasamatsu Yuto	笠松 勇登	2aAD06
Iwabuchi Jotaro	岩淵 丈太郎	P-054C	〃	〃	1pAN09	Kashimoto Tomonori	檜本 友則	1pAE01
Iwabuchi Kosei	岩淵 功誠	1pAE02	Kakishima Satoshi	柿嶋 聡	2aAK03	Kashino Yasuhiro	菓子野 康浩	1aSB02
Iwai Hiroaki	岩井 宏暎	1aAG02	〃	〃	P-003C	Kashino Zendai	柏野 善大	3aSC02
〃	〃	1pAG12	〃	〃	P-010A	Kashiwada Seina	柏田 星南	P-025A
〃	〃	1pAN01	Kakutani Tetsuji	角谷 徹仁	2aAL06	Kasuya Eiiti	粕谷 英一	P-015C
Iwakawa Hidekazu	岩川 秀和	2aAL02	〃	〃	2aAN02	Kataoka Ikuo	片岡 郁雄	1aAL01
〃	〃	P-100A	Kamachi Hiroyuki	蒲池 浩之	P-034A	〃	〃	P-126C
Iwamoto Akitoshi	岩元 明敏	P-082A	〃	〃	P-035B	Kataoka Toshifumi	片岡 利文	2aAK06
〃	〃	P-086B	Kamada Manaka	鎌田 まなか	1aAD02	Katayama Mitsunori	片山 光徳	P-054C
Iwamoto Kuninori	岩本 訓知	P-113B	Kamada Motoshi	鎌田 源司	P-034A	Kato Hirokazu	加藤 博一	1aAE10
Iwamoto Yu	岩本 有宇	2aAM07	Kamamoto Naoya	鎌本 直也	1pAN13	Kato Hiroki	加藤 大幹	1pAD11
Iwamoto Yutaro	岩本 祐太郎	3aSC04	Kamano Naho	鎌野 奈穂	1aAF06	Kato Hiroko	加藤 寛子	P-049A
Iwasa Aoi	岩佐 碧泉	1aAN03	Kamei Yasuhiro	亀井 保博	1aAE08	Kato Hirotaka	加藤 大貴	1aAG04
Iwasaki Takaya	岩崎 貴也	P-001A	〃	〃	1aSB02	〃	〃	1aAK03
〃	〃	P-004A	Kamekawa Takumu	亀川 拓夢	P-124A	〃	〃	3aAN02
〃	〃	P-011B	Kameo Shinsa	亀尾 辰砂	1pAI02	〃	〃	3aAN04
〃	〃	P-019A	〃	〃	1pAI03	〃	〃	P-030C
			Kamikawa Ryoma	神川 龍馬	1aSA04			

Kato Kazuhiro	加藤 和浩	1pAH12	〃	1aAL06	Kiyosue Tomohiro	清末 知宏	3aAN05
Kato Ko	加藤 晃	1pAD11	〃	1aAN04	〃		P-106A
〃		1pAK08	Kazama Yusuke	風間 裕介	〃		P-107B
〃		1pAK10	〃		〃		P-108C
〃		2aAE03	〃		〃		P-108C
Kato Koichiro	加藤 孝一郎	3aAK02	〃		Kobatake Hiroyuki	小島 広之	P-061A
Kato Saki	加藤 咲季	1aAE06	Kee Yee-Jia		Kobayashi Amane	小林 天音	P-096C
Kato Shoichi	加藤 翔一	1aSA03	Keino Issei	慶野 壱星	Kobayashi Kappei	小林 括平	1aAH02
Kato Takehide	加藤 壮英	1pAD11	Kelso Nathan		〃		1aAN04
Kato Yuta	加藤 優太	1pAE07	Kiado Atsushi	海藤 篤	Kobayashi Keiko	小林 啓子	1pAI10
Katogi Takahiro	加藤木 高広	2aAK01	Kiba Takatoshi	木羽 隆敏	〃		3aAM06
Katsaros Christos		1pAF05	〃		〃		P-071B
Katsuhiko Yoneoka	米岡 克啓	2aAK06	Kido Shota	木戸 將太	Kobayashi Koichi	小林 康一	1pAI10
Katsumata Kohei	勝俣 幸平	P-077B	Kijima Saku	貴嶋 紗久	〃		2aSB03
Katsuta Ryoki	勝田 亮紀	1pAG04	Kikuchi Hiroki	菊地 宏樹	〃		2aSB06
〃		1pAG05	Kikuchi Namiki	菊地 波輝	〃		P-028A
Katsuyama Yuki	勝山 雄喜	2aAN04	Kikuchi Suzuka	菊池 涼夏	Kobayashi Masaki	小林 正樹	1aAN04
Kawachi Masanobu	河地 正伸	1aSA03	Kikuchi Tetsuya	菊池 哲也	Kobayashi Masami	小林 正美	P-068B
〃		2aAF03	Kikuchi Yoshitomo	菊池 義智	Kobayashi Masaru	小林 優	2aAD09
〃		3aAK03	Kim Seon-Hee	金 宣希	Kobayashi Masatomo	小林 正智	1pAD07
〃		3aAK04	Kim Seung-Chul	金 承哲	〃		P-029B
〃		3aAK05	Kimata Kaori	木俣 薫織	〃		P-031A
Kawada Rina	河田 里菜	P-089B	Kimata Yusuke	木全 祐資	Kobayashi Natsuko I.	小林 奈通子	1aSI02
Kawada Yoshihiro	河田 吉弘	1aAK04	〃		〃		P-039C
Kawade Kensuke	川出 健介	1aSJ05	〃		Kobayashi Sora	小林 壮良	P-125B
〃		2aSA03	Kimura Hiroshi	木村 宏	Kobayashi Taiki	小林 壮生	P-041B
〃		OL-AL1	Kimura Kei	木村 圭	〃		P-119B
Kawaguchi Mizuki	川口 瑞貴	P-030C	Kimura Saori	木村 早央里	Kobayashi Takehito	小林 健人	1aAK01
Kawaguchi Riyo	川口 莉世	P-079A	Kimura Seisuke	木村 成介	Kobayashi Tomiki	小林 禔樹	P-015C
Kawai Hiroshi	川井 浩史	3aAM04	〃		Kobayashi Wataru	小林 恒	1pAF12
Kawai Junko		1aAL05	〃		Kobayashi Yusuke	小林 優介	1aAK07
〃		2aAK10	〃		〃		1aAK08
Kawai Jyunko	川井 絢子	P-123C	〃		Koda Ryutaro	甲田 龍太郎	1pAK01
Kawai Koshiro	河井 耕史朗	1pAG02	Kimura Shinnosuke	木村 晋之介	Kodai Ishibashi	石橋 鴻大	2aAH01
Kawai Maki	川合 真紀	1aAL07	Kinoshita Atsuko	木下 温子	Kodama Kyoichi	児玉 恭一	1pAD15
Kawai Tomohiro	川井 友裕	1pSB03	Kinoshita Ayaka	木下 綾華	〃		1pSJ01
Kawai-Yamada Maki	川合 真紀	1pAH14	Kinoshita Tetsu	木下 哲	Kodama Yutaka	児玉 豊	1pAE05
Kawakami Naoto	川上 直人	P-029B	〃		〃		1pAE09
〃		P-031A	〃		〃		1pAH02
〃		P-103A	Kinoshita Toshinori	木下 俊則	Kodru Sireesha		1pAI04
Kawakatsu Yaichi	川勝 弥一	1pAG14	〃		Koeduka Takao	肥塚 崇男	1pAH03
〃		3aAE03	〃		Kofuji Rumiko	小藤 累美子	1aSJ00
Kawamoto Akihiro	川本 晃大	1aSB05	〃		〃		1aSJ02
Kawamura Ayako	河村 彩子	1pSA05	〃		Koga Hiroyuki	古賀 皓之	1aAN07
〃		1pSA06	〃		〃		1pAM08
Kawamura Shogo	川村 昇吾	1pAH09	Kishi Takuma	岸 拓真	〃		P-090C
Kawamura Yoshio	川村 嘉応	1pAI08	Kishida Keisuke	岸田 佳祐	〃		P-091A
Kawamura Yukio	河村 幸男	2aAD06	Kishimoto Junko	岸本 純子	〃		P-130A
〃		P-048C	〃		Koga Taiga	古賀 泰雅	2aAD08
Kawano Shigeyuki	河野 重行	1pAH12	Kishimoto Jyunko	岸本 純子	Kohara Naoya	小原 直也	1pAD09
〃		P-119B	Kitagawa Munenori	北川 宗典	Kohchi Takayuki	河内 孝之	1aAH01
〃		P-131B	Kitano Gousi	北野 剛志	〃		1aAL05
Kawasaki Masato	川崎 政人	1aSB02	Kitaoka Rito	北岡 理杜	〃		1aSJ03
Kawashima Yusuke	川島 祐介	1aAK09	Kitayama Nene	北山 寧音	〃		1pAE02
Kawata Masakado	河田 雅圭	3aAK01	Kitazaki Kazuyoshi	北崎 一義	〃		1pAH09
Kawauchi Masaharu	河内 正治	2aAH09	Kitazawa Miho		〃		1pSJ02
Kaya Hidetaka	賀屋 秀隆	1aAH02	〃		〃		1pSJ02
			Kitoh Moe	鬼頭 萌	Kohki Yoshimoto	吉本 光希	3aAE06
					Köhler Claudia		1aAL02

Kohyama Takashi	甲山 隆司	1aAF01	〃	P-109A	Kuroe Misako	黒江 美紗子	P-019A	
Koide Masaya	小出 真也	2aAM01	Kubo Ken-ichi	久保 健一	1pAH08	Kuroiwa Haruko	黒岩 晴子	1aSA03
Koike Hiroyuki	小池 裕幸	1aSB02	Kubo Minoru	久保 稔	2aAL09	〃	2aAL12	
Koike Takayoshi	小池 孝良	2aAE11	Kubo Naoki	久保 直輝	1pAK11	〃	3aAM02	
Koja Fuka	古謝 風花	P-148A	Kuchitsu Kazuyuki	朽津 和幸	1aAD06	〃	P-064A	
Kojima Hana	小嶋 華	1aAD07	〃	1aAD07	Kuroiwa Tsuneyoshi	黒岩 常祥	1aSA03	
〃		1aAD08	〃	1aAD08	〃	2aAL12		
Kojima Mikiko	小嶋 美紀子	1aAG06	〃	1aAL06	〃	3aAM02		
〃		1pAD08	〃	1pAG10	〃	P-064A		
〃		1pSJ01	〃	2aAD04	Kurokawa Rune	黒川 瑠音	1pAG01	
〃		P-098B	〃	2aAL10	Kuromori Takashi	黒森 崇	2aAH01	
Kojima Shoko	小島 晶子	P-100A	〃	2aAL11	Kurosaki Satoshi	黒崎 智史	2aAM06	
Kojima Soichi	小島 創一	2aAG06	〃	2aAM07	Kurotaki Yushi	黒滝 悠志	P-072C	
Kokubugata Goro	國府方 吾郎	2aAK03	〃	2aAM08	Kurotani Ken-ichi	黒谷 賢一	1aAH08	
〃		P-010A	Kudo Takuto	工藤 拓登	1pAE15	〃	1pAG14	
Komaki Satoshi	小牧 知史	1aAK03	Kudoh Hiroshi	工藤 洋	2aAD10	〃	1pAG15	
Komatsu Aino	小松 愛乃	1pSJ01	〃	2aAE08	〃	3aAE04		
Komatsu Chiharu	小松 千春	1pAE04	〃	2aAE10	Kurotani Kenichi	黒谷 賢一	1pAL06	
Komiyama Kana	小宮山 佳奈	P-018C	〃	2aAE12	Kurusu Takamitsu	来須 孝光	1aAL06	
Kondo Ayumu	近藤 歩	P-080B	Kudoh Sakae	工藤 栄	1aSB02	〃	2aAD04	
Kondo Maki	近藤 真紀	1aAD10	Kuga Chiaki	久賀 千晶	1aAL07	Kusaba Makoto	草場 信	1pAM07
Kondo Yohei	近藤 洋平	1pAF10	Kumagai Kazato	熊谷 風杜	1pSJ01	〃	P-132C	
〃		3aSC04	Kumagai Ryo	熊谷 凌	1aAE10	Kusano Miyako	草野 都	P-039C
Kondo Yuki	近藤 侑貴	1aAG04	Kumaishi Kie	熊石 妃恵	1pSA06	Kusano Shuhei	草野 修平	1aAK10
〃		1aAK03	〃	2aAG07	〃	Kusnandar Andree Sunanjaya	1aAN06	
〃		1aAM01	〃	P-039C	Kusumi Kensuke	楠見 健介	1pAN03	
〃		1aAM02	Kumazawa Natsuki	熊沢 菜月	1aAE06	Kutsuna Shinsuke	沓名 伸介	2aAE05
〃		1aAM03	Kume Atsushi	久米 篤	1aAF05	Kuwada Eriko	栗田 恵理子	2aSC03
〃		1aAM04	〃	P-034A	〃	Kuwata Keiko	桑田 啓子	1aSA03
〃		1aAN03	〃	P-035B	〃	〃	1pAE08	
〃		1pAM05	〃	P-043A	Kuwayama Shogo	桑山 翔悟	1pAD05	
〃		2aAL05	〃	P-051C	Kyozuka Junko	1aAN06	1aAN06	
〃		2aAL06	Kunieda Tadashi	國枝 正	1aAE10	〃	1aSC00	
〃		3aAN01	〃	1pAG02	〃	〃	1pAD15	
〃		3aAN02	〃	1pAG03	〃	〃	1pSJ01	
〃		P-075C	〃	2aAL09	〃	〃	3aAN06	
〃		P-094A	Kunitake Hisato	國武 久登	P-111C	〃	3aAN07	
〃		P-115A	〃	P-118A	〃	〃	P-083B	
Kondou Ayumu	近藤 歩	P-089B	Kurahashi Kensuke	倉橋 健介	1aAG08			
Kondou Takahumi	近藤 崇史	P-018C	〃	1aAG09				
Konishi Takafumi	小西 高史	1aAK05	〃	1aAG10				
Konishi Tatsuhisa	小西 達久	P-057C	〃	2aAG08				
Konno Hiroki	紺野 宏記	1pAN08	Kurata Seikan	倉田 正観	2aAK10	Lee Nam-Sook	1pAK04	
Koshiba Ryo	小柴 峻	1aAG02	Kuratani Shigeru	2aSA07	Lee Yongchan	李 勇燦	1pSC05	
Koshikawa Hiroshi	越川 海	2aAF03	Kurihara Daisuke	栗原 大輔	1pAL09	Leuhery Elsa A.	P-056B	
Koshimizu Shizuka	越水 静	2aSJ04	〃	1pAN12	Li Gaojie	1pAM09	1pAM09	
〃		3aSC02	Kurihara Yukio	栗原 志夫	2aAH01	Li Hao	李 豪	1pAH05
Kosugi Makiko	小杉 真貴子	1aSB02	〃	2aAH09	〃	1pAH06	1pAH06	
Kotake Toshihisa	小竹 敬久	1pAG05	Kuriki Moeka	栗木 萌佳	P-045C	Li Min	李 敏	2aAN07
Kotaro Ishii	石井 公太郎	P-119B	Kurima Kazuki	来間 一綺	1pAI01	Li Qian	李 倩	1aAF03
Kotoge Tatsuhiro	小峠 達大	P-073A	Kurita Yuko	栗田 悠子	1aSI02	Li Xingyue	李 星月	1aAF03
Koyama Asuka	小山 明日香	P-019A	Kuriyama Kazunori	栗山 和典	2aAH05	Li Xinli	2aAE01	2aAE01
Koyama Daiki	小山 大輝	1aAM05	Kuroda Asumo	黒田 有寿茂	1pAK15	Liu Xiaoyan	刘 晓燕	1pAL06
Koyama Shohei	小山 翔平	2aAN08	Kuroda Hiroki	黒田 大生	P-009C	〃	1pAL07	1pAL07
Kozuka Toshiaki	小塚 俊明	1pAM07	Kuroda Hiroshi	黒田 洋詩	1pAI04	Lu Hongqiao	吕 虹橋	P-068B
Kubo Akio	久保 晃生	2aAE07	Kuroda Kouichi	黒田 浩一	2aAD09	Lu Yen-Ting	1aAL05	1aAL05
Kubo Hiroyoshi	久保 浩義	P-060C	Kuroda Yui	黒田 友衣	P-112A	Lu Yi-Fei	1pAK05	1pAK05
						Luo Jiajie	羅 嘉傑	2aAE06

L

Luo Qianqian 羅倩倩 1pAG14
Luo Yi 羅依 3aAN07

M

Machfuudzoh Afifah 1aAG02
Machida Chiyoko 町田千代子 P-100A
Machida Yasunori 町田泰則 P-100A
Machino Tomoaki 町野友昭 1aAD06
Maeda Akari 前田明里 2aAN09
Maeda Ayako 前田綾子 1pAK06
" P-010A
Maeda Hidefumi 前田英史 2aAG03
Maeda Kouji 前田耕治 P-051C
Maeda Meina 前田芽依奈 1pAI11
Maeda Shota 前田照太 1aAM01
Maekawa Shugo 前川修吾 1pAM11
" 1pAM12
Maeng Changhyun P-043A
Maeta Singo 前田真吾 1pAN07
Mähönen Ari Pekka 1pAN11
Makimoto Minami 榎本美波 P-059B
Makita Sachiko 牧田禎子 1pAN07
Makita Yuko 蒔田由布子 2aAH09
Mamiya Akihito 間宮章仁 1aAK01
" 2aAL05
" P-094A
" P-115A
Manada Nobuaki 眞田宣明 P-064A
Mao Boyuan 卯博源 1pAD12
Marc Krasovec P-119B
Marui Yuki 丸井裕暉 P-020B
Maruyama Daisuke 丸山大輔 1pAL03
" 1pAL04
" 1pAL05
" 1pAL08
" 1pSB02
" 1pSB08
Maruyama Kaisei 丸山海成 3aAN01
Maruyama Shinichiro 丸山真一朗 1aSA03
" 1aSB00
" 3aAK01
Maruyama Yuta 丸山祐汰 1pAE03
Mase Hikari 間瀬輝 1pAF06
Mase Kosuke 間瀬皓介 1pAN02
Mashiguchi Kiyoshi 増口潔 1pAH09
Masuda Kazutoshi 増田和俊 1pAK14
" 1pAK15
Masuda Riko 増田理子 1pAK04
Masuda Sachiko 増田幸子 2aAK09
Masuda Tatsuru 増田建 1aAK02
" 1pAI09
" 2aAH03
" 3aAN01
Masuda Yumeka 増田夢佳 P-073A
Masui Noboru 増井昇 2aAE11
Masumoto Moe 舛元萌 2aAD02

Masumoto Natsumi 増本奈津美 1pSA06
Masumura Takehiro 増村威宏 1pAG05
Masuya Hiroshi 榎屋啓志 1pAD07
Mathieu Olivier 1aAH01
Matoba Yohsuke 的場洋佑 P-032B
Matsubayashi Yoshikatsu 松林嘉克 1aSA03
" P-024C
Matsuda Naohiro 松田直大 P-120C
Matsuda Riku 松田陸玖 1aAD10
Matsuda Yusuke P-055A
" P-056B
Matsui Akihiro 松井章浩 1aAD04
Matsui Hiroki 松井博輝 P-070A
Matsui Minami 松井南 2aAH01
" 2aAH09
Matsukawa Tetsuya 松川哲也 1pAH04
" 1pAL11
Matsumoto Hikari 松本光梨 1aAK10
" 1aAN01
" 1aAN02
" 1pAF04
" 1pAL04
Matsumoto Naohiro 松本直大 1pAE01
Matsumoto Sadamu 松本定 1pAK01
Matsumoto Takashi 松本隆 1pAD10
Matsumoto Takato 松本崇杜 2aAD01
" 2aAD02
" 2aAD03
Matsumoto Tomoko 松本朋子 1aAH06
Matsumura Atsushi 松村篤 1pAI06
Matsumura Hiroki 松村拓樹 1pAD02
Matsunaga Sachihiro 松永幸大 1aAH03
" 1aAH05
" 1aSA03
" 2aAN01
" 2aAN02
" 2aAN03
" 2aAN04
" 2aAN06
" 2aAN07
" P-101B
" P-122B
Matsunaga Tomoko 松永朋子 1aSA03
Matsuno Kenji 松野健治 2aSA01
Matsuo Ayumi 松尾歩 1pAK14
" P-019A
Matsuo Kojiro 松尾光治良 P-073A
Matsuo Shinnosuke 松尾信之介 2aSC04
Matsuo Takuya 松尾拓哉 2aAE06
Matsuo Yoshitaka 松尾芳隆 1pSC02
Matsuo Yuji 松尾裕次 2aAG08
Matsuoka Megumi 松岡慈 1aAH03
Matsushita Shuhei 松下修平 1pAH04
Matsushita Tomonao 松下智直 1aAK02
" 2aAN07
Matsusita Yuuki 松下優貴 1pAM03
Matsuura Moeka 松浦萌華 P-145A

Matsuura Takakazu 松浦恭和 1aAE02
Matsuzaki Ryo 松崎令 3aAK03
" 3aAK05
Matsuzawa Megumi 松澤萌 2aAN11
Mayuzumi Takahiro 黛隆宏 P-114C
Miao Yiling 1aAN06
Michael Palmgren 1aSC04
Migihashi Masako 右橋雅子 2aAN02
Mihara Iori 三原衣織 1pAM04
" 1pAM05
Miichi Shizuka 見市静香 1pAE10
Mikami Daichi 三上大智 1pAG09
Miki Hiroki 三木碩己 1pAE02
Miki Takeru 三木健 2aSJ02
Mimura Makiko 三村真紀子 1pAK06
Mimura Tetsuro 三村徹郎 1aAG04
" 1aSI02
" 3aAN02
" 3aSA03
" P-063C
" P-075C
Mimuro Amane 三室周 1pAL01
" P-125B
Minagawa Jun 皆川純 1aSB02
Minami Anzu 南杏鶴 1aAG05
Minami Atsushi 南淳 2aAK04
Minamikawa Mai 南川舞 P-098B
Minamitani Tadashi 南谷忠志 P-010A
Mine Akira 峯彰 1pSB04
" 2aAG04
" P-144C
Mineta Keito 峯田敬斗 2aAL02
Mineyuki Yoshinobu 峰雪芳宣 1pAF03
" P-034A
Minoda Aki 1pSA02
Minoda Ayumi 蓑田歩 1aAD01
" 1aAE03
Misaka Airi 三坂愛鈴 2aAG10
Misawa Koki 三沢昂輝 2aAD11
Mishiro-Sato Emi 三城惠美 1pAM05
Misumi Osami 三角修己 1aSA03
" P-064A
Mitani Kyohei 三谷恭平 1pAG03
Mitsube Kosuke 三部航介 P-036C
Mitsuda Nobutaka 光田展隆 1aAD04
" 1pAL07
Mitsui Toshiaki 三ツ井敏明 2aAD04
Miwa Kyoko 三輪京子 1aSC03
Miyabe Marcos Takeshi 宮部マルコス 武志
" 1pAD02
" 1pAE14
Miyagi Atsuko 宮城敦子 1aAL07
" 1pAH14
Miyagishima Shin-Ya 宮城島進也 P-064A
Miyagishima Shin-ya 宮城島進也 3aAE01
" 3aAK07
" 3aAK08

♪ 3aAK09
 ♪ 3aAM01
 ♪ P-042C
 Miyaji Tomoko 宮地 朋子 1aAG05
 Miyake Akiho 三宅 陽穂 1pAF13
 Miyake Keita 三宅 敬太 1pAE01
 Miyake Yuzuki 三宅 唯月 1aAG07
 Miyamae Toshihiko 宮前 俊彦 P-064A
 Miyamoto Futoshi 宮本 太 P-022A
 Miyamoto Kensuke 宮本 健助 P-026B
 Miyamoto Kodai 宮本 航大 P-064A
 Miyamoto Koji 宮本 皓司 1aAG03
 ♪ 1pAD13
 Miyamura Shinichi 宮村 新一 1aAL09
 Miyashima Shunsuke 宮島 俊介 1pSB06
 ♪ 3aSC04
 Miyashita Hideaki 宮下 英明 1pAI05
 Miyashita Shiniti 宮下 振一 1aAD01
 Miyashita Takafumi 宮下 貴文 P-082A
 Miyata Hitomi 宮田 ひとみ 1aAG10
 ♪ 2aAG08
 Miyauchi Hiroki 宮内 啓喜 P-037A
 Miyazaki Tomonori 宮崎 友規 P-028A
 Miyazawa Shin-Ichi 宮澤 真一 P-017B
 Miyazawa Yutaka 宮沢 豊 P-047B
 Miyoshi Yuka 三好 由華 P-017B
 Mizobuchi Aya 溝渕 綾 3aAK06
 Mizokami Yusuke 溝上 祐介 1pAI07
 ♪ P-016A
 ♪ P-045C
 ♪ P-046A
 Mizukami Akane 水上 茜 1pAL10
 ♪ P-120C
 Mizuno Honomi 水野 帆乃美 1pAN02
 Mizuno Mizuo 水野 瑞夫 1pAK11
 Mizuno Tsukumo 水野 九十九 P-013A
 Mizuno Yohei 水野 陽平 1pSJ01
 Mizusawa Naoki 水澤 直樹 P-054C
 Mizushima Saya 水嶋 紗 P-046A
 Mizuta Yoko 水多 陽子 1pAL08
 ♪ 1pAL09
 ♪ P-117C
 Mizutani Kahori 水谷 佳保里 1aAG06
 Mizutani-Aihara Miya 水谷 未耶 P-144C
 Mochida Keiichi 持田 恵一 1aAG05
 ♪ 1pAD07
 Mochizuki Atsushi 望月 敦史 1pAN14
 Mochizuki Ko 望月 昂 2aAF07
 Moeller Michael P-133A
 Monda Keina 門田 慧奈 1pAD06
 ♪ 1pAD08
 ♪ 1pAE03
 Mori Airi 森 愛理 1aAE02
 Mori Fumi 森 史 3aAK05
 Mori Hiroki 森 裕基 P-135C
 Mori Kensaku 森 健策 2aAL07
 Mori Shusei 森 秀世 2aAL06

Mori Tetsuya 森 哲哉 1aSI04
 ♪ P-063C
 Morikami Atsushi 森上 敦 1pAH01
 ♪ 1pAN02
 ♪ 2aAN09
 Morimoto Daigo 森本 大悟 P-109A
 Morinaka Hatsune 1pSA00
 ♪ 1pSA05
 Morinobe Ryoko 森野邊 涼子 1pAG14
 Morisaki Natsuno 森崎 夏乃 1aAD05
 Morishima Keisuke 森島 圭祐 3aSC06
 Morita Mizuki 森田 瑞生 1pAL11
 ♪ 1pAL13
 Morita Shigeto 森田 重人 1pAG05
 Morita Tatyoshi 森田 竜義 P-004A
 Moriwaki Kouta 森脇 幸太 P-132C
 Moriya Kenta C 守屋 健太 2aAD10
 Moriya Toshio 守屋 俊夫 1aSB02
 Moriyama Hiromitsu 森山 裕充 2aAH05
 Moriyama Yasutake 森山 安武 1pAM08
 Moriyasu Yuji 森安 裕二 3aAE06
 Moriyoshi Eiko 森吉 英子 1pAH03
 Morizane Ikuta 森實 郁太 1aAE09
 Motomura Kazuki 元村 一基 2aAH06
 ♪ 2aAH07
 ♪ 3aSD04
 Motomura Taizo 本村 泰三 1pAF05
 ♪ 3aAM04
 Motose Hiroyasu 本瀬 宏康 1aAE07
 ♪ 1pAF06
 ♪ 1pAF09
 ♪ P-004A
 Mouri Haruka 毛利 陽香 P-004A
 Munakata Ryosuke 棟方 涼介 1pAH03
 ♪ 1pAH04
 ♪ 1pAH06
 ♪ 3aSD03
 Munekage Yuri 宗景 ゆり 1pAI06
 ♪ P-097A
 Murakami Akio 村上 明男 P-063C
 Murakami Masataka 村上 雅崇 P-032B
 Murakami Noriaki 村上 哲明 1pAK01
 ♪ 1pAK02
 ♪ 2aAK06
 ♪ P-014B
 Muranaka Tomoaki 村中 智明 2aAE12
 ♪ P-145A
 Muraoka Hiroyuki 村岡 裕由 1aAF05
 Murata Jin 邑田 仁 FP
 Murata Nanako 村田 奈菜子 1pAK08
 Murata Takashi 村田 隆 2aSJ06
 Murata Yusuke 村田 裕介 1aAN05
 Muto Chiaki 武藤 千秋 1aAD03
 Mutsuno Rion 陸野 里音 1pAN06

N

N. Tamura Minoru 田村 実 1pAK05

Nabila Irtifa Alam 2aAF09
 Nagae Takuya 長江 拓也 1pAL09
 ♪ P-117C
 ♪ P-120C
 Nagahara Shiori 永原 史織 1pAL05
 ♪ 1pAL08
 ♪ 1pAL09
 ♪ P-117C
 Nagamatsu Riku 永松 利句 1pAN09
 Nagamiya Kenji 永宮 研二 2aAH02
 Nagano Atsushi 永野 惇 2aAE09
 ♪ 2aAK08
 Nagano Atsushi J. 永野 惇 1aSI02
 Nagano Minoru 長野 稔 2aAM10
 Nagano J. Atsushi 永野 惇 1aAD04
 Nagao Koki 長尾 幸紀 1aAM06
 Nagasato Chikako 長里 千香子 1pAF05
 Nagasawa Koki 長澤 耕樹 1pAK14
 ♪ 1pAK15
 Nagasawa Nobuhiro 永澤 信洋 3aAN03
 Nagata Kenji 永田 賢司 2aSI04
 Nagata Noriko 永田 典子 1pAI10
 ♪ 2aAL12
 ♪ 2aSB04
 ♪ 3aAM06
 ♪ P-071B
 Nagatani Akira 長谷 あきら 2aAE08
 Nagawa Shingo 名川 信吾 1pAL07
 Nagayama Tetuki 長山 照樹 1pAG12
 Nagayasu Masahiro 永易 将弘 2aAG03
 Naito Ken 内藤 健 1aAD03
 ♪ 1pAK14
 Naito Satoshi 内藤 哲 2aAH08
 ♪ P-105C
 Nakae Satoko 中江 聡子 1pAD06
 ♪ 1pAD08
 ♪ 1pAE03
 Nakagami Hirofumi 中神 弘史 1pAF06
 Nakagawa Aina 中川 愛菜 1pAE13
 Nakagawa Mayu 中川 蘭 1pAE15
 Nakagawa Sakumi 中川 朔未 1aAN01
 ♪ 1aAN02
 ♪ 1pAF04
 Nakahama Naoyuki 中濱 直之 P-019A
 Nakahara-Tsubota Miho 中原 - 坪田 美保 3aAK06
 Nakai Tomonori 中井 朋則 1pAF03
 Nakajima Chinatsu 中島 千夏 P-027C
 Nakajima Haruka 中島 春果 2aAL08
 Nakajima Keiji 中島 敬二 1aAL05
 ♪ 3aSC04
 Nakajima Kensuke P-055A
 Nakajima Kohdai 中島 耕大 1pAL06
 ♪ 1pAL10
 Nakajima Ruka 中島 流花 P-082A
 Nakajima Soichiro 中島 壮一朗 1aAG08
 ♪ 1aAG09

Nakajima Yusuke	中島 優介	1pAK11	〃	3aAN08	〃	2aSJ03		
Nakamichi Norihito	中道 範人	2aAN09	〃	3aAN09	〃	P-123C		
Nakamoto Yuki	中本 友貴	2aAD03	Narikawa Rei	成川 礼	1pAE01	Nitta Joel	ニッタ ジョエル	
Nakamura Arisa	中村 有沙	2aAD01	Narukawa Megumi	成川 恵	P-039C			P-012C
Nakamura Asuka	中村 明日香	1pAI06	Narutaki Aoi	鳴瀧 葵	1aAM03	Niwa Yasuo	丹羽 康夫	1pAK07
Nakamura Atsuko	中村 敦子	1pAG12	Nasahara Kenlo	奈佐原 顕郎	1aAF05	Niyogi Krishuna		1pAI04
〃		1pAN01	Nasu Hiroo	那須 浩郎	2aAF08	Noda Hibiki	野田 響	1aAF05
Nakamura Keita	中村 恵太	P-043A	Nawaly Hermanus		P-055A	Noda Hiroshi	野田 博士	1pAK04
Nakamura Kentaro	中村 賢太郎	1pAH12	〃		P-056B	Noda Saki	野田 沙希	1aSA03
Nakamura Koki	中村 光希	1aAH01	Negi Juntaro	衞 淳太郎	1aAK06	〃		P-024C
Nakamura Kotonono	中村 琴乃	1pAI12	〃		1pAD06	Noël Mary-Hélène		2aAF03
Nakamura Mana	中村 真菜	P-092B	〃		1pAD08	Nogi Ayaka	野木 彩伽	P-046A
Nakamura Masayoshi	中村 匡良	1pAL06	〃		1pAE03	Noguchi Ko	野口 航	1pAI07
〃		3aAM08	〃		2aSI05	〃		P-016A
Nakamura Motoka	中村 元香	P-023B	Negishi Katsuya	根岸 克弥	1aAN04	〃		P-023B
Nakamura Natsune	中村 夏音	2aAL09	Nejyo Tomoyuki	根城 知幸	P-002B	〃		P-046A
Nakamura Shin-ichi	中村 進一	1pAD10	Nellaepalli Sreedhar		1pAI04	〃		P-057C
Nakamura Shunji	中村 駿志	1aAN07	Ngo Hai Anh		1aAE04	Noguchi Kou	野口 航	P-045C
Nakamura Sohta	中村 聡汰	1pAL15	Nguyen Thi Duyen		P-040A	Nogué Fabien		P-033C
〃		P-102C	Nie Qiyang		2aAE01	Noma Naohiko	野間 直彦	1pAK11
Nakamura Takahiro	中村 崇裕	1aAK01	Nihei Naoto	二瓶 直登	P-039C	Nomoto Chihoko	野本 千穂子	1pAE02
Nakamura Takatoshi	中村 隆俊	P-023B	Niitsu Takahiro	新津 嵩大	P-029B	Nomoto Mika	野元 美佳	P-100A
Nakamura Taro	中村 太郎	1aAG08	Nishi Yuna	西 優菜	2aAD01	Nomoto Yuji	野本 友司	2aAL02
Nakamura Tomoki	中村 智貴	1pAG09	Nishi Yuzuki	西 柚季	2aAD05	Nomura Chihiro	野村 千比呂	P-103A
Nakamura Yasukazu	中村 保一	1aAH08	Nishida Ikuo	西田 生郎	1aAL07	Nomura Nayu	野村 菜結	P-002B
〃		1aSA01	Nishide Hiroyo	西出 浩世	1aSB02	Nomura Takahito	野村 崇人	1pAD15
Nakamura Yuka	中村 悠香	2aAK04	Nishihama Ryuichi	西浜 竜一	1aAH01	Nonomura Ken-Ichi	野々村 賢一	1aAL06
Nakamura Yuki	中村 友輝	1aAE04	〃		1aSJ03	Nonoyama Tomonobu	野々山 朋信	1aAD08
〃		2aSB03	〃		1pAE06	〃		1aAN01
〃		2aSI06	〃		2aAL10	〃		1pAF04
Nakanishi Fumi	中西 史	P-036C	Nishihara Gregory Naoki			Nosaki Shohei	野崎 翔平	1aAN03
Nakanishi Kohei	中西 浩平	1pAH05	ニシハラ グレゴリー・ナオキ		1pAH10	Nose Yui	能勢 結衣	2aAG07
Nakanishi Tamami		2aSA07	Nishii Kanae	西井 かなえ	P-133A	Noshita Yuri	野下 友里	1pAE06
Nakano Akihiko	中野 明彦	2aAM02	Nishii Yuichi	西井 裕一	1aAM05	Notaguchi Michitaka	野田口 理孝	1aAH08
〃		2aAM03	Nishijima Ryo	西嶋 遼	P-111C	〃		1aSC06
〃		2aAM04	Nishijima Ryou	西嶋 遼	P-041B	〃		1pAG14
〃		P-143B	Nishikawa Ikuto	西川 幾音	1pAM12	〃		1pAG15
Nakano Michiharu	中野 道治	1pAM07	Nishikawa Shuh-ichi	西川 周一	1pAL04	〃		1pAL06
Nakao Kana	中尾 果菜	2aAE07	Nishimura Kohji	西村 浩二	1aAK02	〃		1pSB02
Nakashima Nanako	中島 菜々子	2aAG12	Nishimura Sakura	西村 さくら	1aAK06	〃		3aAE03
Nakata Miyuki	中田 未友希	1pAG04	Nishimura Taisuke	西村 泰介	1aAH02	〃		3aAE04
〃		1pAG05	〃		2aAK04	Noto Kousei	野戸 康生	1aAK09
Nakayama Hokuto	中山 北斗	1pAM08	Nishimura Takeshi	西村 岳志	2aSA04	Nozaki Hisayoshi	野崎 久義	1aSA03
Nakayama Jun	中山 潤	P-085A	Nishimura Yoshiki	西村 芳樹	1aAK07	〃		3aAK03
Nakayama Koki	中山 功貴	1pAD09	〃		1aAK09	〃		3aAK04
Nakayama Takahiro	中山 隆宏	1pAN08	Nishino Takako	西野 貴子	P-004A	〃		3aAK05
Nakayama Takeshi	中山 剛	3aAK02	〃		P-015C	Numata Keiji	沼田 圭司	1pAG08
Nakayama Takuro	中山 卓郎	3aAK02	Nishio Haruki	西尾 治幾	2aAE10	Nureki Osamu	濡木 理	2aSC05
Nakazato Issei	中里 一星	1aAK01	〃		2aAE12			
Nakazono Mikio	中園 幹生	1pAD10	Nishioka Hideo	西岡 秀夫	3aAM05			
Namba Noriaki	南波 紀昭	3aAK02	Nishitani Kazuhiko	西谷 和彦	1pAG13			
Namba Yuto	難波 勇人	1aAE03	〃		3aSD01	Obara Hikari	小原 晶	2aAD07
Nambo Masakazu	南保 正和	1aAG01	Nishiuchi Takumi	西内 巧	2aAL02	Obata Tomoki	小畑 智暉	1aAK06
Naramoto Satoshi	榎本 悟史	1pSJ01	Nishiyama Sosuke	西山 奏介	2aAG02	Obushi Noriyasu	大伏 仙泰	3aSC04
〃		2aSA02	Nishiyama Tomoaki	西山 智明	1aAH07	Ochi Natsuko	越智 奈津子	1pAH12
〃		3aAN03	〃		1aAL04	Ochiai Kumiko	落合 久美子	2aAD09
〃		3aAN07	〃		2aSJ01	Ochiai Tadahiro	落合 由裕	1aAD10

O

Oda Hiroki	小田 広樹	2aSA06	Oishi Kaisei	大石 開世	1pAH08	Osmond Barry	オズモンド バリー	
Oda Jiro	織田 二郎	1pAK05	Oka Yoshito	岡 義人	1aAK02			P-053B
〃		P-008B	Okabe Maiko	岡部 麻衣子	1pAH09	Osuman Zurina	オスマン ズリナ	
Oda Masahiro	小田 昌宏	2aAL07	Okabe Yoji	岡部 耀二	1aSA03			1pAI09
Oda Yoshihisa	小田 祥久	1pAF09	Okada Katsuhiko	岡田 克彦	P-037A	Ota Tomomichi	太田 智通	2aAN09
〃		1pAF10	Okada Kazunori	岡田 憲典	1pAD13	Otake Momo	大竹 桃	1pAE04
〃		1pAF11	Okada Kentaro	岡田 健太郎	1pAL06	Otake Yoshito	大竹 義人	1aAE10
〃		1pAF12	〃		2aAG05	Otani Nao	大谷 直央	1aAK07
〃		1pAF13	〃		3aAE04	Otsuka Yoichi	大塚 洋一	1pSC03
Oe Masamichi	大江 真道	1aAG10	Okada Touto	岡田 斗人	P-065B	Ouchi Motoki	大内 基生	1pAD03
〃		2aAG08	〃		P-066C	Oya Satoyo	大矢 恵代	2aAN02
Ogawa Keiko	小川 敬子	1pAI06	Okajima Mayu	岡嶋 真由	2aAM08	Ozawa Hajime	小澤 元	2aAG06
Ogita Kosuke	荻田 航佑	1pAN10	Okamoto Takashi	岡本 龍史	1aAE07	Ozawa Shin-ichiro	小澤 真一郎	1pAI04
Oguchi Riichi	小口 理一	P-053B	〃		2aSA05	Ozeki Masaaki	尾関 雅章	P-011B
Ogura Tatsuki	小倉 立己	1pAH13	〃		P-124A	〃		P-019A
〃		1pAH15	Okamura Satoko	岡村 さとこ	1aAG07	Ozora Yui	大空 由依	1aAL09
Oguri Sota	小栗 聡太	P-094A	Okamura Yohsuke	岡村 陽介	P-102C			
Ohashi Suguru	大橋 卓	2aAH07	Okamura Yosuke	岡村 陽介	1pAL15	P		
Ohashi-Ito Kyoko	伊藤 (大橋) 恭子		Okazaki Karin	岡崎 夏鈴	2aAN10	Pak Jae-Hong		1pAK04
〃		2aAL06	Okazaki Manami	岡崎 まなみ	P-142A	Palfalvi Gergo		1pSA01
〃		P-113B	〃		P-144C	〃		1pSA03
Ohba Yusuke	大場 裕介	1aAG02	Oki Moeka	大木 萌花	1aAE06	Park Chan-ho		2aAK03
Ohbayashi Iwai	大林 祝	2aAH02	Okuda Haruki	奥田 悠希	P-064A	Peters Benjamin		1pAL07
〃		P-086B	Okuda Mami	奥田 真実	P-019A	Pooma Rachun		1pAK04
〃		P-100A	Okuda Satohiro	奥田 哲弘	2aAK05	Pratama Berbudi Bintang		2aAN08
Ohe Suguru	大江 駿	1aAE08	〃		2aSC02	Pu Fa-Ding		1pAK04
Ohi Shoko	大井 祥子	1aAD10	〃		P-120C			
Ohkubo Satoshi	大久保 智司	1pAH14	Okuma Nao	大熊 直	2aAG07			
Ohkubo Yuri	大久保 祐里	P-024C	〃		P-039C	Q		
Ohme-Takagi Masaru	高木 優	1aAD04	Okuma Reona	大隈 玲央奈	1aAK06	Qin Dong	秦 東	P-132C
Ohmiya Yasunori	大宮 泰徳	P-084C	Okumura Hiroyuki	奥村 宏征	1pAG09			
Ohno Junichi	大野 順一	P-003C	Okura Fumio	大倉 史生	P-144C	R		
Ohnuma Mio	大沼 みお	P-064A	Okuyama Yudai	奥山 雄大	P-003C	Randeep Rakwal		1aAG02
Ohotani Misato	大谷 美沙都	1pAG08	〃		P-014B	Rin Seiu	林 清宇	P-018C
Ohta Hiroyuki	太田 啓之	2aSJ02	Okuzumi Natsuki	奥墨 夏生	P-106A	Rzepecka Natalia Julia		1aAL08
〃		P-074B	Omae Yuki	尾前 優希	1pAI08			
Ohta Kaoru	太田 かおる	1pSB02	Omokawa Hasumi	重川 羽純	1pAN01	S		
Ohta Shohei	太田 翔平	1aAE01	Omori Mika	大森 実佳	1pAE13	Saijo Yusuke	西條 雄介	2aAD12
Ohtani Misato	大谷 美沙都	1pAF08	Onami Chieko	大波 千恵子	1pAI05	〃		2aAG02
〃		1pAG01	Ono Kentaro	大野 健太郎	1aAL01	〃		2aAG03
〃		1pAG06	〃		P-126C	〃		2aAG05
〃		1pAG07	Ono Kiyomi	小野 清美	1pAE12	〃		3aAE02
〃		2aAH01	Ono Natsumi	大野 奈津美	1aAN04	Saito Masakazu	齋藤 勝和	1pAI01
〃		2aAH02	Onouchi Hitoshi	尾之内 均	2aAH08	Saito Mizuki	齋藤 湖希	1aAD06
〃		2aAH03	〃		P-105C	Saito Takami	齋藤 隆実	P-017B
〃		2aAL04	Ookawa Taiichiro	大川 泰一郎	1pAH14	Saito Takeyasu	齋藤 丈靖	1aAG08
Ohtani Shuji	大谷 修司	1aSB02	Oonuma Natsuki	大沼 夏樹	P-103A	〃		1aAG09
Ohtani Yuto	大谷 悠登	1pAN12	Ootsuki Ryo	大槻 涼	3aAK04	Saitoh Akiyoshi	斎藤 顕宜	2aAM07
Ohtsu Mina	大津 美奈	1pSB02	〃		P-007A	Saitou Norizou	斎藤 範三	1aAG10
Ohtsuka Juri	大塚 樹里	3aAN07	Osakabe Keishi	刑部 敬史	1aAG05	Sakaguchi Shota	阪口 翔太	1pAK14
Ohtsuki Tatsuo	大槻 達郎	1pAK11	〃		1pAH05	〃		1pAK15
Ohyama Takashi	大山 隆	1aAH04	Osakabe Yuriko	刑部 祐里子	1aAG05	〃		2aAK08
Ohzeki Yasuhiro	大関 泰裕	P-002B	Osaki Haruka	大崎 遥花	2aAF05	Sakai Atsushi	酒井 敦	1pAE13
Oi Takao	大井 崇生	1aAK10	Osanai Takashi	小山内 崇	P-058A	〃		2aAF06
〃		1pAE07	〃		P-059B			
〃		1pAI11	Oshirabe Hinako	御調 日向子	1pAL05			
〃		1pAL05	Oshiumi Mayuko	鴛海 菜由子	P-054C			

Sakai Haruka	坂井 遥	P-019A	〃	1pAG04	〃	1pAL06		
Sakai Keiichiro	酒井 啓一郎	P-146B	〃	1pAG05	〃	2aAL07		
Sakai Sakiko	酒井 彩紀子	2aAL03	〃	1pAM04	〃	2aSC01		
Sakai Yuuki	酒井 友希	1aAG04	Sano Yuzou	佐野 雄三	2aAD08	〃	P-102C	
〃		1aAK03	Santos-González Juan		1aAL02	Sato Yota	佐藤 陽太	P-001A
〃		3aAN02	Santos-Guerra Arnoldo		2aAK09	Sato Yuka	佐藤 優加	2aAN08
〃		P-075C	Sarper Safiye		2aSA07	〃		P-098B
Sakakibara Daigo	榊原 大悟	1pAL09	Sasabe Michiko	笹部 美知子	1pAF08	Sato Yuko	佐藤 優子	1aAH03
Sakakibara Hitoshi	榊原 均	1aAG06	〃		P-100A	Sato-Nara Kumi	奈良 久美	P-076A
〃		1pAD08	Sasaki Ami	佐々木 亜美	1pSJ06	SatoSato Masahiko	佐藤 雅彦	1aAE05
〃		1pSJ01	Sasaki Kazuhiro	佐々木 和浩	1pAH15	Satoh Chihiro	佐藤 千紘	1pAI04
〃		P-098B	Sasaki Takema	佐々木 武馬	1pAF09	Satoh Mai	佐藤 舞	P-085A
Sakakibara Keiko	榊原 恵子	1aAL05	〃		1pAF10	Satoh Shinobu	佐藤 忍	1aAG02
〃		1aSA05	〃		1pAF11	Satoh-Nagasawa Namiko		
〃		1pSJ03	〃		1pAF12	佐藤 (永澤) 奈美子		3aAN03
〃		P-083B	〃		1pAF13	Satoru Kinoshita	悟 木下	1pAE11
〃		P-123C	Sasaki Taketo	佐々木 健人	1pAD01	Satou Shusei	佐藤 修正	2aAG06
Sakamoto Ayako	坂本 綾子	P-033C	Sasamoto Hamako	笹本 浜子	P-081C	Sawa Kazuhiro	沢 和浩	1pAK14
Sakamoto Daisuke	坂本 大介	3aSC05	Sato Ayato	佐藤 綾人	1pAD05	Sawa Shinichiro	澤 進一郎	1aSC05
Sakamoto Gakuto	坂本 岳人	P-064A	〃		1pAG14	〃		1pAD14
Sakamoto Joe	坂本 丞	1aAE08	〃		P-140B	〃		1pAL06
Sakamoto Takuya	坂本 卓也	1aAH03	Sato Hikaru	佐藤 輝	1aAL02	〃		2aAG10
〃		1aAH05	〃		2aAN01	〃		2aAH04
〃		1aSA03	〃		2aAN02	Sawai Riho	澤井 里歩	2aAD11
〃		2aAN01	〃		2aAN03	Sawai Takayuki	澤井 貴之	P-008B
〃		2aAN02	〃		2aAN04	Sawazaki Kento	澤崎 賢斗	1pAM08
〃		2aAN03	〃		2aAN06	Schmid W. Marc		P-127A
〃		2aAN04	〃		2aAN07	Segami Shoji	瀬上 紹嗣	1aAD10
〃		2aAN06	Sato Kanane	佐藤 奏音	1pAF01	Seki Motoaki	関 原明	1aAD04
〃		2aAN07	Sato Masa H.	佐藤 雅彦	1pAN08	Sekimoto Hiroyuki	関本 弘之	1aAL04
〃		P-101B	〃		2aAN11	〃		2aSJ05
Sakamoto Tomoaki	坂本 智昭	1aSA06	Sato Mayuko	佐藤 繭子	1pAE01	〃		P-007A
〃		1pSJ06	〃		1pAF10	〃		P-123C
〃		P-112A	〃		P-063C	Senda Rieko	専田 梨瑛子	P-123C
Sakamoto Yuka	坂本 結花	1aAK08	Sato Mitsuhiko	佐藤 光彦	1pAK07	Senda Toshiya	千田 俊哉	1aSB02
Sakamoto Yuki	坂本 勇貴	1aAH05	Sato Muneo	佐藤 心郎	P-091A	Seno Erina	瀬野 衣里奈	2aAL11
〃		2aAN06	Sato Naoki	佐藤 直樹	3aSB02	Sera Yuri	瀬良 ゆり	2aAD04
〃		OL-AL2	Sato Natsuki	佐藤 夏暉	P-141C	Sese Jun	瀬々 潤	2aAE09
Sakata Mayu	阪田 真由	1aAM04	Sato Norihiro	佐藤 典裕	3aSB03	Sesoko Kanami	瀬底 かなみ	2aSJ02
Sakata Yoichi	坂田 洋一	1aAH07	〃		P-037A	Seta Keisuke	瀬田 京介	3aAE05
〃		1aSJ04	Sato Rie	佐藤 理絵	3aAN03	Setoguchi Hiroaki	瀬戸口 浩彰	1pAK14
〃		1pAD01	Sato Ryosuke	佐藤 遼輔	P-021C	〃		1pAK15
〃		1pAD02	Sato Shinya	佐藤 晋也	1pAG09	〃		2aAK08
〃		1pAD03	Sato Shiori	佐藤 しおり	P-075C	〃		2aAK11
〃		1pAD09	Sato Shoki	佐藤 翔紀	1pAM02	Setsu Akino	瀬津 暁乃	P-139A
〃		1pAE14	Sato Shusei	佐藤 修正	1pAK08	Shenton Matthew	Matthew Shenton	
〃		2aAD11	〃		1pAK09	〃		1pAH14
〃		P-038B	〃		1pAK10	Shi Dongbo	石 東博	1pSA05
〃		P-139A	〃		2aAE03	〃		1pSA06
Sakayama Hidetoshi	坂山 英俊	2aSJ03	Sato Sinya	佐藤 伸哉	1pAM05	Shiba Masayuki	柴 政幸	P-013A
Sako Kaori	佐古 香織	1aAD04	Sato Takeo	佐藤 長緒	2aAE07	〃		P-020B
Sakuma Yoh	佐久間 洋	P-030C	〃		P-070A	〃		P-021C
〃		P-129C	Sato Yasushi	佐藤 康	P-032B	Shibata Arisa	柴田 ありさ	2aAK09
Sakurai Takayuki	櫻井 貴之	1aAE01	〃		P-061A	Shibata Kyomi	柴田 恭美	1aAG03
Sanagi Miho	眞木 美帆	2aAE07	Sato Yoichi	佐藤 陽一	1pAH10	〃		2aAL06
〃		P-070A	Sato Yoshikatsu	佐藤 良勝	1aAG01	〃		2aAN10
Sano Ryosuke	佐野 亮輔	1pAG02	〃		1pAE07	Shibata Yutaka	柴田 穰	1aSB02

Shibuta Mio	澁田 未央	1aAH03	Shirahama Hitomi	白濱 瞳	P-111C	〃	2aAH02	
Shibuta K. Mio	澁田 未央	P-122B	Shirakawa Jun-ichi	白河 潤一	2aAK01	〃	P-086B	
Shibutani Tatsuya	澁谷 龍弥	P-068B	Shirasawa Kenta	白澤 健太	1aAH08	〃	P-100A	
Shigetomi Kengo	重富 顕吾	2aAD08	Shirasu Ken	白須 賢	2aAK09	Sugiyama Mutsumi	杉山 睦	2aAM08
Shihoya Wataru	志甫谷 渉	2aSC05	Shiratori Takashi	白鳥 峻志	P-005B	Sugiyama Yuki	杉山 友希	1pAF13
Shii Makiko	椎 槇子	P-118A	Shoji Tsubasa	庄司 翼	2aAG07	Suka Takeshi	須賀 丈	P-019A
Shiina Kensuke	椎名 謙介	P-147C	Shu Xueyao		1pAG14	Sultana Marzia		1aAF02
Shikata Hiromasa	四方 明格	2aSA04	Shuno Tomoki	秀野 智紀	1pAD06	Sumino Haruna	角野 遥菜	P-045C
Shima Hiroyuki	島 弘幸	1aAE10	〃		1pAD08	Sumino Yutaka	住野 豊	1aAD08
Shimada Hiroaki	島田 浩章	1aAD02	〃		1pAE03	Sun Jianqiang	孫 建強	2aAE09
Shimada Kohei	島田 康平	1pAE12	Shutoh Kohtaroh	首藤 光太郎	1pAK11	Sun Rui		1pAH09
Shimada Takashi	島田 貴士	P-071B	Sidhiq Dwi Fajar		1pAM10	Susaki Daichi	須崎 大地	1pAL03
Shimada Tomoo	嶋田 知生	1aAE01	Simizu Yutaro	清水 優太朗	2aAM04	〃	1pAL05	
〃		1pAM04	Slane Daniel		2aAN01	〃	1pSB02	
〃		1pAM05	Soga Kouichi	曾我 康一	1pAD12	Suwa Hiroki	諏訪 宏紀	1pAL11
Shimadzu Shunji	島津 舜治	1aAM01	〃		P-026B	Suyama Yoshihisa	陶山 佳久	1pAK06
〃		1aAM03	〃		P-028A	〃	1pAK11	
〃		1aAM04	Somashekar Harsha		1aAL06	〃	1pAK14	
〃		2aAL06	Son Hejin		1pAG14	〃	1pAK15	
Shimamura Daisuke	嶋村 大亮	1pAE10	Song Boseok	宋 普錫	1aAK06	〃	2aAK06	
Shimamura Masaki	嶋村 正樹	1aAL03	Song Gwan-Pil		2aAK03	〃	P-001A	
〃		1aAL05	Song Yu		3aSC04	〃	P-019A	
〃		2aAK07	Sonoike Kintake	園池 公毅	3aSB05	Suzuki Hidemasa	鈴木 秀政	1aSJ03
〃		P-110B	Sotta Naoyuki	反田 直之	1aSI01	〃	1pSJ01	
〃		2aAG07	〃		2aAG11	〃	2aAL10	
Shimasaki Tomohisa	島崎 智久	2aAG07	Su-Kil Jang		1pAK14	〃	P-083B	
Shimazu Toru	嶋津 徹	P-034A	Suda Hiraku	須田 啓	1aAD09	Suzuki Kaori	鈴木 かおり	1pAH09
Shimizu Hanako	清水 華子	2aAD10	〃		1aAD10	Suzuki Kengo	鈴木 健吾	1pAH12
Shimizu Hiroki	清水 大樹	1pAF08	Suemitsu Kanta	末満 寛太	2aSA02	Suzuki Masanori	鈴木 政紀	P-009C
Shimizu Kentaro	清水 健太郎	2aAE09	〃		3aAN08	Suzuki Masashi	鈴木 優志	P-071B
Shimizu Takayuki	清水 隆之	1aAK02	Suetsugu Kenji	末次 健司	2aSB07	Suzuki Natsumi	鈴木 夏美	P-047B
〃		1pAI09	Sueyoshi Masahiro	末吉 昌宏	P-003C	Suzuki Nobuhiro	鈴木 伸洋	1aAE09
〃		2aAH03	Suga Saori	菅 咲桜里	P-140B	Suzuki Ryuji	鈴木 隆司	2aAG02
〃		3aAN01	Suga Sori	菅 咲桜里	P-141C	Suzuki Sakae	鈴木 栄	P-081C
Shimizu Yuma	清水 佑馬	P-026B	Suganuma Yukina	菅沼 裕紀奈	2aAE06	Suzuki Shigekatsu	鈴木 重勝	1aSA03
Shimizu-Inatsugi Rie	清水 (稲継) 理恵	2aAE09	Sugawa Yuki	須河 勇輝	1pAG04	〃	2aAF03	
〃		2aAE09	〃		1pAG05	〃	3aAK04	
Shimmen Teruo	新免 輝男	AP	Sugawara Hayato	菅原 颯人	2aAK04	〃	P-005B	
Shimajima Mie	下嶋 美恵	2aSJ02	Sugayama Junji	杉山 淳司	1pAG05	〃	P-128B	
Shimokawa Eita	下川 瑛太	1pAH09	Sugi Naoya	杉 直也	1pAL03	Suzuki Shingo	鈴木 伸吾	2aAD08
Shimomai Nao	下舞 奈央	P-040A	〃		1pAL05	Suzuki Takamasa	鈴木 孝征	1pAE08
Shimomura Koichiro	下村 講一郎	1pAH05	Sugie Yoshihisa	杉江 喜寿	P-003C	〃	1pAL10	
〃		2aAN10	Sugimoto Jin	杉本 迅	1pAL02	〃	1pAN02	
Shin-ichi Arimura	有村 慎一	2aSB02	Sugimoto Keiko	杉本 慶子	1pSA05	〃	1pSA05	
Shindo Masashi	進藤 雅志	1aAN06	〃		1pSA06	〃	2aAL02	
Shinoda Toshiyuki	篠田 稔行	P-054C	Sugimoto Koichi	杉本 貢一	1aAN03	〃	2aAN06	
Shinohara Wataru	篠原 渉	1pAK01	〃		1pAM06	〃	2aAN09	
Shinoyama Harue	篠山 治恵	P-041B	Sugisaka Jiro	杉坂 次郎	2aAE08	〃	2aSC02	
Shinozaki Daiki	篠崎 大樹	2aAM06	〃		2aAE09	〃	P-101B	
〃		3aAE-AL1	〃		2aAE12	Suzuki Takeshi	鈴木 武	P-004A
Shinozaki Kazuo	篠崎 一雄	1pAD07	Sugita Kenji	杉田 健史	P-048C	Suzuki Tomomi	鈴木 智美	P-034A
〃		2aAG05	Sugita Mamoru	杉田 護	2aAE06	Suzuki Yuki	鈴木 優樹	1pAL14
Shinozawa Akihisa	篠澤 章久	1aAH07	Sugiyama Akifumi	杉山 暁史	1pAH06	Suzuki Yutaka	鈴木 穰	2aAN01
〃		1pAD10	〃		2aAG07	〃	2aAN02	
〃		2aAD12	Sugiyama Munetaka	杉山 宗隆	1aAK01			
〃		2aAG02	〃		1pAN15			
Shintaku Kazunori	新宅 和憲	1pAK03	〃		1pSA05			
Shiobara Shiori	塩原 菜	P-049A	〃					

T

T. Takahashi Kotaro	高橋 晃太郎	1pAK05	Takahashi Taku	高橋 卓	1aAE07	〃	1pSA03	
Tabara Midori	田原 緑	2aAH-AL1	〃	〃	1aAM05	〃	P-087C	
〃	〃	2aAH05	〃	〃	1aAM06	〃	P-088A	
〃	〃	2aAH06	〃	〃	1pAF06	〃	P-092B	
〃	〃	2aAH07	Takahashi Taro	高橋 太郎	P-125B	〃	P-095B	
Tabata Ryoichi	田畑 諒一	1pAK11	Takahashi Yayoi	高橋 弥生	P-011B	〃	P-147C	
Tabeta Hiromitsu	多部田 弘光	P-091A	Takahashi Yohei	高橋 洋平	1pAD04	Tamaki Ichiro	玉木 一郎	1pAK11
Tachibana Miku	橋 実来	P-076A	Takahashi Yuichiro	高橋 裕一郎	1pAI04	Tamaoki Daisuke	玉置 大介	1aSJ01
Tachibana Natsuki	橋 夏希	P-029B	Takaichi Shinichi	高市 真一	1aSB02	〃	1pAF03	
Tachibana Yoriyuki	橋 頼之	1pAH06	Takamatsu Yuna	高松 優菜	1pAL04	〃	P-034A	
Tachikawa Masashi	立川 正志	1pSC04	Takamura Arisa	高村 有咲	1pAI02	Tameshige Toshiaki	爲重 才覚	1pAM03
Tada Keigo	多田 圭吾	1aAK10	Takanami Kanta	高波 寛太	2aAD03	〃	2aAE09	
Tada Yasuomi	多田 安臣	P-100A	Takanashi Kojiro	高梨 功次郎	P-060C	Tamoi Masahiro	田茂井 政宏	1aAD04
Tadai Haruna	只井 遥菜	2aAG05	〃	〃	P-109A	Tamura Kentaro	田村 謙太郎	1aAE01
〃	〃	3aAE02	Takano Hinata	高野 ひなた	P-108C	〃	1aAE02	
Tadaki Ryoya	只木 亮哉	2aAM06	Takaoka Yousuke	高岡 洋輔	1pAD13	〃	2aAM01	
Tagane Shuichiro	田金 秀一郎	1pAK01	Takara Ryo	多嘉良 涼	2aAD02	Tamura Minoru	田村 実	1pAK04
Tagawa Kazuki	田川 一希	2aAF05	Takata Naoki	高田 直樹	1pAG11	Tamura N. Tamura	田村 実	1pAK03
Tagusagawa Mari	田草川 真理	1aSA03	Takatani Shogo	高谷 彰吾	1pAF10	Tanaka Atsuko	田中 厚子	1pAH10
Tai Satomi	田井 聡美	1pAN09	〃	〃	1pAF11	Tanaka Hirokazu	田中 博和	1pAN09
Taji Teruaki	太治 輝昭	1pAD01	Takatsuka Hiroto	高塚 大知	1pSC00	〃	1pAN10	
〃	〃	1pAD02	〃	〃	1pSC01	Tanaka Kantaro	田中 幹太郎	P-054C
〃	〃	1pAD09	〃	〃	P-093C	Tanaka Kunihito	田中 邦翁	1aAE09
〃	〃	1pAE14	Takayama Koji	高山 浩司	1pAK03	Tanaka Maho	田中 真帆	1aAD04
〃	〃	2aAD11	〃	〃	2aAK09	Tanaka Nobuhiro	田中 伸裕	1pAH14
〃	〃	P-139A	Takayama Saki	高山 紗季	2aAM10	Tanaka Ryoichi	田中 亮一	1pAI04
Takabayashi Atsushi	高林 厚史	1aSA02	Takayanagi Natsu	高柳 なつ	2aAH03	Tanaka Ryouichi	田中 亮一	1pAI02
〃	〃	1pAE12	Takazoe Kiyoto	高添 清登	2aAK08	〃	1pAI03	
〃	〃	1pAI02	Takebayashi Yumiko	竹林 裕美子	1aAG06	〃	P-050B	
〃	〃	1pAI03	〃	〃	1pAD08	〃	P-149B	
Takabe Akihiro	高部 晃宙	P-078C	〃	〃	1pSJ01	Tanaka Ryouiti	田中 亮一	1pAE12
Takada Nozomi	高田 希	1pAN11	Takebe Natsumi	武部 夏実	1pAL11	Tanaka Syunsuke	田中 俊介	P-104B
Takada Shinobu	高田 忍	1pAN11	Takeda Atsushi	竹田 篤史	2aAH06	Tanaka Wakana	田中 若奈	1pSJ05
Takagi Junpei	高木 純平	2aAE07	〃	〃	2aAH07	Tanaka Yoko	田中 陽子	3aAK05
〃	〃	P-070A	Takeda Risa	武田 理沙	1pAM02	Taniguchi Kenji	谷口 研至	1pAM07
Takagi Keichi	高城 啓一	P-114C	Takei Takahito	武井 敬仁	1pAF08	〃	P-132C	
Takagi Momoko	高木 桃子	2aAG04	〃	〃	2aAD05	Taniguchi Mitsutaka	谷口 光隆	1pAE07
〃	〃	P-144C	Takemura Miho	竹村 美保	1pAL11	〃	1pAI11	
Takagi Shingo	高木 慎吾	1pAE02	Takenaka Masaki	竹中 將起	P-008B	Taniguchi Yoko	谷口 耀子	2aAH06
Takagi Tomoko	高木 智子	3aAM06	Takenaka Mizuki	竹中 瑞樹	2aAD11	Taniguchi Yukimi	谷口 幸美	P-097A
Takagi Yuri	高木 祐理	1pAL04	Takeuchi Ami	竹内 亜美	2aAH02	Tanii Tomoharu	谷井 智春	P-065B
Takagishi Kei	高岸 慧	P-022A	Takeuchi Hidenori	武内 秀憲	1pAL05	〃	P-066C	
Takahashi Daiki	高橋 大樹	1pAK14	〃	〃	1pAL08	Taniyoshi Kazuki	谷吉 和貴	2aAK11
〃	〃	1pAK15	Takeuchi Ko	竹内 航	2aAD09	Tanizawa Yasuhiro	谷澤 靖洋	1aAH08
Takahashi Fumio	高橋 文雄	1pAL14	Takeuchi Rin	竹内 鈴	2aAD02	Tanoi Keitaro	田野井 慶太郎	〃
Takahashi Go	高橋 剛	3aAN05	Takeuchi Yohsuke	竹内 洋輔	P-085A	〃	1aSI02	
〃	〃	P-107B	Takezawa Daisuke	竹澤 大輔	1pAD02	Taoka Hiroki	田岡 裕規	1aAD02
Takahashi Hirokazu	高橋 宏和	1pAD10	〃	〃	1pAD03	Tashiro Miku	田代 美空	1pAD14
Takahashi Hironobu	高橋 宏暢	1pAH03	〃	〃	1pAD09	Tatebayashi Toru	館林 融	2aAG09
Takahashi Kanon	高橋 花音	P-045C	〃	〃	P-027C	Tatsumi Akane	辰己 朱	1pAG12
Takahashi Kohei	高橋 昂平	3aAK04	〃	〃	P-038B	〃	1pAN01	
Takahashi Kohei	高橋 昂平	3aAK04	Takigawa-Imamura Hisako	今村 寿子	1pAN08	Tatsumi Kanade	巽 奏	1pAH05
Takahashi Koji	高橋 宏二	1pAD05	〃	〃	P-117C	Tatsumi Mizuki	龍見 瑞季	P-004A
〃	〃	P-074B	Takuechi Hidenori	武内 秀憲	P-117C	Tauchi Waku-Lazarus	田内 和久ラザルス	〃
Takahashi Rita	高橋 璃多	2aAL04	Takuyuki Ikeda	池田 拓之	2aAH02	〃	2aAE06	
Takahashi Shunsuke	高橋 俊輔	P-048C	Tamada Yosuke	〃	1aAE08	Taura Aimi	田浦 愛美	P-143B

Taura Satoru	田浦 悟	P-145A	〃	1pAG15	Tsuyuzaki Shiro	露崎 史朗	1aAF07	
Teramori Hiroki	寺森 裕紀	P-060C	〃	1pAM07	〃	〃	2aAE01	
Teramoto Ayumi	寺本 あゆみ	1pAG12	Toyooka Hiroko	豊岡 博子	3aAK04	〃	2aAF01	
〃	〃	1pAN01	Toyooka Kiminori	豊岡 公德	1pAE01	〃	2aAF09	
Teranishi Mika	寺西 美佳	1pAE04	〃	〃	1pAF10	Tsuzuki Mikio	都筑 幹夫	P-037A
Terao Morita Miyo	森田 (寺尾) 美代	〃	〃	〃	1pAN10			
		2aSA04	〃	〃	3aAM07			
Terashima Ichiro	寺島 一郎	3aSA04	〃	〃	P-063C			
Terauchi Ryohei	寺内 良平	2aSC06	Toyota Masatsugu	豊田 正嗣	1aAD09	Uchida Hidenobu	内田 英伸	P-068B
Tobe Hiroshi	戸部 博	3aSA02	〃	〃	1aAD10	Uchida Kei	内田 圭	P-019A
Tobita Shougo	飛田 祥吾	1pAM11	〃	〃	2aAG02	Uchida Naoyuki	打田 直行	1pAN07
Tobita Takumi	飛田 拓海	P-088A	Toyota Yuria	豊田 優理亜	2aAD01	Uchiyama Kotone	内山 琴音	1aAH09
〃	〃	P-147C	Tsuboi Hayato	坪井 勇人	1pAK14	Ueda Haruko	上田 晴子	1aAG07
Toda Erika	戸田 絵梨香	P-124A	Tsubota Hiromi	坪田 博美	2aAK07	〃	〃	1pAM04
Toda Yosuke	戸田 陽介	2aAG04	〃	〃	3aAK06	〃	〃	1pAM05
〃	〃	P-144C	Tsubouchi Shunsuke	坪内 俊介	1pAH11	〃	〃	P-078C
Todd Michael	〃	2aAN09	Tsuchida Natsuki	土田 菜月	3aAE02	Ueda Minako	植田 美那子	1aAK10
Tode Anna	東出 あんな	2aAM03	Tsuchida Takeshi	土田 岳志	1pAM03	〃	〃	1aAN01
Tode Sara	東出 さら	2aAM04	Tsuchiya Tohru	土屋 徹	1pAI05	〃	〃	1aAN02
Togawa Taisuke	十川 太輔	1aAH01	Tsuchiya Yuichiro	土屋 雄一郎	1aAG01	〃	〃	1pAF04
Toh Shigeo	藤 茂雄	P-089B	Tsugawa Satoru	津川 暁	1aAD08	〃	〃	1pAL04
Toh Sigeo	藤 茂雄	P-080B	〃	〃	1aAG07	〃	〃	1pAL15
Tojo Koji	東城 幸治	P-008B	〃	〃	1aAN01	〃	〃	P-102C
Toki Sei-ichi	土岐 精一	1aAN04	〃	〃	1pAF04	Ueda Minoru	上田 実	1pAD13
Tokoro Masato	所 雅人	P-135C	Tsuge Tomohiko	柘植 知彦	2aAH09	Ueda Saki	植田 早紀	1pAI12
Tokumoto Hayato	徳本 勇人	1aAG08	Tsuji Akihisa	辻 昭久	1pAH08	Ueda Shioriko	上田 葉子	2aAD12
〃	〃	1aAG09	Tsuji Nanami	辻 七海	2aAE04	Ueda Shuya	上田 修也	1aAD01
〃	〃	1aAG10	Tsujino Dai	辻野 代	3aAK07	Ueda Soichi	上田 颯一	2aAH06
〃	〃	2aAG08	〃	〃	3aAK08	Ueda Takashi	上田 貴志	1pAN08
Tokumoto Takuya	徳元 拓哉	1pAG01	〃	〃	3aAK09	〃	〃	2aAM03
Tokumoto Yuto	徳本 勇闘	2aAG11	〃	〃	3aAM01	〃	〃	2aAM05
Tokunaga Hiroki	徳永 浩樹	1aAN06	Tsukagoshi Hironaka	塚越 啓央	1pAH01	〃	〃	3aAM03
Tokutsu Ryutaro	得津 隆太郎	1pAI05	〃	〃	1pAN02	〃	〃	P-146B
Tomida Koki	富田 幸希	1pAN02	〃	〃	2aAN09	Ueda Yoshikazu	植田 慶和	P-030C
Tominaga Motoki	富永 基樹	P-077B	Tsukaya Hirokazu	塚谷 裕一	1aAN07	Uehara Koichi	上原 浩一	2aAK10
〃	〃	P-078C	〃	〃	1pAM01	〃	〃	P-001A
Tomita Reiko	富田 麗子	3aAK09	〃	〃	1pAM02	Uehara Moe	上原 萌愛	1aAE01
Tomiyama Masakazu	富山 将和	P-144C	〃	〃	1pAM08	Uemura Tomohiro	植村 知博	1aAL08
Tomizawa Yoko	富沢 瑤子	3aSC03	〃	〃	1pAM11	〃	〃	1aSI06
〃	〃	3aSC04	〃	〃	1pAN14	〃	〃	2aAM02
Tomoi Takumi	友井 拓実	1aAE08	〃	〃	2aAN12	〃	〃	2aAM03
〃	〃	1aSJ05	〃	〃	P-090C	〃	〃	2aAM04
〃	〃	P-087C	〃	〃	P-091A	〃	〃	P-143B
〃	〃	P-088A	〃	〃	P-130A	Ueno Aki	上野 亜紀	3aAN02
Tomooka Norihiko	友岡 憲彦	1pAK12	Tsukisaka Akihiro	月坂 明広	P-064A	Ueno Shiho	上野 志歩	1pAN02
Toriyama Tsukasa	鳥山 士	1pAD01	Tsunamoto Yoshihiro	綱本 良啓	1pAK11	〃	〃	2aAN09
〃	〃	1pAD02	Tsunematsu Yuta	恒松 雄太	2aAF03	Ueno Takashi	上野 貴史	2aAE03
Torizuka Kengo	鳥塚 研吾	1pAG06	Tsuro Masato	津呂 正人	1pAH01	Ueoka Hayato	上岡 颯人	1pAH06
Toshinori Kinoshita	俊则 木下	1pAE11	Tsuru Ryoka	水流 諒花	1pAM01	Uesugi Kentaro	上杉 健太郎	P-034A
Tou Taiko	藤 泰子	1aAG05	Tsuruda Yushin	鶴田 悠心	1aAD06	Uesugi Kousaku	上杉 晃作	1pAH08
Tounosu Noriaki	唐司 典明	2aSJ02	〃	〃	2aAM07	Ui Takumi	宇井 拓海	1pAM02
Toya Yoshihiro	戸谷 吉博	1aSI05	Tsutsui Hiroki	筒井 大貴	P-127A	Ujibayashi Kouta	氏林 恒太	P-015C
Toyama Taimu	外山 大夢	P-111C	Tsutsui Romi	筒井 路実	2aAD08	Ukai Yuko	鵜飼 優子	1aAD02
Toyama Yukiho	外山 侑穂	2aSC02	Tsutsui Yuuri	筒井 悠里	P-051C	〃	〃	2aAL07
Toyoda Atsushi	豊田 敦	1aSB02	Tsutsumi Chie	堤 千絵	P-010A	Umeda Masaaki	梅田 正明	2aAG01
Toyokawa Chihana	豊川 知華	1pAH12	Tsutsumi Honoka	堤 帆乃香	1pAL14	Umehara Mikihisa	梅原 三貴久	2aAN10
Toyokura Koichi	豊倉 浩一	1aAG07	Tsutsumi Koichi	堤 浩一	P-068B	Umehara Shunichi	梅原 俊一	P-105C

U

Umekita Aoi 梅北 葵衣 1aAN03
 Umezawa Taishi 梅澤 泰史 3aAE02
 Uozumi Nobuyuki 魚住 信之 1pAF01
 Urushihara Kota 漆原 晃太 1aAD04
 Utami Yuniar Devi Yuniar Devi Utami
 2aAG04
 Utsuki Nene 宇津木 寧音 P-106A
 Uzaki Mai 鷗崎 真妃 P-063C

W

Wada Hajime 和田 元 1pAI01
 “ 2aSB03
 “ 2aSI01
 “ 3aSB04
 Wada Koki 和田 昂己 2aAL05
 Wada Masamitsu 和田 正三 3aSA01
 Wada Momoka 和田 百々香 1aAL07
 Wada Syogo 和田 将吾 P-141C
 Wakabayashi Kazuyuki 若林 和幸 P-026B
 “ P-028A
 Wakabayashi Takahisa 若林 孝尚 P-034A
 Wakabayashi Tomomi 若林 智美 1pAK08
 “ 1pAK10
 “ 2aAE03
 Wakayama Masataka 若山 正隆 1pAH13
 “ 1pAH15
 Wakazaki Mayumi 若崎 真由美 1pAF10
 “ P-063C
 Waku Ayumu 和久 涉 1pAK09
 Wakui Yuko 涌井 裕子 1aAD02
 Wang Cheng 王 成 2aAL07
 Wang Haowen 1aAN06
 Wang Zining 王 子寧 1pAN14
 Watahiki Masaaki 綿引 雅昭 3aSC02
 Watanabe Bunta 渡辺 文太 1pAH05
 Watanabe Fuki 渡辺 蒔 1pAK14
 Watanabe Kenshiro 渡邊 健志郎 2aAM07
 “ 2aAM08
 Watanabe Maya 渡辺 麻椰 2aAE04
 Watanabe Mikio 渡邊 幹男 2aAF05
 “ P-002B
 Watanabe Mizuki 渡邊 瑞輝 2aAH06
 Watanabe Senri 渡邊 千吏 P-104B
 Watanabe Toshihiro 渡部 敏裕 2aAE11
 Watanabe Yakumo 渡部 八雲 P-120C
 Watanabe Yoichi 渡辺 洋一 1pAK14
 Watanabe Yoko 渡邊 陽子 2aAE11
 Watano Yasuyuki 綿野 泰行 1pAK01
 “ P-006C
 Wataya Keito 綿屋 奎杜 2aAF04
 Weijers Dolf 3aAN04
 Wenkel Stephan 1aSC01
 Wu Wenjia 1aAL02
 Wu Xiaoyan 伍 小燕 1pAL06
 “ 1pAL07

X

Xiao Yangyuxin 肖 楊雨昕 P-110B
 Xie Liyang 谢 礼洋 1pAL06
 “ 1pAL07
 Xie Xiaonan 謝 肖男 1pSJ01
 “ P-083B
 Xinpeng Liu P-144C
 Xu Lin 1pSA04

Y

Yaeno Takashi 八丈野 孝 2aSB05
 “ P-143B
 Yagi Hiroki 八木 宏樹 1aAG07
 “ 1pAM04
 “ 1pAM05
 Yagi Noriyoshi 八木 慎宜 3aAM08
 Yagi Yusuke 八木 祐介 1aAK01
 Yagisawa Fumi 八木沢 美美 1aSA03
 “ 2aAL12
 “ 3aAK08
 “ 3aAK09
 “ 3aAM02
 “ P-064A
 Yagyu Mako 柳生 真子 2aAM09
 Yahara Tetsukazu 矢原 徹一 1pAK14
 “ 2aAK06
 Yahiro Haruto 八廣 遥斗 2aAK05
 Yaji Chiaki 家治 千明 P-079A
 Yamada Daisuke 山田 大輔 2aAM07
 Yamada Kazuki 山田 一貴 2aAL06
 Yamada Kazumasa 山田 和正 1pAG09
 Yamada Naho 山田 奈穂 1aAG10
 “ 2aAG08
 Yamagaki Sho 山柿 将 1aAK06
 Yamagata Tsubasa 山形 翼 P-085A
 Yamaguchi Haruyo 山口 晴代 1aSA03
 “ 2aAF03
 “ 3aAK04
 “ 3aAK05
 Yamaguchi Marika 山口 万里花 P-014B
 Yamaguchi Masatoshi 山口 雅俊 1aAL07
 Yamaguchi Shinjiro 山口 信次郎 1pAH09
 Yamaguchi Tomio 山口 富美夫 2aAK07
 Yamaji Momoko 山路 桃子 1pSA06
 Yamamoto Chiaki 山本 千愛 1pAL14
 Yamamoto Daisuke 山本 大輔 1aSB04
 Yamamoto Fuyumi 山本 冬美 P-092B
 “ P-095B
 Yamamoto Kayoko 山本 荷葉子 1aAK01
 “ 3aAK04
 Yamamoto Kazunari 山本 一成 2aAN07
 Yamamoto Kenta 山本 健太 P-069C
 Yamamoto Kotaro 山本 浩太郎 1pAH07
 “ P-063C
 “ P-100A

Yamamoto Mai 山本 真以 P-058A
 Yamamoto Mayuka 山本 真結香 1aAN04
 Yamamoto Shogo 山本 昇吾 P-067A
 Yamamoto Takehiro 山本 越大 1pAG08
 Yamamoto Yoshiharu Y 山本 義治 1aAK02
 Yamamoto Yuji 山本 祐司 P-134B
 Yamanashi Riho 山梨 里歩 2aAH05
 Yamane Fumito 山根 文人 P-003C
 Yamano Takashi 山野 隆志 1aAK07
 “ 1pAE10
 “ P-073A
 Yamaoka Shohei 山岡 尚平 1aAH01
 “ 1pAH09
 Yamasaki Hirohito 山崎 博人 P-064A
 Yamasaki Yumiko 山崎 由美子 1pAL11
 Yamashino Takashi 山篠 貴史 2aAE06
 Yamashita Hirofumi 山下 博史 P-068B
 Yamashita Kota 山下 昂太 3aAE02
 Yamashita Shota 山下 翔大 3aAE01
 “ 3aAK07
 “ 3aAK08
 “ 3aAK09
 “ 3aAM01
 “ 3aAM02
 Yamashita Yui 山下 由衣 2aAH08
 Yamashita Yuki 山下 祐輝 P-035B
 Yamashita Yuto 山下 優音 1pAG10
 “ 2aAL10
 “ 2aAL11
 Yamato Katsuyuki 大和 勝幸 1pAL11
 “ 1pAL12
 “ 1pAL13
 Yamato Katsuyuki T. 大和 勝幸 1aAH01
 Yamauchi Daisuke 山内 大輔 P-034A
 Yamaura Ryohei 山浦 遼平 P-034A
 Yamaya Saori 山屋 沙織 P-107B
 Yamazaki Tomokazu 山崎 誠和 P-131B
 Yanagawa Yuki 柳川 由紀 1pAL01
 Yanai Chika 柳井 千花 2aAF06
 Yanai Chisora 柳内 千空 1pAG07
 Yang Yong-Ping 1pAK04
 Yano Okihito 矢野 興一 1pAK05
 Yasuda Arisa 安田 有沙 1aAG04
 Yasuda Ayumu 保田 歩 1pAM01
 Yasuda Junko 安田 洵子 1pAE10
 Yasuda Naoki 安田 直樹 1pAH08
 Yasuda Shigetaka 安田 盛貴 2aAD12
 “ 2aAG02
 “ 2aAG05
 “ 3aAE02
 Yasuda Yuki 安田 有輝 P-067A
 Yasuhara Hiroki 安原 裕紀 1pAF03
 “ P-079A
 Yasui Keishi 安井 馨市 1aAM02
 Yasui Yasuo 安井 康夫 P-119B
 Yasui Yukiko 安居 佑季子 1pAH09
 “ 1pSJ02

/ 1pSJ07
 Yasumuro Miharu 安室 美陽 2aAH08
 Yazaki Kazufumi 矢崎 一史 1pAH03
 / 1pAH04
 / 1pAH05
 / 1pAH06
 / 2aAG07
 Yoda Akiyoshi 依田 彬義 1pAD15
 Yokawa Ken 陽川 憲 1aAG03
 Yokoe Rin 横江 倫 1pAI12
 Yokoi Tomoya 横井 友哉 1aAE05
 Yokota Shinso 横田 信三 P-081C
 Yokota Yuichiro 横田 裕一郎 P-033C
 Yokoyama Jun 横山 潤 2aAG09
 / P-009C
 / P-134B
 Yokoyama Kan 横山 寛 P-145A
 Yokoyama Ryusuke 横山 隆亮 1aAM06
 Yoneda Yusaku 米田 優作 1pAF07
 Yonekura Takaaki 米倉 崇晃 1pAN15
 / 3aSC04
 Yoneoka Katsuhiko 米岡 克啓 1pAK02
 Yonetsuka Hiroki 米塚 広樹 3aAN02
 Yoneyama Kaori 米山 香織 1pSB07
 Yoro Emiko 養老 瑛美子 1aAL05
 / 1pSJ03
 Yoshida Akito 吉田 晟人 1aAN04
 Yoshida Ayaka 吉田 彩香 1pAN11
 Yoshida Kana 吉田 夏菜 2aAN04
 Yoshida Kazuhiro 吉田 和広 1pAI08
 Yoshida Keiji 吉田 佳司 1pAH02
 Yoshida Kumi 吉田 久美 P-043A
 Yoshida Miyuri 吉田 美百合 P-138C
 Yoshida Riichiro 吉田 理一郎 P-040A
 Yoshida Rino 吉田 梨乃 1aAG05
 Yoshida Satoko 吉田 聡子 1pSA06
 / 1pSB03
 / 2aAG11
 / P-140B
 / P-141C
 Yoshida Shogo 吉田 匠吾 P-101B
 Yoshida Ta 吉田 貴大 P-014B
 Yoshida Yamato 吉田 大和 1pSC06
 / 1pSC07
 / 2aAL12
 / 2aSC02
 Yoshida Yoshiki 吉田 善葵 1pAM04
 / 1pAM05
 Yoshida Yuka 吉田 優佳 1aAE08
 Yoshida Yuki 吉田 祐樹 1pAD14
 Yoshihara Akiko 吉原 晶子 1pAI10
 Yoshihara Toshihiro 吉原 利一 1aAD02
 Yoshikawa Mikako 吉川 実樺子 1aAG04
 Yoshikawa Miku 吉川 実玖 1pAG04
 / 1pAG05
 Yoshimoto Kohki 吉本 光希 2aAM06
 / 2aAM09

Yoshimoto Koki 吉本 光希 3aAE05
 Yoshimura Ari 吉村 有 1pAL01
 / 1pAL02
 / P-125B
 Yoshimura Kohei 吉村 考平 P-078C
 Yoshimura Mika 吉村 美香 2aAL01
 Yoshimura Minami 吉村 美南 1aAL04
 Yoshimura Nami 芳村 那美 1aAG04
 Yoshimura-Kono Megumi
 河野(吉村) 恵実 P-144C
 Yoshinaga Arata 吉永 新 1pAG05
 Yoshinari Akira 吉成 晃 3aAM08
 Yoshitake Yoshihiro 吉竹 良洋 1pAH09
 Yoshiyama (Okamoto) Kaoru
 愿山 (岡本) 郁 1pAE04
 Yoshizawa Susumu 吉澤 晋 1aSB03
 Yoshizawa Yuka 吉沢 優花 2aAL11
 Yoshizumi Takeshi 吉積 毅 2aAH01
 Yotsui Izumi 四井 いずみ 1pAD01
 / 1pAD02
 / 1pAD09
 / 1pAE14
 / 2aAD11
 / 2aAD12
 / 2aAG02
 / P-139A
 / P-087C
 Yu Changxiu
 Yuki Hayashi 優紀 林 1pAE11
 Yumoto Emi 湯本 絵美 1aAG03
 / 1pAD13
 / 2aAN06
 Yumoto Genki 湯本 原樹 2aAE12

Z

Zhang Liechi 1aAD10
 / 1aSJ06
 Zhao Chen 趙 宸 1aAF07
 Zhou Baifeng 周 柏峰 3aAK09
 / 3aAM01
 / P-042C
 Zhu Shaowei 朱 绍威 1pAL06
 / 1pAL07
 Zhuang Yuhao 庄 宇昊 1pAH11
 Zoya V. Kozhevnikova 1pAK14

広 告

広告目次

株式会社ファスマック バイオ研究支援事業部	裏表紙
メイワフォーシス株式会社	表表紙内面
Space BD 株式会社	112
理化学研究所	113
株式会社ムトウ	114
アトー株式会社	114
一般社団法人 クロックミクス	115
日本植物形態学会	115



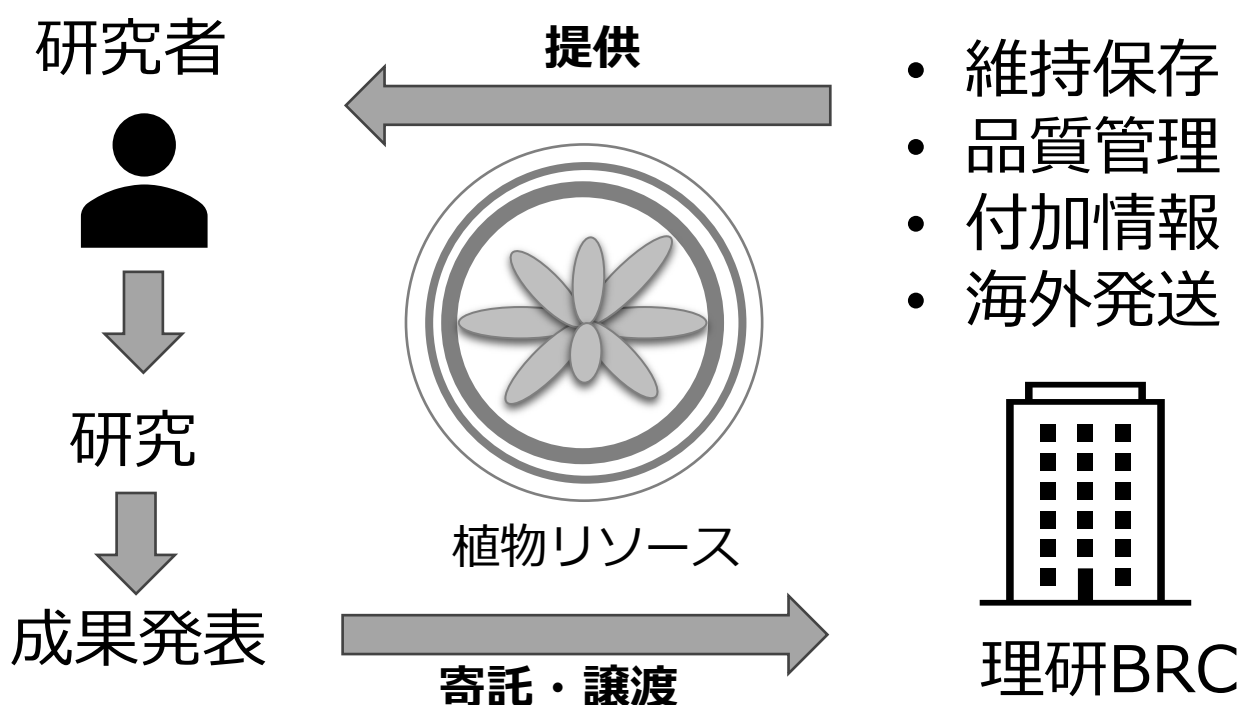
DRIVE YOUR BUSINESS INTO SPACE

Space BD delivers the optimum plan to transport things to Space for customers aiming to launch satellites or perform experiments in the space environment. We provide one-stop support for all matters right from technical coordination to launch execution and operations support. Furthermore, project creation to explore new possibilities of space utilization and open up Space to other industry sectors is also one of our core services.

シロイヌナズナ変異体,植物遺伝子材料,培養細胞株など

植物リソース 寄託・譲渡のお願い

実験植物の種子、植物遺伝子材料、及び植物培養細胞等のバイオリソースを収集し、厳密な品質管理のもとで保存し、リソースの特性情報などを付加して国内外の研究者に提供しております。論文発表された研究材料を理研BRCに寄託・譲渡をご検討ください。



これまでに寄託・譲渡いただいた系統は、準備が整い次第下記より情報公開を行っております。

<https://plant.rtc.riken.jp/resource/home/index.html>



理化学研究所
バイオリソース研究センター (BRC)
実験植物開発室

〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-1-1
☎ 029-836-9067 ✉ plant.brc@riken.jp
<https://epd.brc.riken.jp/ja/>

NBRPシロイヌナズナ/植物培養細胞・遺伝子

理研BRC





WISM 21は、21世紀の医療をトータルでサポートし、お客様のニーズと共に成長するシステムです。

病院の近代化が進むなか、取り巻く環境が厳しさを増しつつある医療施設において、WISM21は医療の変化に対応すべく、お客様のためにご用意させていただいた医療総合支援システムです。必要な時に必要なシステムを選び、ご利用ください。

- 医療機器の販売
- 理化学機器の販売
- 在宅医療・福祉用具の販売
- 開業医向けインターネット販売
- 中古医療機器の買取・販売
- 病院管理業務の受託 (SPD、購買代行、滅菌、ME機器管理)
- 医療機器の設置・メンテナンス・保守契約
- 最新医療情報の提供
- 病院新築・改築の総合プロデュース
- 医療廃棄物処理
- 情報システムの提案・開発
- コンサルティング (経営分析・診断・改善・人材育成)
- 学会イベントの企画・運営
- 旅行・広告代理業
- 貿易(輸入代行含む)

総合医療機器商社

WISM 株式会社 ムトウ

取扱品目 医療機器・理化学機器・ME機器・病院設備
放射線機器・メディカルコンピューター・貿易業務・歯科機器
福祉機器・介護用品

- 札幌本社(北海道事業本部) / 〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目1番15号
TEL 011-746-5111
- 東京本社(東京事業本部) / 〒110-8681 東京都台東区入谷1丁目19番2号
TEL 03-3874-7141
- 名古屋支社(名古屋事業本部) / 〒465-0014 名古屋市中東区上管2丁目1108番地
TEL 052-799-3011
- 大阪支社(大阪事業本部) / 〒537-0002 大阪市東成区深江南2丁目13番20号
TEL 06-6974-0550
- 福岡支社(福岡事業本部) / 〒812-0044 福岡市博多区千代4丁目29番27号
TEL 092-641-8161

支店 / 札幌中央・札幌西・札幌白豊・新札幌・旭川・函館・釧路・帯広・北見・遠紋・八雲・室蘭・苫小牧・日高・小樽・千歳・岩見沢・空知・名士・稚内
慈恵事業部・北里大学事業部・成田事業部・青森・秋田・仙台・いわき・群馬・栃木・日立・水戸・鹿島・茨城・熊谷・埼玉東・埼玉中・埼玉西・所沢・足立・越谷・本郷・城北・城西・城南・城東
多摩・多摩西・武蔵野・練馬・柏・千葉西・千葉・鴨川・神奈川・横浜・横須賀・川崎・川崎北・相模・熱海・浜松・岐阜・名古屋南・伊勢志摩・三重・北勢・滋賀・北大阪・南大阪・西大阪・奈良
岡山・広島・鳥取・島根・小倉・飯塚・筑豊・大川・久留米・佐賀・大牟田・唐津

<https://www.wism-mutoh.jp/>

植物の発光や蛍光観察ができるイメージング装置

ATTA LuminoGraph II EM



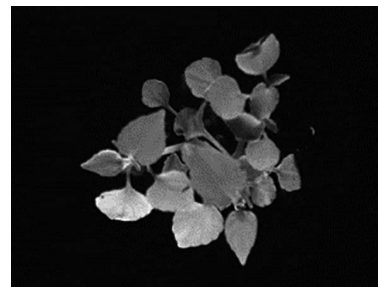
WEB SITE

装置の概要： LuminoGraph II EM は高感度冷却EM-CCDカメラを搭載した発光撮影装置です。落射LED光源 (Blue/Green/Red/NIR) による蛍光撮影も可能です。Windows PC制御により、自動露光、光源制御、インターバル撮影が可能です。ウエスタンブロットティングの発光検出、各種蛍光プローブの撮影、発光サンプルの撮影、染色ゲルの撮影などに対応します。

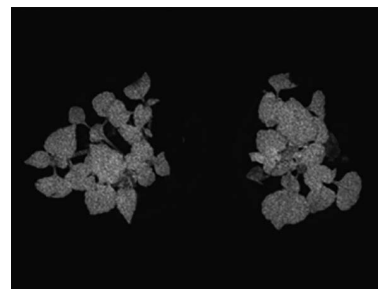


WSE-6270 LuminoGraph II EM
価格 3,300,000円～

■植物体のクロロフィル蛍光撮影例
BlueRed LEDセットを装着し、植物のクロロフィル蛍光撮影を行いました。
励起光源：Blue (470nm) 100%
フィルター：690nmロングパスフィルター
EM ゲイン：HQ ピニング：1×1
露光時間：1 sec



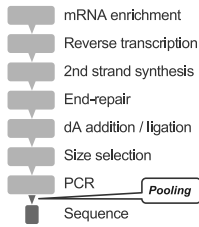
■植物体の遅延蛍光撮影例
Blue LEDおよびRed LED (100%) を同時点灯し、3分照射後、フィルターなしで遅延蛍光を撮影しました。
EM ゲイン：STD ピニング：2×2
露光時間：1 min



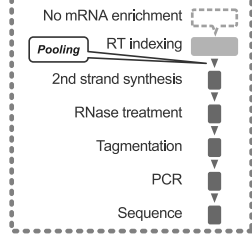
独 自 開 発 ハイ ス ル ー プ ッ ト

低コスト NGS 解析

従来のRNA-Seq



Lasy-Seq v1.1



トランスクリプトーム解析 RNA-Seq

Lasy-Seq v1.1法: Kamitani *et al.*, (2019), Sci. Rep.

ライブラリー調製 シーケンス(NovaSeqX)
3,960円/サンプル 220,000円/0.5レーン

低コストで多検体の解析が可能に!

ゲノムワイドSNP解析 ddRAD-Seq

Perterson *et al.*, (2012), PLoS Oneをベースにハイスルーブット化

ライブラリー調製 シーケンス(NovaSeqX)
1,650円/サンプル 220,000円/0.5レーン

多検体を効率よく解析可能に!

環境DNA解析/16S,18Sアンプリコン解析

Early-pooling法:
Ushio *et al.*, (2022), Environmental DNA

魚類などマクロ生物も対応

データ解析追加可能 シーケンス(NovaSeq)
①150PE(1Gb):42,000円
②250PE(1Gb):59,400円
*≥2Gb: ①+ 4,950/Gb
②+ 18,150/Gb

目的に応じてシーケンス方法が選択可能!

多検体NGS解析受託サービス

数サンプル~数千以上に幅広く対応いたします。

詳細はこちらをご覧ください。 <https://www.clockmics.com>



お見積りのご相談は
一般社団法人クロックミクス
E-mail: info@clockmics.com

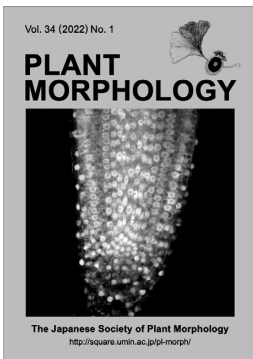
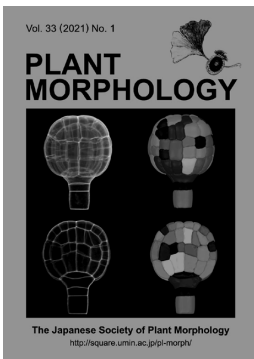
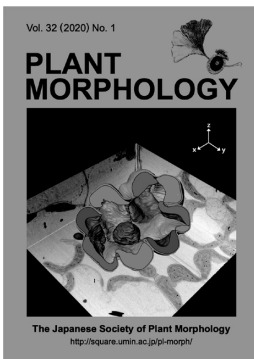
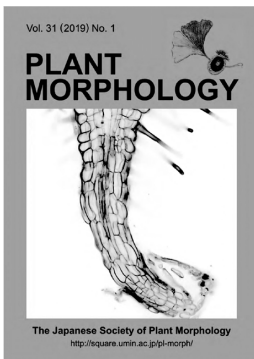
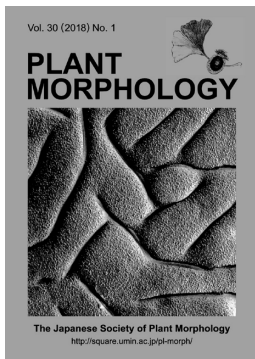
日本植物形態学会誌

PLANT MORPHOLOGY



「Plant Morphology」は植物形態学に関する学術雑誌 (PRINT ISSN: 0918-9726) です。

- ・対象論文は植物形態学ならびに関連領域に関する、和文・英文の原著論文・短報・総説などです
- ・原著論文を含めた論文・総説・解説等の内容は、「J-Stage」で広く一般向けに公開されます



こちらから無料で閲覧できます

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/plmorphol/-char/ja>

日本植物形態学会は、1988年1月に設立された日本学術会議協力学術研究団体です。



<https://square.umin.ac.jp/pl-morph/>

ご協力いただいた個人・企業・団体一覧

公益社団法人日本植物学会第 87 回大会開催にあたり、個人・企業・団体のみなさまから高校生発表・セミナー開催、出展、広告掲載などの多大なるご協力をいただきました。ここにお名前を掲載し、深く感謝申し上げます。
(順不同・敬称略)

〈後援・助成〉

一般社団法人 札幌農学同窓会

日本学術振興会 科学研究費助成事業研究成果公開促進費

〈共催シンポジウム〉

JST さきがけ「植物分子の機能と制御」

学術変革領域研究 (A)「植物の挑戦的な繁殖適応戦略を駆動する両性花とその可塑性を支えるゲノム動態」

JST さきがけ「細胞の動的高次構造体」

学術変革領域研究 (B)「植物超個体の覚醒」と「微生物が動く意味」

学術変革領域研究 (B)「プラスチド相転換ダイナミクス」

新学術領域「植物の周期と変調」

学術変革領域研究 (A)「光合成ユビキティ：あらゆる地球環境で光合成を可能とする超分子構造制御」

〈協賛〉

* ランチョンセミナー

トミーデジタルバイオロジー株式会社

* 展示

株式会社日本医化器械製作所

トミーデジタルバイオロジー株式会社

ピンポイントフォトニクス株式会社

中立電機株式会社

株式会社セントラル科学貿易

ゲノムリード株式会社

公益財団法人かずさDNA研究所

シーシーエス株式会社

ネッパジーン株式会社

株式会社NAMOTO

Light-Box

* スクリーン広告

東京化成工業株式会社

ゲノムリード株式会社

* プログラム集広告

メイワフォーシス株式会社

株式会社ムトウ

アトー株式会社

一般社団法人クロックミクス

Space BD 株式会社

日本植物形態学会

株式会社ファスマック

理化学研究所バイオリソース研究センター実験植物開発室

* パンフレット同封

日本電子株式会社

日本植物学会第87回大会(札幌) プログラム
Programs of the 87th Annual Meeting of the Botanical Society of Japan, Sapporo 2023

発行 2023年9月1日

編集 公益社団法人日本植物学会第87回大会実行委員会
印刷 中西印刷株式会社

©2023 公益社団法人日本植物学会 Printed in Japan
※本書の内容を無断で複写・複製することは法律で定められた場合を除き、著作権・出版権の権利侵害となります。
※本書の内容は2023年8月現在のものです。